

令和4年度
市民意識調査報告書

令和5年3月
東松山市

はじめに

東松山市におけるまちづくりの指針であり、平成 28 年度に策定した市の最上位の計画である「第五次東松山市総合計画」では、市の目指す将来像を「住みたい、働きたい、訪れたい 元気と希望に出会えるまち 東松山」としています。また、令和 3 年 4 月からは、「第五次東松山市総合計画後期基本計画」を策定し、「観光振興」「産業振興」「子育て支援」「防災・減災対策の推進」「地域福祉の充実」の 5 項目を重点的に取り組むべき課題として位置づけ、この計画に基づく施策を推進しております。



本調査は、市民の皆様から市政に対するご意見・ご要望を把握することを目的に実施するものです。皆様から寄せられた貴重な「声」を今後の東松山市のまちづくりに活かし、子どもから高齢者まで全ての市民が元気で希望を持って心豊かに暮らせるまちの実現に全力で取り組んでまいりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本調査にご協力いただきました市民の皆様には、心より厚くお礼申し上げます。

令和 5 年 3 月

東松山市長 **森田 光一**

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象者及び調査方法等	1
	調査期間	1
	調査方法	1
3	回収結果	1
4	回収率の推移	1
5	本報告書の見方について	2
6	標本誤差について	2
	回答者の属性	3
II	結果の概要	5
III	調査の結果	11
1	まち全体の印象について	11
1-1	東松山市への愛着	11
1-2	東松山市の住みよさ	13
1-3	定住意向	15
1-4	東松山市の印象	17
2	子どもの分野について	32
2-1	子育て環境の整備	32
2-2	子育て環境が整っていない理由	33
3	健康福祉の分野について	36
3-1	最初にかかる医療機関	36
3-2	最初にかかる医療機関の種類	37
3-3	健康づくりのために心がけていること	38
3-4	感染症対策	41
3-5	感染症対策のために取り組んでいること	42
4	環境について	44
4-1	環境配慮状況	44
4-2	環境のために心がけていること	45
4-3	環境問題の深刻度・重要度	48
4-4	省エネ設備や太陽光などの創エネ設備の利用状況	55

5	生活基盤の分野について	61
5-1	防災情報の取得方法	61
5-2	避難行動を求められたら主に行うこと	63
5-3	災害に備えて行っていること	64
5-4	主に利用している交通手段	67
5-5	インターネットの利用状況	69
6	商業の活性化について	72
6-1	商品の購入状況	72
6-2	日用品の買物での利便性	75
6-3	買物で不便を感じる理由	76
7	協働によるまちづくりについて	78
7-1	地域活動への参加状況	78
7-2	ボランティア活動への参加状況	80
7-3	活動している分野	82
8	人権意識について	84
8-1	人権の意識について	84
8-2	男女の地位の平等感	87
8-3	男女役割分担意識	92
9	生涯学習・生涯スポーツについて	93
9-1	学習や趣味などの活動状況	93
9-2	生涯学習等の活動を行っている目的	95
9-3	運動（スポーツなど）を行う頻度	98
9-4	運動（スポーツなど）を1回に行う時間	100
9-5	日本スリーデーマーチの参加状況	102
9-6	日本スリーデーマーチに参加した理由	104
9-7	公共スポーツ施設利用	106
9-8	公共スポーツ施設について不満がある理由	107
10	公共施設について	108
10-1	公共施設（市の建物）を維持するためにすべきこと	108
10-2	減らしていくべき公共施設（市の建物）	115
11	市政情報について	117
11-1	知りたいと思う市政情報	117
11-2	市政情報の入手方法	120
11-3	市政情報の取得状況	123
11-4	広報紙「広報ひがしまつやま」の閲読状況	124
11-5	広報紙「広報ひがしまつやま」の入手方法	125
11-6	広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由	126
12	行政運営について	129
12-1	東松山市の職員について	129
12-2	東松山市の将来像	135

12-3	よくなってきた事業／重点的に取り組むべき事業	139
13	地域資源について	146
IV	自由意見	147
1	都市基盤の整備について	148
2	駅周辺や商店街の活性化について	149
3	環境について	150
4	防災・防犯・安全について	151
5	保健・医療・福祉について	151
6	教育・文化・スポーツについて	152
7	産業について	153
8	情報について	153
9	市政について	154
10	その他	155
V	資料	157
	調査への回答（単純集計結果）	157
	アンケート調査票	191

I . 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

東松山市では、施策や事業の基本的な方針を定める第五次東松山市総合計画を策定し、この計画に基づく施策を平成28年から10か年で推進しております。市民の市政についての意見や要望を幅広く調査し、これからの「まちづくり」に役立てていくために実施しました。

2 調査対象者及び調査方法等

東松山市全域 市内に居住する満18歳以上の方を無作為抽出

調査期間

令和4年10月27日（木）～11月15日（火）

調査方法

郵送による配布・回収

3 回収結果

	配布数	有効回答数	有効回答率
市民	2,000	1,122	56.10%

4 回収率の推移

	平成23年度	平成25年度	平成28年度	平成30年度	令和2年度	令和4年度
配布数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
有効回収数	1,280	1,233	1,292	1,221	1,282	1,122
有効回収率	64.00%	61.65%	64.60%	61.05%	64.10%	56.10%

社会調査の回収率は一般に「調査主体の信頼性」「サンプリング方法」「調査目的」「対象者の調査への関心」が影響します。また、近年では個人情報保護に対する意識が影響していると考えられます。本調査では、調査主体は東松山市であり、住民基本台帳による無作為抽出を行い、今後の市政のための基礎資料とすることを明示しています。今回の調査では56.10%と前回の調査から回収率が8ポイント減少しています。

5 本報告書の見方について

- (1) 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。
したがって合計が100%を上下する場合があります。
- (2) 基数となるべき実数(回収者数)は、“全体(〇〇人)”として掲載し、各比率は回答者数を100%として算出しました。
- (3) 1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問では、各回答の合計比率が100%を超える場合があります。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。また、図表内の経年を表す「平成〇年」は「平成〇年度調査」を短縮・簡略化したものです。
- (5) 設問によっては過去の調査と選択肢を変更しているものがあります。この場合、経年変化の分析は参考程度にとどめています。
- (6) 「」は一つの選択肢を、“ ”は複数の選択肢を合わせた表現を示しています。〈 〉は調査項目を表します。『 』は設問中の「」の文言を表します。

6 標本誤差について

今回の調査は、調査対象となる母集団(調査対象)から一部を抽出した標本(サンプル)の比率等から母集団の比率等を推測する、いわゆる「標本調査」です。したがって、母集団に対する標本誤差が生じることがあります。

標本誤差は、次の式で統計学的に得られ、母集団(N)、比率算出の基数(n)、回答の比率(P)によって誤差幅が異なります。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

例：問1全体で「愛着がある」との回答は、全体で32.1%です。この値を上記の式に代入すると、±0.027となり、今回の調査で東松山市におけるこの回答の真の値は0.294~0.348(29.4%~34.8%)の範囲であると考えられます。

N=77,950

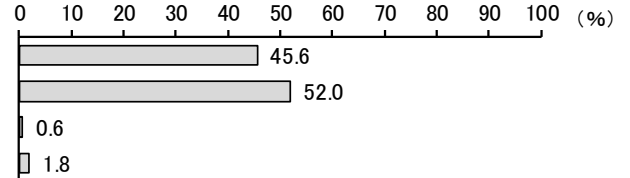
n=1,122

P=0.321

回答者の属性

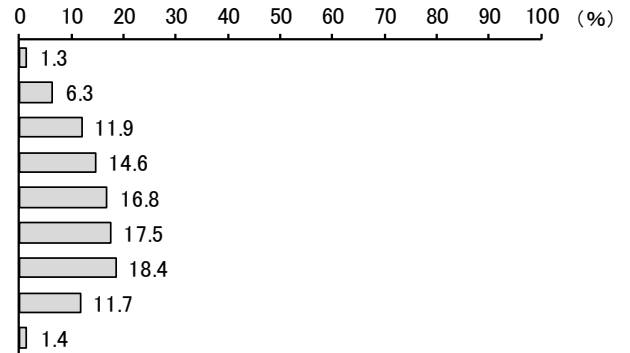
■性別

	回答数	比率(%)
男性	512	45.6
女性	583	52.0
回答しない	7	0.6
無回答	20	1.8
全体	1,122	100.0



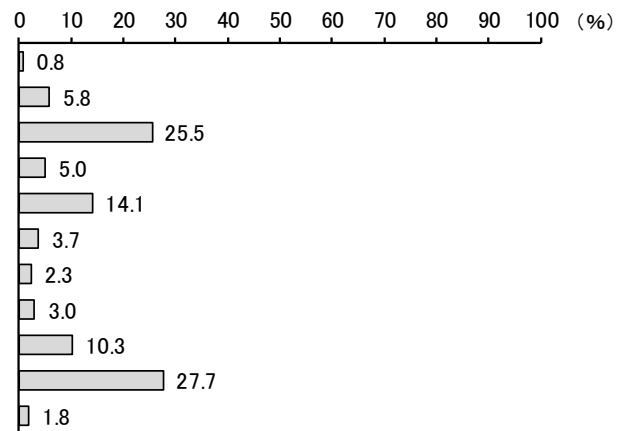
■年齢

	回答数	比率(%)
18～19歳	15	1.3
20～29歳	71	6.3
30～39歳	133	11.9
40～49歳	164	14.6
50～59歳	189	16.8
60～69歳	196	17.5
70～79歳	207	18.4
80歳以上	131	11.7
無回答	16	1.4
全体	1,122	100.0



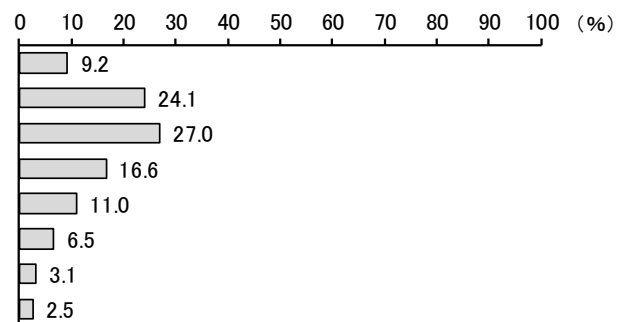
■職業

	回答数	比率(%)
農林業	9	0.8
自営業	65	5.8
会社員	286	25.5
公務員	56	5.0
パート・アルバイト	158	14.1
契約社員・派遣社員	41	3.7
学生	26	2.3
その他	34	3.0
家事・育児・介護に専業	116	10.3
無職	311	27.7
無回答	20	1.8
全体	1,122	100.0



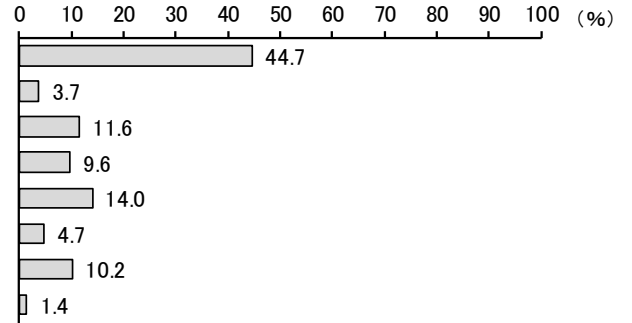
■通勤時間

	回答数	比率(%)
0分(自宅勤務)	62	9.2
15分未満	163	24.1
15分以上30分未満	182	27.0
30分以上60分未満	112	16.6
60分以上90分未満	74	11.0
90分以上120分未満	44	6.5
120分以上	21	3.1
無回答	17	2.5
全体	675	100.0



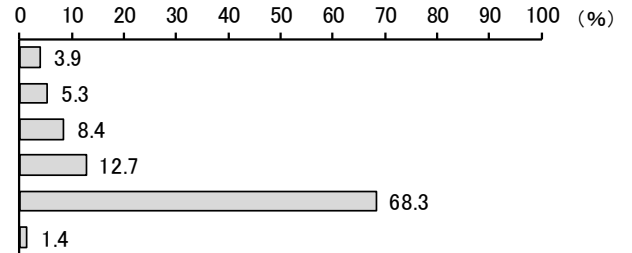
■お住まいの行政区

	回答数	比率(%)
松山地区	501	44.7
大岡地区	42	3.7
平野地区	130	11.6
唐子地区	108	9.6
高坂地区	157	14.0
高坂丘陵地区	53	4.7
野本地区	115	10.2
無回答	16	1.4
全体	1,122	100.0



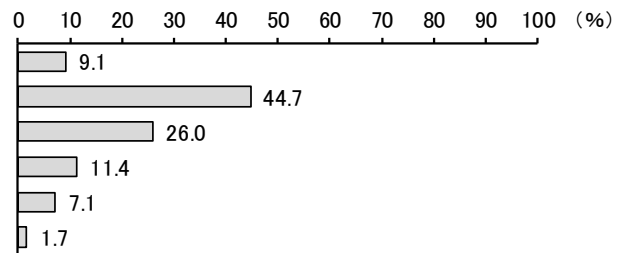
■居住年数

	回答数	比率(%)
2年未満	44	3.9
2年以上5年未満	59	5.3
5年以上10年未満	94	8.4
10年以上20年未満	143	12.7
20年以上	766	68.3
無回答	16	1.4
全体	1,122	100.0



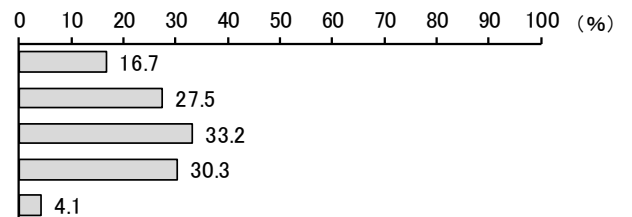
■家族構成

	回答数	比率(%)
三世代世帯(祖父母、父母、子どもなど)	102	9.1
二世代世帯(夫婦と子どもなど)	501	44.7
夫婦のみ	292	26.0
単身世帯	128	11.4
その他	80	7.1
無回答	19	1.7
全体	1,122	100.0



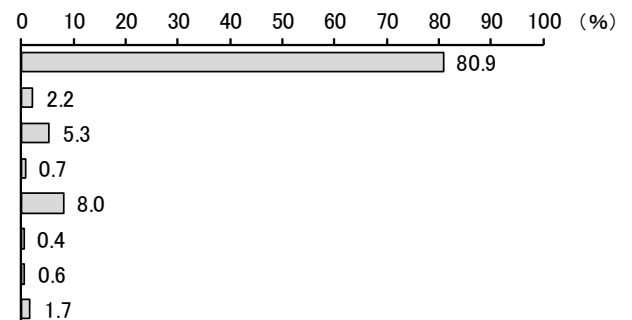
■同居家族(複数回答)

	回答数	比率(%)
就学前(0~6歳)	101	16.7
小学生・中学生	166	27.5
65歳以上	200	33.2
いずれもない	183	30.3
無回答	25	4.1
全体	603	100.0



■居住形態

	回答数	比率(%)
一戸建て持ち家	908	80.9
一戸建て借家	25	2.2
共同持ち家(分譲マンション等)	60	5.3
公営の賃貸住宅	8	0.7
民間の賃貸集合住宅(マンション・アパート等)	90	8.0
社宅・寮	5	0.4
その他	7	0.6
無回答	19	1.7
全体	1,122	100.0



II. 結果の概要

II 結果の概要

1 まち全体の印象について

“東松山市に愛着を感じている”（「愛着がある」または「どちらかといえば愛着がある」）と回答した人は、全体では7割を超えています。「愛着がある」と回答した割合は、80歳以上で約5割と最も高く、30～39歳で2割半ばと最も低くなっています。

“住みよいと感じている”（「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」）と回答した人は、全体の7割以上となっています。さらに、住みよさを愛着度別でみると、愛着度が高いほど「住みよい」と回答する割合が高く、反対に愛着度が低いほど「住みにくい」とする割合が高くなっています。

定住意向では「現在のところに住み続けたい」と回答した人は、全体では6割半ばとなっています。また、定住意向を愛着度別でみると愛着度が上がるほど、住みよさ別でみると住みよさが上がるほど高くなっています。

東松山市の印象について“よい”（「よい」または「どちらかといえばよい」）と感じている割合が高い項目は<人柄・土地柄><自然環境><歴史と伝統><交通の利便性><買物などの日常生活の利便性><教育・文化・スポーツ施設><医療・福祉施設><総合的に見て>となっています。一方“わるい”（「わるい」または「どちらかといえばわるい」）が“よい”を上回っている項目は<働く場><道路や公園等の生活の基盤施設><活気とにぎわい><街並みの美しさ><市の発展性><都市としての個性や魅力>となっています。

2 子どもの分野について

子育て環境の整備が“整っている”（「整っている」と「どちらかといえば整っている」）と回答した人は、3割半ばとなっています。また、就学前（0～6歳）の子と同居している回答者、小・中学生と同居している回答者とも、“整っている”は5割を超えています。

一方、子育て環境の整備が“整っていない”（「どちらかといえば整っていない」と「整っていない」）と回答した人は2割弱となっています。その理由としては、「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」「小児医療体制が不十分」「子どもを連れた人や妊産婦が使いやすい施設の整備が不十分」などが多くなっています。

3 健康福祉の分野について

最初にかかる医療機関を「決めている」と回答した人は、全体の7割を超えています。また、最初にかかる医療機関の種類は「近所の医院・診療所・クリニック」が8割弱と最も高くなっています。

健康づくりのために心がけていることは「食事に気をつける」と回答した人が6割半ばと高くなっており、次いで「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」「たばこを吸わない」「散歩や運動などをする」の順に高くなっています。

感染症対策に「取り組んでいる」と回答した人は、9割半ばを占めています。取り組み内容として「手洗い、手指消毒をする」が9割半ばと最も高く、次いで「咳エチケット、マスクの着用をする」「多人数での会食は避ける」の順に高くなっています。性別でみると全般的に女性が男性に比べ高く、特に「こまめに換気する」は女性（58.7%）が男性（42.1%）を16.6ポイント、上回っています。

4 環境について

“環境に配慮した生活を心がけている”（「心がけている」または「どちらかといえば心がけている」）と回答した人は、8割半ばと高くなっています。具体的に行っている環境活動は「決められたとおりにごみの分別を徹底している」が最も高く、「マイバッグを利用したり、過剰な包装を断ったりするなどごみの減量化に努めている」「部屋の電気やテレビのスイッチはこまめに消している」などが続いています。

環境問題では、『すでに深刻な問題である』については、「地球温暖化」が約7割と最も高く、「ごみの増加や不法投棄」「身近な緑や農地の減少」などが続いています。経年比較では、継続して最も高い「地球温暖化」が、令和2年度調査結果をさらに上回り、過去最高の割合となっています。また、「身近な生き物の減少」では令和2年度調査から3.7ポイント増加しています。

『重点的に取り組んでいく必要がある』については「地球温暖化」が5割弱で最も高く、「ごみの増加や不法投棄」「省エネや新エネルギー」などが続いています。令和2年度調査と比較すると、「省エネや新エネルギー」は6.2ポイント増加しています。

省エネ設備や太陽光などの創エネ設備の利用状況について、「利用している」は「建物の断熱化」が最も高く、「利用していないが今後利用したい」は「電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池（水素）自動車」が最も高く、次いで「家庭用蓄電池」となっています。

5 生活基盤の分野について

防災情報の取得方法は「テレビ」と回答した人が8割、「緊急速報メール」が8割弱、「防災行政無線」が5割弱となっています。避難行動を求められたら主に行うことでは「市の指定緊急避難所・指定避難所に避難する」が6割弱、「自宅が安全なため避難しない」が2割弱、「車で安全な場所に避難する（車中避難）」が約1割となっています。災害に備えて行っていることでは「保存飲料水・食料品を準備している」と回答した人は5割を超え、「家族や親族との連絡方法を決めている」が3割を超え、「非常用持ち出し袋を用意している」が約3割となっています。

主に利用している交通手段は「自家用車（自分で運転）」が7割半ばと最も高く、次いで「徒歩」が3割弱、「自家用車（家族や知人が運転）」が約2割となっています。

インターネットの利用状況は「スマートフォン（携帯電話）で利用している」が7割半ばと最も高く、次いで「パソコンで利用している」が3割半ばとなっています。

6 商業の活性化について

商品の購入場所については「市内の大型店・チェーン店」と回答した人は最も高く、〈食料品〉では約9割、〈衣服・服飾品〉では6割を超え、〈家具・家電〉では約7割となっています。

日用品の買い物での利便性について「不便を感じている」が2割弱、「不便は感じていない」が8割弱となっています。「不便を感じている」理由として「近くにお店がない」が7割を超え最も高く、次いで「バスなどの公共交通機関の停留所が遠い、本数が少ない」「家族等の協力がないと買い物ができない」の順となっています。

7 協働によるまちづくりについて

地域活動への参加状況は“参加している”（「よく参加している」または「ときどき参加している」）が4割を超え、“参加していない”（「あまり参加していない」または「参加したことはない」）

が6割弱となっています。性別でみると“参加している”は男性(42.2%)が女性(39.6%)を2.6ポイント上回っています。年代別でみると“参加している”は年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、60歳代以降の年代で4割以上となっています。

ボランティア活動への参加について「現在活動している」と回答した人は、1割となっています。活動している分野は「スポーツ」が3割弱で最も高く、「保健・医療・福祉」が2割半ば、「子どもの健全育成」が2割を超えています。

8 人権意識について

人権の意識については「高齢者」と回答した人は4割半ば、「障害者」、「子ども」が4割弱となっています。「女性」で女性(35.2%)が男性(25.0%)を10.2ポイント上回っています。

男女の地位の平等感については、〈家庭生活〉では「平等である」と回答した人は4割半ば、〈学校教育の場〉では4割を超えています。〈政治の場〉では“男性優遇と感じている”(「男性が優遇されている」または「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した人が7割弱と高くなっています。

『男は仕事、女は家庭』という考え方には“反対である”(「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した人は4割半ばで、“賛成である”(「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した人を上回っていますが、年代別でみると80歳以上では“賛成である”(19.9%)と“反対である”(22.9%)のポイント差が3.0ポイントと最も小さくなっています。

9 生涯学習・生涯スポーツについて

学習や趣味などの活動状況としては「スポーツや野外活動」が2割半ば、「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」が1割半ばとなっています。また「特に行っていない」は4割を超えています。

生涯学習等の活動を行っている目的では「健康・体力づくりをする」が3割半ば、「趣味を豊かにする」「生きがいを高める」が3割弱となっています。令和2年度調査と比較すると、「将来の生活(老後の生活など)に役立てる」は3.6ポイント、「生きがいを高める」は3.0ポイント増加しています。

運動(スポーツなど)を行う頻度では、週1回以上行っている“習慣的に運動を行っている”と回答した人は5割半ばとなっています。一方「行わなかった」と回答した人は2割弱となっています。職業別でみると、“習慣的に運動を行っている”は学生、無職、家事・育児・介護に専門の順となっています。

日本スリーデーマーチの参加状況は「参加したことがある(1~10回)」の割合が5割弱と最も高く、次いで「参加したことはない」が4割を超えています。参加した理由としては「学校行事だったから」が4割を超えて最も高く、次いで「市の代表的なイベントだから」「家族や友人・知人と交流するため」の順となっています。

10 公共施設について

公共施設(市の建物)を維持するためにすべきことについては、“実施すべき”(「実施すべき」または「どちらかといえば実施すべき」と感じている割合が高い項目はくあまり利用されていない施設を1つにまとめたり、なくしたりする>が5割半ばとなっています。“実施すべきでない”

（「実施すべきでない」または「どちらかといえば実施すべきでない」）が“実施すべき”を上回っている項目は、施設の開館時間を短くするなどして、サービスをさげて施設にかかるお金を節約する、ほかの行政サービスをさげて節約し、施設にかかるお金にあてる、となっています。

減らしていくべき公共施設（市の建物）については「利用する人が少ない施設」「近くに同じような施設（民間施設を含む）があり、十分代替えが可能な施設」と回答した人が3割弱となっています。性別でみると「利用する人がいつも同じで、たくさんの人が利用していない施設」で男性（29.5%）が女性（27.8%）を1.7ポイント上回っています。

11 市政情報について

知りたいと思う市政情報は「健康・医療」と回答した人は4割半ばとなっています。また、「福祉・介護」と回答した人は4割弱となっており、女性（39.5%）が男性（36.1%）を3.4ポイント上回っています。市政情報の入手方法は「広報ひがしまつやま」と回答した人が8割弱、「市からのお知らせや回覧」は4割半ばと高くなっています。平成25年度調査以降、「東松山市ホームページ」「メール配信サービス（東松山いんふおメール）」「Twitter（ツイッター）」は増加傾向にあります。一方「広報ひがしまつやま」「市からのお知らせや回覧」「市役所などの公共施設にあるポスター・チラシ」は減少傾向にあります。

市政情報の取得状況では“得られている”（「得られている」または「ある程度得られている」）と回答した人は5割を超えています。

広報紙「広報ひがしまつやま」の閲読状況では“読んでいる”（「よく読んでいる」または「時々読んでいる」）と回答した人は7割半ばとなっています。また、“読んでいる”は年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあります。

広報紙「広報ひがしまつやま」の入手方法では「自治会等からの配布」が9割半ばと大半を占めています。

広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由については、「読むのが面倒」が3割弱と最も高く、次いで「市政に関心がない」「役立つ記事がない」「内容がおもしろくない」の順となっています。

12 行政運営について

市の職員については、<礼儀正しい><言葉づかいがよい><わかりやすく説明してくれる><話をきちんと聞いてくれる>などで肯定的な評価が高くなっています。

東松山市の将来像について、どんなまちになってほしいかでは、「快適に暮らせる安全のまち（防災、防犯、都市基盤整備）」が5割弱と最も高く、次いで「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち（健康づくり、保健・医療、地域福祉、社会保障、高齢者福祉、障害者福祉）」が4割半ば、「子どもたちが健やかに成長する学びのまち（子育て支援、学校教育の充実）」が4割弱となっています。

東松山市でよくなってきた事業は「市民病院の充実」が2割弱と最も高く、次いで「子育てしやすい環境づくり」「河川・下水道の整備」の順となっています。

重点的に取り組むべき事業は「子育てしやすい環境づくり」が2割弱と最も高く、次いで「保健・医療体制の充実」「河川・下水道の整備」の順となっています。

13 地域資源について

東松山市の地域資源については、回答した過半数以上に当たる 335 人が「やきとり（やきとん、かしら）」をあげています。そのほかにも「日本スリーデーマーチ」（278 件）、「箭弓稲荷神社」（193 件）、「ぼたん」（152 件）などがあげられています。

Ⅲ. 調査の結果

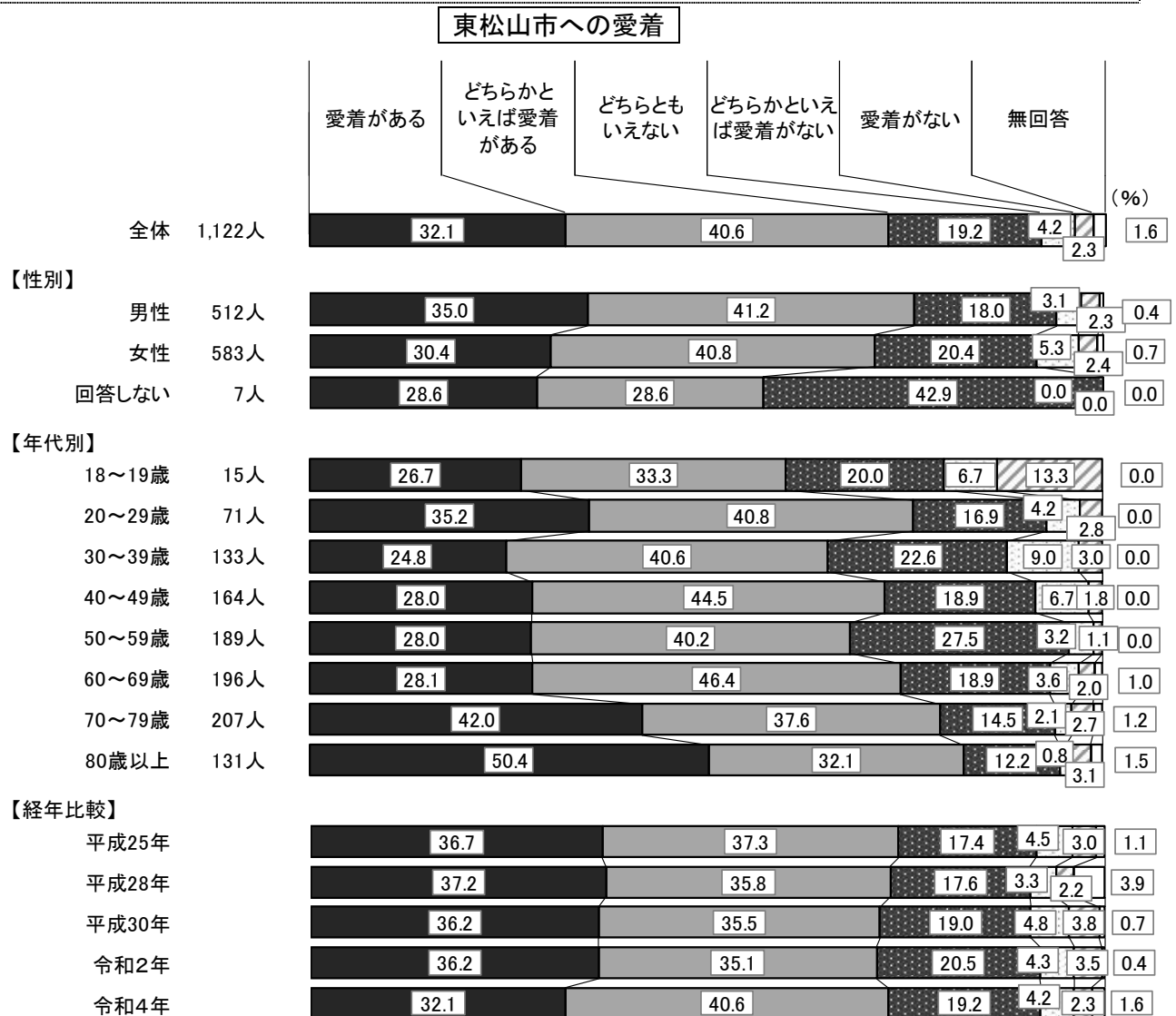
Ⅲ 調査の結果

1 まち全体の印象について

1-1 東松山市への愛着

◆ “東松山市に愛着を感じている” 72.7% ◆

問1. あなたは、東松山市に愛着を感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

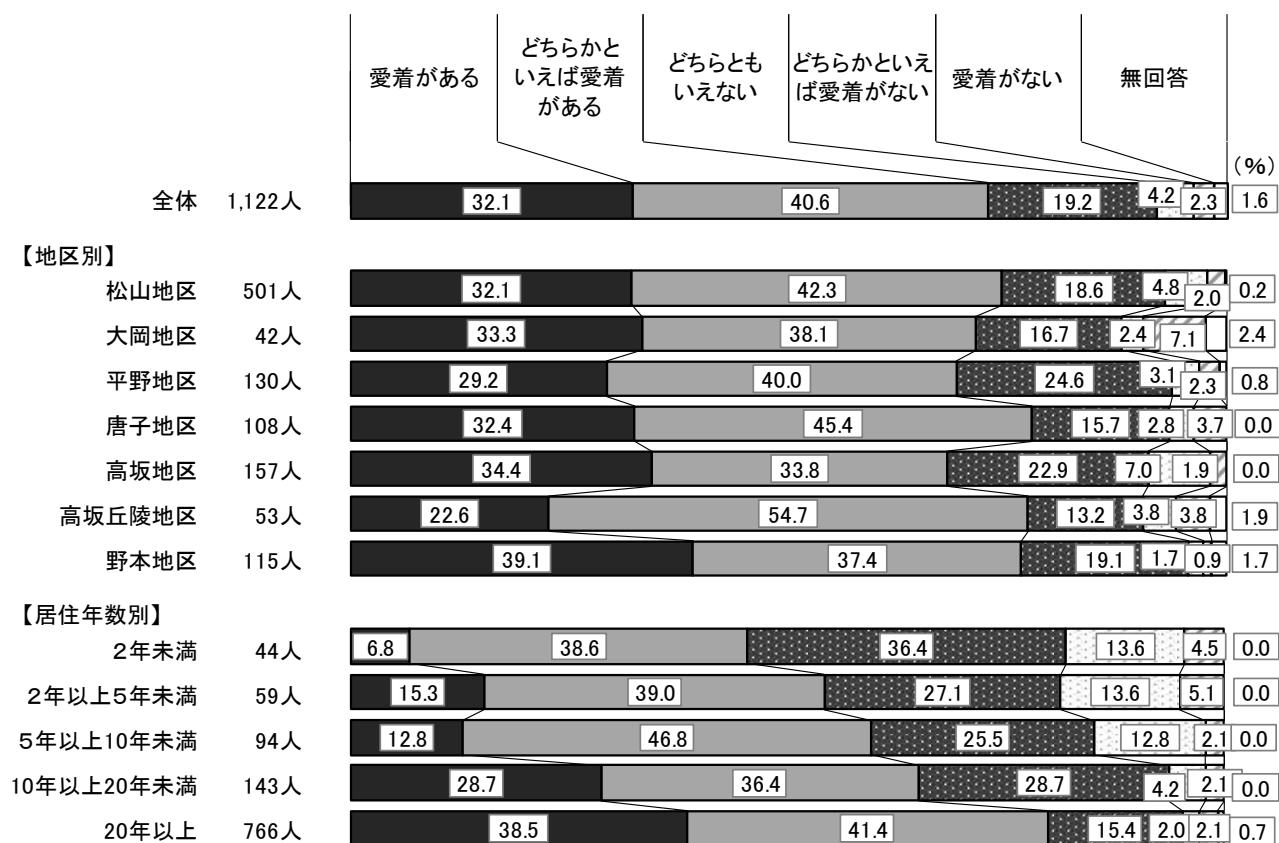


全体では「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」をあわせた“東松山市に愛着を感じている”の割合が72.7%、「どちらともいえない」の割合が19.2%、「どちらかといえば愛着がない」と「愛着がない」をあわせた“東松山市に愛着を感じていない”の割合が6.5%となっています。

年代別でみると“東松山市に愛着を感じている”と回答している割合は80歳以上で82.5%と最も高く、18～19歳で60.0%と最も低くなっています。高年齢層に向けておおむね割合が高くなる傾向にあります。

令和2年度調査と比較すると、“東松山市に愛着を感じている”の割合が1.4ポイント増加しました。

東松山市への愛着



地区別でみると“東松山市に愛着を感じている”は、高坂地区を除く全ての地区で7割以上となっています。

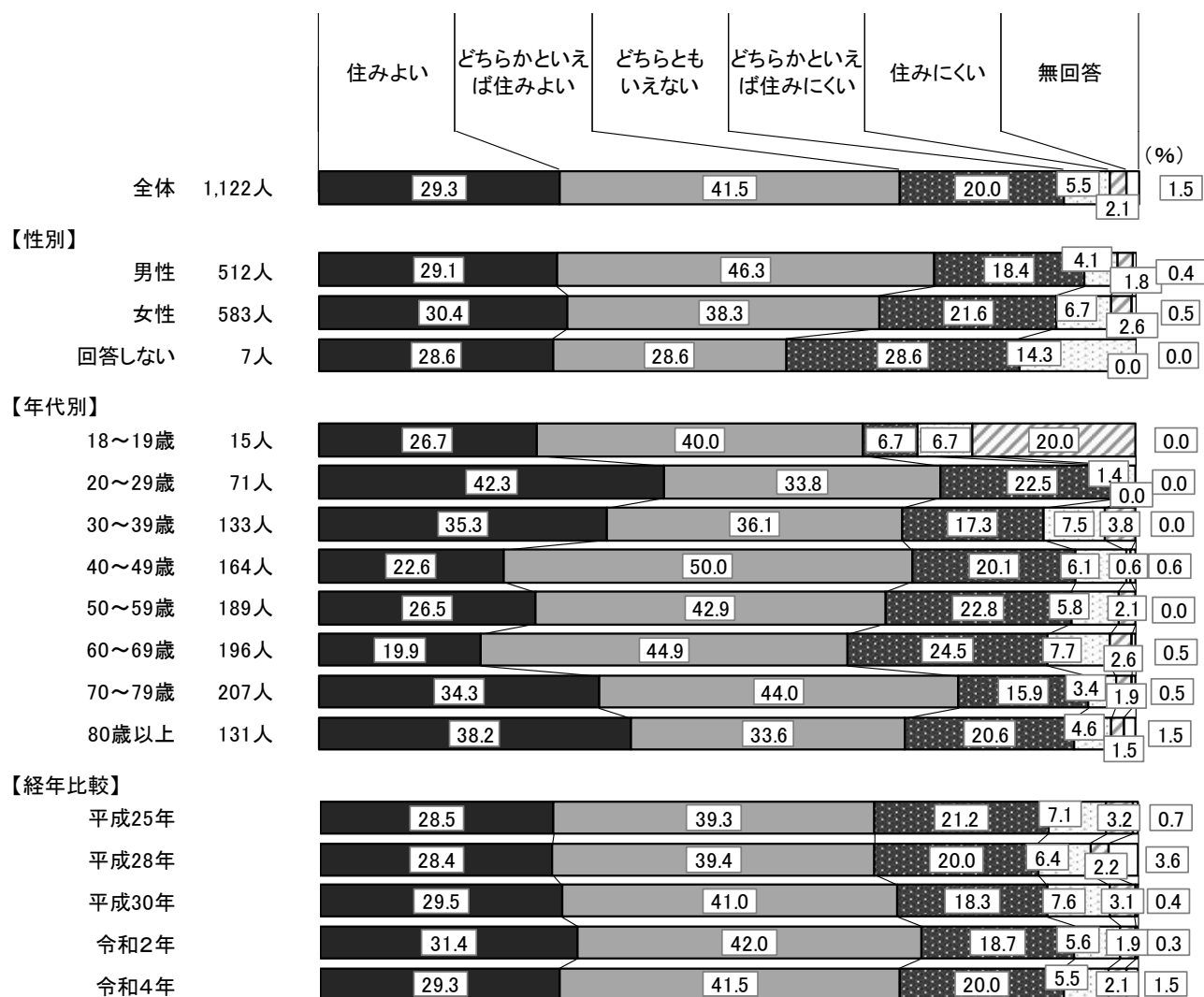
居住年数別でみると“東松山市に愛着を感じている”は、年数が長くなるほど高くなる傾向にあり、20年以上では79.9%となっています。

1-2 東松山市の住みよさ

◆ “住みよいと感じている” 70.8% ◆

問2. あなたにとって、東松山市は住みよいまちですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

東松山市の住みよさ

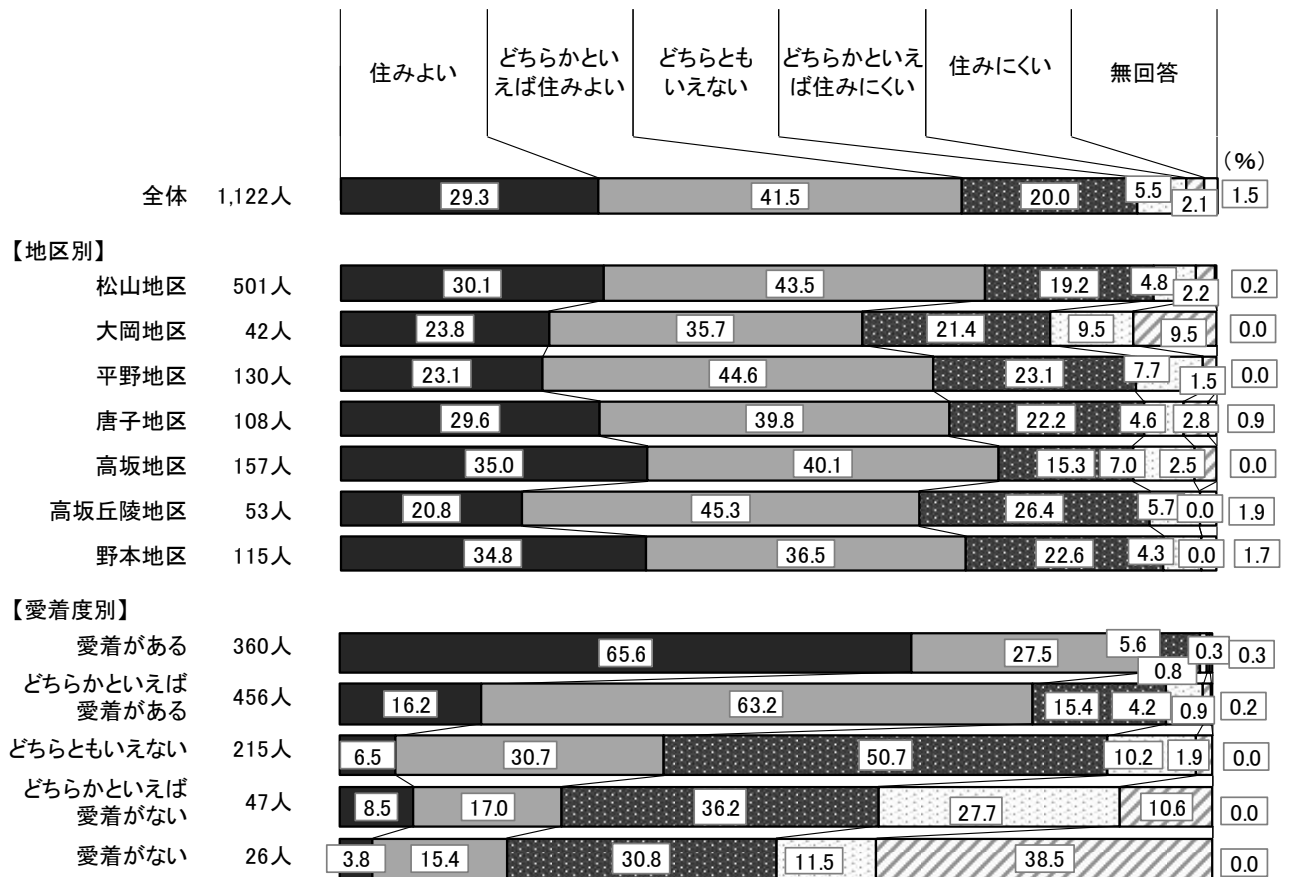


全体では「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」をあわせた“住みよいと感じている”の割合が70.8%、「どちらともいえない」の割合が20.0%、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」をあわせた“住みにくいと感じている”の割合が7.6%となっています。

年代別でみると“住みよいと感じている”は、18～19歳、50～59歳、60～69歳を除いた年代で7割を超え、70～79歳で78.3%と最も高くなっています。

令和2年度調査と比較すると“住みよいと感じている”が2.6ポイント減少しており、平成25年度調査以降、初めての減少となります。

東松山市の住みよさ



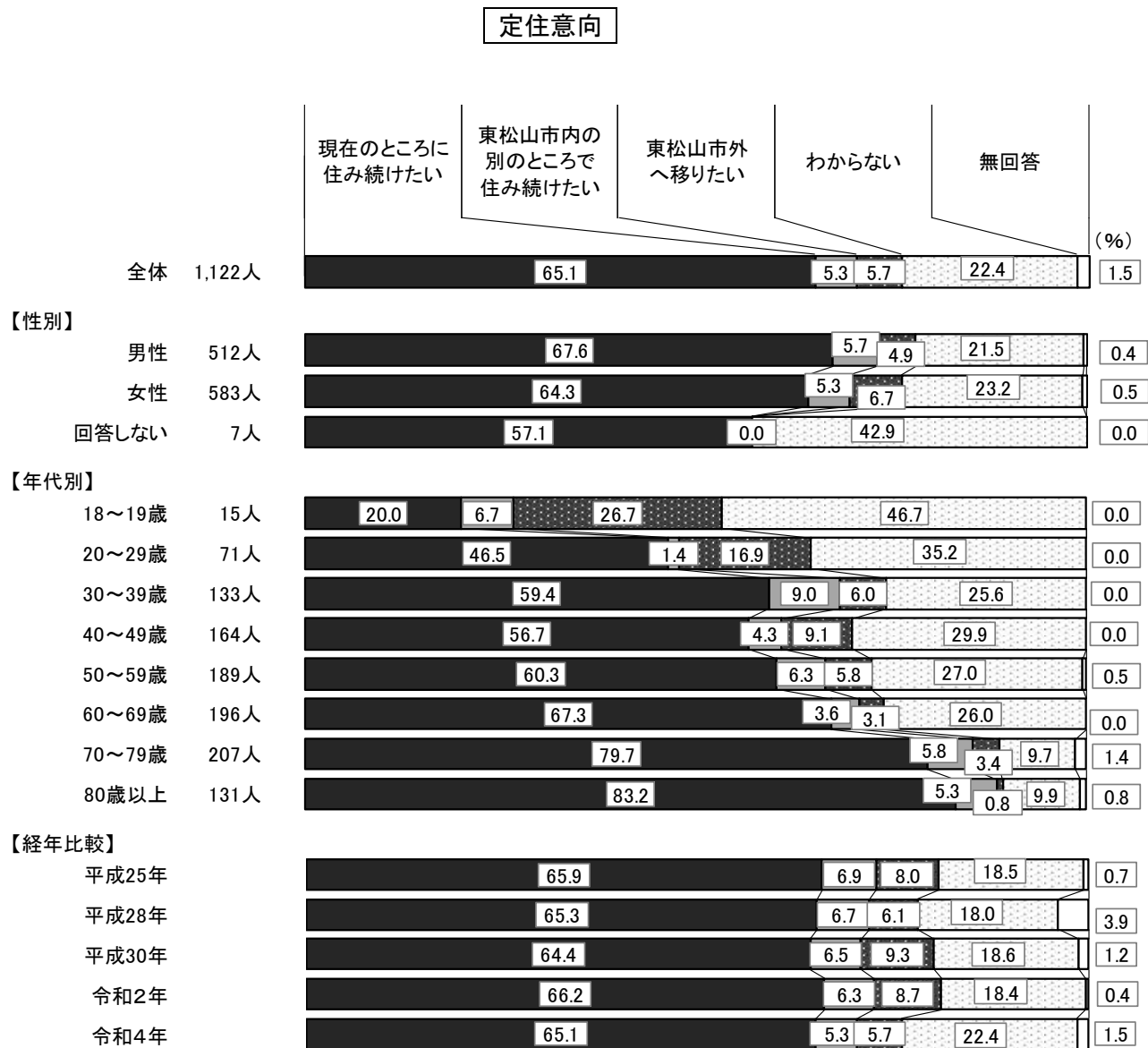
地区別で見ると“住みよいと感じている”は、大岡地区を除く全ての地区で6割以上となっています。

愛着度別で見ると、愛着度が高いほど“住みよいと感じている”と回答した割合が高く、愛着があるでは93.1%と高くなっています。一方で、愛着がないでは“住みにくい”とする割合が50.0%となっています。

1-3 定住意向

◆定住意向は 65.1%◆

問3. あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

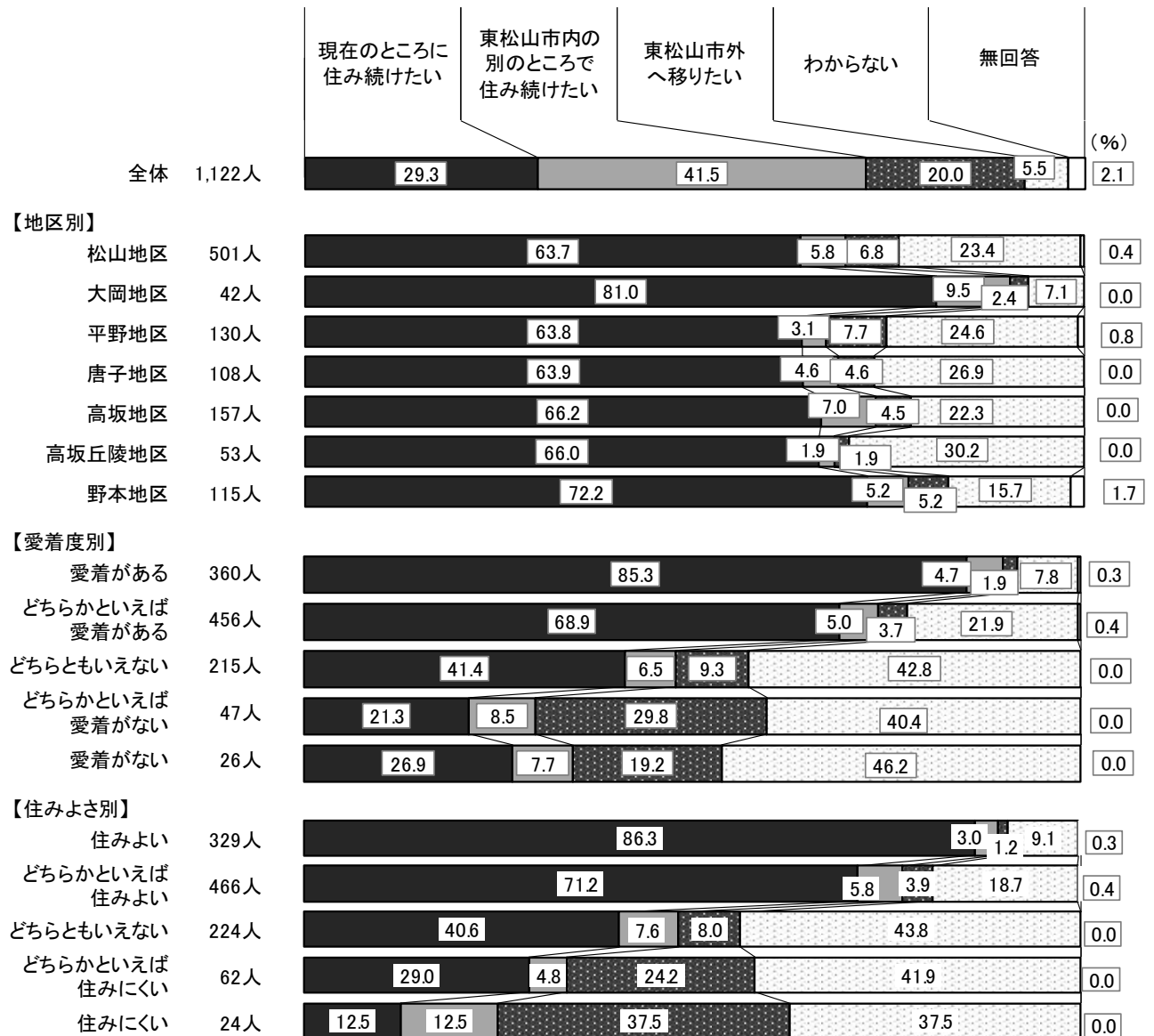


全体では「現在のとこに住み続けたい」の割合が 65.1%と高くなっています。

年代別でみると「現在のとこに住み続けたい」は、年代が上がるほど高くなる傾向にあり、80歳以上で 83.2%となっています。また、18歳～19歳、20～29歳で「東松山市外へ移りたい」「わからない」と回答した割合はそれぞれ1割半ば～2割半ば、3割半ば～4割半ばと他の年代に比べて高くなっています。

令和2年度調査と比較すると「現在のとこに住み続けたい」が 1.1ポイント減少しています。

定住意向



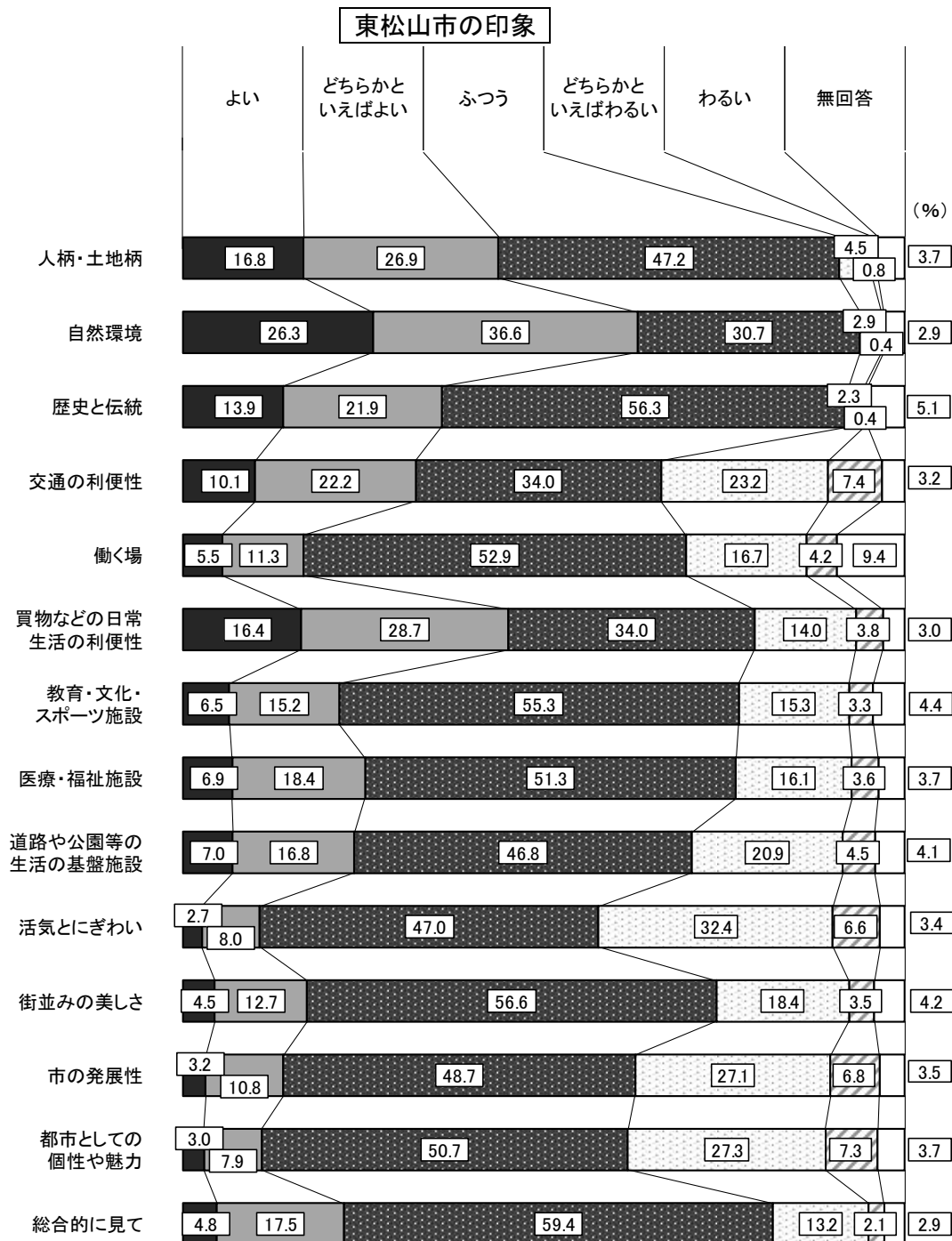
地区別でみると「現在のところに住み続けたい」は、大岡地区で81.0%と高くなっています。愛着度別でみると、愛着度が高いほどおおむね定住意向が高く、「現在のところに住み続けたい」は、愛着があるで85.3%となっています。

住みよさ別でみると、住みよさが高いほど定住意向も高い傾向にあり、「現在のところに住み続けたい」は、住みよいで86.3%となっています。

1-4 東松山市の印象

◆<自然環境><買物などの日常生活の利便性><人柄・土地柄>等の評価が高くなっている◆

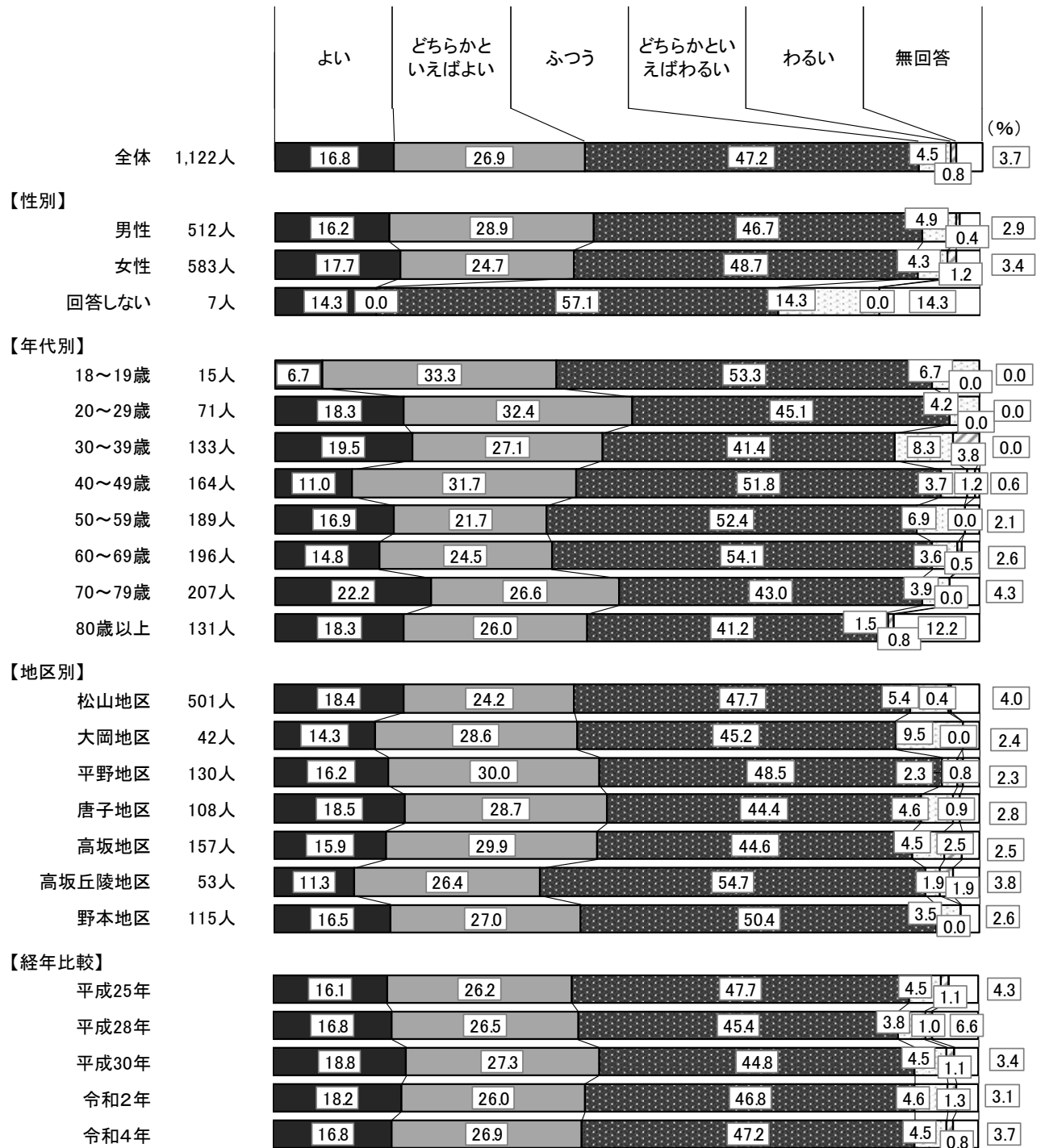
問4. あなたは、東松山市についてどのように思いますか。次の項目について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。



「よい」と「どちらかといえばよい」をあわせた“よい”が「わるい」と「どちらかといえばわるい」を合わせた“わるい”を上回る項目は<人柄・土地柄><自然環境><歴史と伝統><交通の利便性><買物などの日常生活の利便性><教育・文化・スポーツ施設><医療・福祉施設><総合的に見て>の8項目となっており、それ以外の項目では“わるい”が“よい”を上回っています。

人柄・土地柄 ◆ “よい” 43.7%、“わるい” 5.3%◆

人柄・土地柄

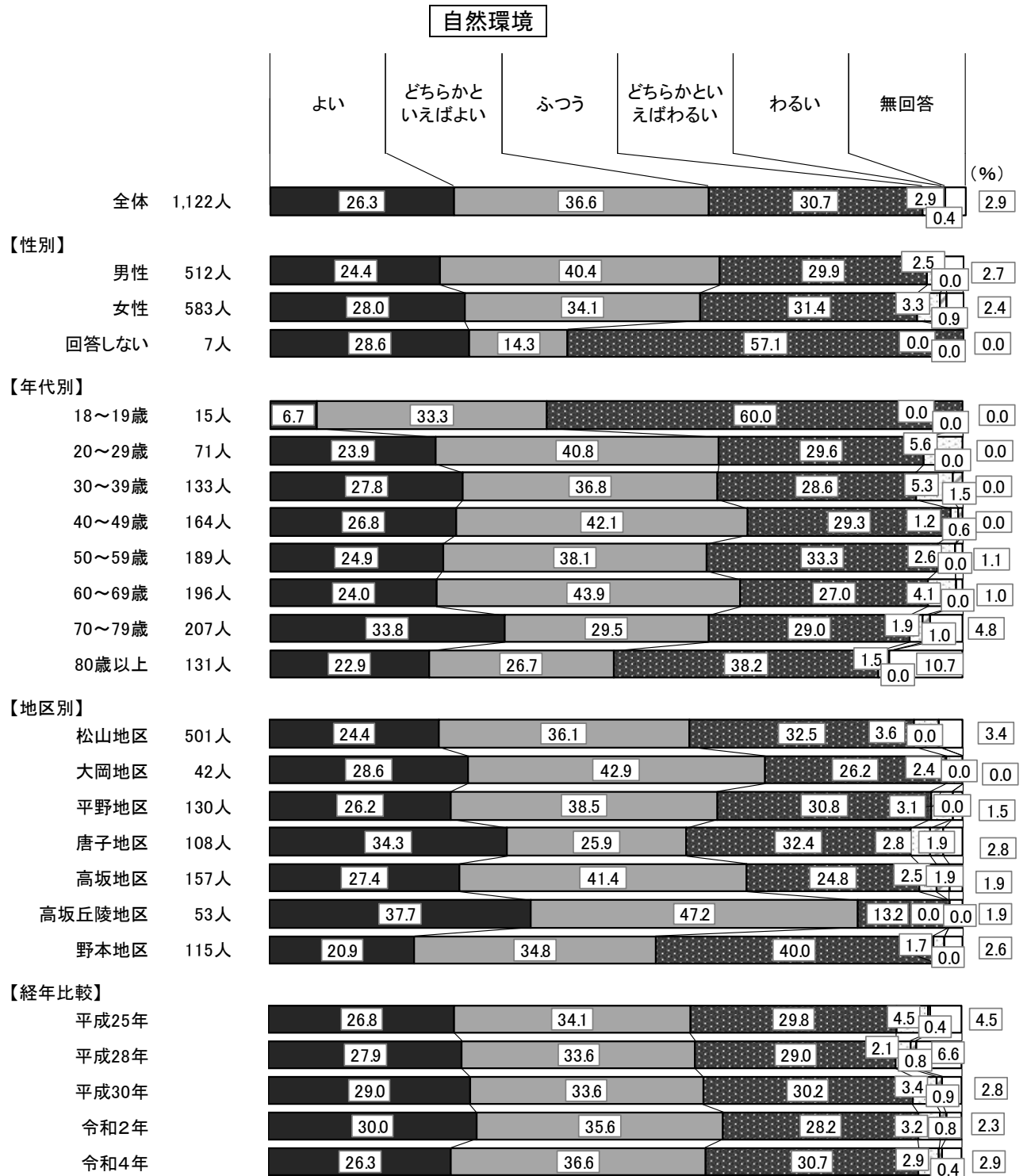


全体では“よい”の割合が43.7%、「ふつう」の割合が47.2%、“わるい”の割合が5.3%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.5ポイント減少しています。

年代別では“よい”は20～29歳が50.7%と最も高くなっています。

地区別でみると“よい”は唐子地区で47.2%と最も高くなっています。

自然環境 ◆ “よい” 62.9%、“わるい” 3.3%◆



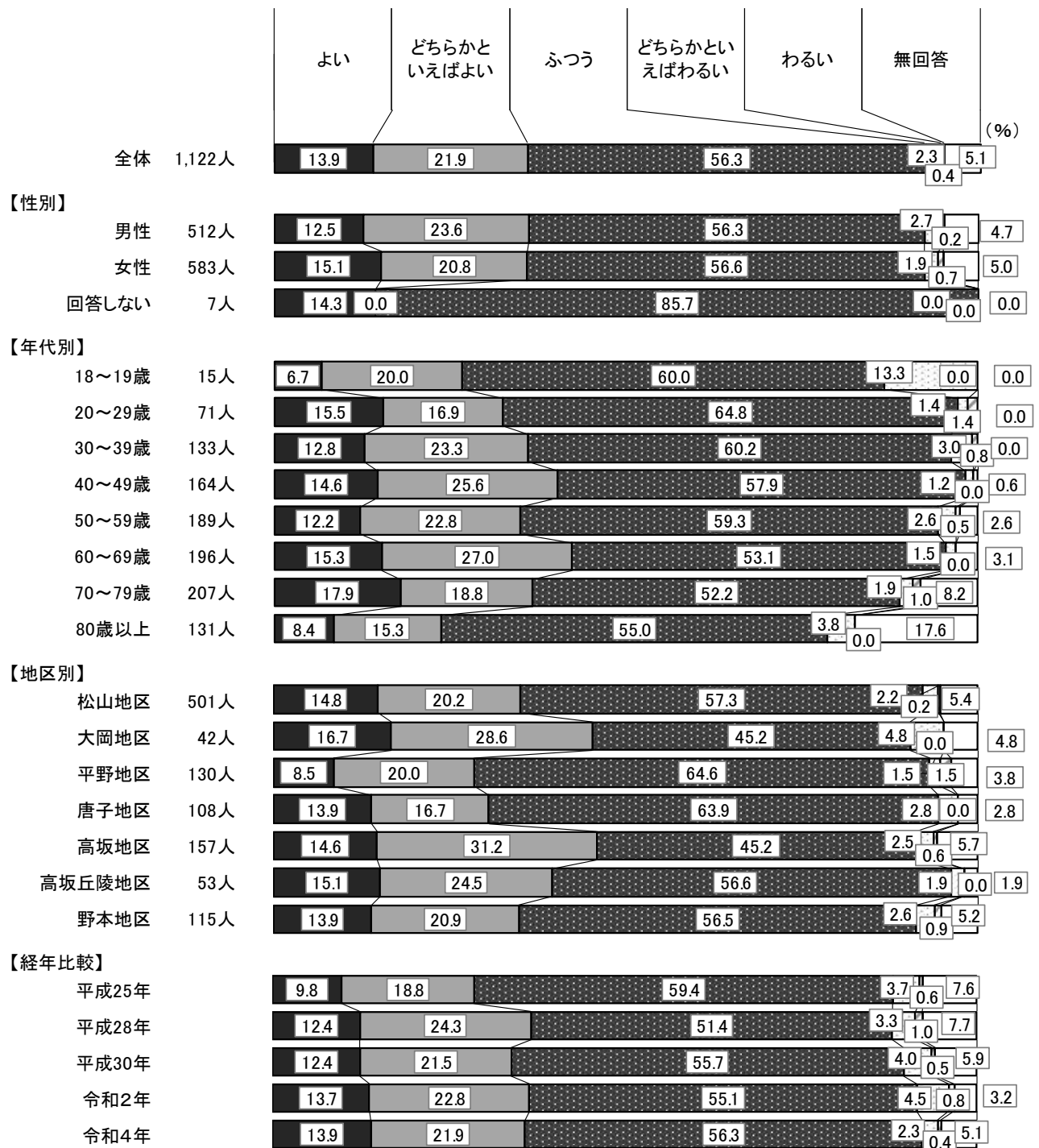
全体では“よい”の割合が62.9%、「ふつう」の割合が30.7%、“わるい”の割合が3.3%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が2.7ポイント減少しています。

年代別でみると“よい”は40～49歳で68.9%と最も高くなっています。

地区別でみると“よい”は高坂丘陵地区で84.9%と最も高くなっています。

歴史と伝統 ◆ “よい” 35.8%、“わるい” 2.7%◆

歴史と伝統



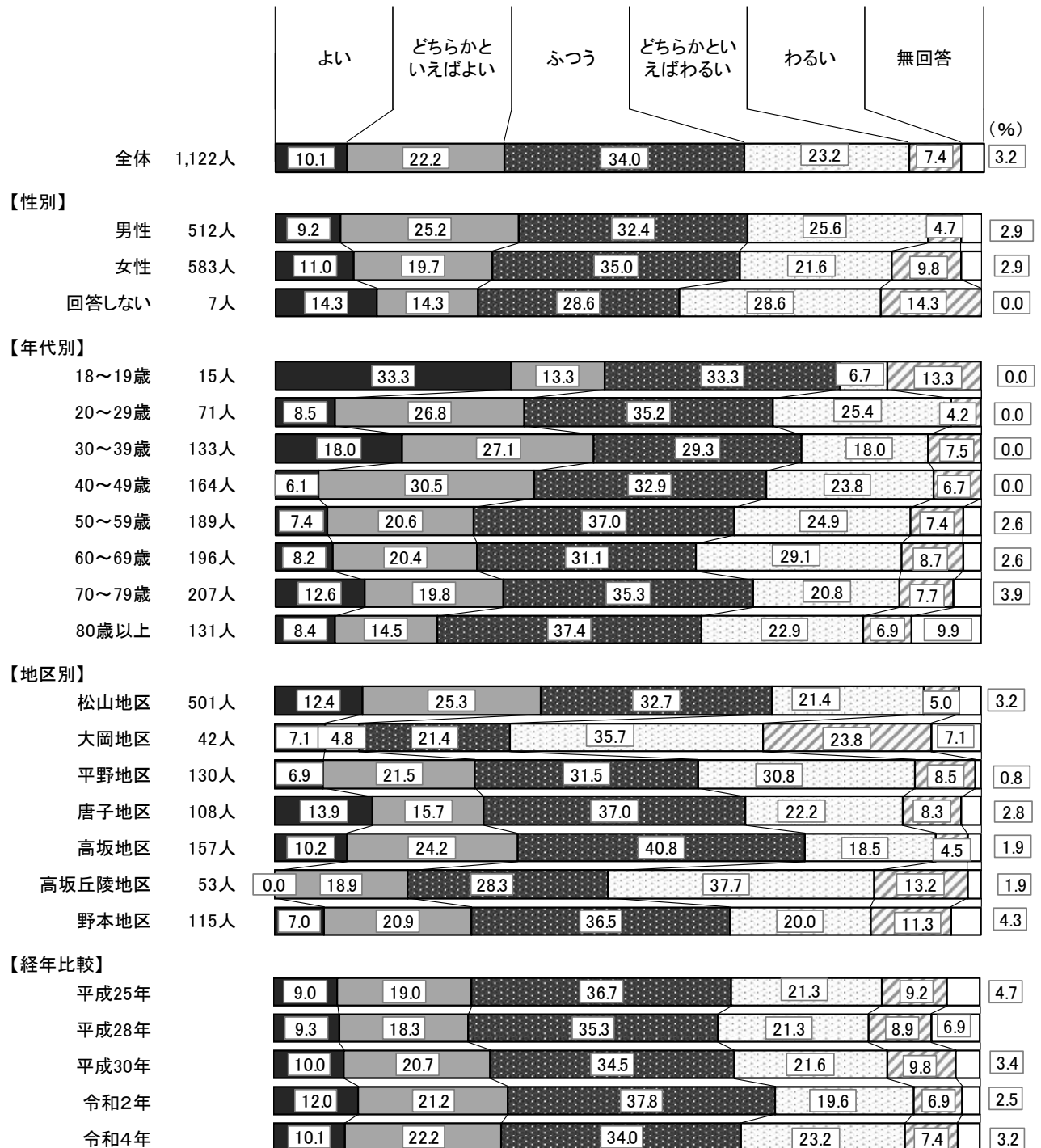
全体では“よい”の割合が35.8%、「ふつう」の割合が56.3%、“わるい”の割合が2.7%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.7ポイント減少しています。

年代別でみると“よい”は60～69歳で42.3%と最も高くなっています。

地区別でみると“よい”は高坂地区で45.8%と最も高くなっています。

交通の利便性 ◆ “よい” 32.3%、“わるい” 30.6%◆

交通の利便性

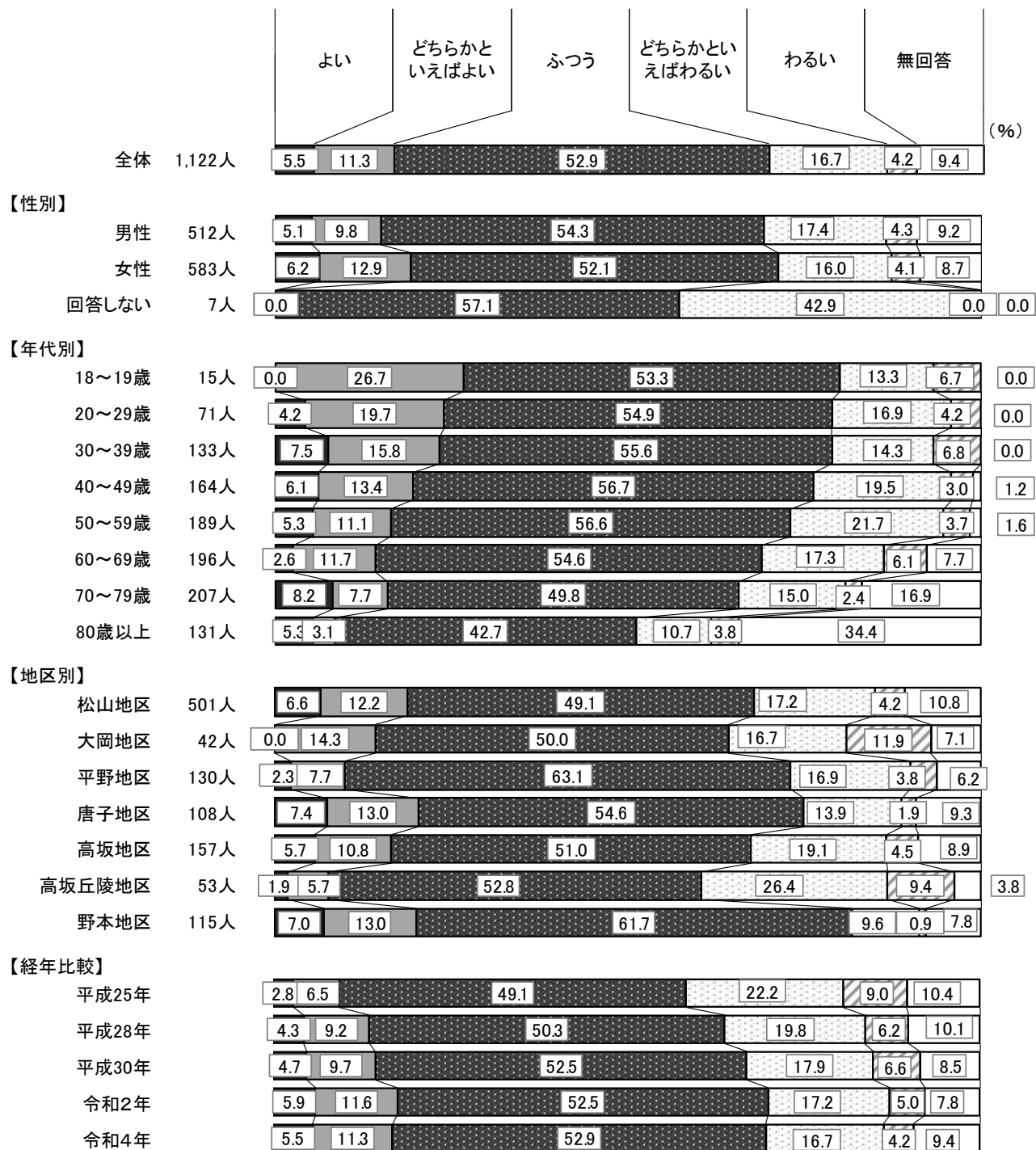


全体では“よい”の割合が32.3%、「ふつう」の割合が34.0%、“わるい”の割合が30.6%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.9ポイント減少しています。

年代別でみると“わるい”は40～49歳、50～59歳、60～69歳で3割台と高くなっています。地区別でみると“よい”は松山地区で37.7%、高坂地区で34.4%と高くなっています。一方“わるい”は大岡地区で59.5%と最も高くなっています。

働く場 ◆ “よい” 16.8%、“わるい” 20.9%◆

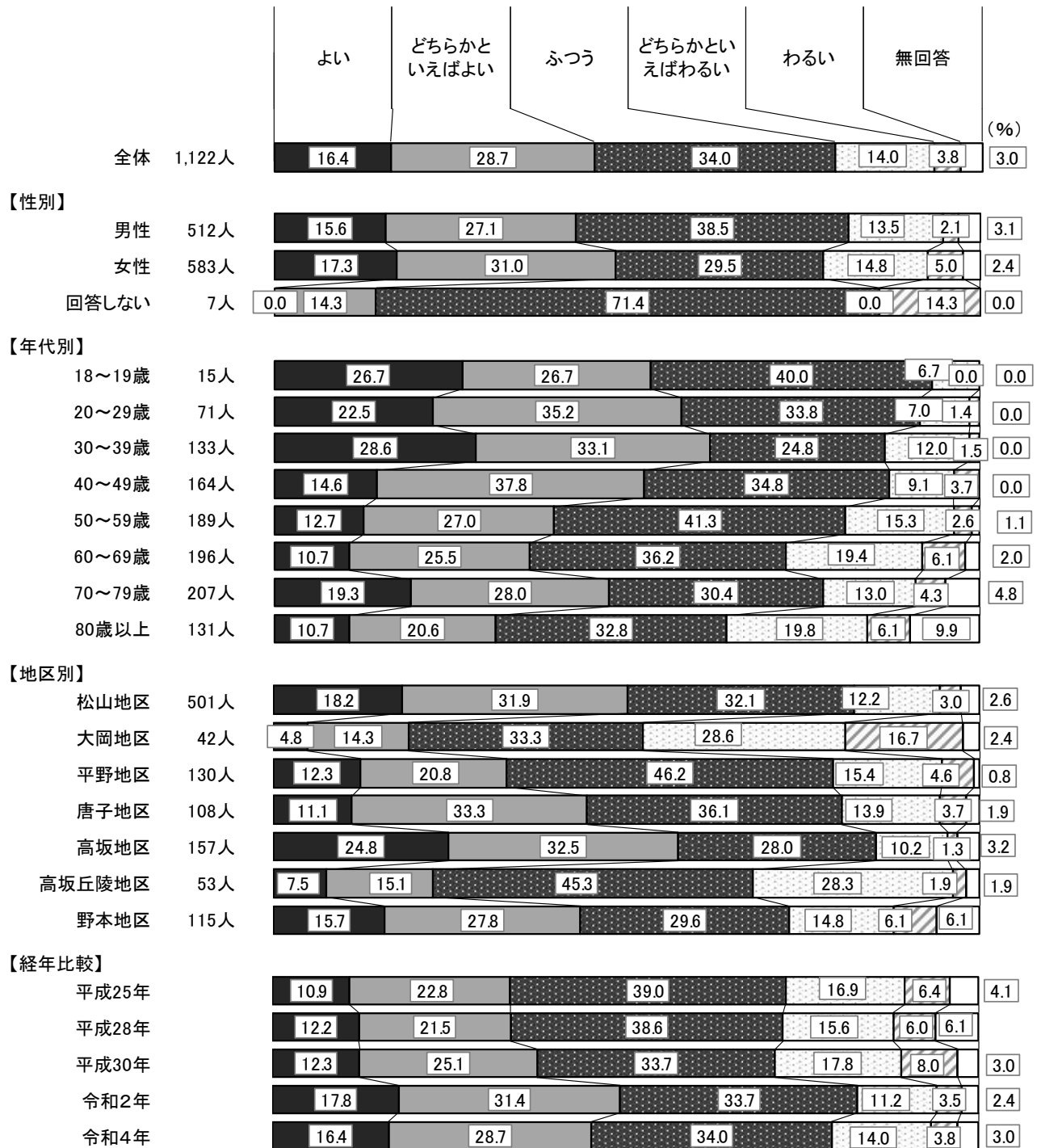
働く場



全体では“よい”の割合が16.8%、「ふつう」の割合が52.9%、“わるい”の割合が20.9%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.7ポイント減少しています。
 年代別でみると“わるい”は50～59歳で25.4%と最も高くなっています。
 地区別でみると“わるい”は高坂丘陵地区で35.8%と最も高くなっています。

買物などの日常生活の利便性 ◆ “よい” 45.1%、“わるい” 17.8%◆

買物などの日常生活の利便性



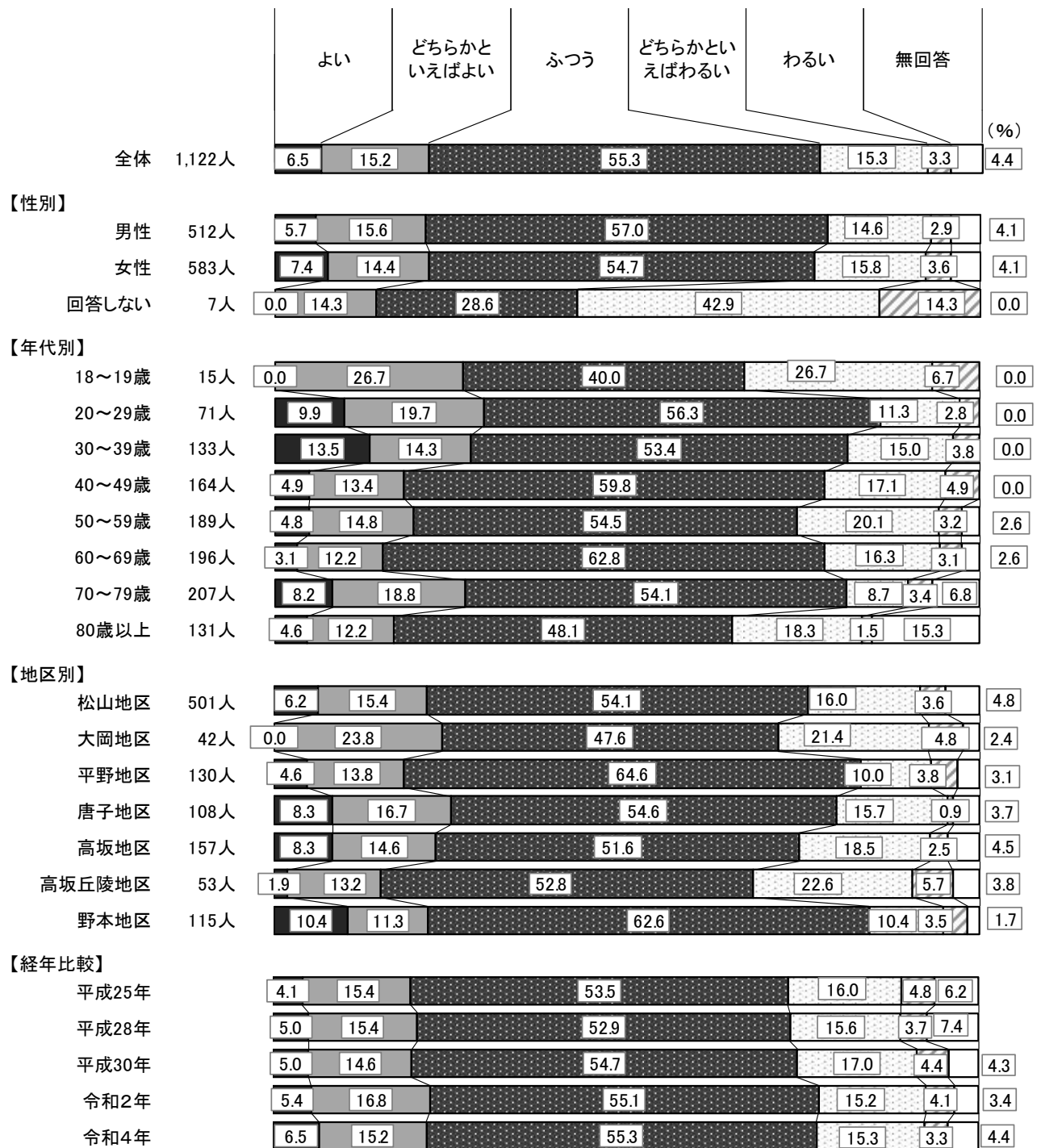
全体では“よい”の割合が45.1%、「ふつう」の割合が34.0%、“わるい”の割合が17.8%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が4.1ポイント減少しています。

年代別でみると“よい”は30～39歳で61.7%と最も高くなっています。

地区別でみると“よい”は高坂地区で57.3%と最も高くなっています。一方“わるい”は大岡地区で45.3%と最も高くなっています。

教育・文化・スポーツ施設 ◆ “よい” 21.7%、“わるい” 18.6%◆

教育・文化・スポーツ施設



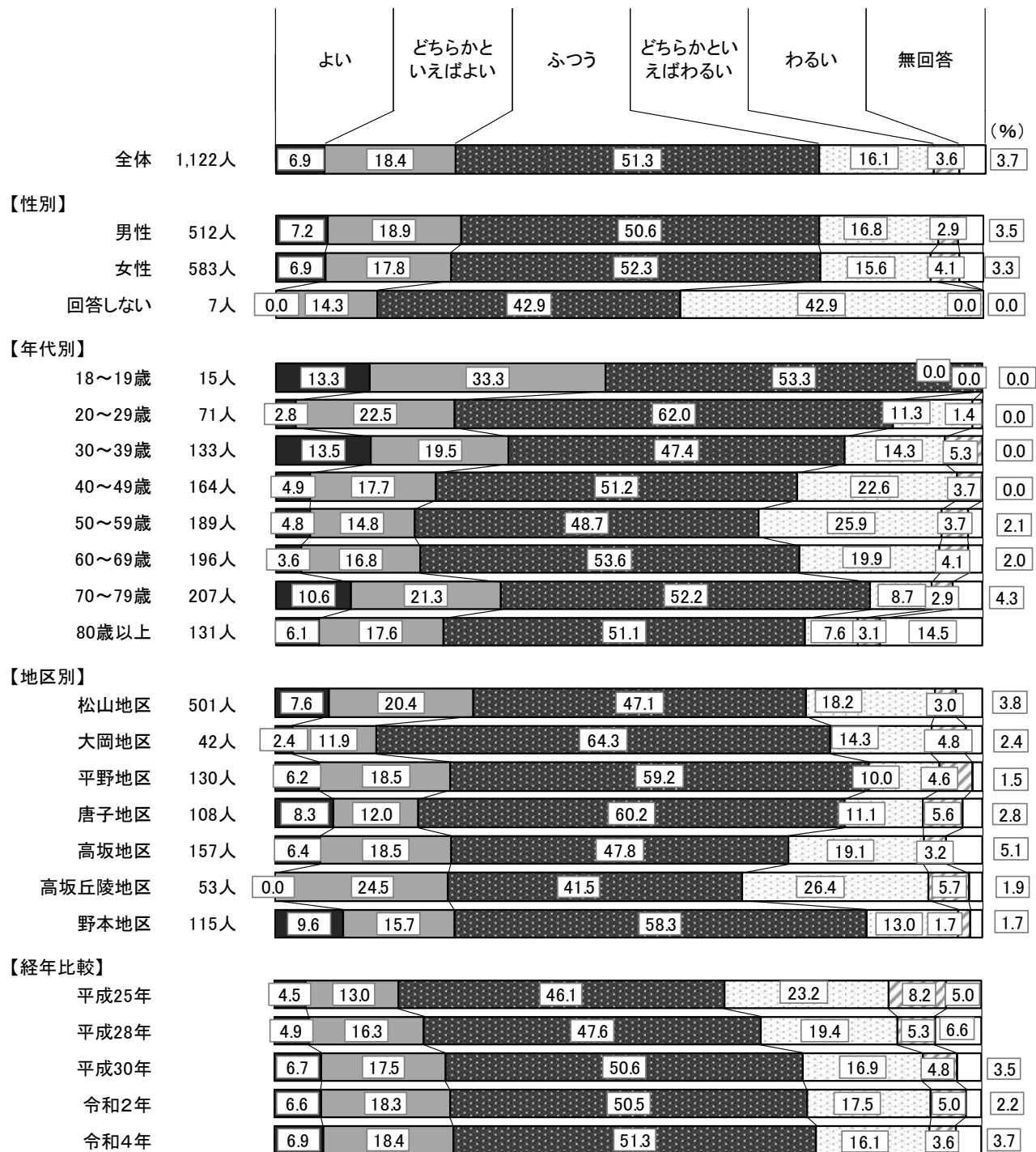
全体では“よい”の割合が21.7%、「ふつう」の割合が55.3%、“わるい”の割合が18.6%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.5ポイント減少しています。

年代別でみると“よい”は20～29歳で29.6%と最も高くなっています。

地区別でみると“わるい”は高坂丘陵地区で28.3%と最も高くなっています。

医療・福祉施設 ◆ “よい” 25.3%、“わるい” 19.7%◆

医療・福祉施設



全体では“よい”の割合が25.3%、「ふつう」の割合が51.3%、“わるい”の割合が19.7%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.4ポイント増加しています。

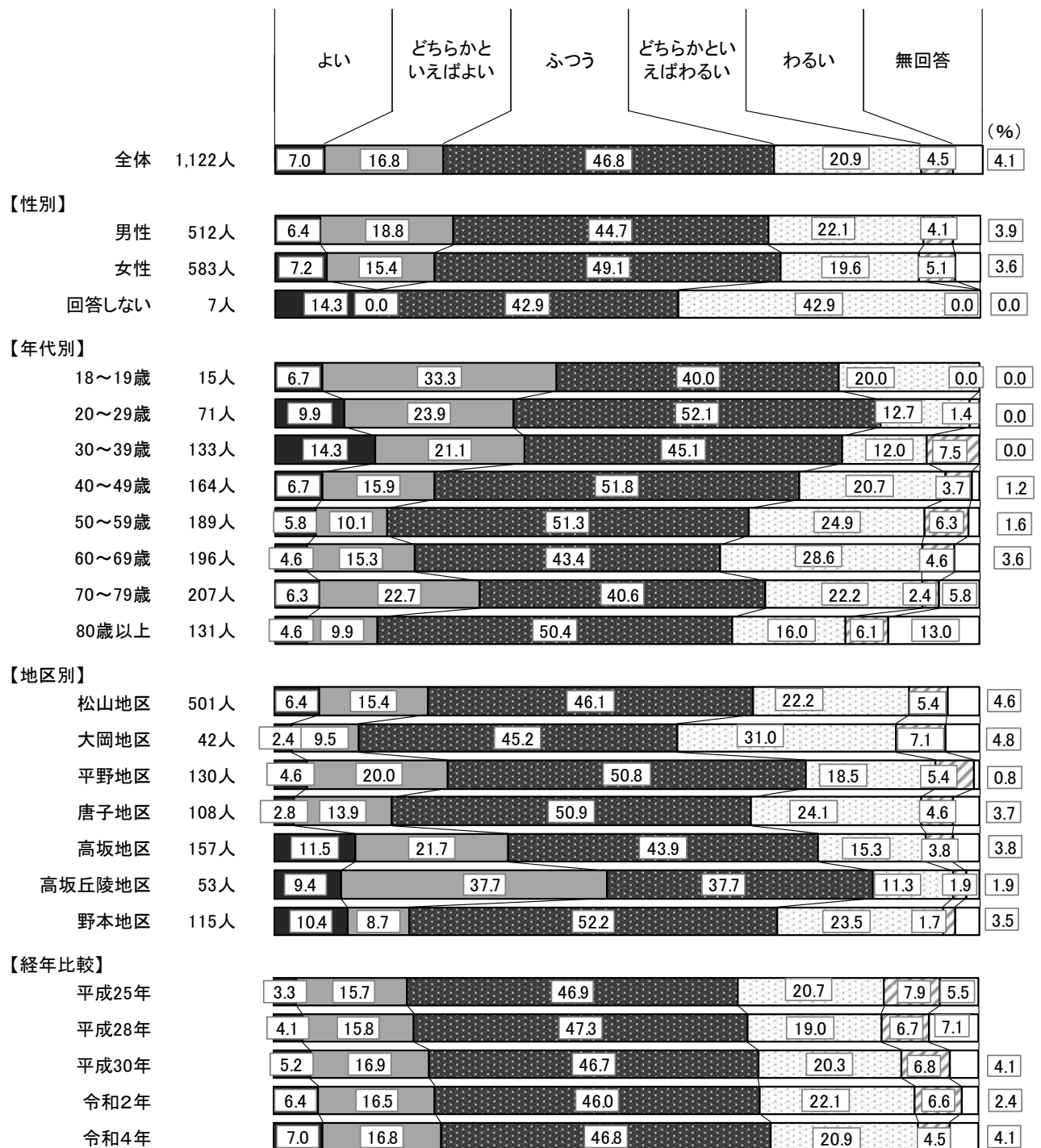
年代別でみると“よい”は18～19歳で46.6%、30～39歳、70～79歳で3割台と高くなっています。

地区別でみると“わるい”は高坂丘陵地区で32.1%と最も高くなっています。

経年比較すると“よい”と思っている人が増えています。

道路や公園等の生活の基盤施設 ◆ “よい” 23.8%、“わるい” 25.4%◆

道路や公園等の生活の基盤施設



全体では“よい”の割合が23.8%、「ふつう」の割合が46.8%、“わるい”の割合が25.4%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.9ポイント増加しています。

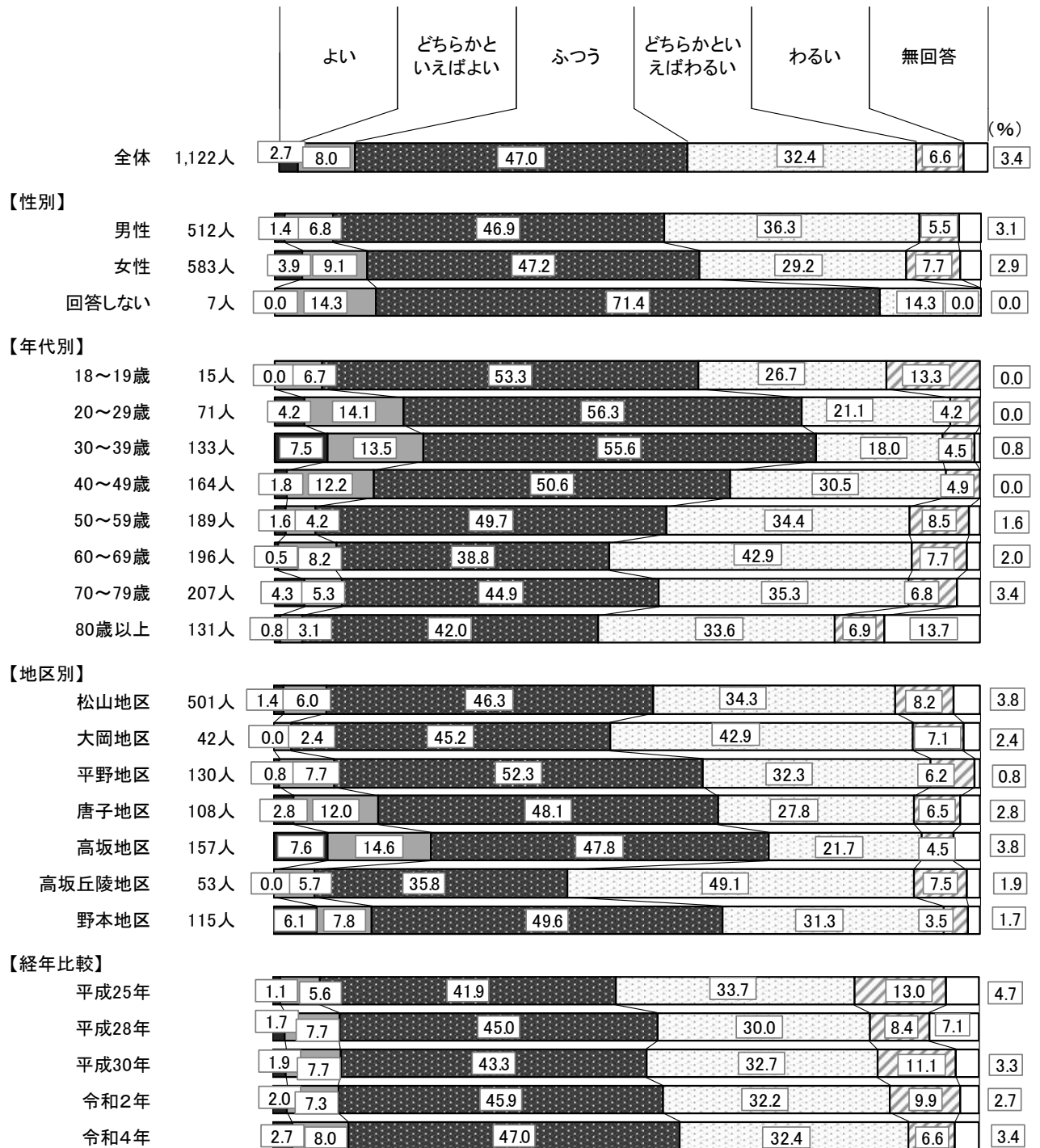
年代別でみると“わるい”は60～69歳で33.2%と最も高くなっています。

地区別でみると“よい”は高坂丘陵地区で47.1%と最も高くなっています。一方“わるい”は大岡地区で38.1%と最も高くなっています。

経年比較すると“よい”と思っている人が増えています。

活気とにぎわい ◆ “よい” 10.7%、“わるい” 39.0%◆

活気とにぎわい



全体では“よい”の割合が10.7%、「ふつう」の割合が47.0%、“わるい”の割合が39.0%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が1.4ポイント増加しています。

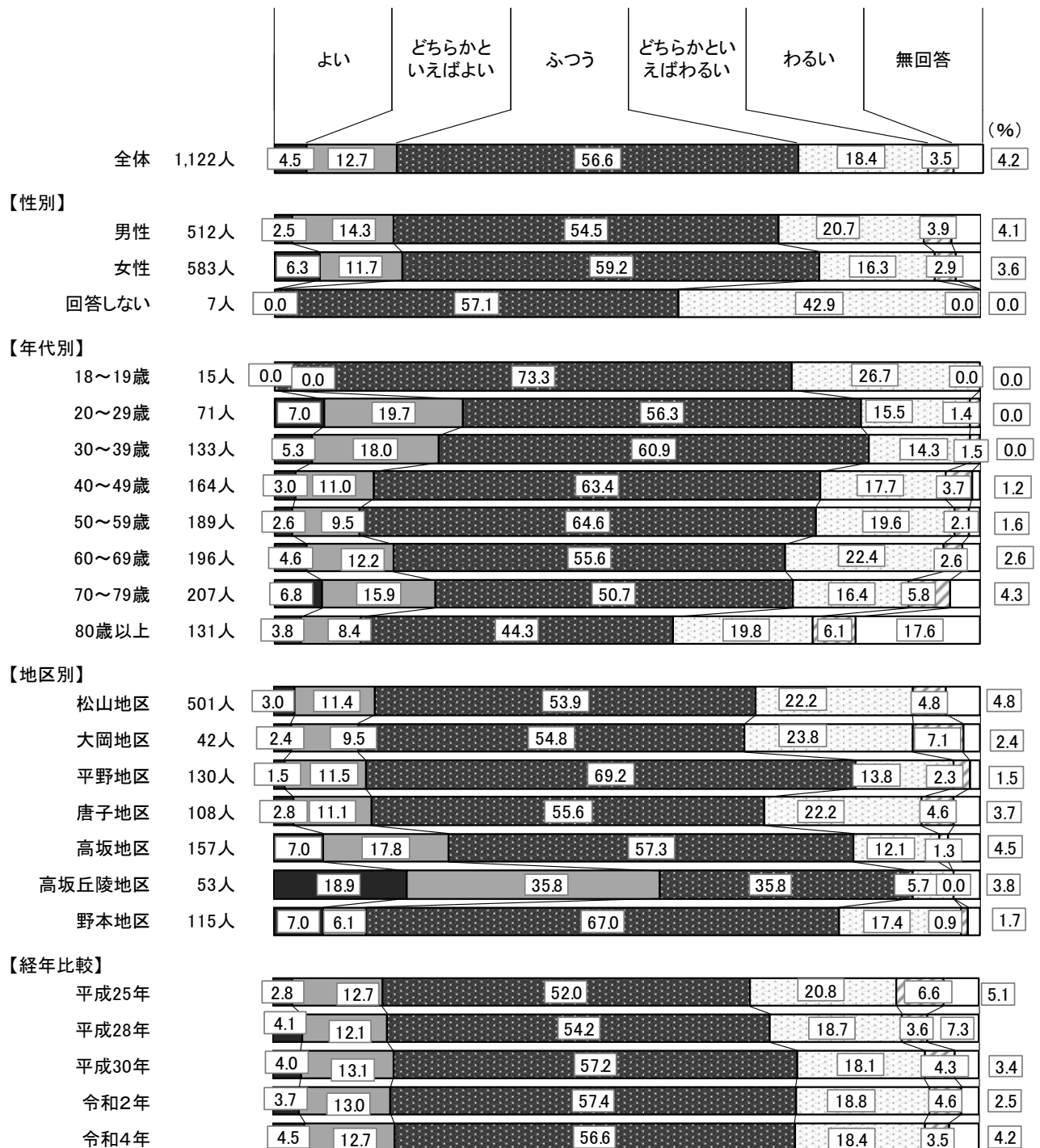
年代別でみると“わるい”は60～69歳で50.6%と最も高くなっています。

地区別でみると“わるい”は高坂丘陵地区で56.6%と最も高くなっています。

経年比較すると“よい”と思っている人が増えています。

街並みの美しさ ◆ “よい” 17.2%、“わるい” 21.9%◆

街並みの美しさ



全体では“よい”の割合が17.2%、「ふつう」の割合が56.6%、“わるい”の割合が21.9%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.5ポイント増加しています。

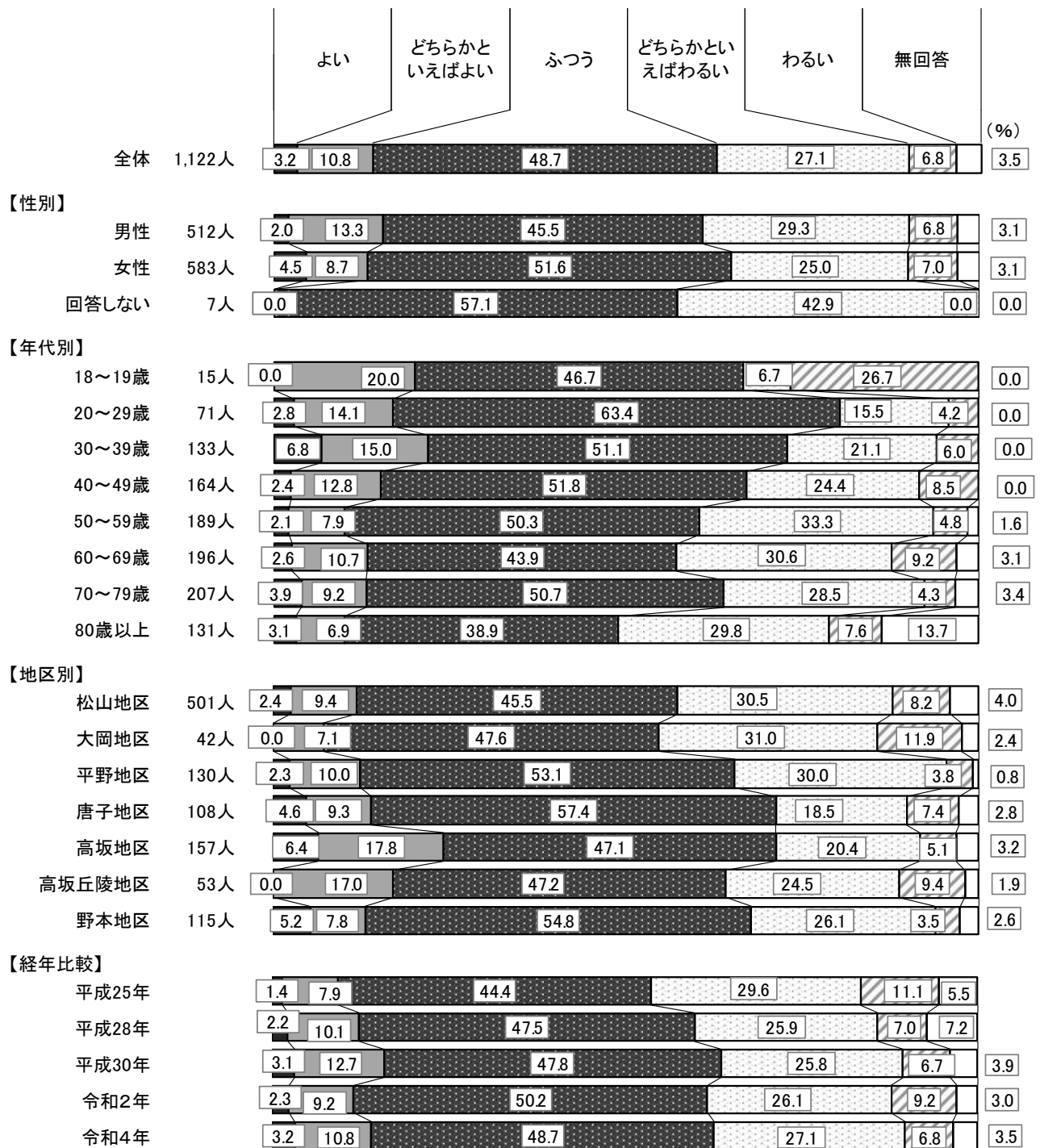
年代別でみると“よい”は20～29歳で26.7%と最も高くなっています。一方“わるい”は18～19歳、60～69歳、80歳以上で2割半ばと高くなっています。

地区別でみると“よい”は高坂丘陵地区で54.7%と群を抜いて高くなっています。大岡地区では“よい”は11.9%にとどまっています。

経年比較すると“よい”と思っている人が増えています。

市の発展性 ◆ “よい” 14.0%、“わるい” 33.9%◆

市の発展性



全体では“よい”の割合が14.0%、「ふつう」の割合が48.7%、“わるい”の割合が33.9%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が2.5ポイント増加しています。

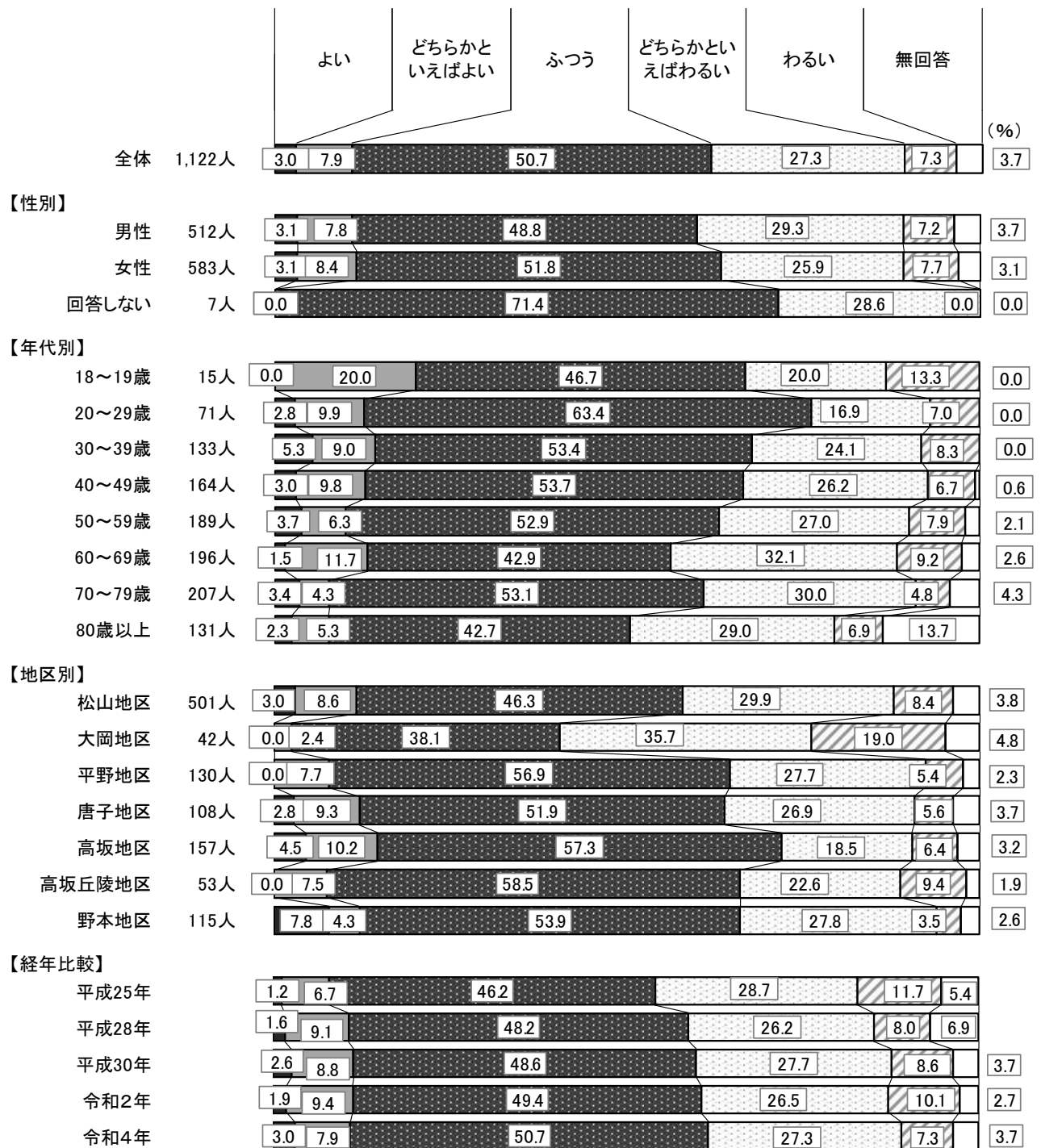
年代別でみると“よい”は30～39歳で21.8%と最も高くなっています。一方“わるい”は60～69歳代で39.8%と最も高くなっています。

地区別でみると“よい”は高坂地区で24.2%と最も高くなっています。一方“わるい”は大岡地区で42.9%と最も高くなっています。

経年比較すると“よい”と思っている人が増加傾向にあります。

都市としての個性や魅力 ◆ “よい” 10.9%、“わるい” 34.6%◆

都市としての個性や魅力



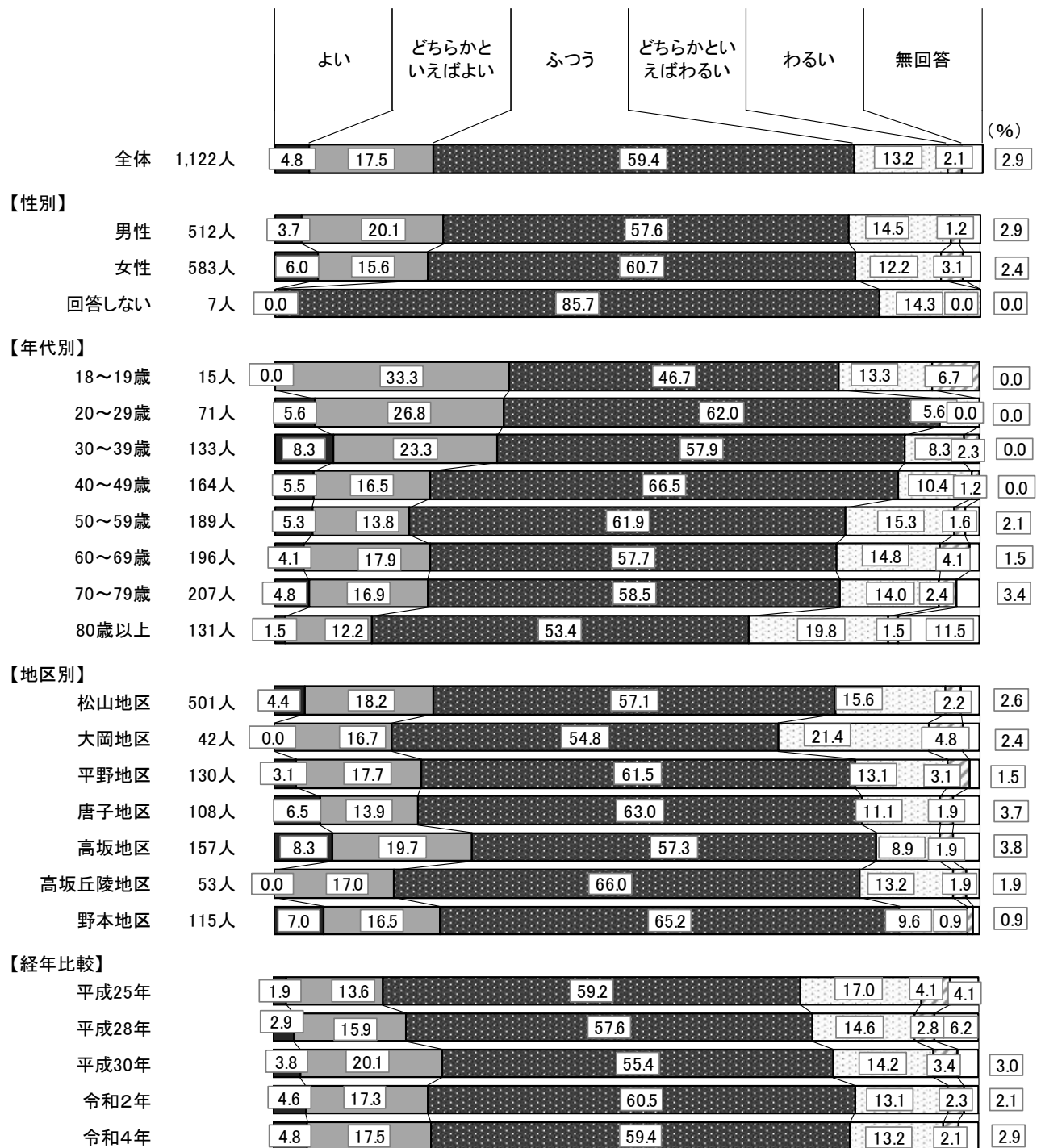
全体では“よい”の割合が10.9%、「ふつう」の割合が50.7%、“わるい”の割合が34.6%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.4ポイント減少しています。

年代別でみると“わるい”は60～69歳で41.3%と最も高くなっています。

地区別でみると大岡地区で“わるい”が54.7%と最も高くなっています。

総合的に見て ◆ “よい” 22.3%、“わるい” 15.3%◆

総合的に見て



全体では“よい”の割合が22.3%、「ふつう」の割合が59.4%、“わるい”の割合が15.3%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.4ポイント増加しています。

年代別でみると“よい”は年代が上がるほどおおむね減少する傾向にあります。

地区別でみると“よい”は高坂地区で28.0%と最も高くなっています。一方“わるい”は大岡地区で26.2%と最も高くなっています。

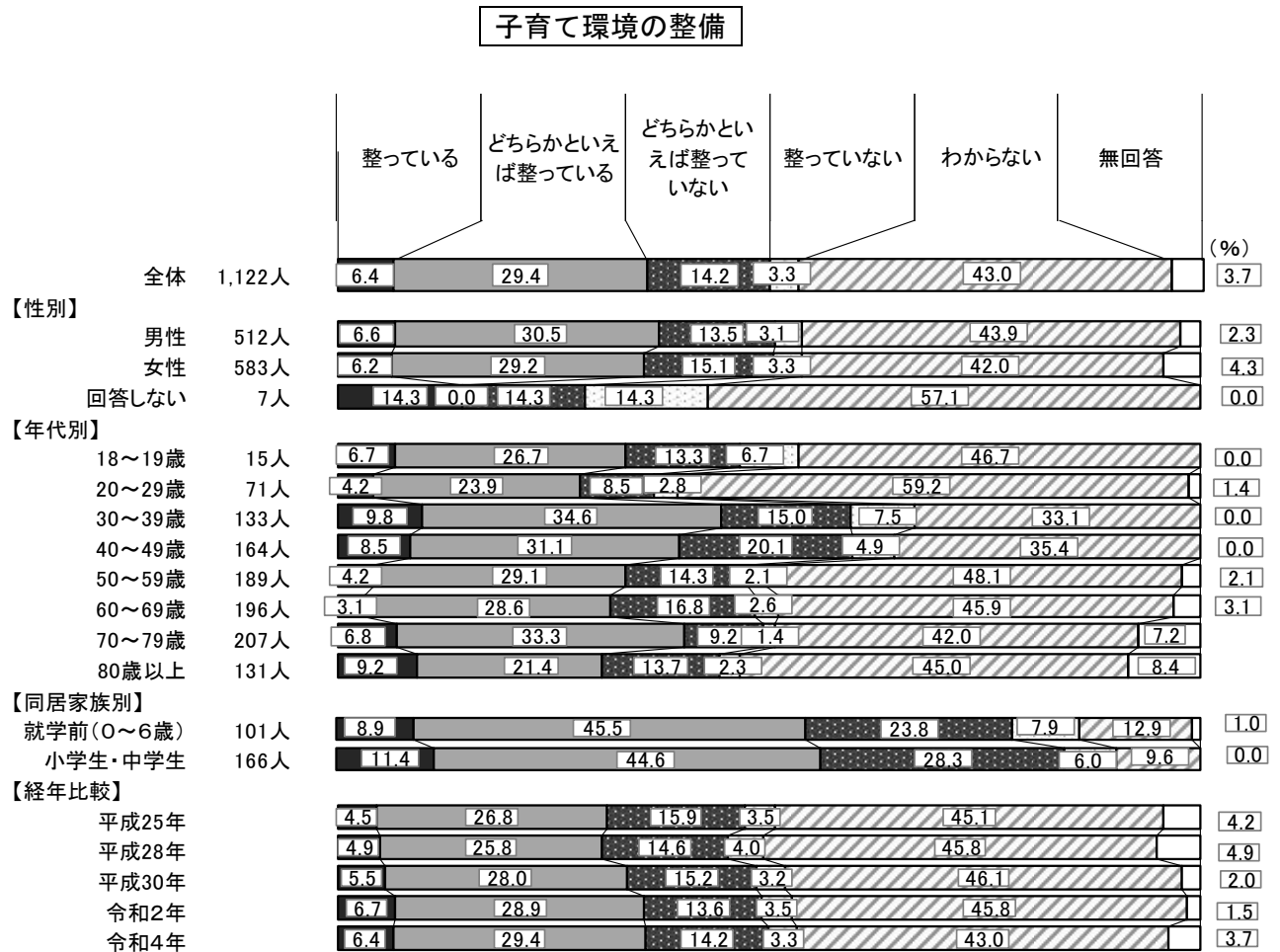
経年比較すると“よい”と思っている人が増加傾向にあります。

2 子どもの分野について

2-1 子育て環境の整備

◆ “子育て環境が整っている” 35.8% ◆

問5. あなたは、東松山市は子育てしやすい環境が整ったまちだと思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「整っている」と「どちらかといえば整っている」をあわせた“子育て環境が整っている”の割合が35.8%、「わからない」の割合が43.0%、「どちらかといえば整っていない」と「整っていない」をあわせた“子育て環境が整っていない”の割合が17.5%となっています。

年代別でみると“子育て環境が整っている”は、30～39歳で44.4%で最も高くなっています。一方で子育て世代である30～39歳、40～49歳では“子育て環境が整っていない”が2割前半～2割台半ばと他の年代に比べ高くなっています。

同居家族別のうち、子育て中の家族のいる世帯でみると、就学前(0～6歳)の子と同居では“子育て環境が整っている”(54.4%)が“子育て環境が整っていない”(31.7%)を22.7ポイント上回っており、小学生・中学生と同居では“子育て環境が整っている”(56.0%)が“子育て環境が整っていない”(34.3%)を21.7ポイント上回っています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられませんが、平成28年度調査以降、“子育て環境が整っている”は緩やかな増加傾向にあり、今年度調査では最も高くなっています。

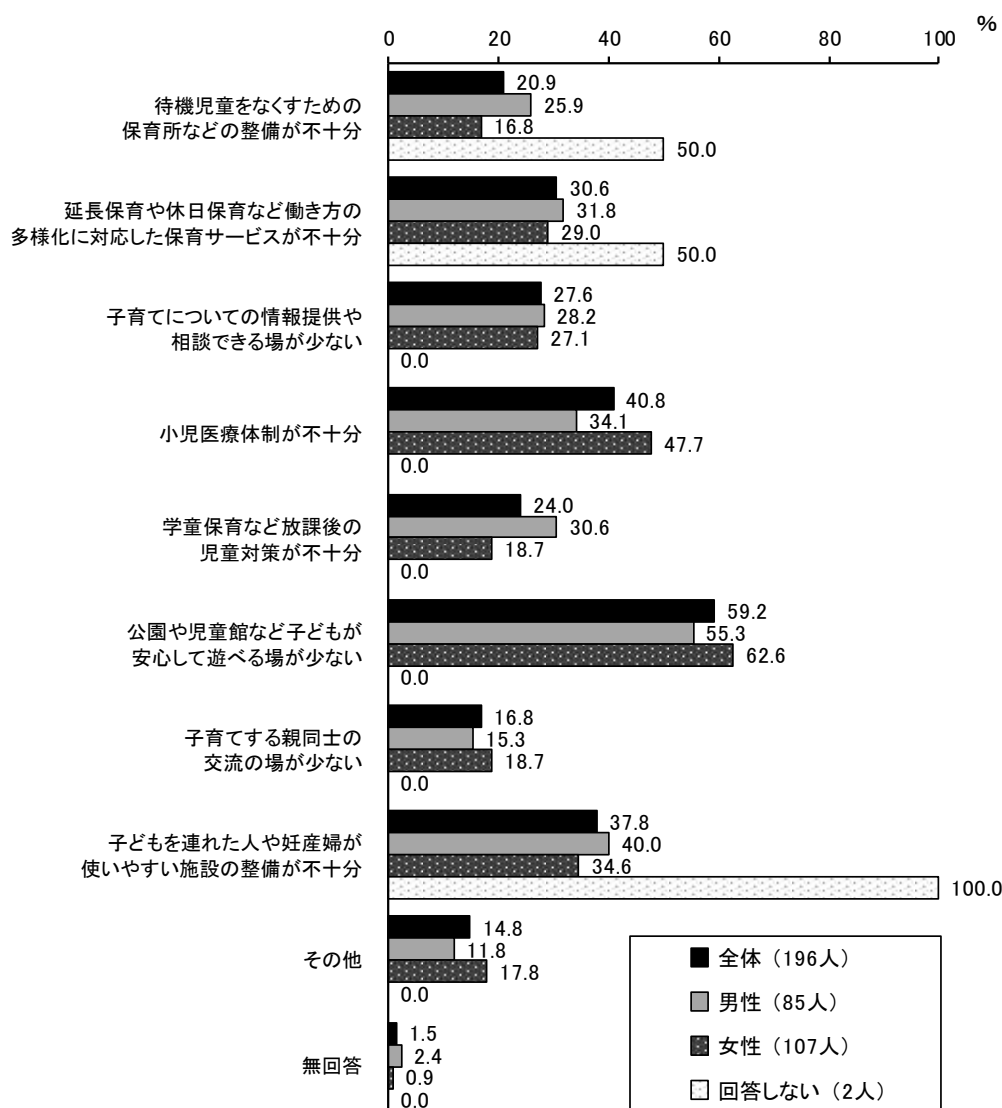
2-2 子育て環境が整っていない理由

◆「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」59.2%、「小児医療体制が不十分」40.8%◆

(問5で「どちらかといえば整っていない」または「整っていない」とお答えの方におたずねします。)

問5-1. その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

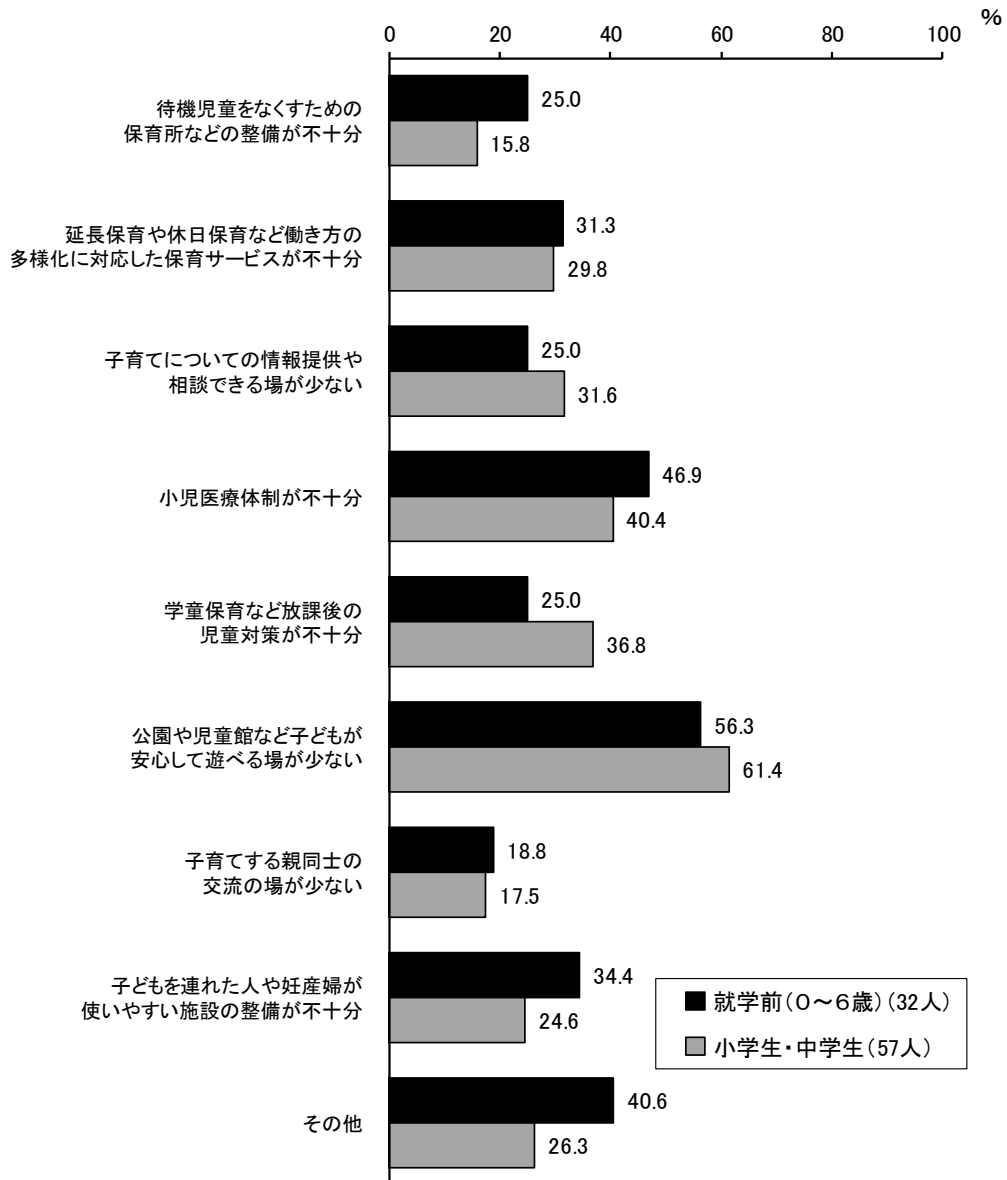
子育て環境が整っていない理由（全体・性別）



全体では「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」の割合が59.2%と最も高く、次いで「小児医療体制が不十分」の割合が40.8%、「子どもを連れて人や妊産婦が使いやすい施設の整備が不十分」の割合が37.8%となっています。

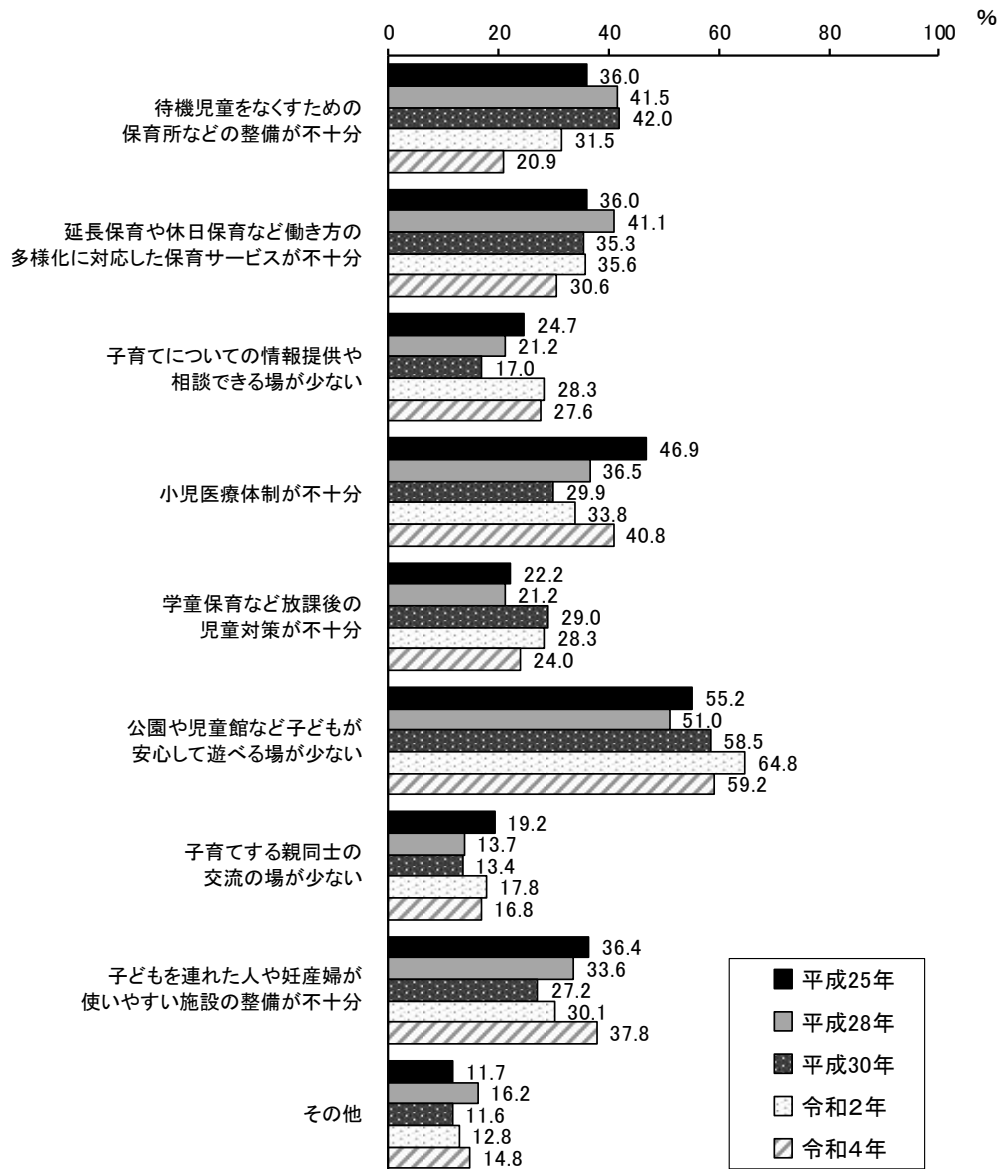
性別で見ると「小児医療体制が不十分」は女性（47.7%）が男性（34.1%）を13.6ポイント、「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」は女性（62.6%）が男性（55.3%）を7.3ポイント上回っています。

子育て環境が整っていない理由（同居家族別）



同居家族別のうち、子育て中の家族のいる世帯でみると、「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」は、就学前（0～6歳）の子と同居が 56.3%、小学生・中学生と同居が 61.4%とそれぞれ最も高くなっています。次いで就学前（0～6歳）の子と同居では「小児医療体制が不十分」が 46.9%、「子どもを連れて人や妊産婦が使いやすい施設の整備が不十分」34.4%と続いています。また、小学生・中学生と同居では「小児医療体制が不十分」40.4%、「学童保育など放課後の児童対策が不十分」（36.8%）と続いています。

子育て環境が整っていない理由（経年比較）



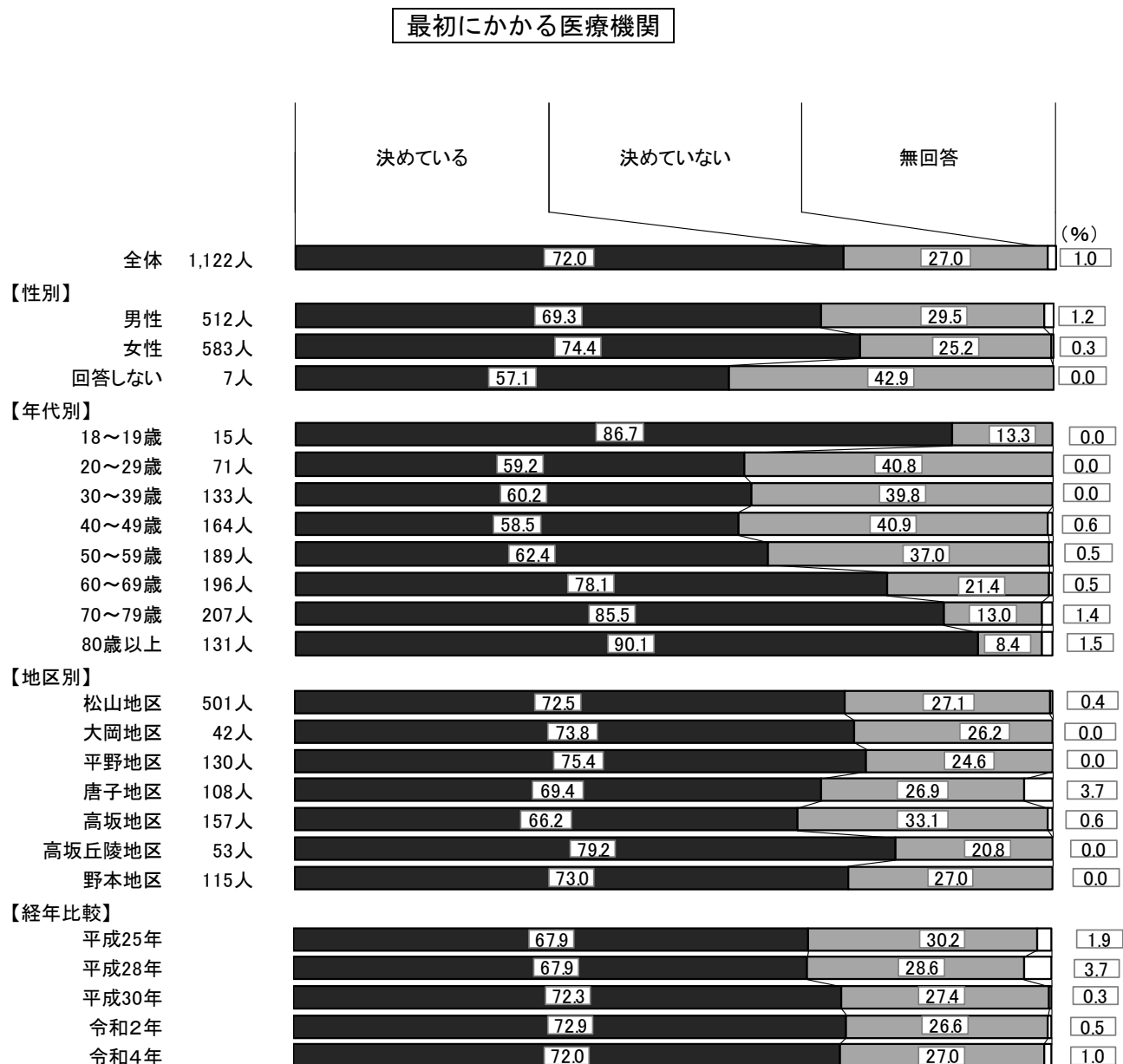
令和2年度調査と比較すると、「子どもを連れて人や妊産婦が使いやすい施設の整備が不十分」が7.7ポイント、「小児医療体制が不十分」が7.0ポイント増加しています。一方、「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」は10.6ポイント減少しており、平成30年度調査以降減少しています。

3 健康福祉の分野について

3-1 最初にかかる医療機関

◆「決めている」72.0%◆

問6. あなたは、体の不調を感じたとき、最初にかかる医療機関を決めていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「決めている」の割合が72.0%、「決めていない」の割合が27.0%となっています。性別で見ると「決めている」は女性(74.4%)が男性(69.3%)を5.1ポイント上回っています。年代別で見ると「決めている」は18～19歳、70～79歳で8割半ば、80歳以上で9割を超えています。

地区別で見ると「決めている」は高坂丘陵地区で79.2%、平野地区で75.4%と高くなっています。

平成30年度調査以降「決めている」は7割以上となっています。

3-2 最初にかかる医療機関の種類

◆「近所の医院・診療所・クリニック」78.6%◆

(問6で「決めている」とお答えの方におたずねします。)

問6-1. それは、次のどれですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

最初にかかる医療機関の種類



全体では「近所の医院・診療所・クリニック」の割合が78.6%、「大学病院・公立病院・総合病院等」の割合が17.7%となっています。

年代別で見るといずれの年代も「近所の医院・診療所・クリニック」が最も高くなっており、18歳～19歳、20～29歳で9割を超えて高くなっています。

地区別で見ると野本地区で「近所の医院・診療所・クリニック」が88.1%と最も高くなっています。

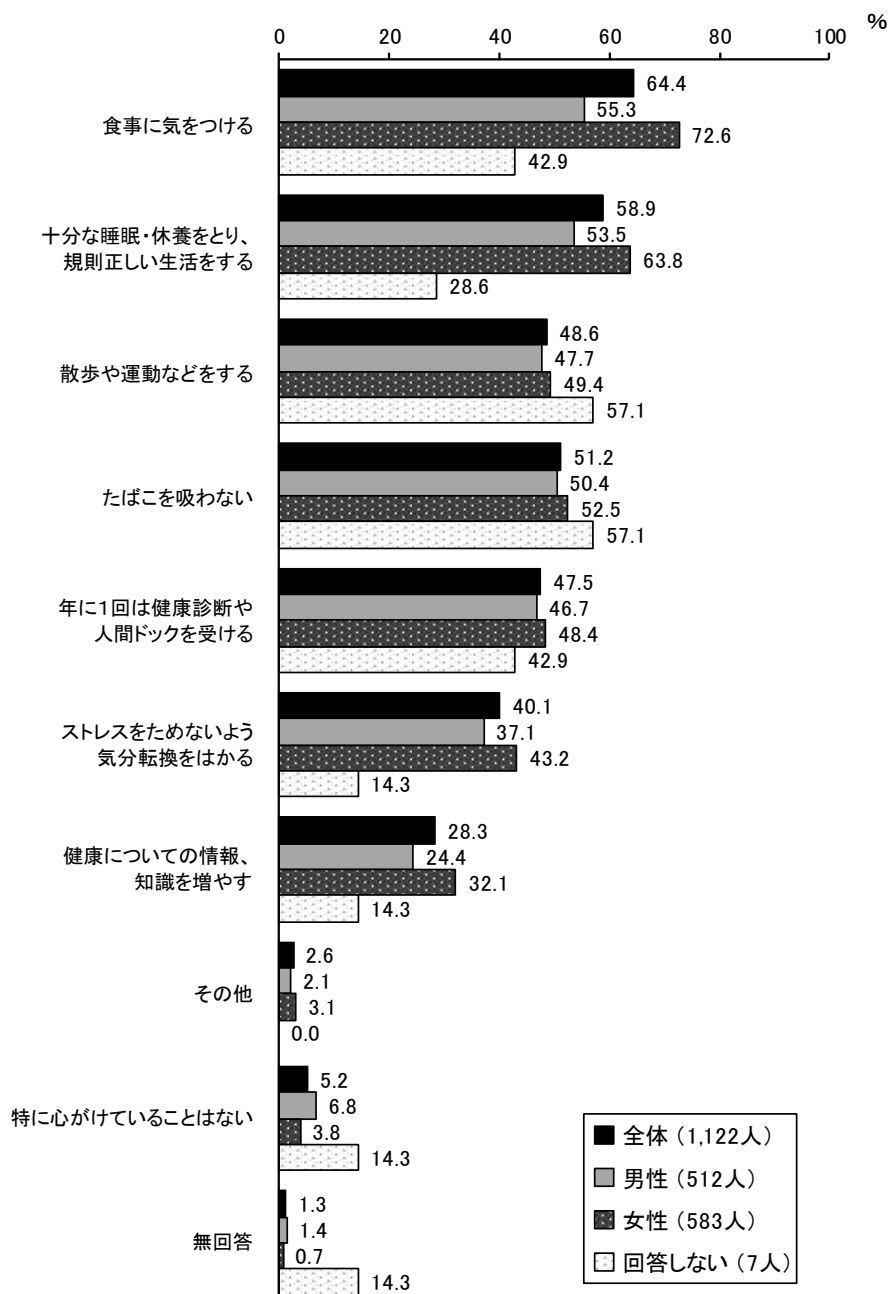
平成25年度調査以降「近所の医院・診療所・クリニック」は増加傾向にありましたが、今回調査ではやや低下しています。

3-3 健康づくりのために心がけていること

◆「食事に気をつける」64.4%、「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」58.9%◆

問7. あなたが、自分の健康づくりのために日頃から心がけていることはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

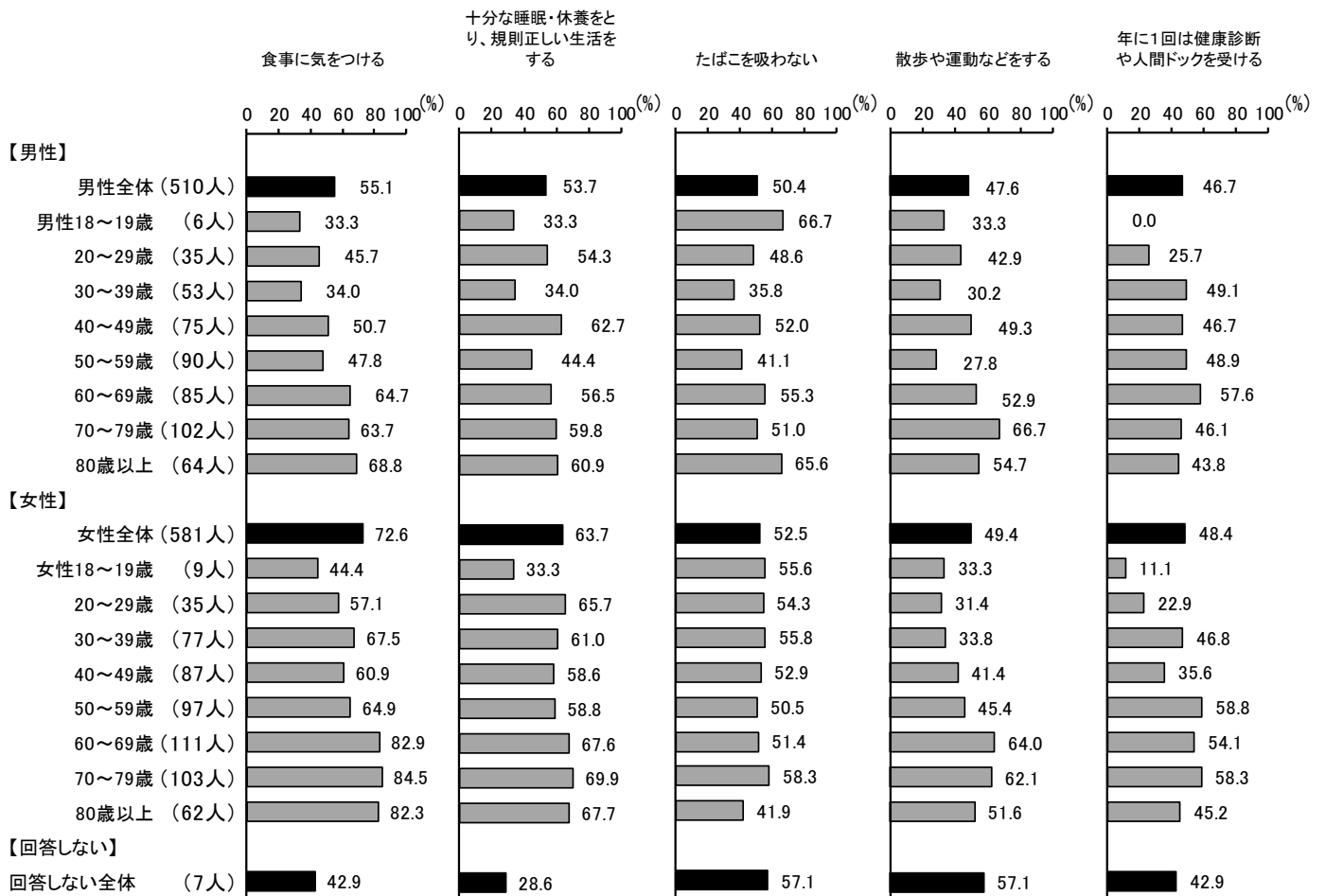
健康づくりのために心がけていること（全体・性別）



全体では「食事に気をつける」の割合が64.4%と最も高く、次いで「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」の割合が58.9%、「たばこを吸わない」の割合が51.2%となっています。

性別で見ると「食事に気をつける」は女性（72.6%）が男性（55.3%）を17.3ポイント、「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」は女性（63.8%）が男性（53.5%）を10.3ポイント、「健康についての情報、知識を増やす」は女性（32.1%）が男性（24.4%）を7.7ポイント上回っています。

健康づくりのために心がけていること（上位5位 性・年代別）



性・年代別で見ると「食事に気をつける」は男性では80歳以上で68.8%、女性では60歳台以降で8割以上となっています。

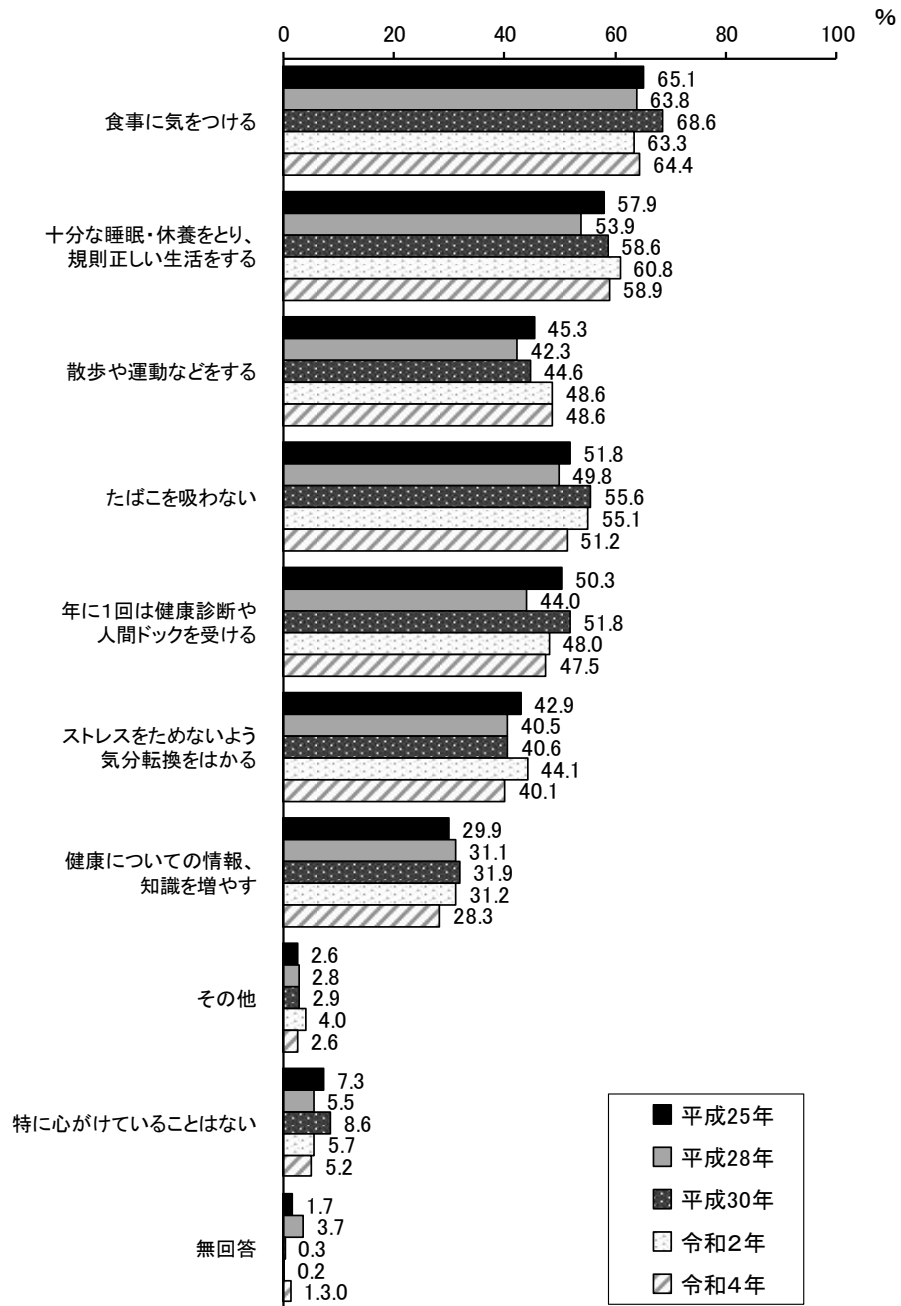
「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」は男性・女性ともにほとんどの年代で5割以上となっていますが、男性では18～19歳、30～39歳、女性では18～19歳で3割半ばと他の年代に比べて低くなっています。

「たばこを吸わない」は、男性では80歳以上で65.6%、女性では70～79歳で58.3%と高くなっています。

「散歩や運動などをする」は、男性の70～79歳で66.7%、女性の60～69歳、70～79歳で6割以上と高くなっています。

「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は、男性では60～69歳、女性では50～59歳、70～79歳で6割弱と高くなっています。

健康づくりのために心がけていること（経年比較）



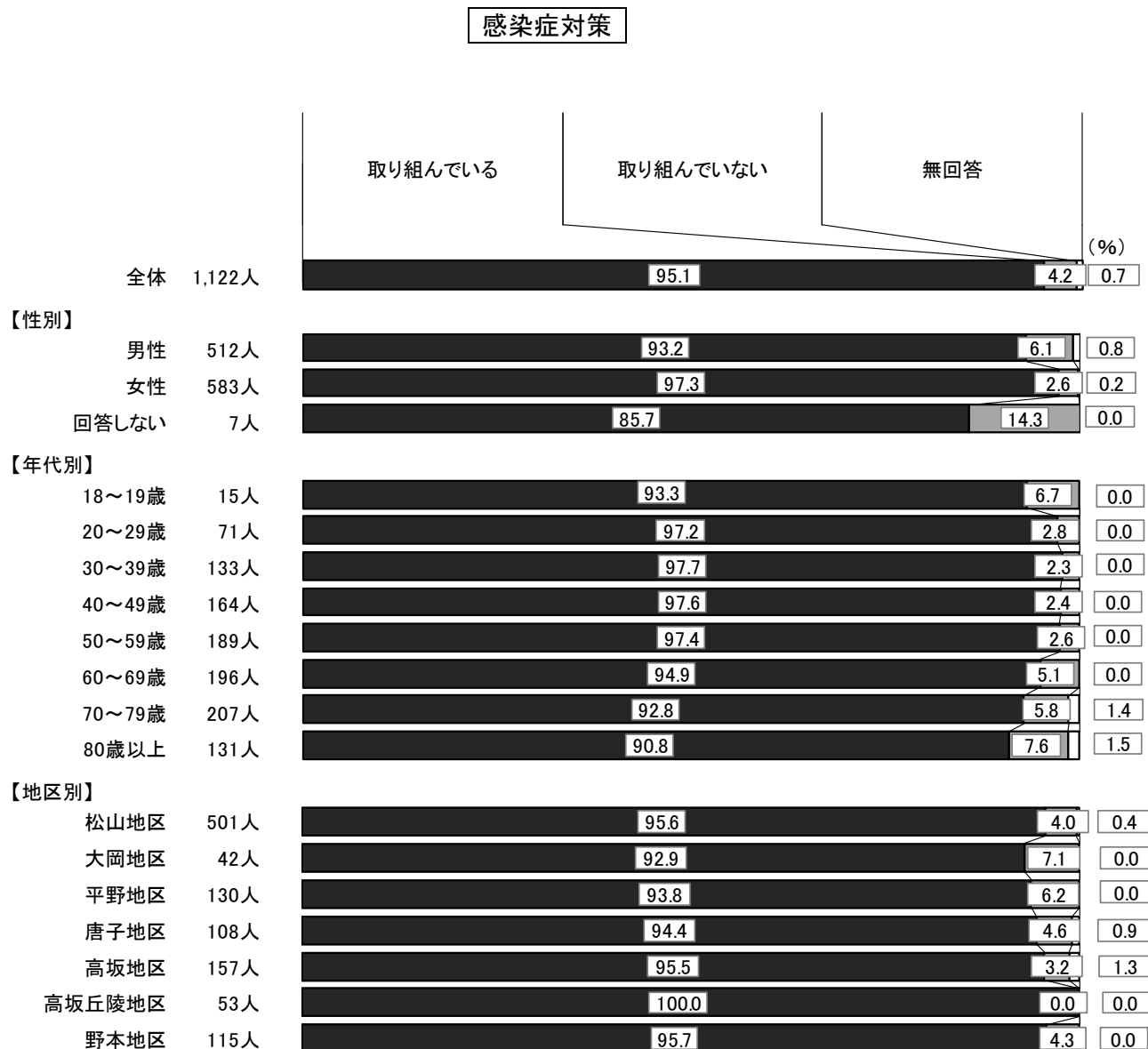
※「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は、平成25年度は「年に1回は健康診断を受ける」

令和2年度調査と比較すると、「食事に気をつける」は増加していますが、「たばこを吸わない」「ストレスをためないよう気分転換をはかる」「健康についての情報、知識を増やす」などは、減少しています。

3-4 感染症対策

◆ “取り組んでいる” 95.1% ◆

問8. あなたは、感染症対策に取り組んでいますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「取り組んでいる」の割合が95.1%、「取り組んでいない」の割合が4.2%となっています。

性別でみると「取り組んでいる」は女性（97.3%）が男性（93.2%）を4.1ポイント上回っています。

年代別でみると「取り組んでいる」は全ての年代で9割を超えており、特に20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳で高くなっています。

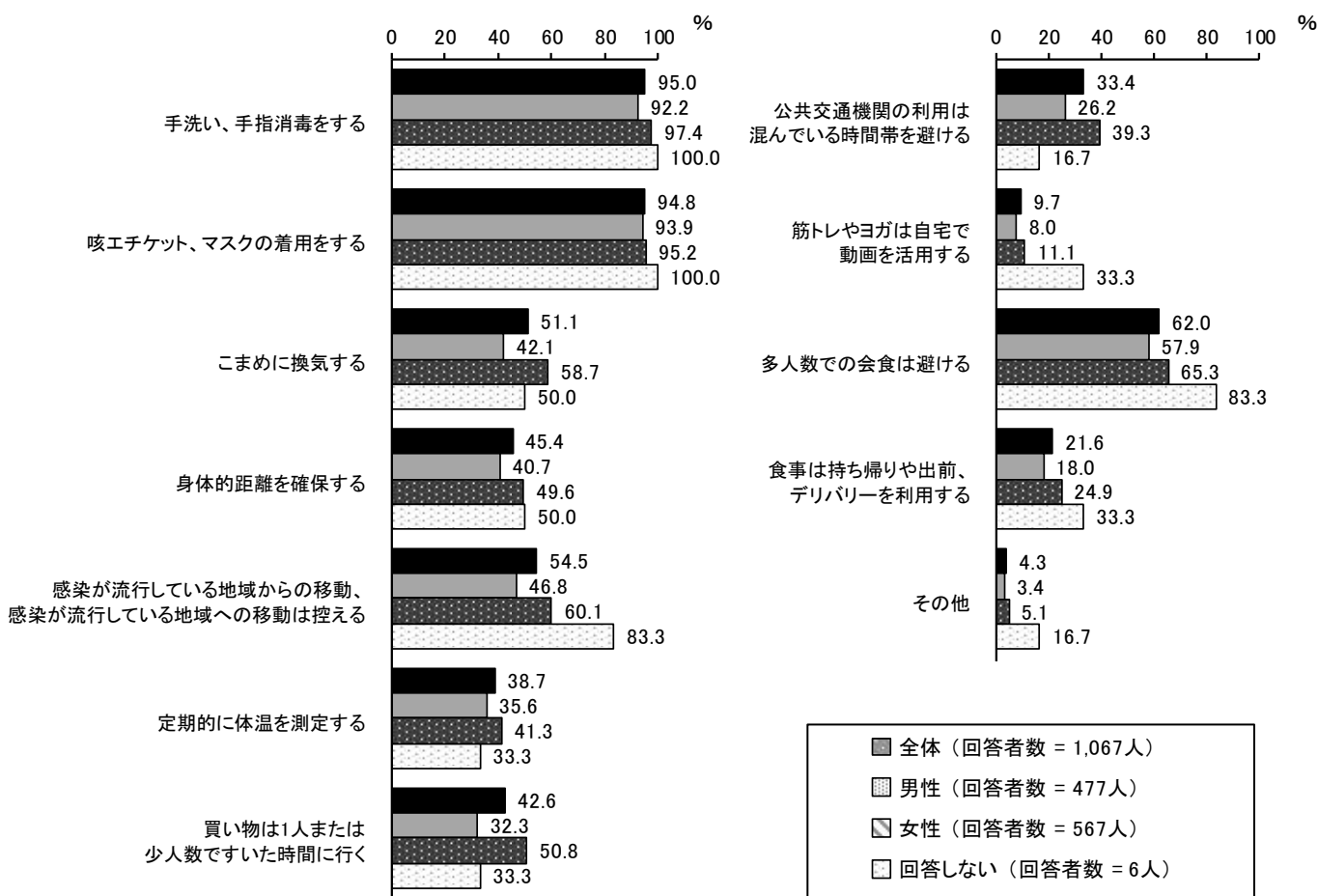
3-5 感染症対策のために取り組んでいること

◆「手洗い、手指消毒をする」95.0%、「咳エチケット、マスクの着用をする」94.8%◆

(問8で1とお答えの方におたずねします。)

問8-1. 日常生活の中で、どのようなことに取り組んでいますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

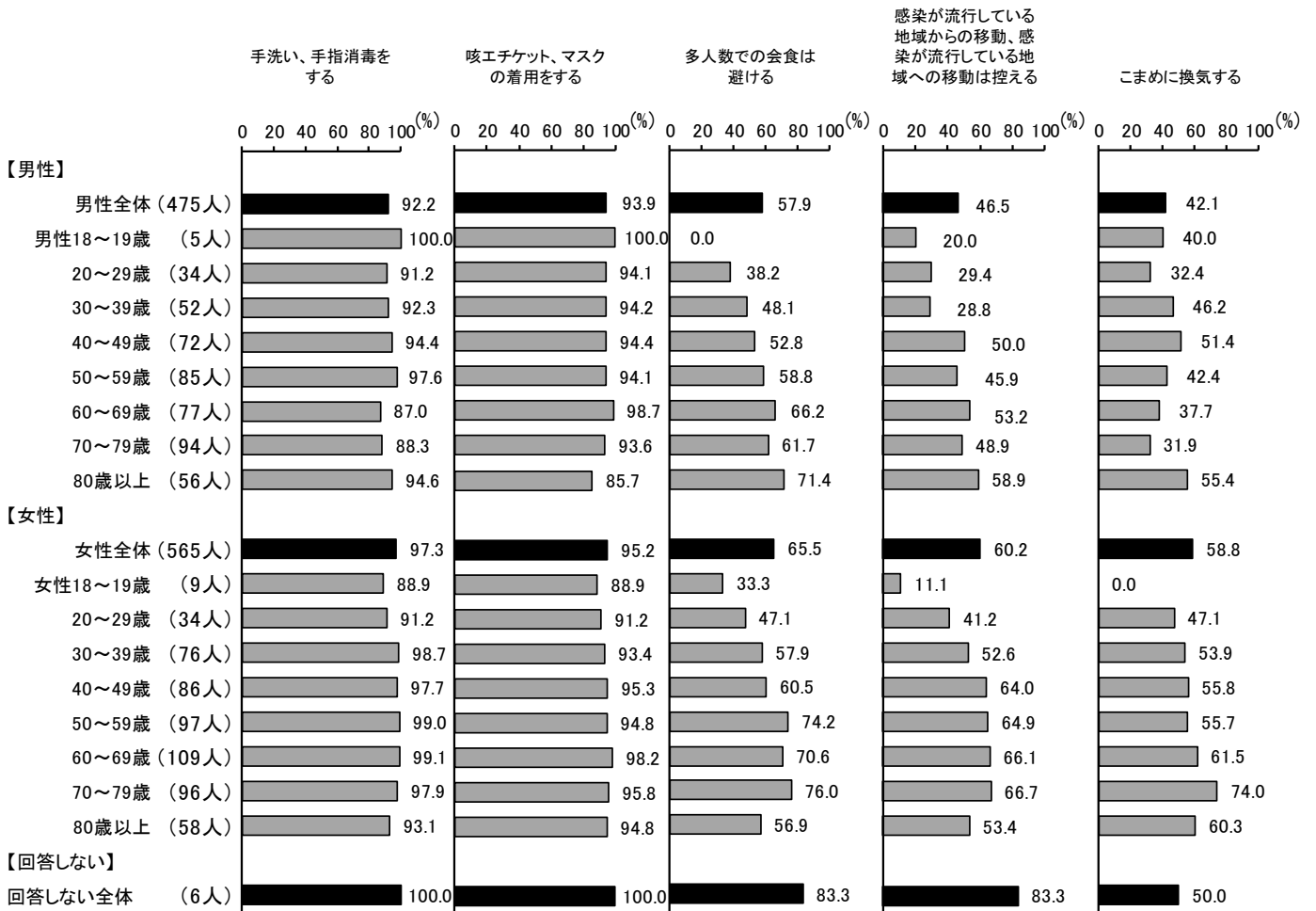
感染症対策のために取り組んでいること（全体・性別）



全体では「手洗い、手指消毒をする」の割合が95.0%と最も高く、次いで「咳エチケット、マスクの着用をする」の割合が94.8%、「多人数での会食は避ける」の割合が62.0%となっています。

性別でみると全般的に女性が男性に比べ高く、特に「買い物は1人または少人数ですいた時間に行く」は女性(50.8%)が男性(32.3%)を18.5ポイント、上回っています。

感染症対策のために取り組んでいること（上位5位 性・年代別）



性・年代別でみると「手洗い、手指消毒をする」は男性・女性ともに8割以上となっており、特に男性の18歳・19歳では100%となっています。

「咳エチケット、マスクの着用をする」は男性・女性ともに9割以上が大半を占めています。

「多人数での会食は避ける」は男性・女性ともに18～19歳で他の年代に比べて低くなっています。

「感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える」は男性・女性ともに18～19歳で他の年代に比べて低くなっています。

「こまめに換気する」は男性では80歳以上で55.4%、女性では70～79歳で74.0%と最も高くなっています。

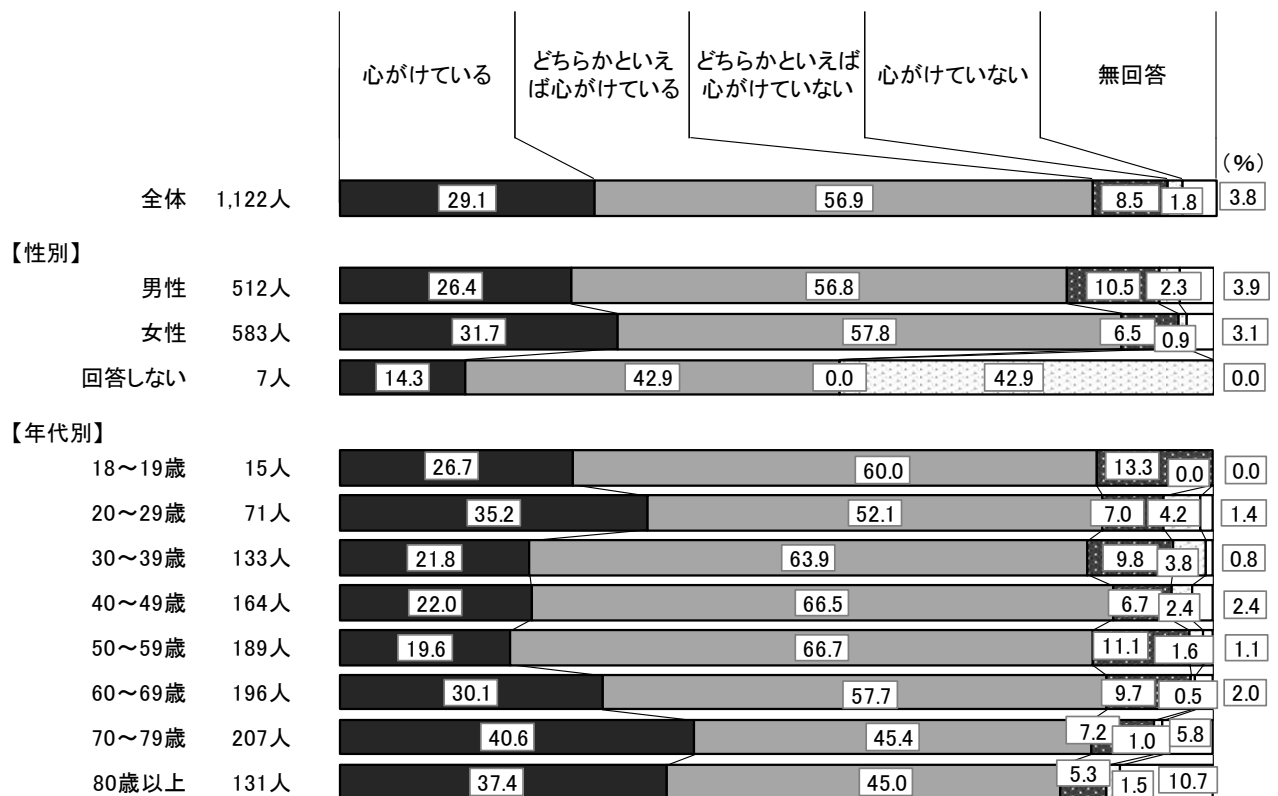
4 環境について

4-1 環境配慮状況

◆ “環境に配慮した生活を心がけている” 86.0%◆

問9. あなたは、環境に配慮した生活を心がけていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

環境配慮状況



全体では「心がけている」と「どちらかといえば心がけている」をあわせた“環境に配慮した生活を心がけている”の割合が86.0%、「どちらかといえば心がけていない」と「心がけていない」をあわせた“環境に配慮した生活を心がけていない”の割合が10.3%となっています。

性別でみると“心がけている”は女性（89.5%）が男性（83.2%）を6.3ポイント上回っています。

年代別でみると「心がけている」は70～79歳で40.6%と最も高く、次いで80歳以上で37.4%となっています。また“環境に配慮した生活を心がけている”は、40～49歳で88.5%と最も高く、いずれの年代でも8割を超えています。

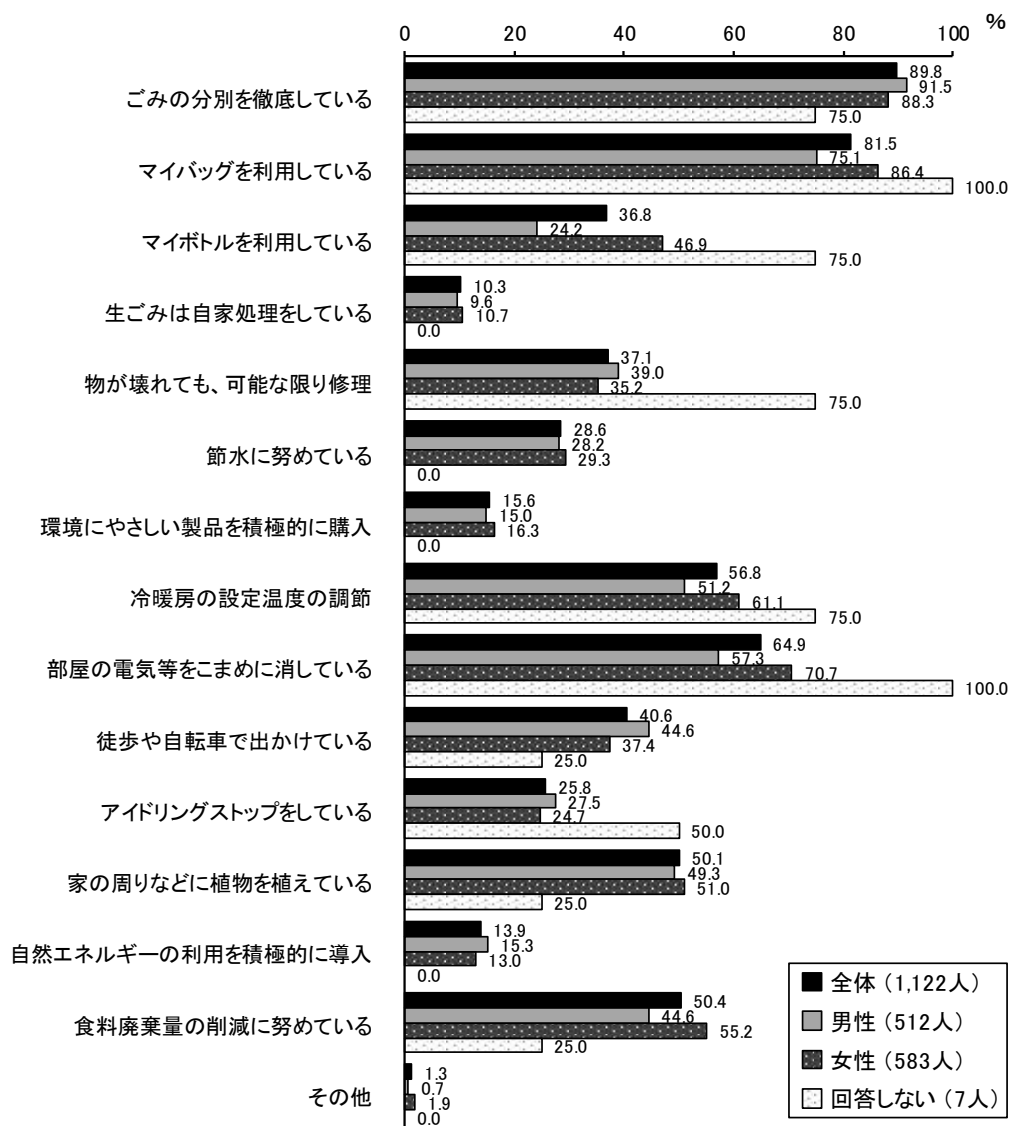
4-2 環境のために心がけていること

◆「ごみの分別を徹底している」89.8%◆

(問9で「心がけている」または「どちらかといえば心がけている」とお答えの方におたずねします。)

問9-1. 日常生活の中で、具体的に心がけていることは何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

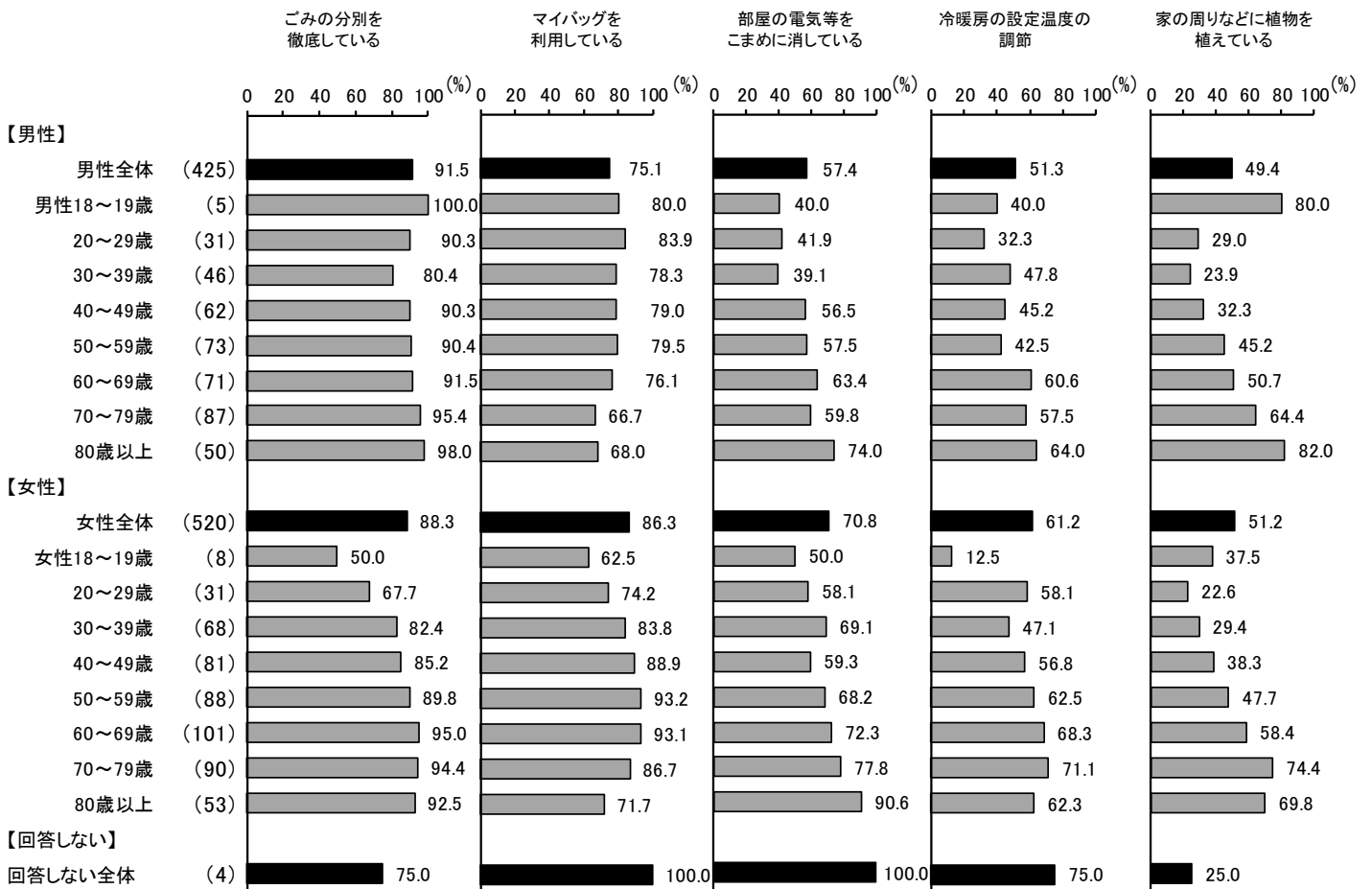
環境のために心がけていること（全体・性別）



全体では「決められたとおりにごみの分別を徹底している」の割合が89.8%と最も高く、次いで「マイバッグを利用したり、過剰な包装を断ったりするなどごみの減量化に努めている」の割合が81.5%、「部屋の電気やテレビのスイッチはこまめに消している」の割合が64.9%となっています。

性別でみると「マイバッグを利用したり、過剰な包装を断ったりするなどごみの減量化に努めている」「マイボトルを利用したり、使い捨てプラスチック製品の利用を控えている」「部屋の電気やテレビのスイッチはこまめに消している」は女性が男性を10ポイント以上上回っています。

環境のために心がけていること（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「ごみの分別を徹底している」は女性の18～19歳、20～29歳を除く全ての年代で8割を超えて高くなっています。

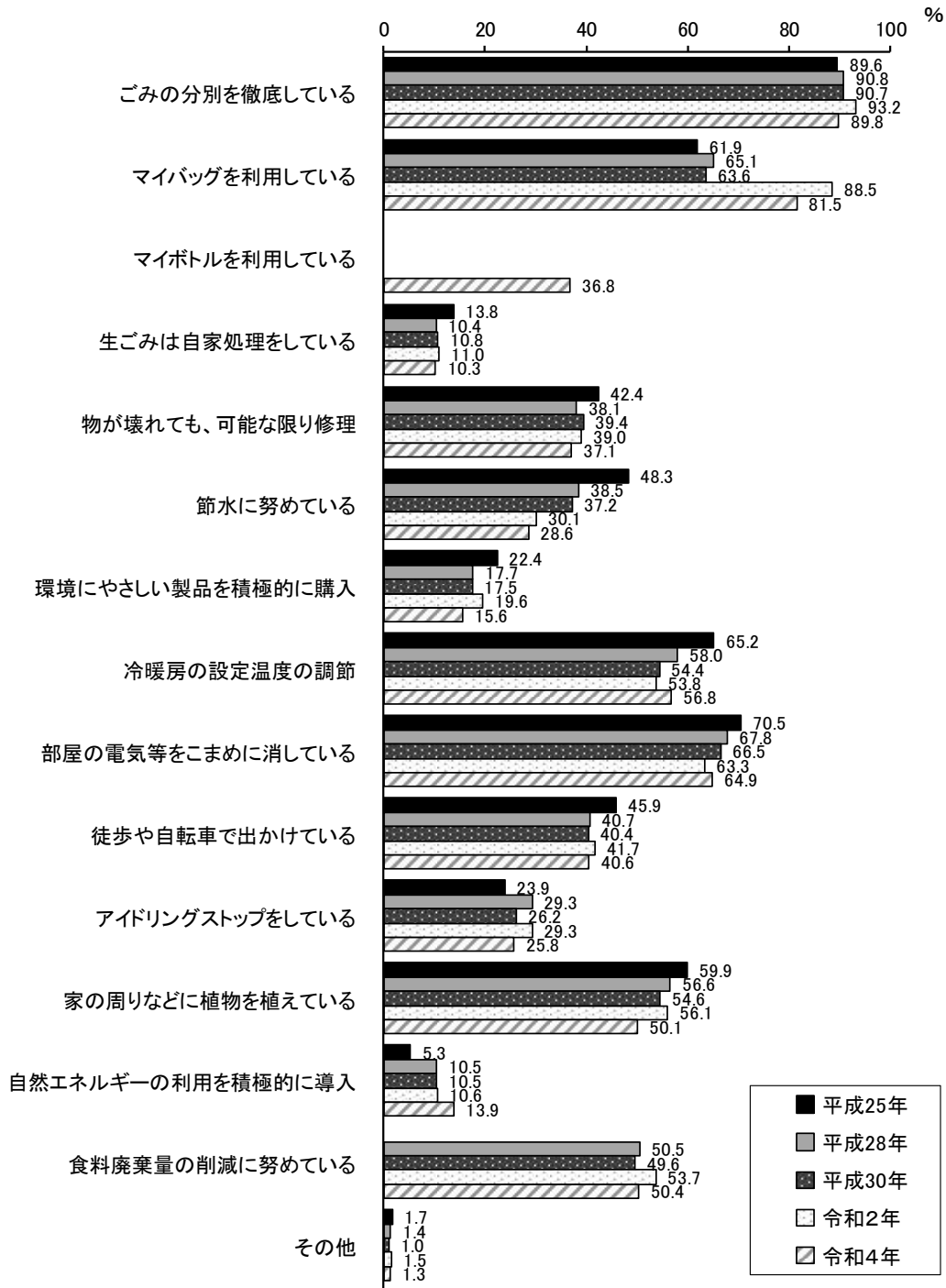
「マイバッグを利用している」は女性では50～59歳、60～69歳で9割を超え高くなっています。男性は18～19歳、20～29歳で8割を超えて高くなっています。

「部屋の電気等をこまめに消している」は男性では80歳以上が74.0%と最も高く、女性では80歳以上が90.6%と最も高くなっています。

「冷暖房の設定温度の調節」は女性の70～79歳が71.1%、男性では80歳以上が64.0%と最も高くなっています。

「家の周りなどに植物を植えている」は男性・女性ともに年齢が高くなるほど割合が高い傾向となっており、男性では80歳以上が82.0%、女性では70～79歳が74.4%と最も高くなっています。

環境のために心がけていること（経年比較）



※今回から「マイボトルを利用したり、使い捨てプラスチック製品の利用を抑えている」の選択肢が追加されました。

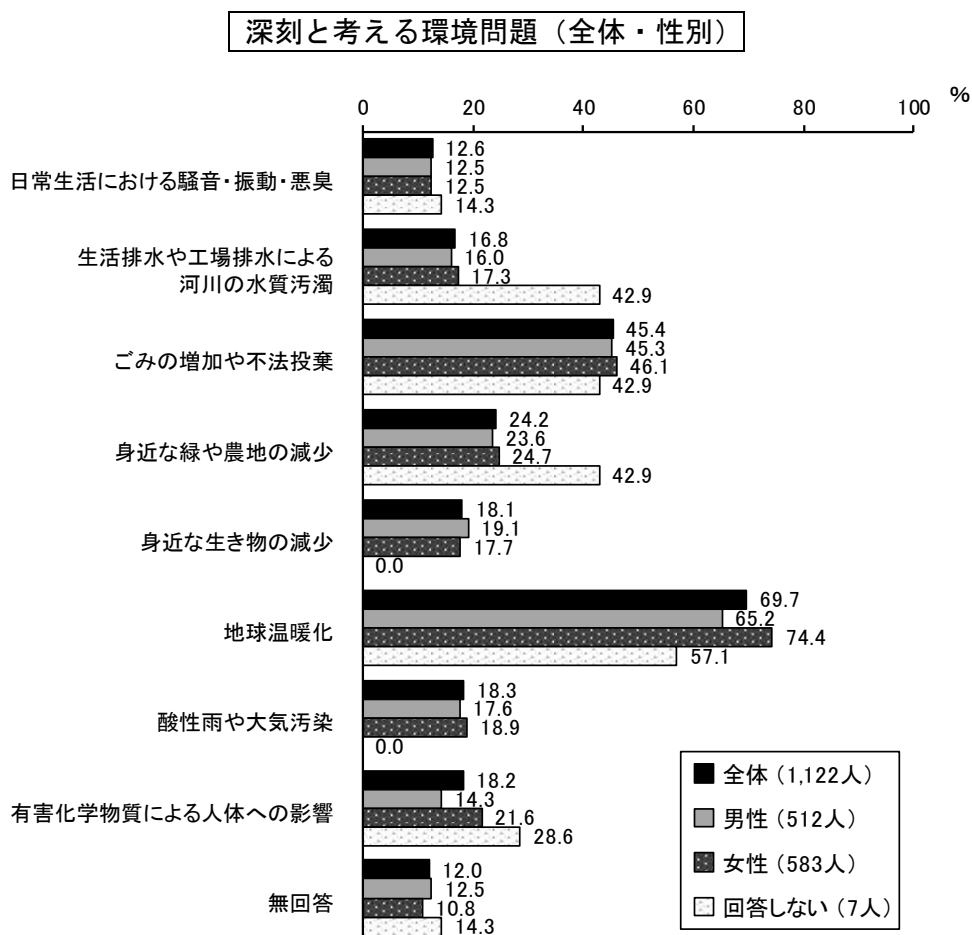
令和2年度調査と比較すると「自然エネルギーの利用を積極的に導入」は3.3ポイント、「部屋の電気等をこまめに消している」は1.6ポイント増加しています。

4-3 環境問題の深刻度・重要度

◆「ごみの増加や不法投棄」「地球温暖化」が深刻度、重要度ともに比較的高い◆

問 10. 環境問題について、次にあげる項目で、「すでに深刻な問題である」ということと、今後、改善していくうえで「重点的に取り組んでいく必要がある」ということについて、それぞれ3つまで選び、番号を○で囲んでください。

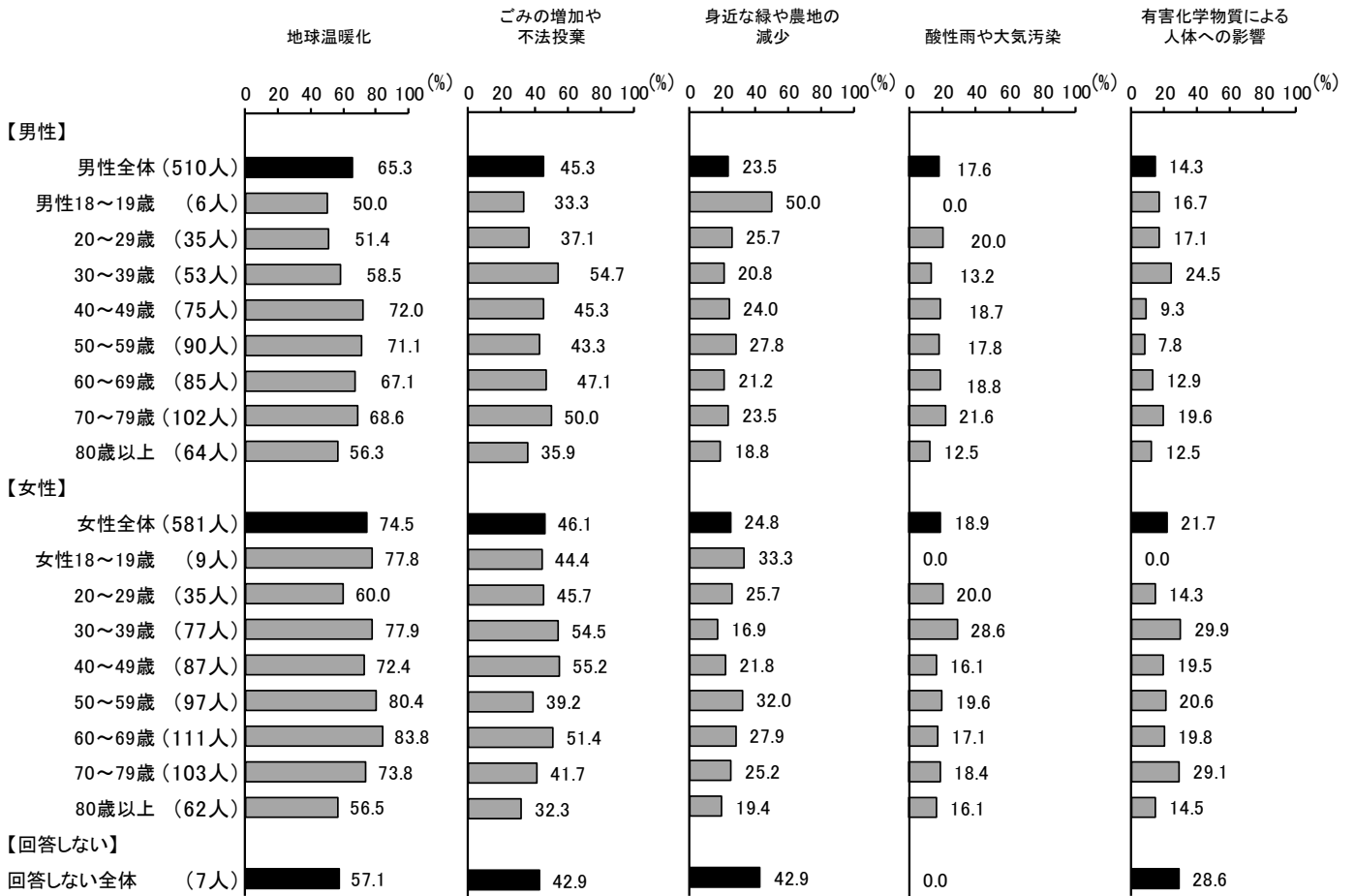
すでに深刻な問題である



全体では「地球温暖化」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「ごみの増加や不法投棄」の割合が 45.4%、「身近な緑や農地の減少」の割合が 24.2%となっています。

性別で見ると「地球温暖化」「有害化学物質による人体への影響」は女性が男性を5ポイント以上、「身近な生き物の減少」は男性（19.1%）が女性（17.7%）を1.4ポイント上回っています。

深刻と考える環境問題（上位5項目 性・年代別）



性・年代別で見ると「地球温暖化」は男性の40～49歳で72.0%、女性の60～69歳で83.8%と最も高くなっています。

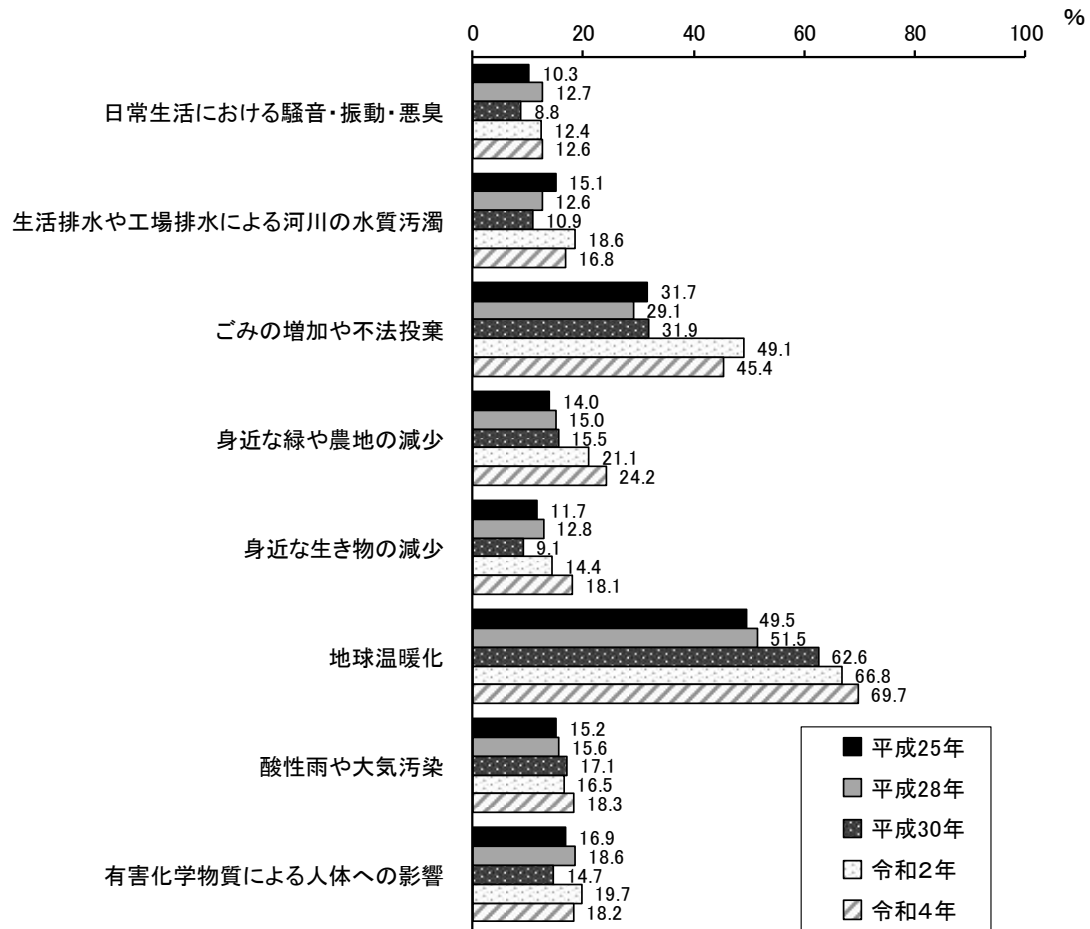
「ごみの増加や不法投棄」は男性の30～39歳で54.7%、女性の40～49歳で55.2%と最も高くなっています。

「身近な緑や農地の減少」は男性の18～19歳で50.0%、女性の50～59歳で32.0%と最も高くなっています。

「酸性雨や大気汚染」は男性の70～79歳で21.6%、女性の30～39歳代で28.6%と最も高くなっています。

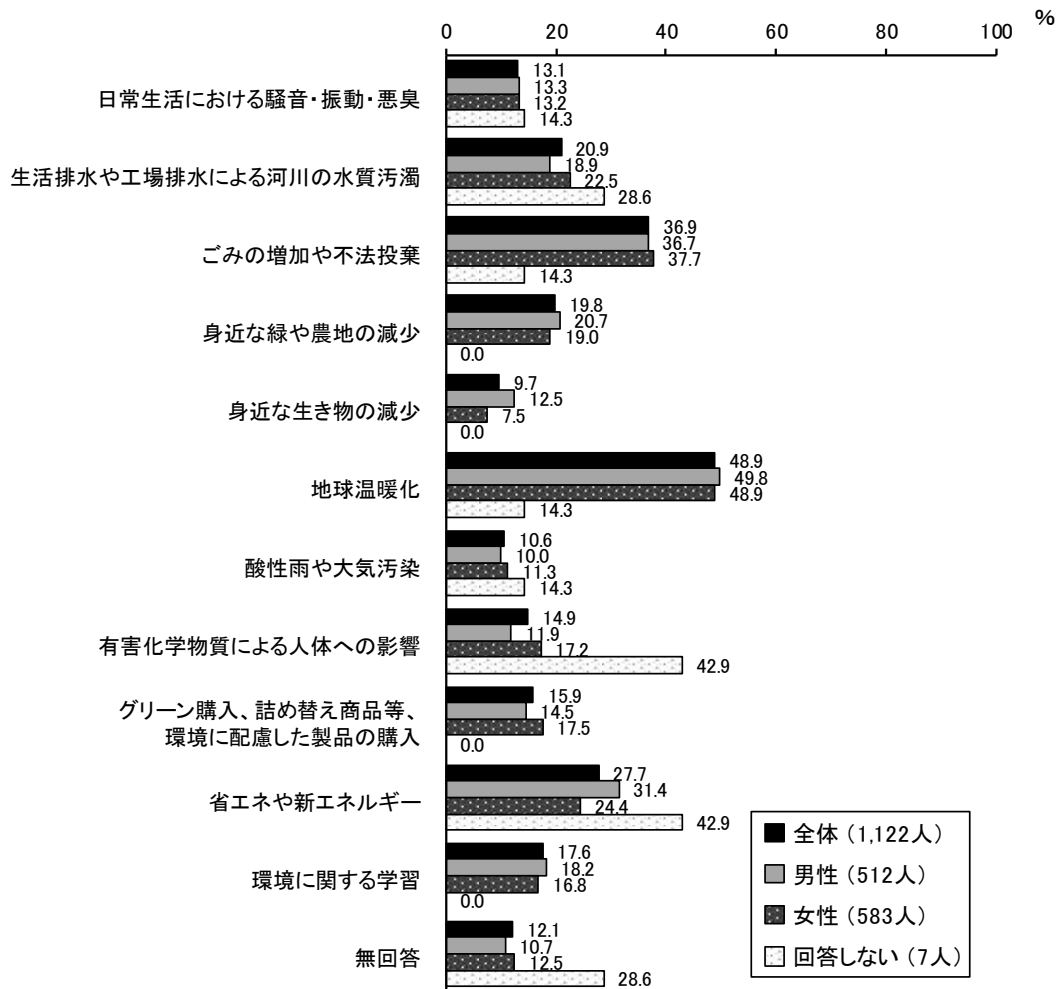
「有害化学物質による人体への影響」は男性の30～39歳で24.5%、女性の30～39歳で29.9%と最も高くなっています。

深刻と考える環境問題（経年比較）



令和2年度調査と比較すると「身近な生き物の減少」が3.7ポイント増加しています。一方、「ごみの増加や不法投棄」が3.7ポイント減少しています。また、平成25年度調査以降、「地球温暖化」「身近な緑や農地の減少」は増加しています。

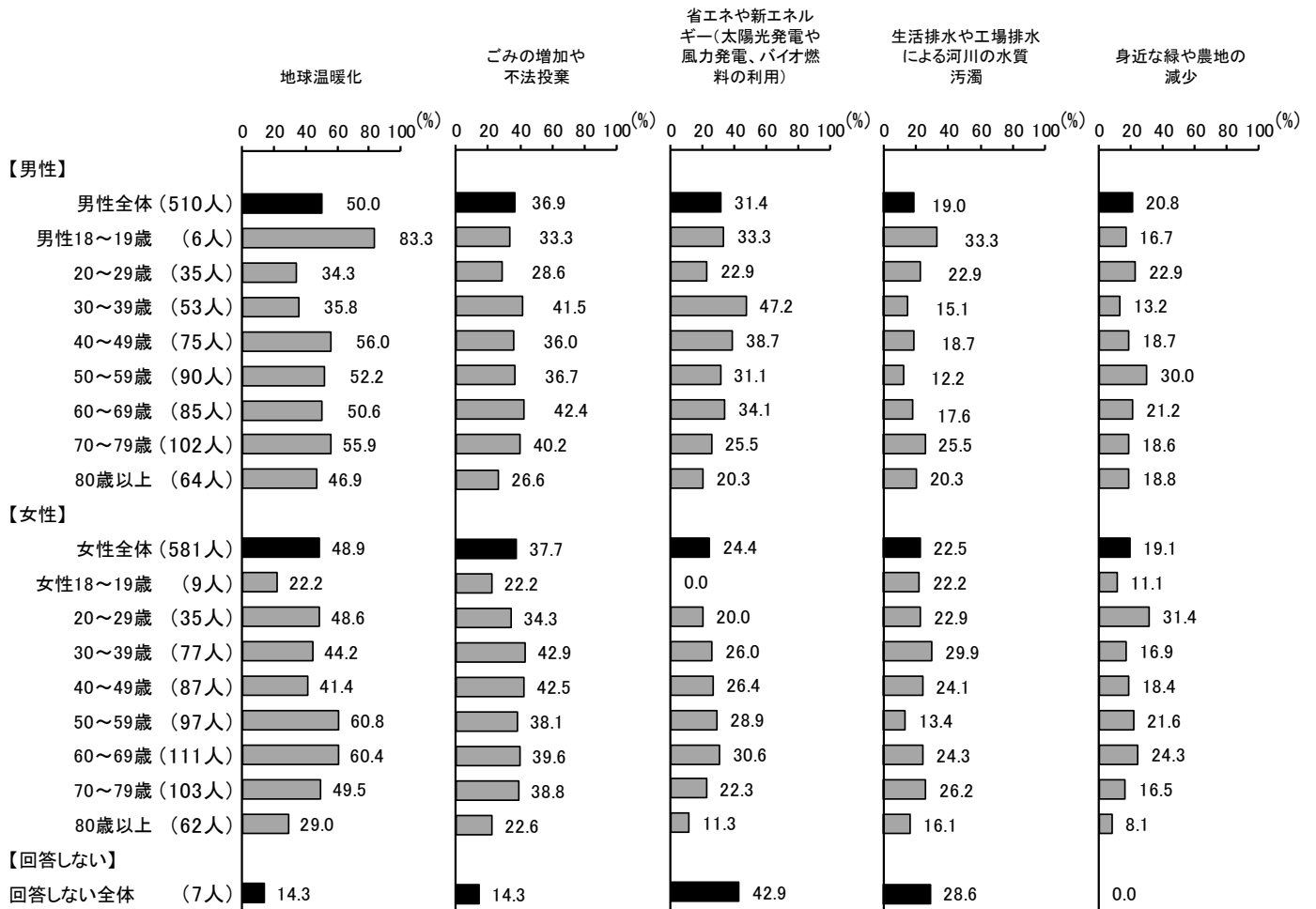
重点的に取り組んでいく必要がある環境問題（全体・性別）



全体では「地球温暖化」の割合が48.9%と最も高く、次いで「ごみの増加や不法投棄」の割合が36.9%、「省エネや新エネルギー（太陽光発電や風力発電、バイオ燃料の利用）」の割合が27.7%となっています。

性別で見ると「省エネや新エネルギー」は男性（31.4%）が女性（24.4%）を7.0ポイント、「身近な生き物の減少」は男性（12.5%）が女性（7.5%）を5.0ポイント上回っています。また「有害化学物質による人体への影響」は女性（17.2%）が男性（11.9%）を5.3ポイント上回っています。

重点的に取り組んでいく必要がある環境問題（性・年代別）



性・年代別でみると「地球温暖化」は男性の18~19歳で83.3%、女性の50~59歳で60.8%と最も高くなっています。

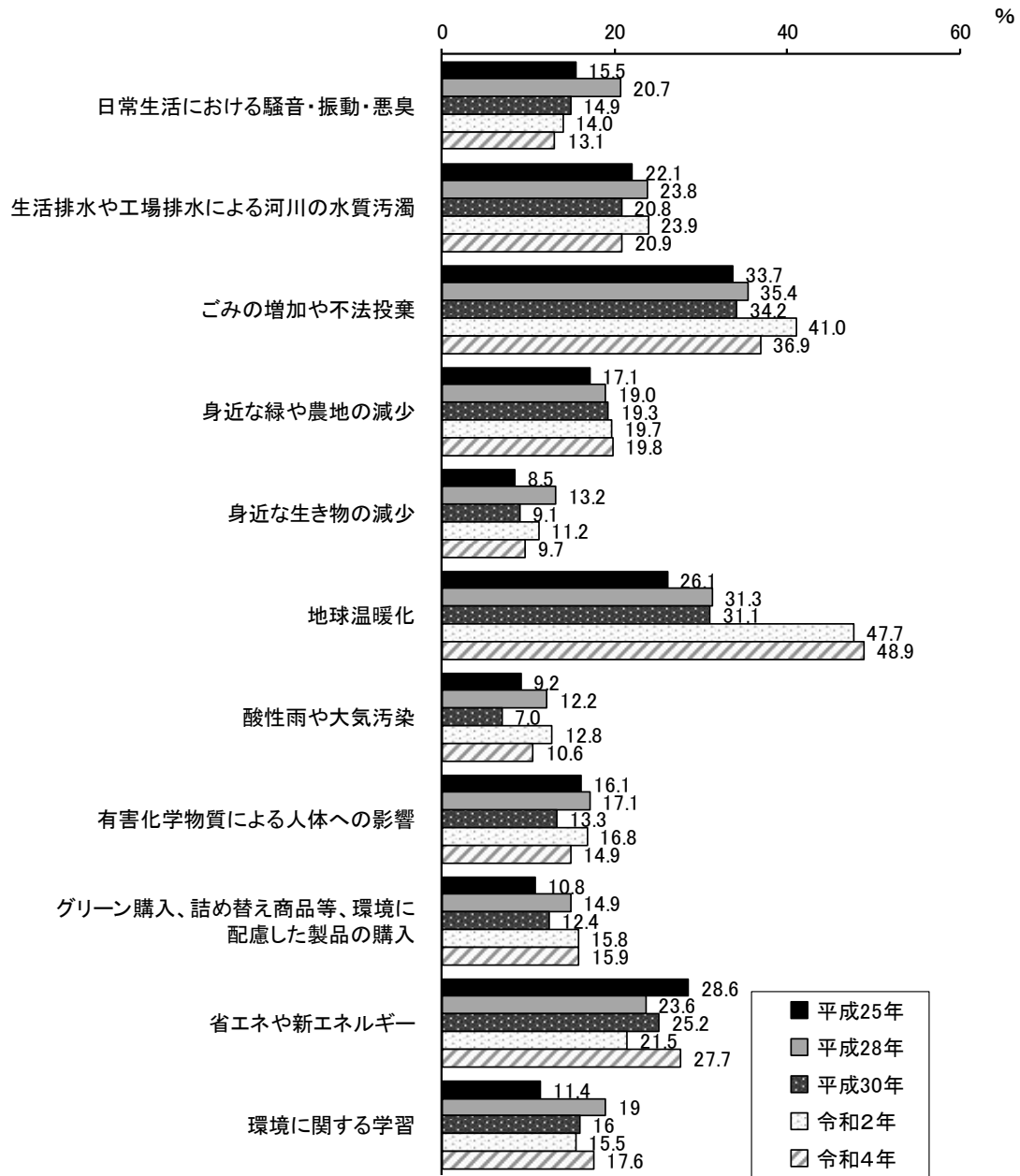
「ごみの増加や不法投棄」は、男性の60~69歳で42.4%、女性の30~39歳で42.9%と最も高くなっています。

「省エネや新エネルギー（太陽光発電や風力発電、バイオ燃料の利用）」は、男性の30~39歳で47.2%、女性の60~69歳で30.6%と最も高くなっています。

「生活排水や工場排水による河川の水質汚濁」は、男性の18~19歳で33.3%、女性の30~39歳で29.9%と最も高くなっています。

「身近な緑や農地の減少」は、男性の50~59歳で30.0%、女性の20~29歳で31.4%と最も高くなっています。

重点的に取り組んでいく必要がある環境問題（経年比較）



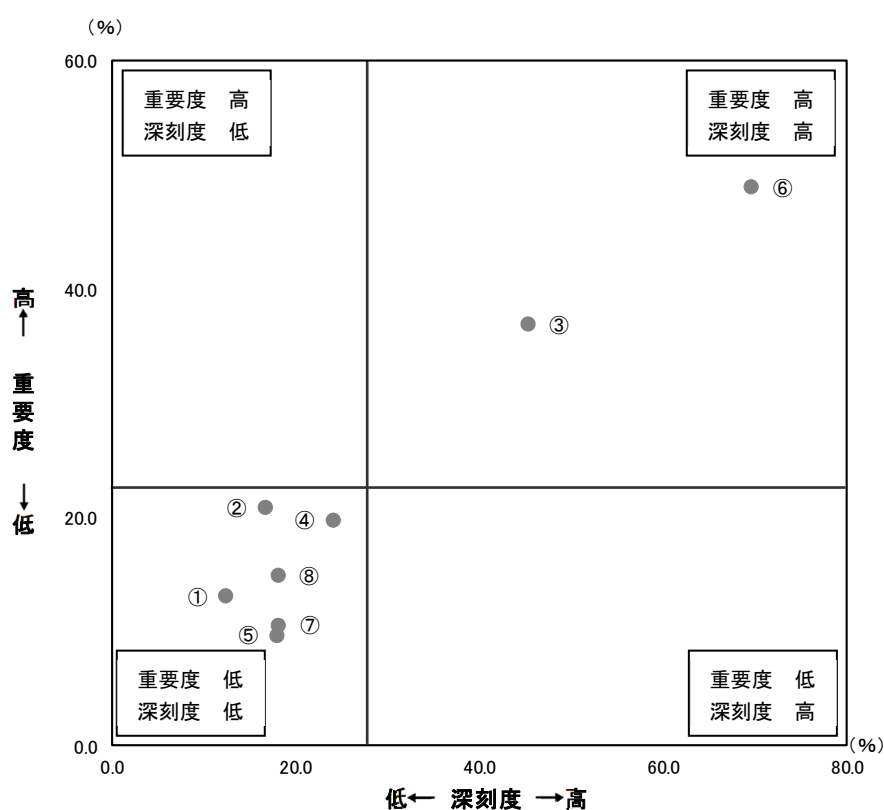
令和2年度調査と比較すると「省エネや新エネルギー」が6.2ポイント増加しています。一方、「ごみの増加や不法投棄」が4.1ポイント減少しています。

また、平成25年度調査以降「地球温暖化」は増加傾向にあります。

環境問題の深刻度及び重要度

(%)

		深刻度	重要度
①	日常生活における騒音・振動・悪臭	12.6	13.1
②	生活排水や工場排水による河川の水質汚濁	16.8	20.9
③	ごみの増加や不法投棄	45.4	36.9
④	身近な緑や農地の減少	24.2	19.8
⑤	身近な生き物の減少	18.1	9.7
⑥	地球温暖化	69.7	48.9
⑦	酸性雨や大気汚染	18.3	10.6
⑧	有害化学物質による人体への影響	18.2	14.9
⑨	グリーン購入、詰め替え商品等、環境に配慮した製品の購入		15.9
⑩	省エネや新エネルギー		27.7
⑪	環境に関する学習		17.6
	無回答	12.0	12.1



上記のグラフでは「すでに深刻な問題である (=深刻度)」を横方向、「重点的に取り組んでいく必要がある (=重要度)」を縦方向に示しています。

図中、右上の領域に位置する「③ごみの増加や不法投棄」「⑥地球温暖化」は、深刻度・重要度ともに高くなっています。

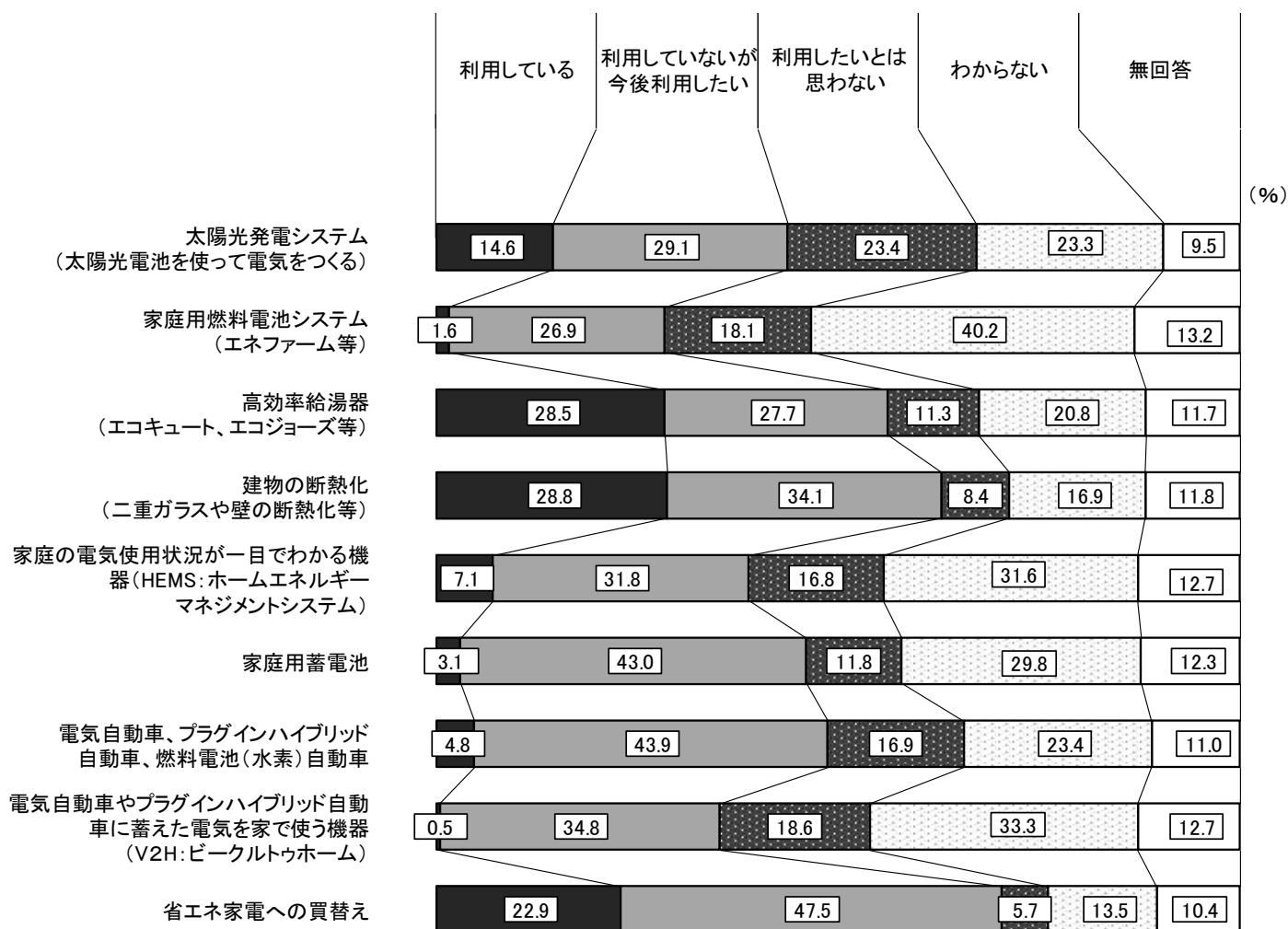
一方、その他の項目については深刻度・重要度ともに低くなっています。

4-4 省エネ設備や太陽光などの創エネ設備の利用状況

◆「建物の断熱化（二重ガラスや壁の断熱化等）」28.8%◆

問 11. あなたは、省エネ設備・家電や太陽光などの新エネルギーによる創エネ・蓄エネ設備を利用していますか。次の項目について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

省エネ設備や太陽光などの創エネ設備の利用状況



「利用している」は「建物の断熱化」が28.8%で最も高く、次いで「高効率給湯器」が28.5%となっています。

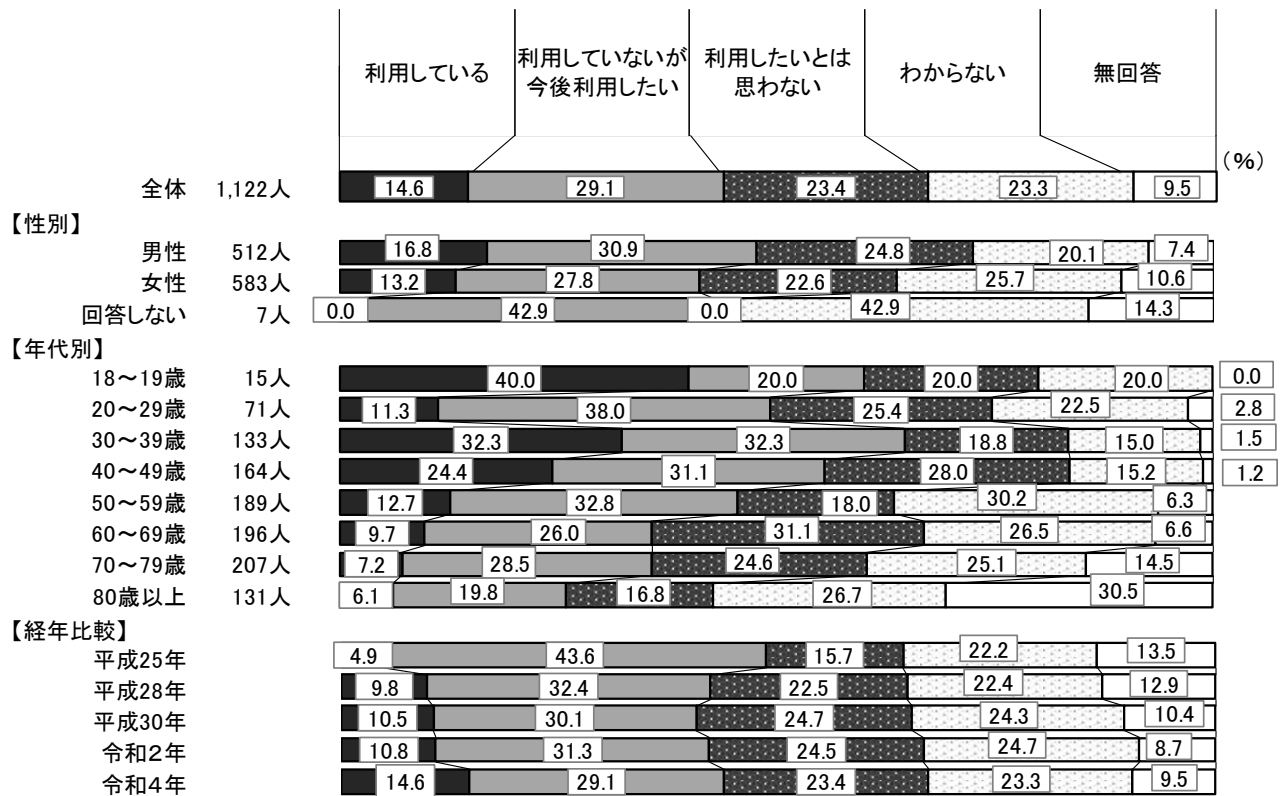
「利用していないが今後利用したい」は「電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池(水素)自動車」が43.9%で最も高く、次いで「家庭用蓄電池」が43.0%となっています。

「利用したいとは思わない」は「太陽光発電システム」が23.4%で最も高く、次いで「電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に蓄えた電気を家で使う機器」が18.6%となっています。

太陽光発電システム（太陽電池を使って電気をつくる）

◆「利用している」14.6%、「利用していないが今後利用したい」29.1%◆

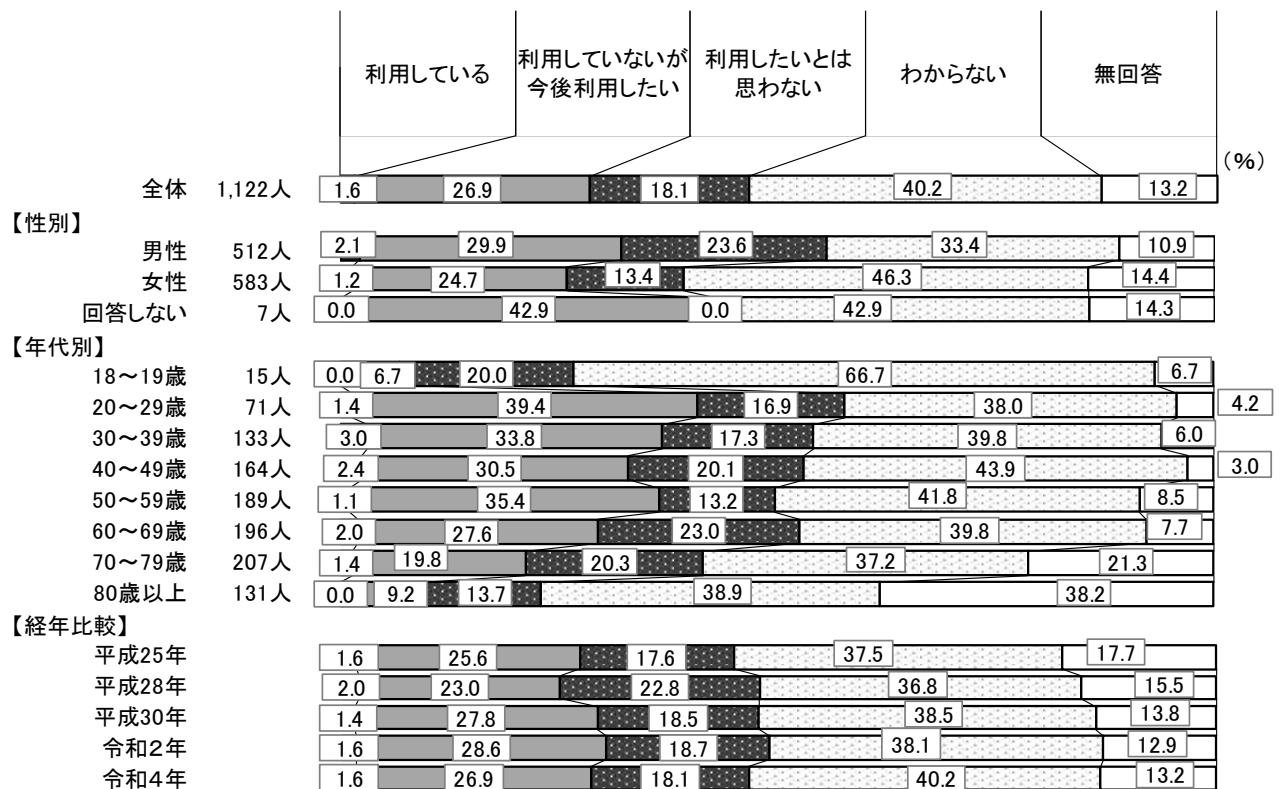
太陽光発電システム（太陽電池を使って電気をつくる）



家庭用燃料電池システム（エネファーム等）

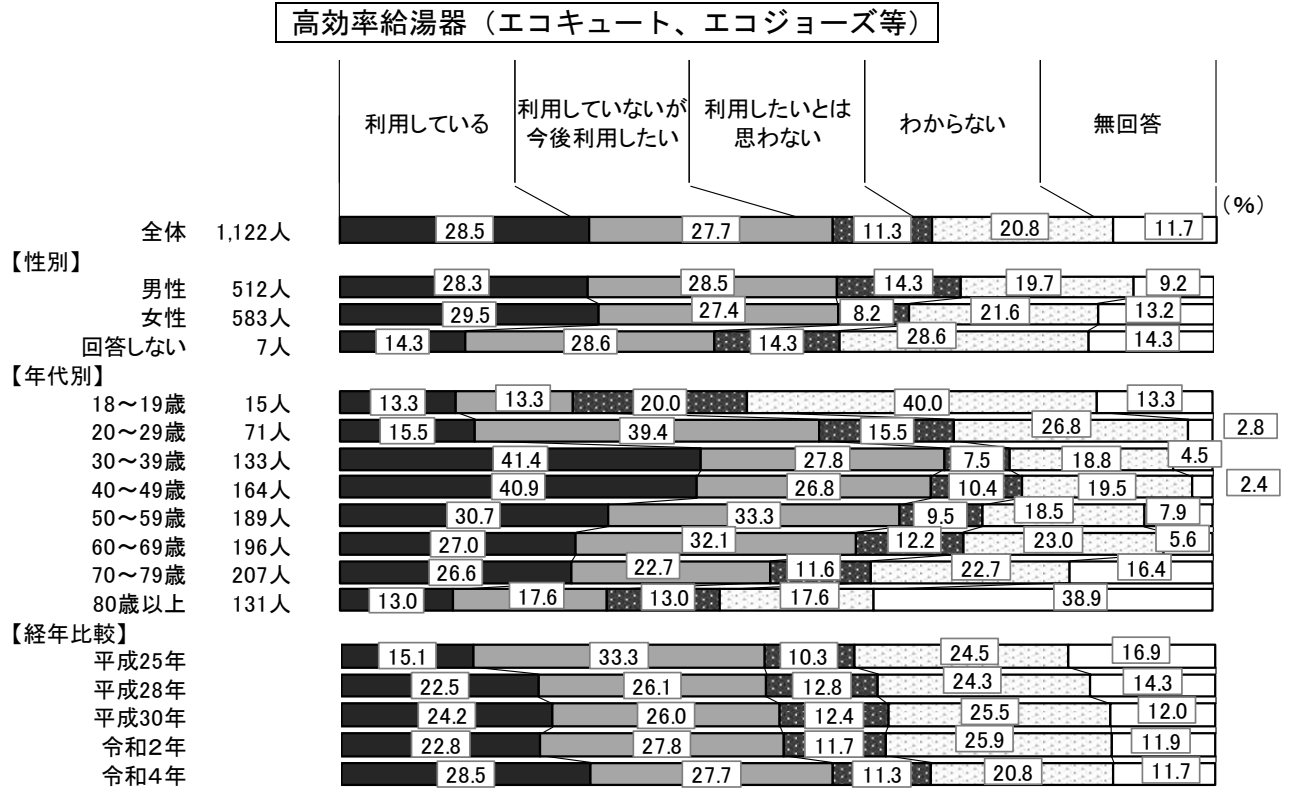
◆「利用している」1.6%、「利用していないが今後利用したい」26.9%◆

家庭用燃料電池システム（エネファーム等）



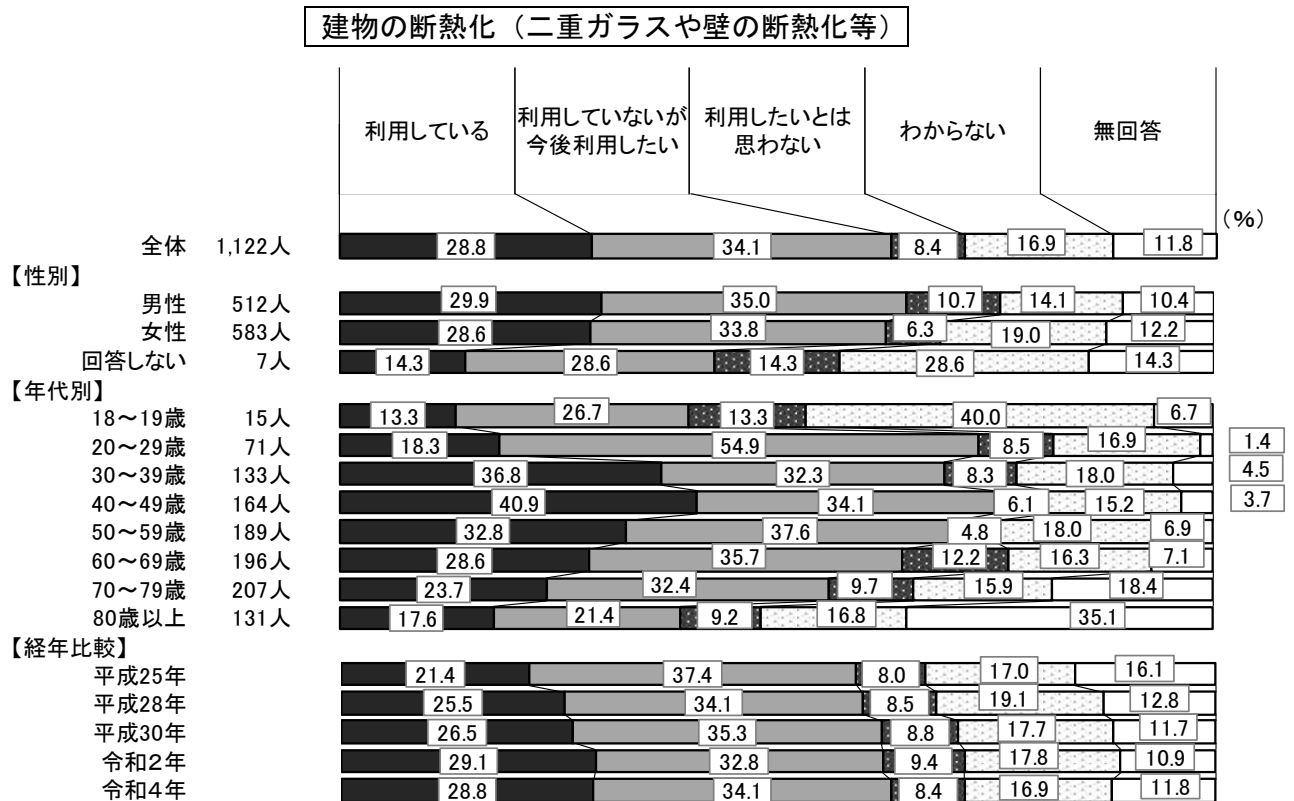
高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ等）

◆「利用している」28.5%、「利用していないが今後利用したい」27.7%◆



建物の断熱化（二重ガラスや壁の断熱化等）

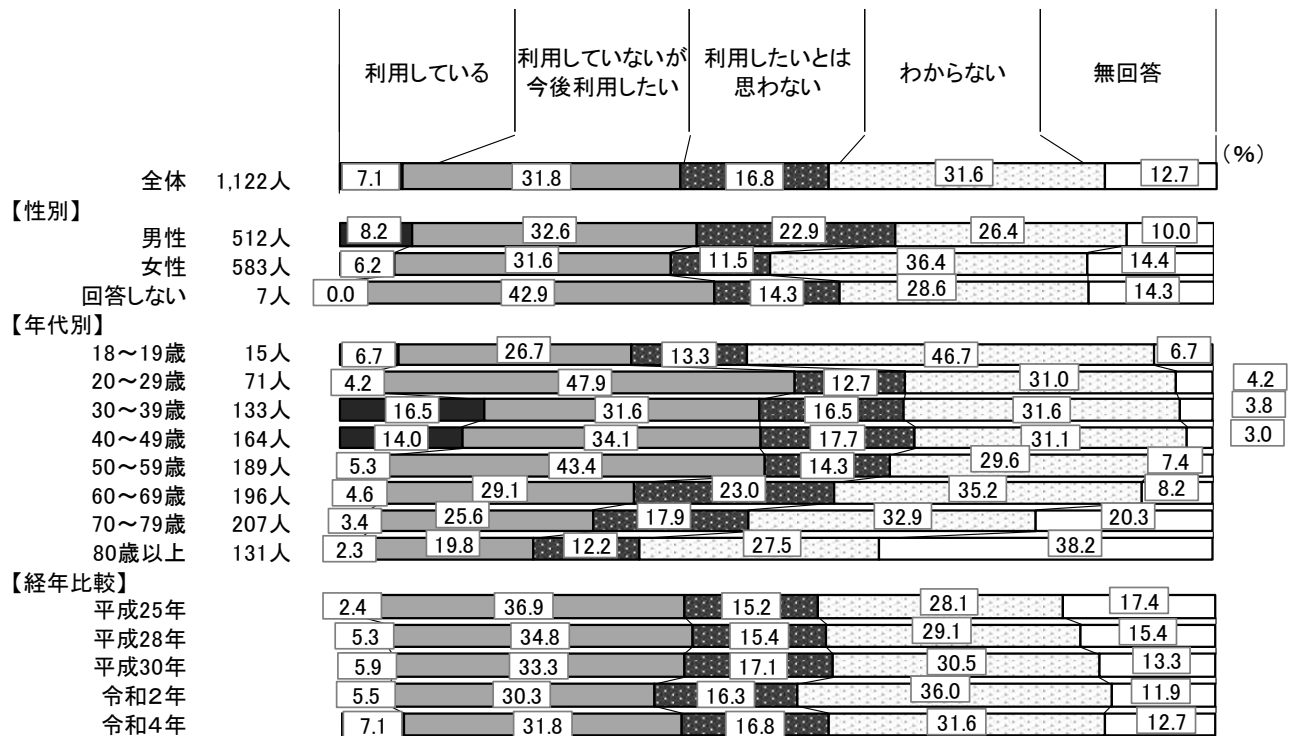
◆「利用している」28.8%、「利用していないが今後利用したい」34.1%◆



家庭の電気使用状況が一目でわかる機器（HEMS：ホームエネルギーマネジメントシステム）

◆「利用している」7.1%、「利用していないが今後利用したい」31.8%◆

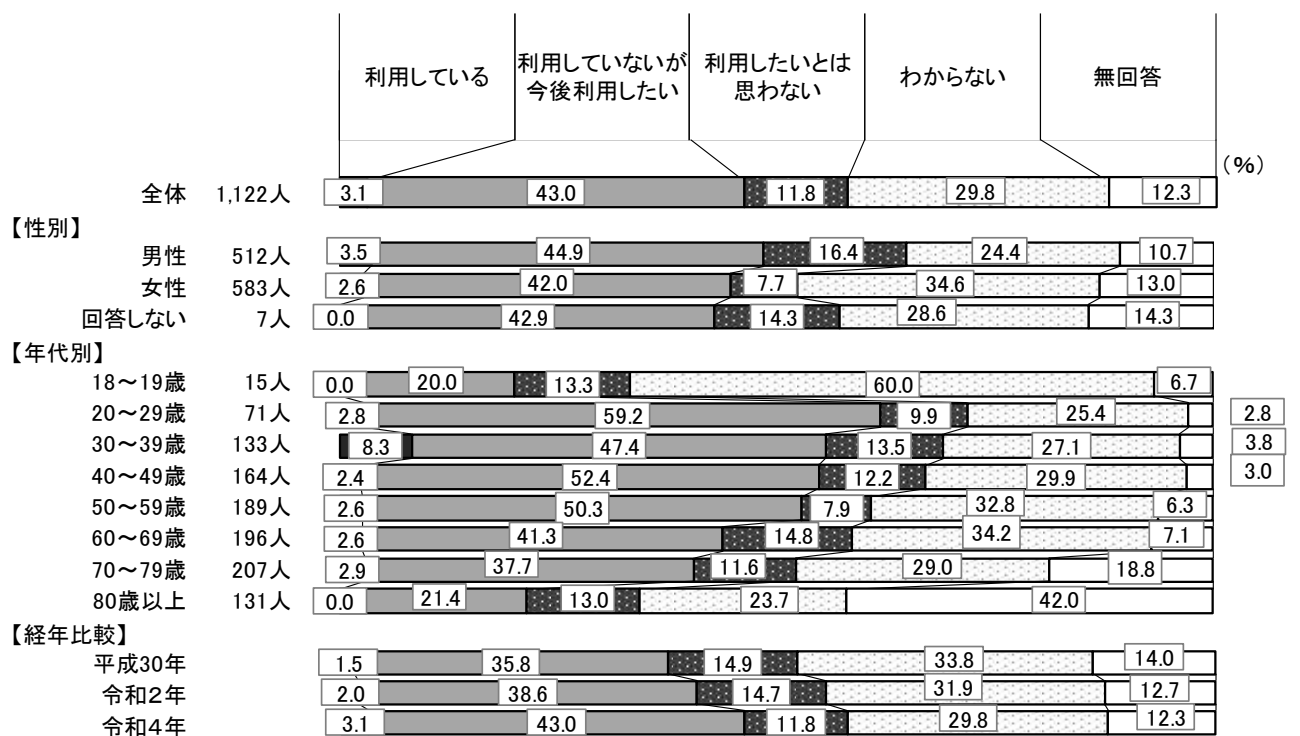
家庭の電気使用状況が一目でわかる機器（HEMS：ホームエネルギーマネジメントシステム）



家庭用蓄電池

◆「利用している」3.1%、「利用していないが今後利用したい」43.0%◆

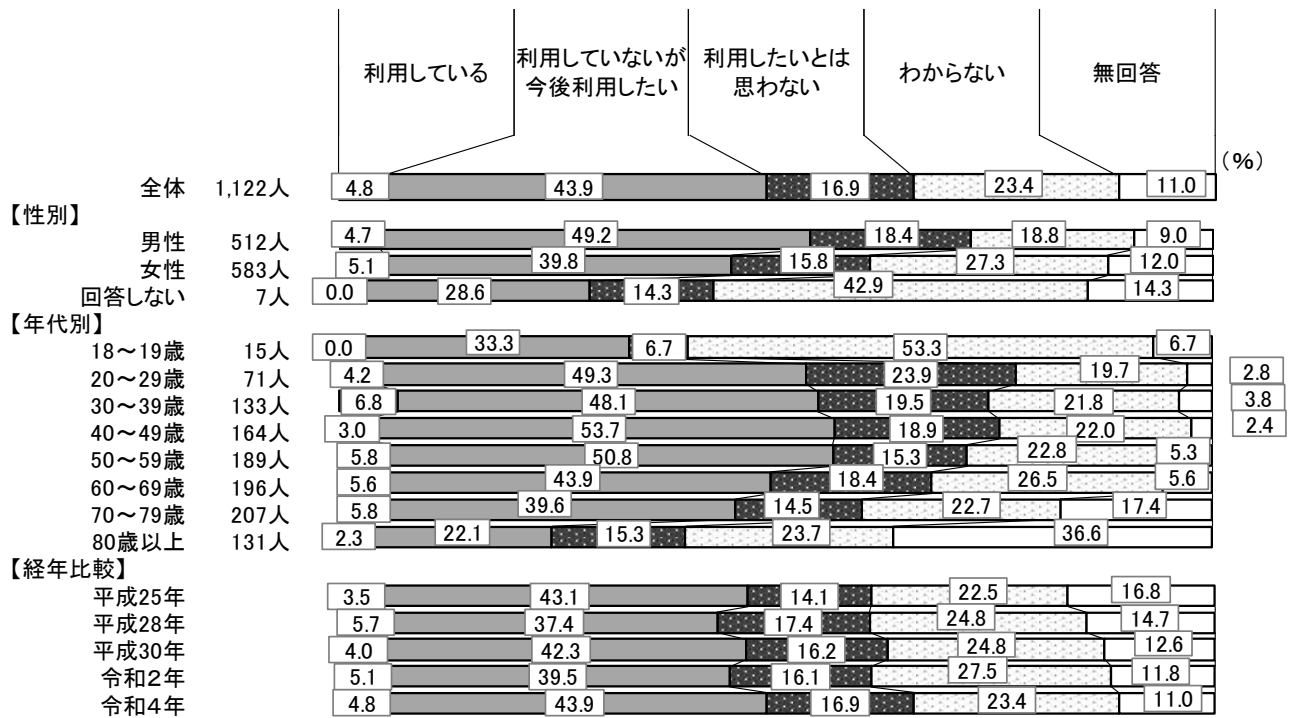
家庭用蓄電池



電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池（水素）自動車

◆「利用している」4.8%、「利用していないが今後利用したい」43.9%◆

電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池（水素）自動車



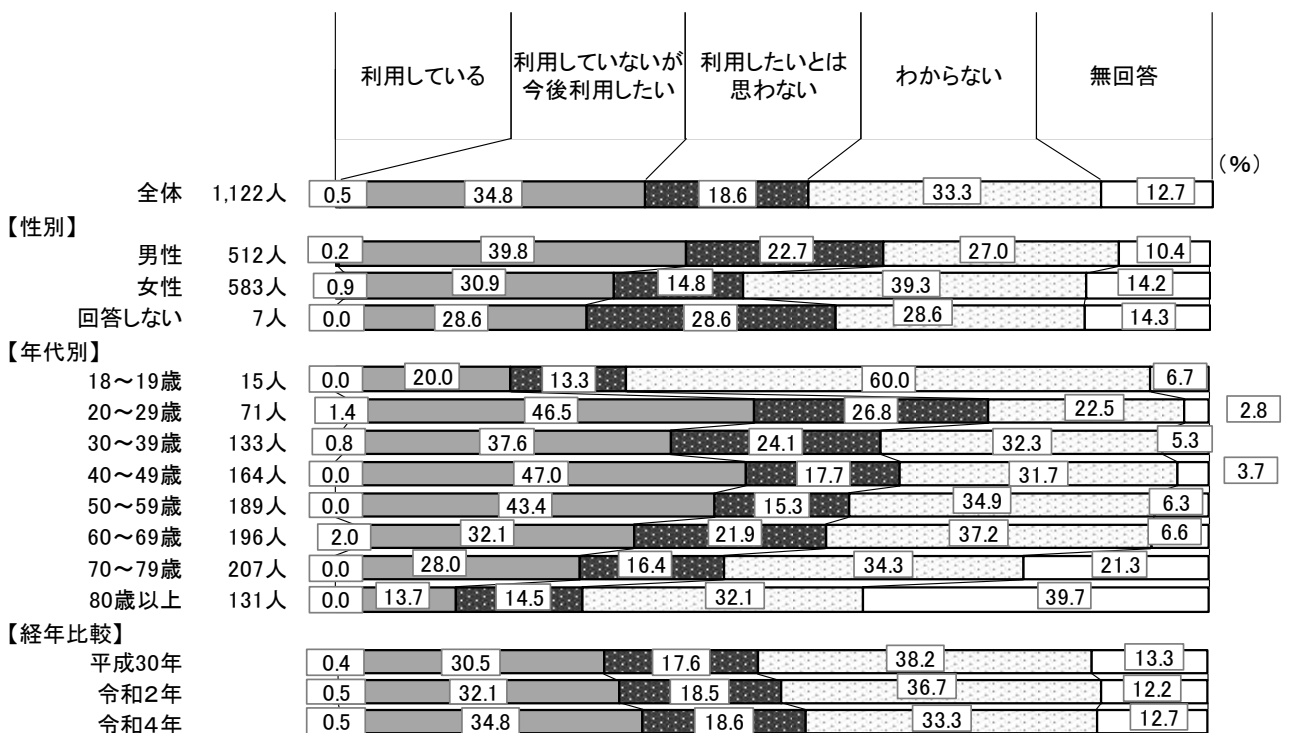
電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に蓄えた電気を家で使う機器

(V2H: ビークルトゥホーム)

◆「利用している」0.5%、「利用していないが今後利用したい」34.8%◆

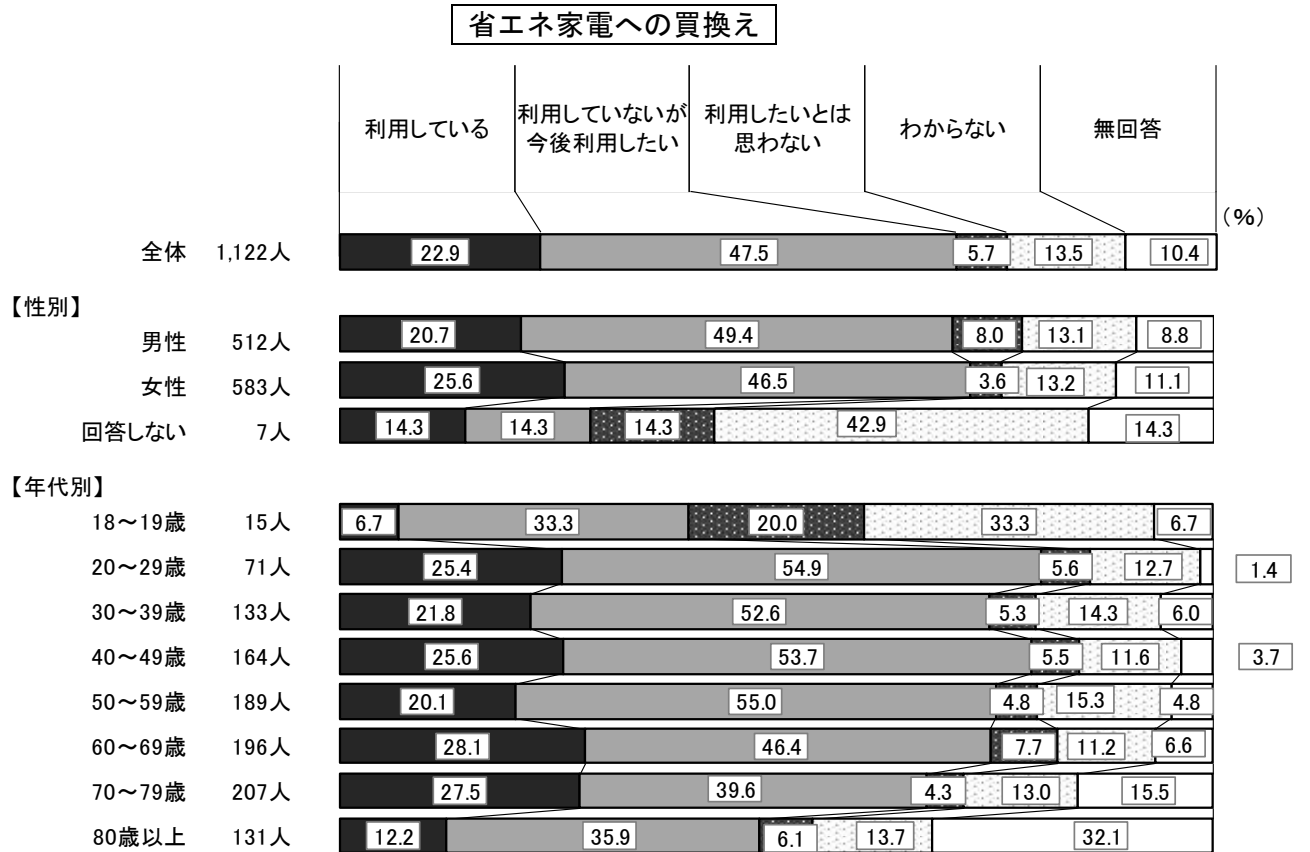
電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に蓄えた電気を家で使う機器

(V2H: ビークルトゥホーム)



省エネ家電への買換え

◆「利用している」22.9%、「利用していないが今後利用したい」47.5%◆

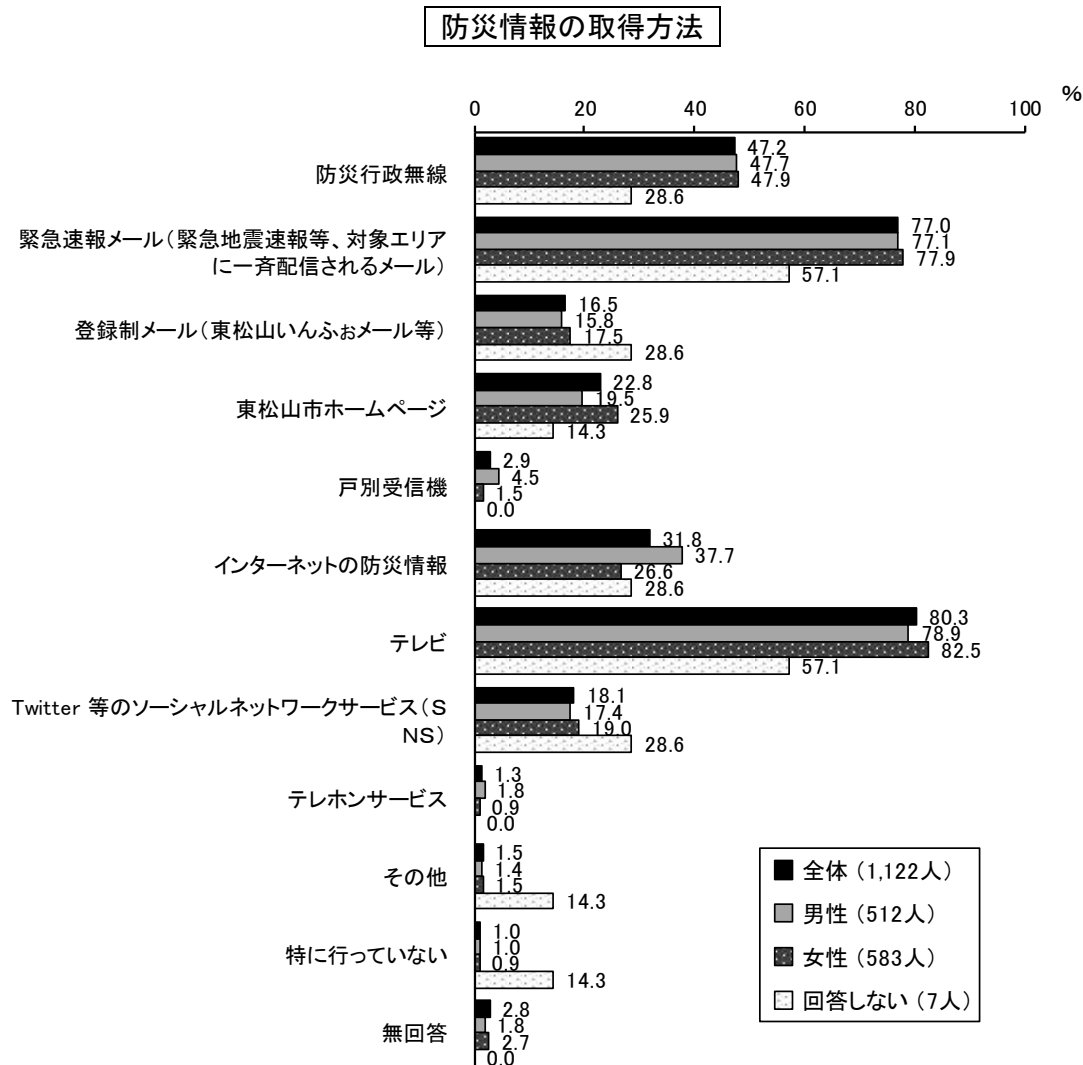


5 生活基盤の分野について

5-1 防災情報の取得方法

◆「テレビ」80.3%、「緊急速報メール」77.0%◆

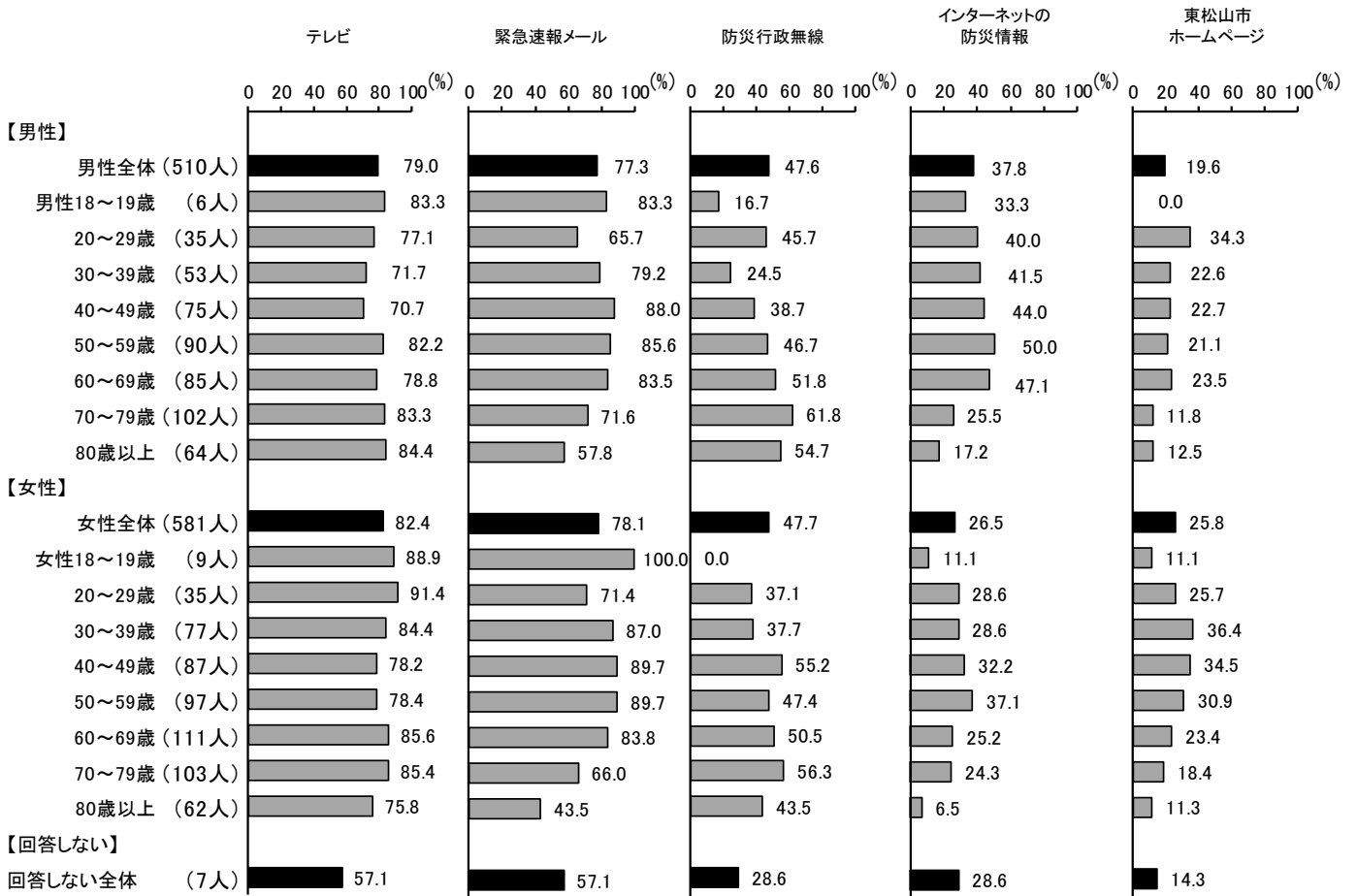
問 12. あなたは、災害時の防災情報（避難情報）をどのように取得していますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。



全体では「テレビ」の割合が80.3%と最も高く、次いで「緊急速報メール（緊急地震速報等、対象エリアに一斉配信されるメール）」の割合が77.0%、「防災行政無線」の割合が47.2%となっています。

性別でみると「東松山市ホームページ」は女性（25.9%）が男性（19.5%）を6.4ポイント、「テレビ」は女性（82.5%）が男性（78.9%）を3.6ポイント上回っています。一方、「インターネットの防災情報」は男性（37.7%）が女性（26.6%）を11.1ポイント上回っています。

防災情報の取得方法（上位5位 性・年代別）



性・年代別で見ると「テレビ」は男性・女性ともにほとんどの年代で7～8割台となっていますが、女性の20～29歳では91.4%となっています。

「緊急速報メール」は男性の40～49歳で88.0%、女性の18～19歳で100.0%と最も高くなっています。一方、男性・女性ともに80歳以上でそれぞれ57.8%、43.5%と低くなっています。

「防災行政無線」は男性・女性ともに70～79歳でそれぞれ61.8%、56.3%と最も高くなっています。一方、男性・女性ともに18～19歳でそれぞれ16.7%、0%と低くなっています。

「インターネットの防災情報」は男性・女性ともに80歳以上で低く、男性が17.2%、女性が6.5%となっています。

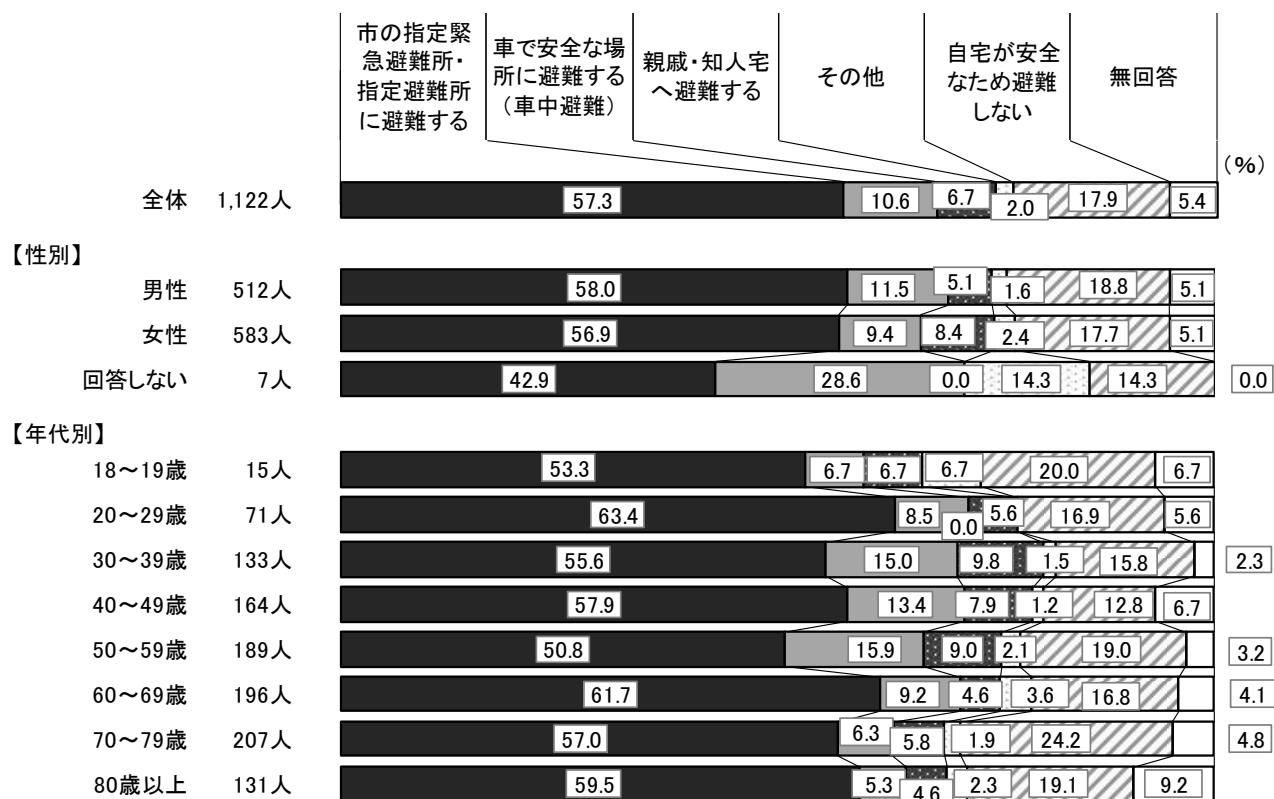
「東松山市ホームページ」は男性では20～29歳で34.3%、女性では30～39歳で36.4%と最も高くなっています。

5-2 避難行動を求められたら主に行うこと

◆「市の指定緊急避難所・指定避難所に避難する」57.3%、「自宅が安全なため避難しない」17.9%◆

問 13. あなたは、避難行動を求められたら主にどのように避難を行いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

避難行動を求められたら行うこと



全体では「市の指定緊急避難所・指定避難所に避難する」の割合が57.3%と最も高く、次いで「自宅が安全なため避難しない」の割合が17.9%、「車で安全な場所に避難する（車中避難）」の割合が10.6%となっています。

性別でみると「市の指定避難所（一時避難場所・避難所）に避難する」で男性（58.0%）が女性（56.9%）を1.1ポイント上回っています。

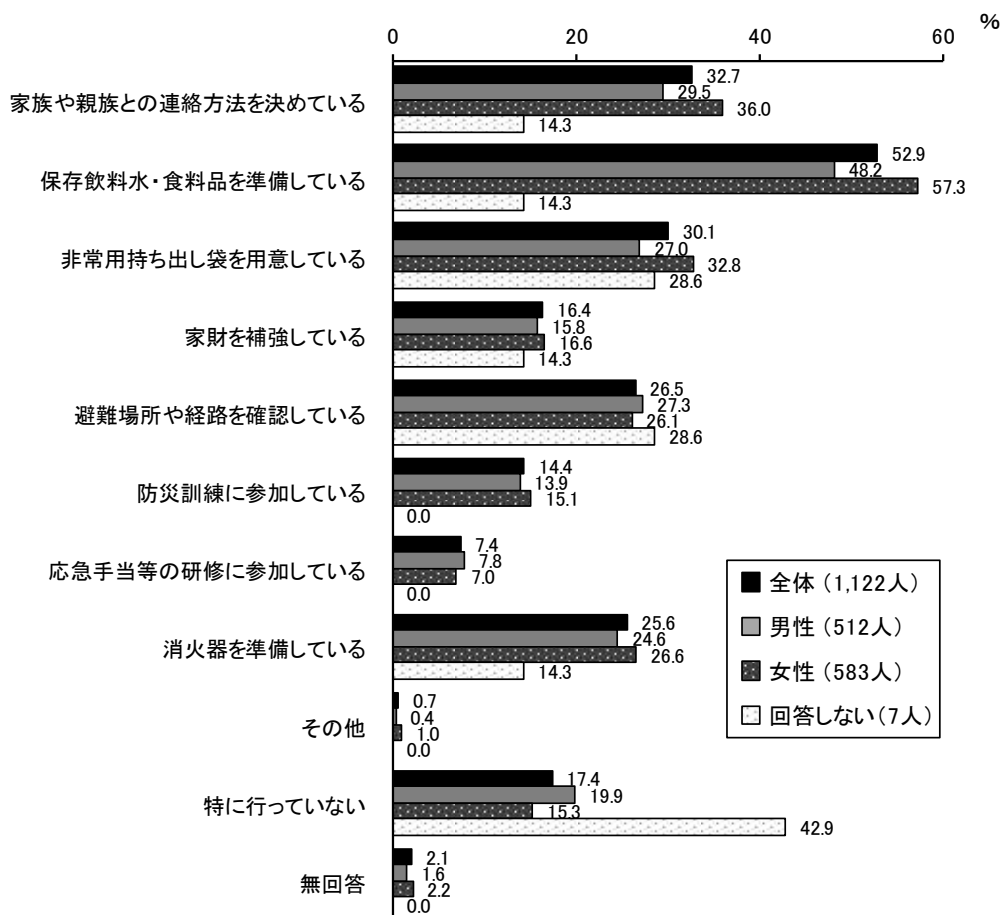
年代別でみると「市の指定緊急避難所・指定避難所に避難する」は20～29歳、60～69歳でそれぞれ63.4%、61.7%と他の年代に比べ高くなっています。

5-3 災害に備えて行っていること

◆「保存飲料水・食料品を準備している」52.9%、「家族や親族との連絡方法を決めている」32.7%◆

問 14. あなたは、日頃から災害に備え、どのようなことを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

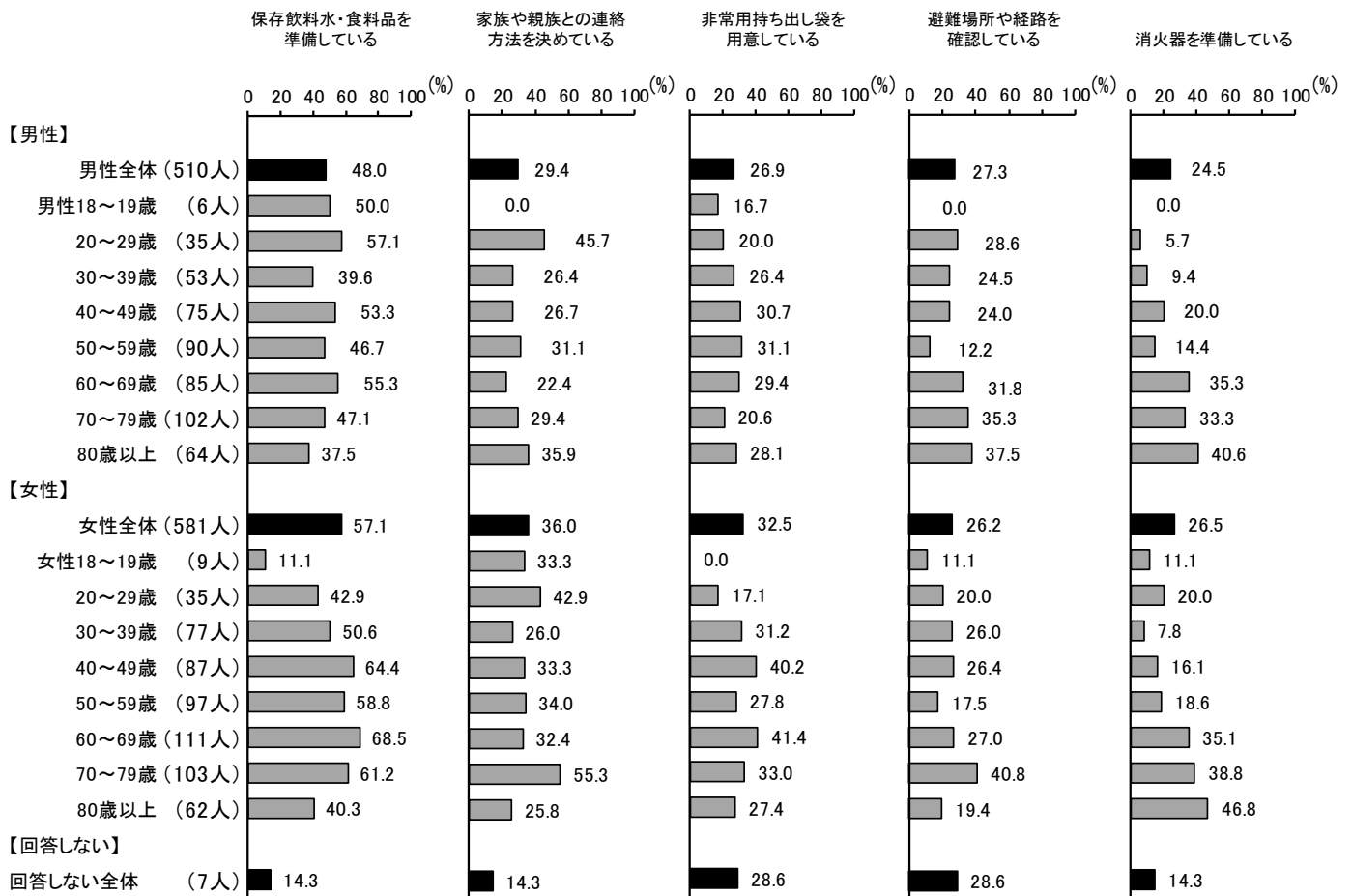
災害に備えて行っていること（全体・性別）



全体では「保存飲料水・食料品を準備している」の割合が52.9%と最も高く、次いで「家族や親族との連絡方法を決めている」の割合が32.7%、「非常用持ち出し袋を用意している」の割合が30.1%となっています。

性別で見ると「保存飲料水・食料品を準備している」で女性(57.3%)が男性(48.2%)を9.1ポイント上回っています。一方、「避難場所や経路を確認している」で男性(27.3%)が女性(26.1%)を1.2ポイント上回っています。

災害に備えて行っていること（上位5位 性・年代別）



性・年代別でみると「保存飲料水・食料品を準備している」は女性の40~49歳、60~69歳、70~79歳で6割以上と高くなっています。

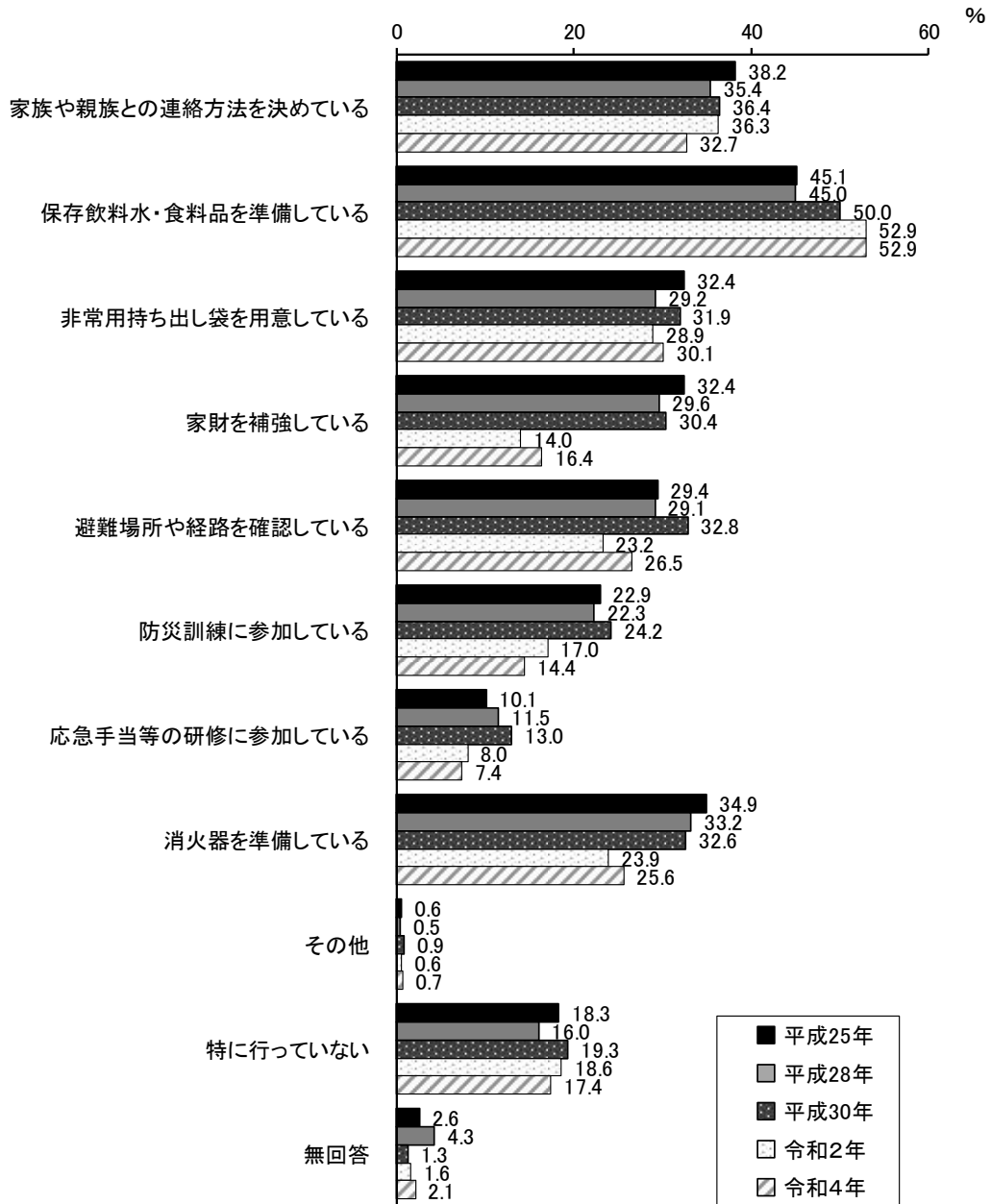
「家族や親族との連絡方法を決めている」は男性の20~29歳、女性の20~29歳、70~79歳で4割~5割半ばと高くなっています。

「非常用持ち出し袋を用意している」は女性で40~49歳、60~69歳が4割以上となっています。

「避難場所や経路を確認している」は男性の70~79歳、男性の80歳以上、女性の70~79歳代が3割台半ば~4割と高くなっています。

「消火器を準備している」は男性・女性ともに60~69歳以上で3割以上と高くなっています。

災害に備えて行っていること（経年比較）



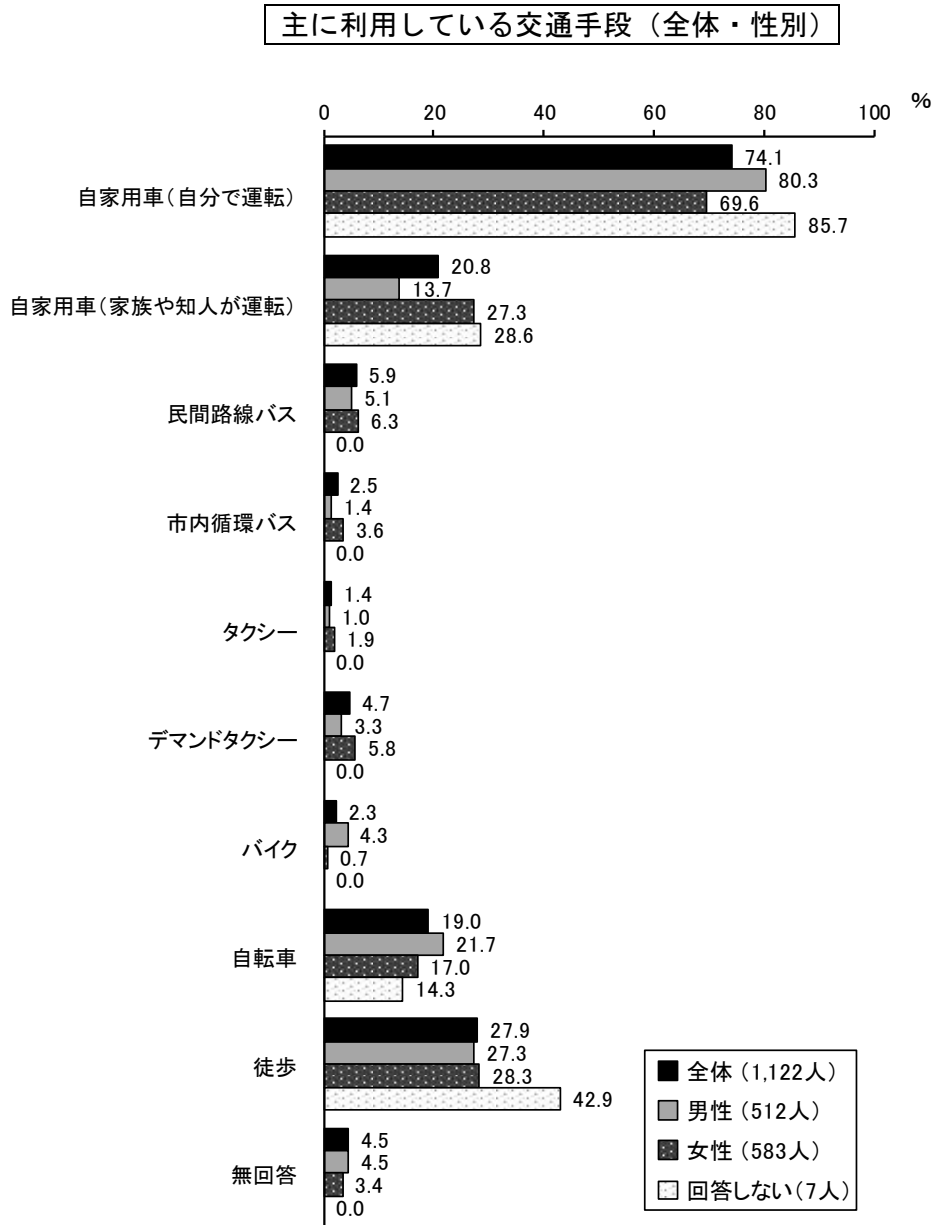
令和2年度調査と比較すると「避難場所や経路を確保している」が3.3ポイント増加している。一方、「家族や親族との連絡方法を決めている」が3.6ポイント減少しています。

平成25年度調査以降、「保存飲料水・食料品を準備している」が増加傾向にあります。

5-4 主に利用している交通手段

◆「自家用車（自分で運転）」74.1%、「徒歩」27.9%、「自家用車（家族や知人が運転）」20.8%◆

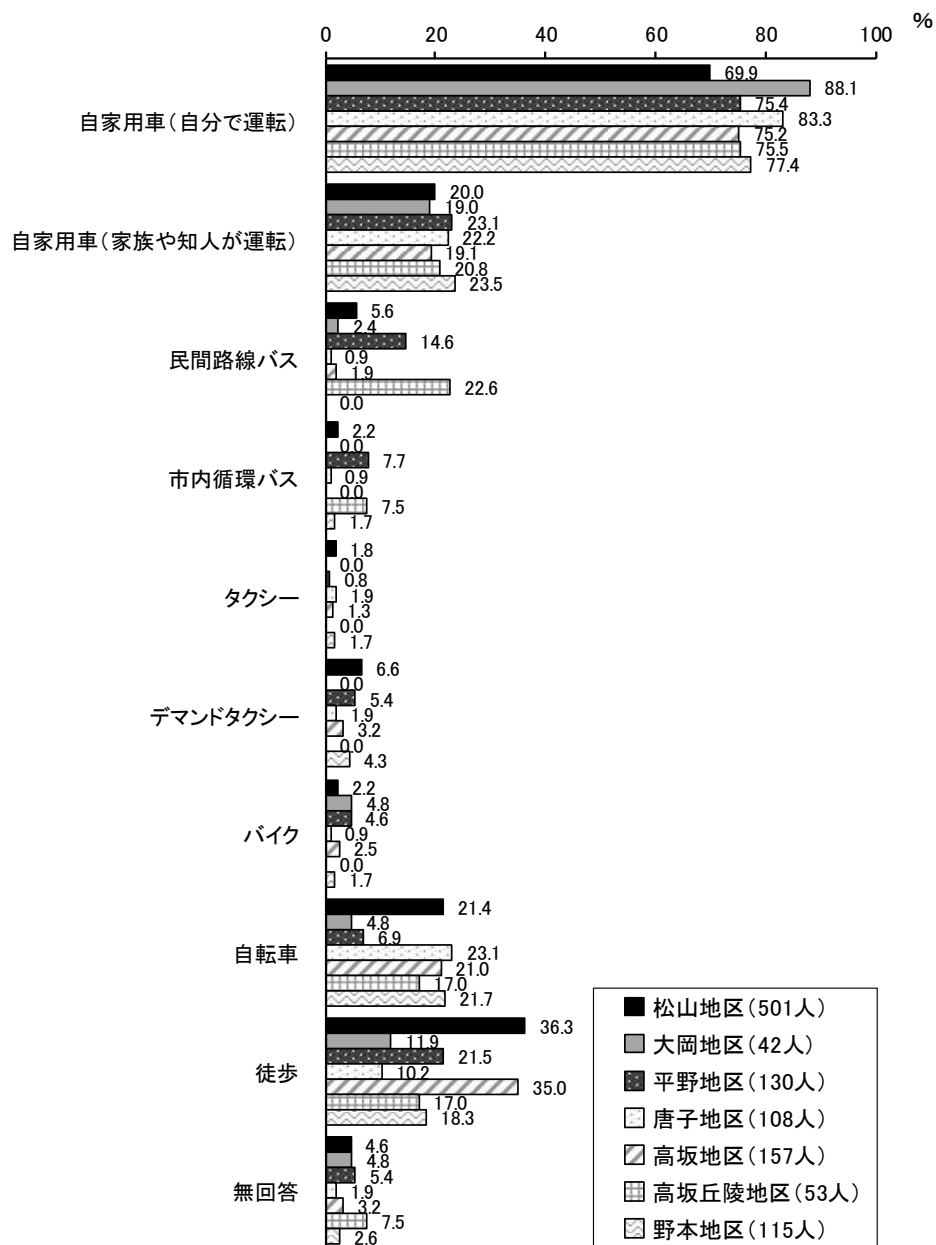
問 15. あなたが、日常生活の中で、主に利用している交通手段は何ですか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。



全体では「自家用車（自分で運転）」の割合が74.1%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が27.9%、「自家用車（家族や知人が運転）」の割合が20.8%となっています。

性別で見ると「自家用車（自分で運転）」は男性（80.3%）が女性（69.6%）を10.7ポイント、「自転車」は男性（21.7%）が女性（17.0%）を4.7ポイント上回っています。一方、「自家用車（家族や知人が運転）」は女性（27.3%）が男性（13.7%）を13.6ポイント上回っています。

主に利用している交通手段（地区別）



地区別でみると、全ての地区で「自家用車（自分で運転）」が最も高くなっています。特に、大岡地区で88.1%と最も高くなっています。

「徒歩」は、松山地区で36.3%、高坂地区で35.0%と高くなっています。

「自転車」は松山地区で21.4%、唐子地区で23.1%、高坂地区で21.0%、野本地区で21.7%と高くなっています。

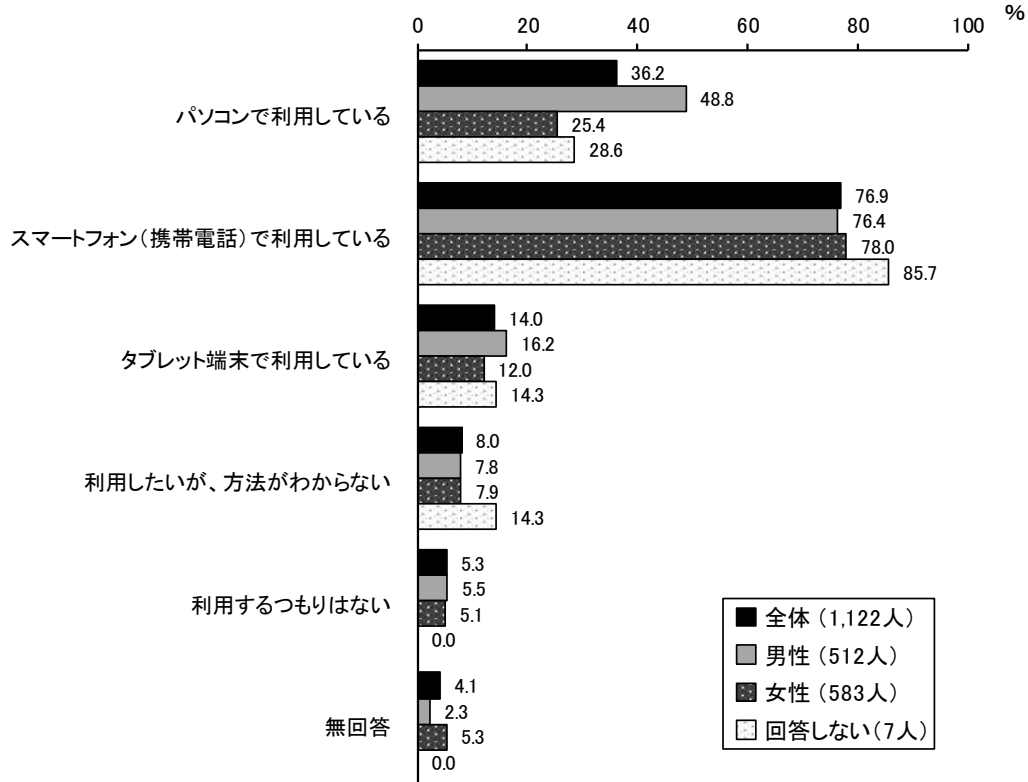
「民間路線バス」は高坂丘陵地区で22.6%、平野地区で14.6%と高くなっています。

5-5 インターネットの利用状況

◆「スマートフォン（携帯電話）で利用している」76.9%◆

問 16. あなたは、ホームページを見たり、インターネットを利用したりしていますか。
あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

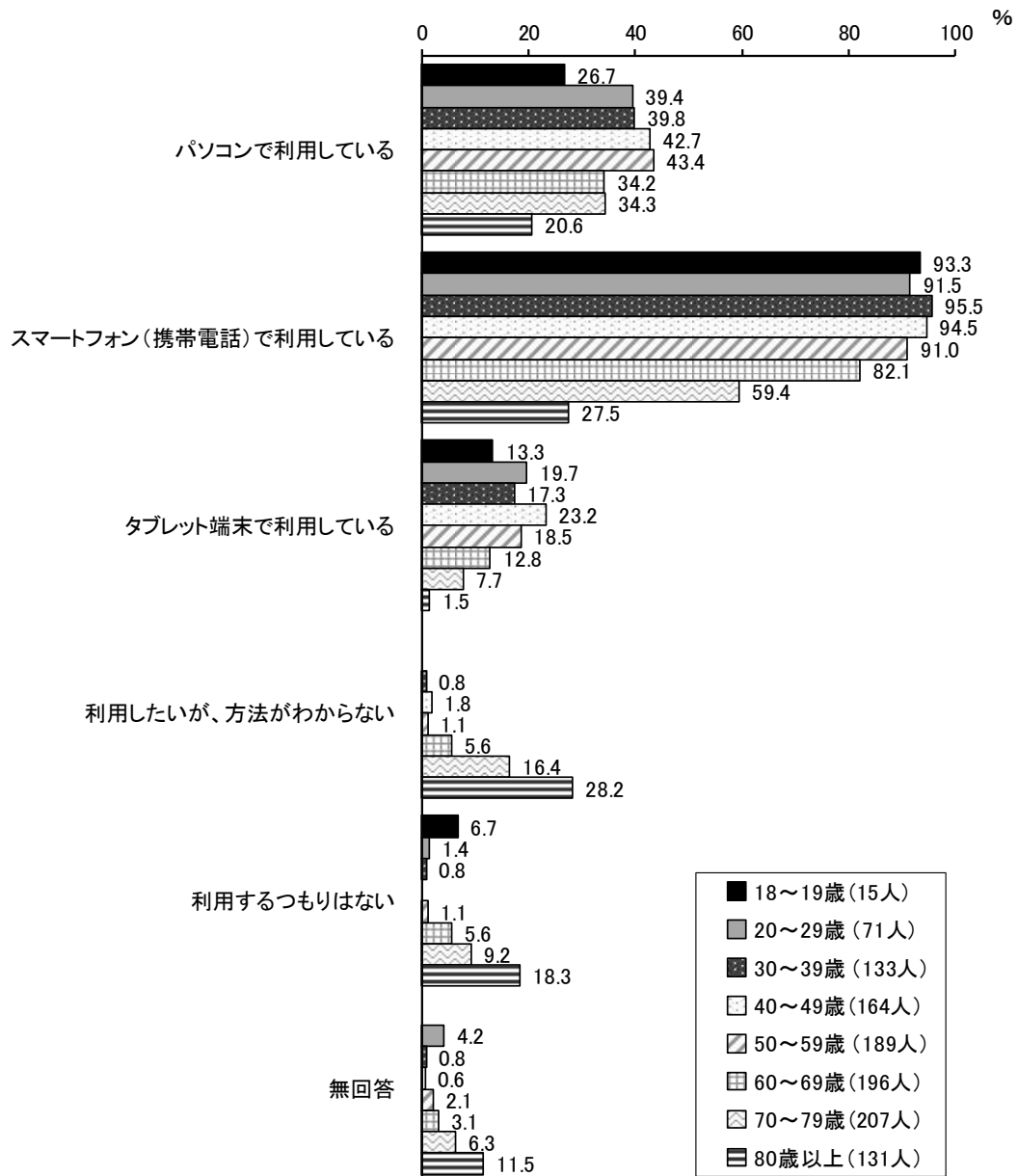
インターネットの利用状況（全体・性別）



全体では「スマートフォン（携帯電話）で利用している」の割合が76.9%と最も高く、次いで「パソコンで利用している」の割合が36.2%、「タブレット端末で利用している」の割合が14.0%となっています。

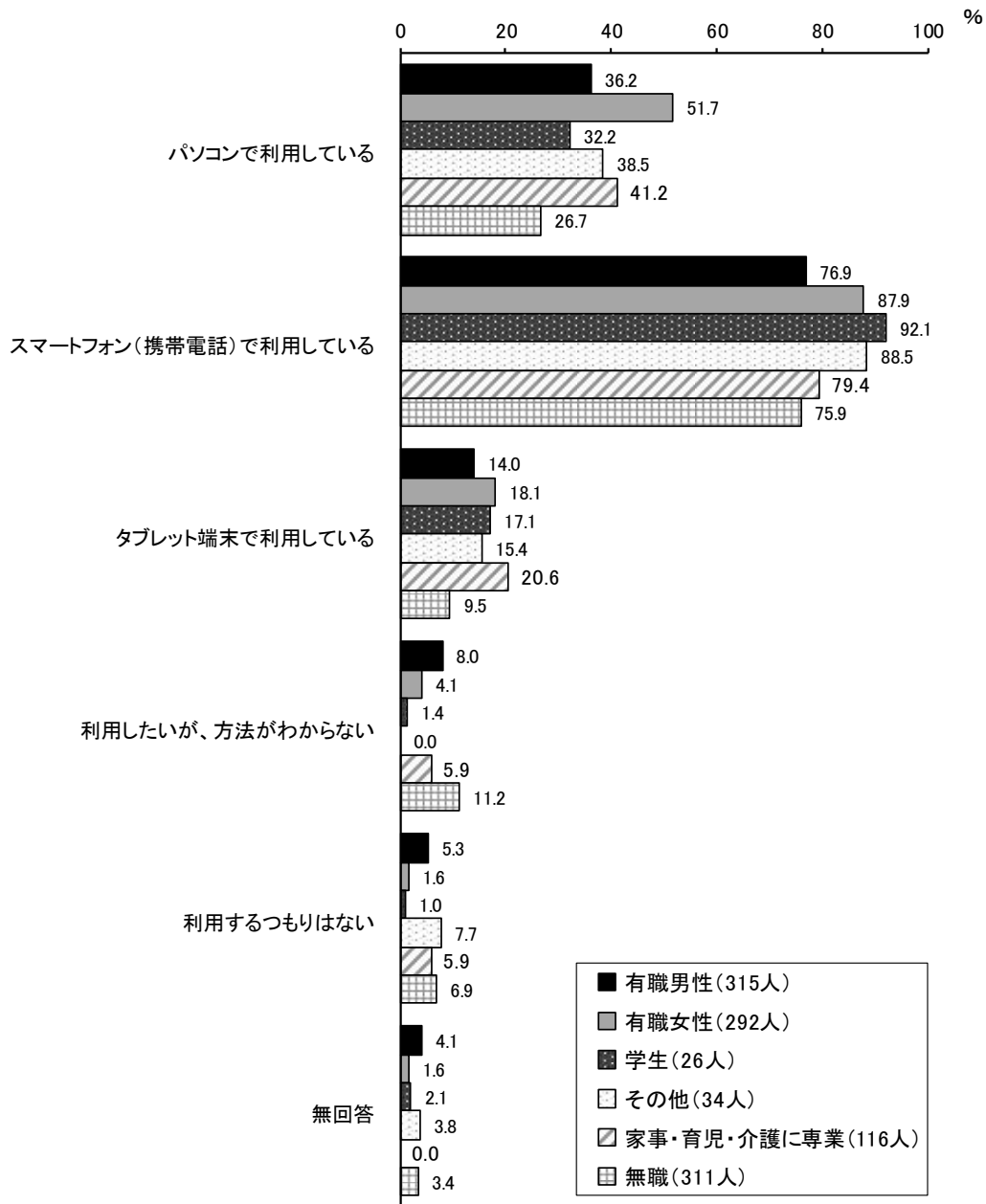
性別で見ると「パソコンで利用している」で男性（48.8%）が女性（25.4%）を23.4ポイントと大きく上回っています。また「タブレット端末で利用している」でも男性（16.2%）が女性（12.0%）を4.2ポイント上回っています。

インターネットの利用状況（年代別）



年代別でみると「パソコンで利用している」は40～49歳、50～59歳で4割を超え、他の年代に比べやや高くなっています。「スマートフォン（携帯電話）で利用している」は18～19歳から50～59歳代までで9割以上を占め高くなっています。また「タブレット端末で利用している」は40～49歳で23.2%と他の年代に比べ高くなっています。「利用したいが、方法がわからない」「利用するつもりはない」はそれぞれ80歳以上で最も高くなっています。

インターネットの利用状況（職業別）



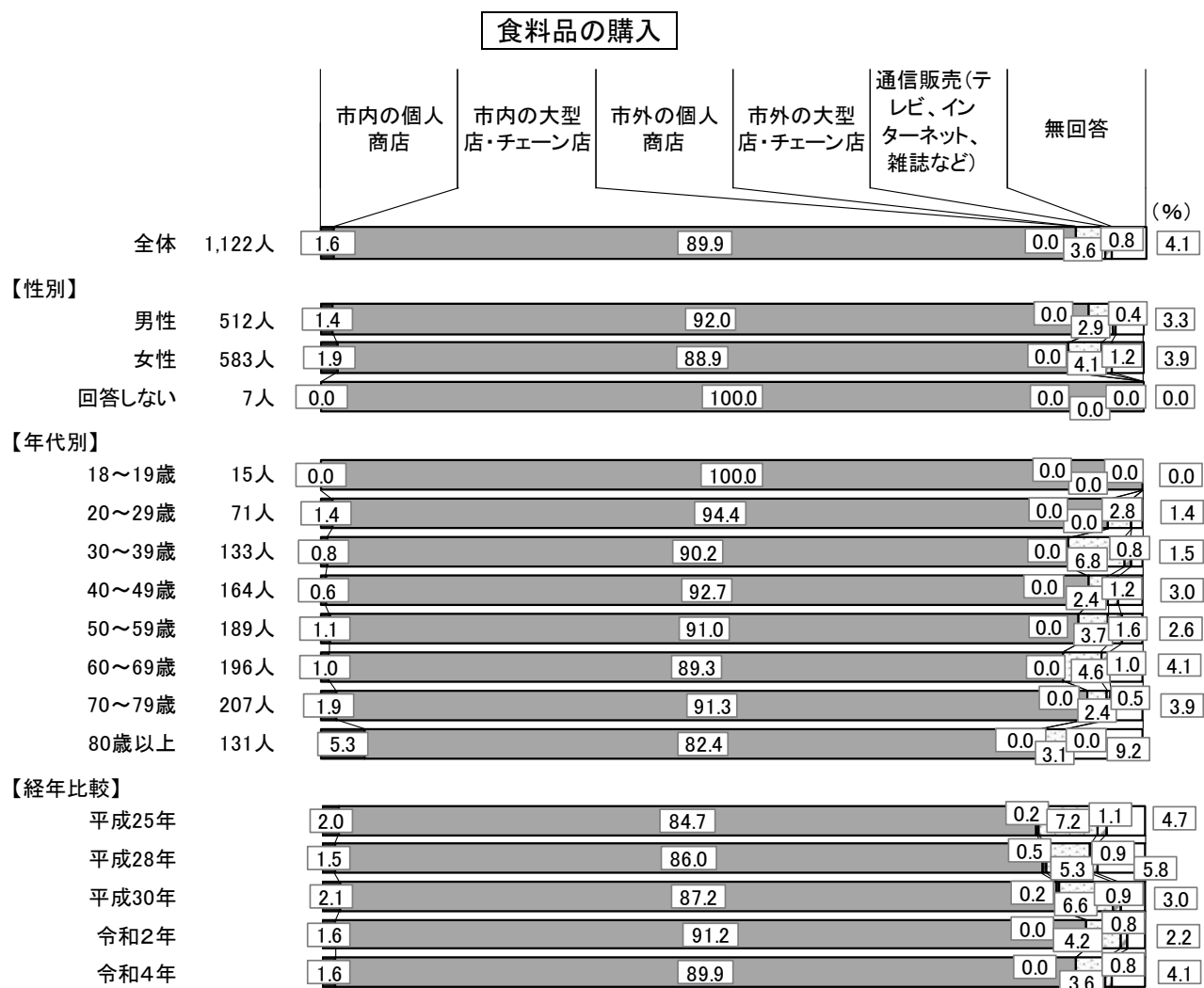
職業別でみると「パソコンで利用している」は、有職女性で 51.7%と最も高くなっています。「スマートフォン（携帯電話）で利用している」は学生で 92.1%と最も高く、有職女性も 87.9%と高くなっています。

6 商業の活性化について

6-1 商品の購入状況

◆「市内の大型店・チェーン店」での購入は、食料品 89.9%、衣服・服飾品 63.0%、家具・家電 70.9%◆

問 17. あなたは、次の商品を主にどの商店で購入していますか。次について、それぞれ 1つ選び、番号を○で囲んでください。

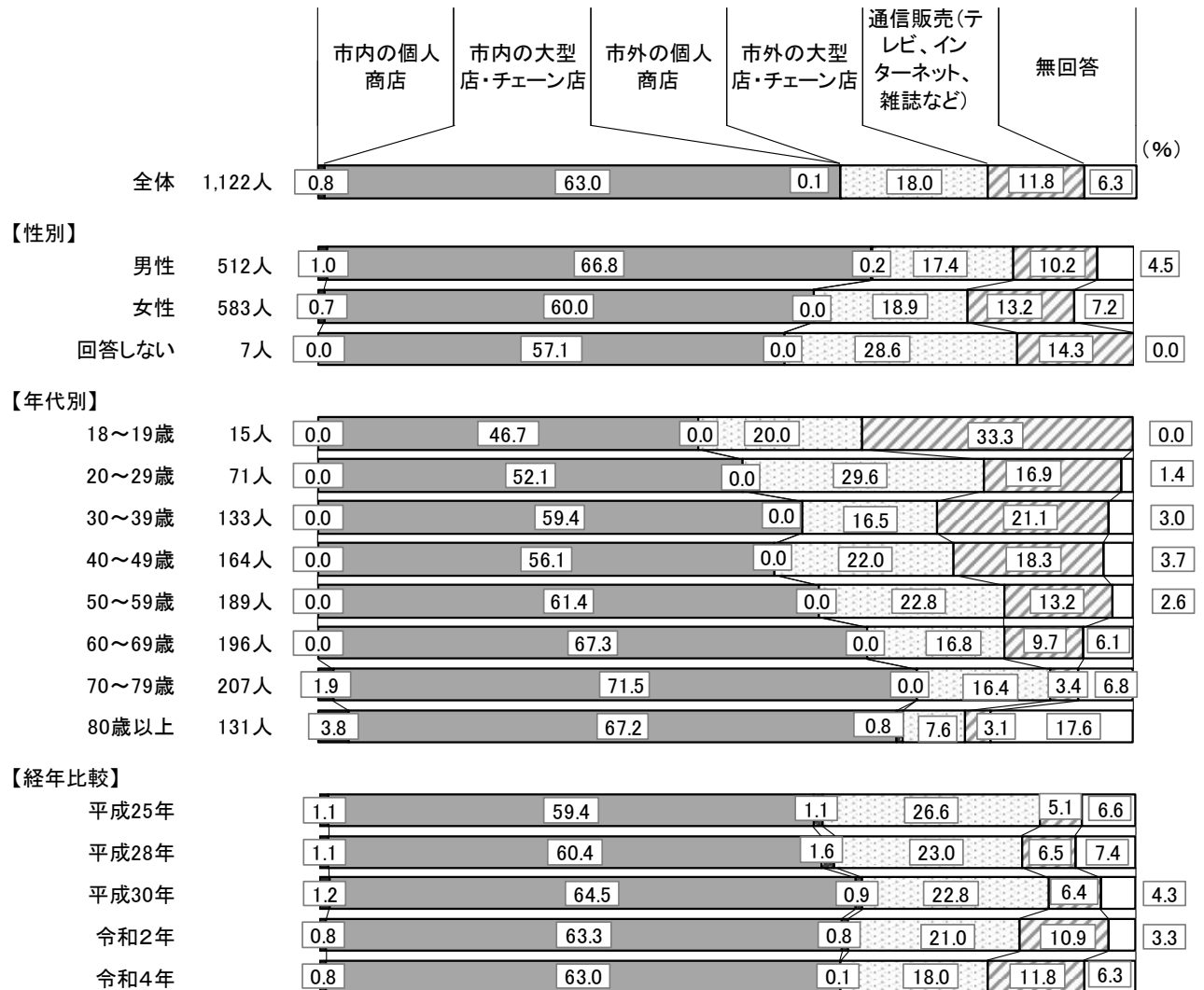


全体では「市内の大型店・チェーン店」の割合が 89.9%と最も高くなっています。

年代別で見ると「市内の大型店・チェーン店」は 80 歳以上を除く全ての年代で約 9 割以上となっており、特に 18～19 歳では 100.0%と高くなっています。

平成 25 年度調査以降「市内の大型店・チェーン店」は増加傾向にありましたが、令和 4 年度調査では、初めて減少となりました。

衣服・服飾品の購入



全体では「市内の大型店・チェーン店」の割合が63.0%と最も高く、次いで「市外の大型店・チェーン店」の割合が18.0%、「通信販売(テレビ、インターネット、雑誌など)」の割合が11.8%となっています。

性別でみると「通信販売(テレビ、インターネット、雑誌など)」は、女性(13.2%)が男性(10.2%)を3.0ポイント上回っています。

年代別でみると「市内の大型店・チェーン店」は年齢が高くなるほど割合がおおむね高くなる傾向にあり、70～79歳では71.5%と最も高くなっています。一方、20～29歳では「市外の大型店・チェーン店」が29.6%となっています。また「通信販売(テレビ、インターネット、雑誌など)」は18～19歳で33.3%と他の年代に比べ、高くなっています。

令和2年度調査と比較すると「通信販売(テレビ、インターネット、雑誌など)」が0.9ポイント増加しています。

家具・家電の購入



全体では「市内の大型店・チェーン店」の割合が70.9%と最も高く、次いで「市外の大型店・チェーン店」の割合が11.9%となっています。

性別で見ると「市外の大型店・チェーン店」は男性（13.5%）が女性（10.8%）を2.7ポイント上回っています。

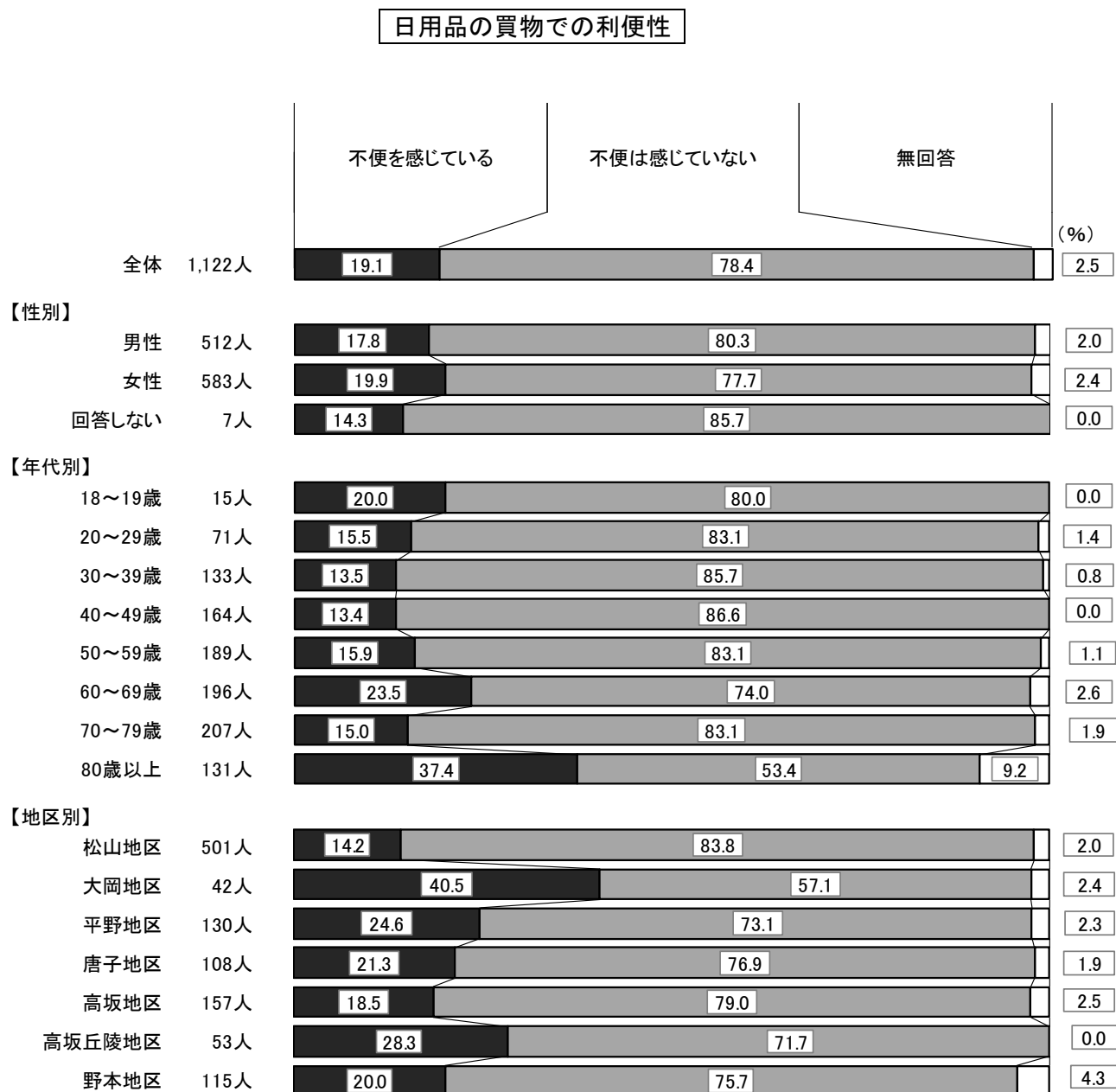
年代別で見ると「市内の大型店・チェーン店」は40～49歳から70～79歳までで7割以上と高くなっています。また「通信販売（テレビ、インターネット、雑誌など）」は20～29歳（15.5%）、30～39歳（15.8%）で他の年代に比べ高くなっています。

令和2年度調査と比較すると「市外の大型店・チェーン店」が3.9ポイント減少しています。

6-2 日用品の買物での利便性

◆「不便を感じている」19.1%、「不便は感じていない」78.4%◆

問 18. あなたは、食料品などの日用品の買い物で不便を感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「不便を感じている」の割合が19.1%、「不便は感じていない」の割合が78.4%で「不便を感じていない」が大半を占めています。

年代別でみると「不便を感じている」は80歳以上で37.4%と最も高くなっています。

地区別でみると「不便を感じている」は大岡地区で40.5%と最も高くなっています。

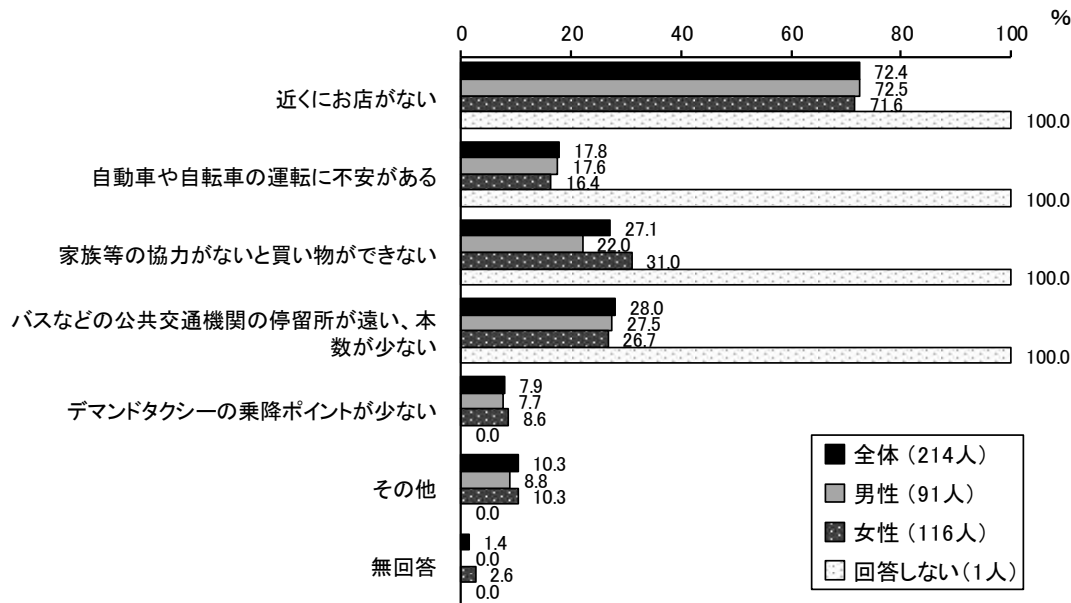
6-3 買物で不便を感じる理由

◆「近くにお店がない」72.4%◆

(問18で「不便を感じている」とお答えの方におたずねします。)

問18-1. どのようなことで不便を感じていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

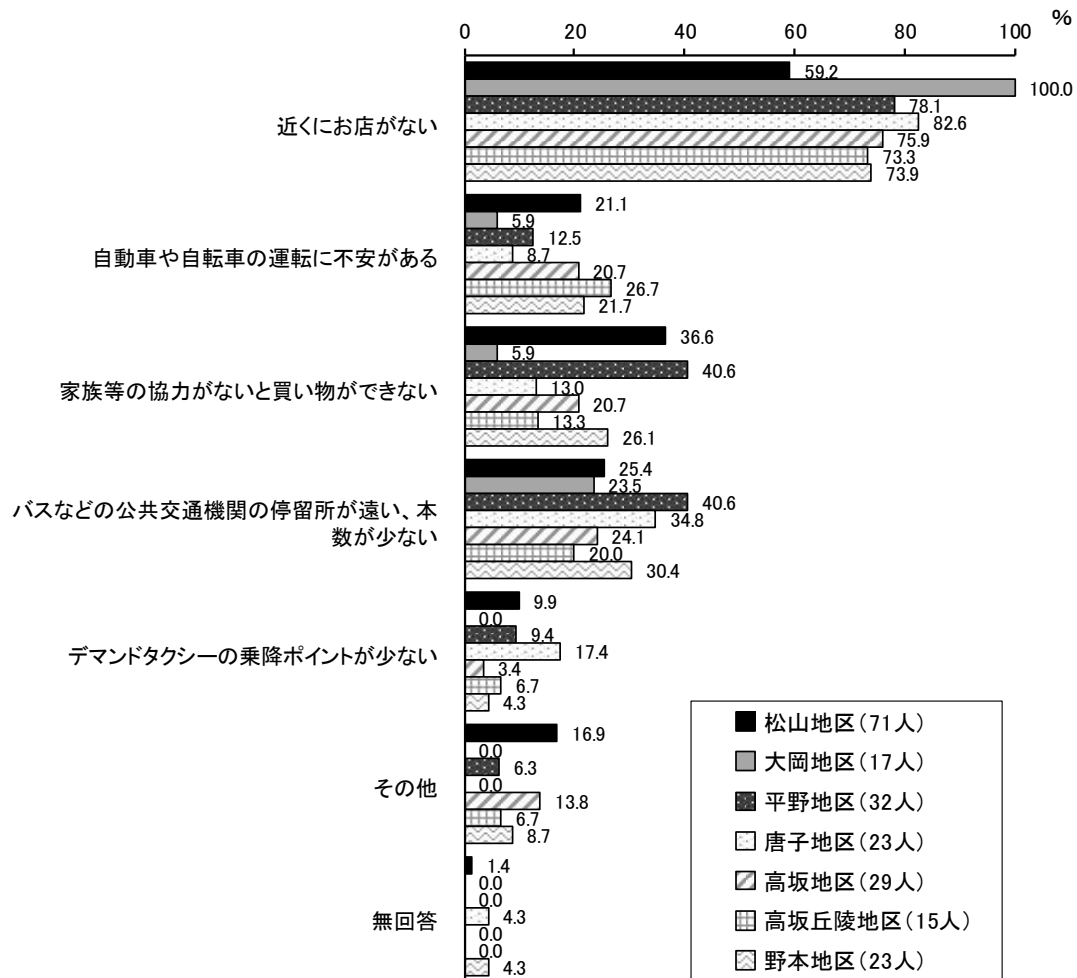
買物で不便を感じる理由（全体・性別）



全体では「近くにお店がない」の割合が72.4%と最も高く、次いで「バスなどの公共交通機関の停留所が遠い、本数が少ない」の割合が28.0%、「家族等の協力がないと買い物ができない」の割合が27.1%となっています。

性別でみると「近くにお店がない」で男性(72.5%)が女性(71.6%)を0.9ポイント上回り、「家族等の協力がないと買い物ができない」で女性(31.0%)が男性(22.0%)を9.0ポイント上回っています。

買物で不便を感じる理由（地区別）



地区別でみると「近くにお店がない」は、大岡地区で100.0%、唐子地区で82.6%と高くなっています。「自動車や自転車の運転に不安がある」は、高坂丘陵地区が26.7%、野本地区が21.7%と他の地区と比べ高くなっています。「家族等の協力がないと買い物ができない」は、平野地区が40.6%、松山地区が36.6%と他の地区に比べ高くなっています。「バスなどの公共交通機関の停留所が遠い、本数が少ない」は、平野地区が40.6%、唐子地区が34.8%と高くなっています。

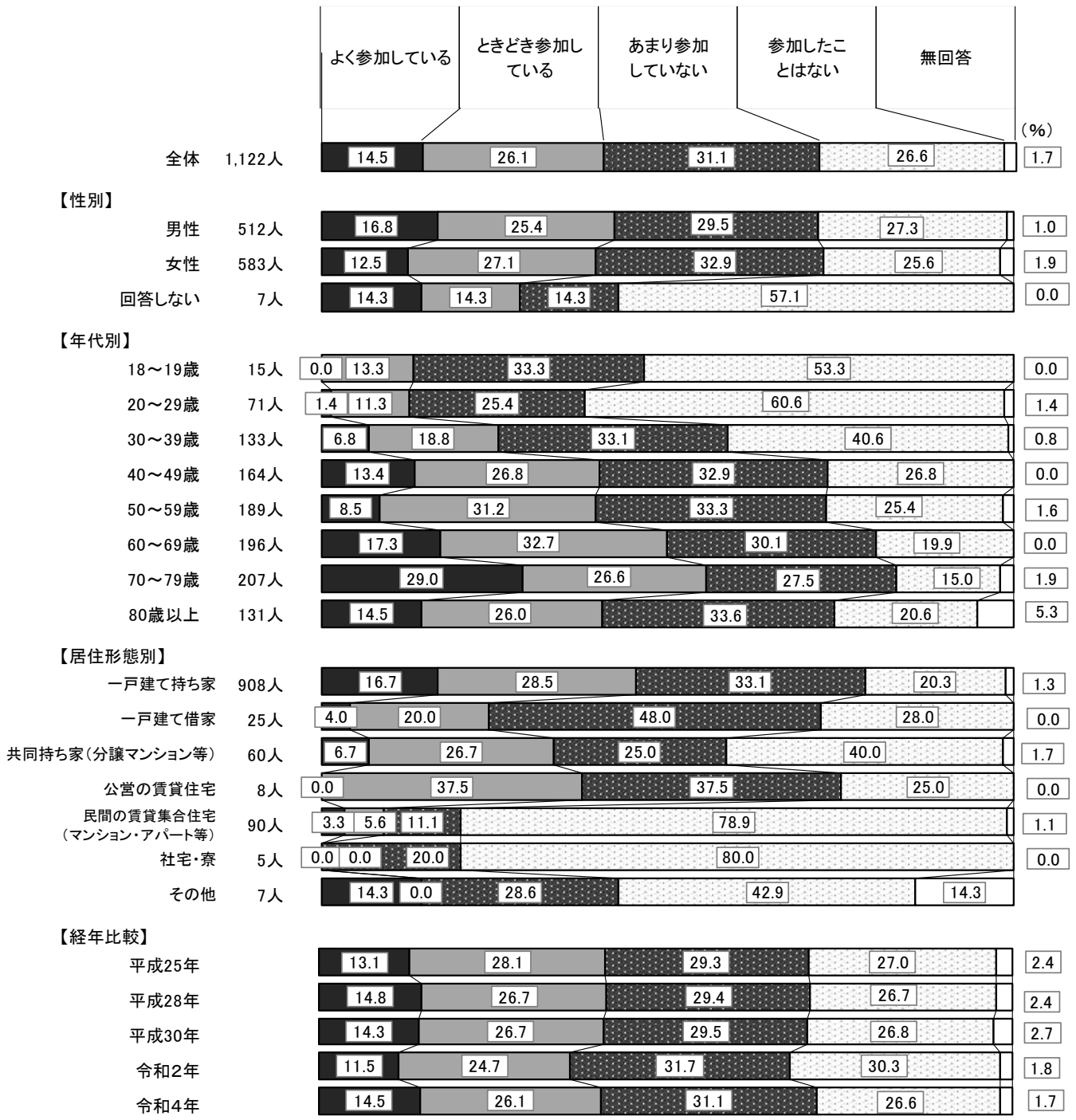
7 協働によるまちづくりについて

7-1 地域活動への参加状況

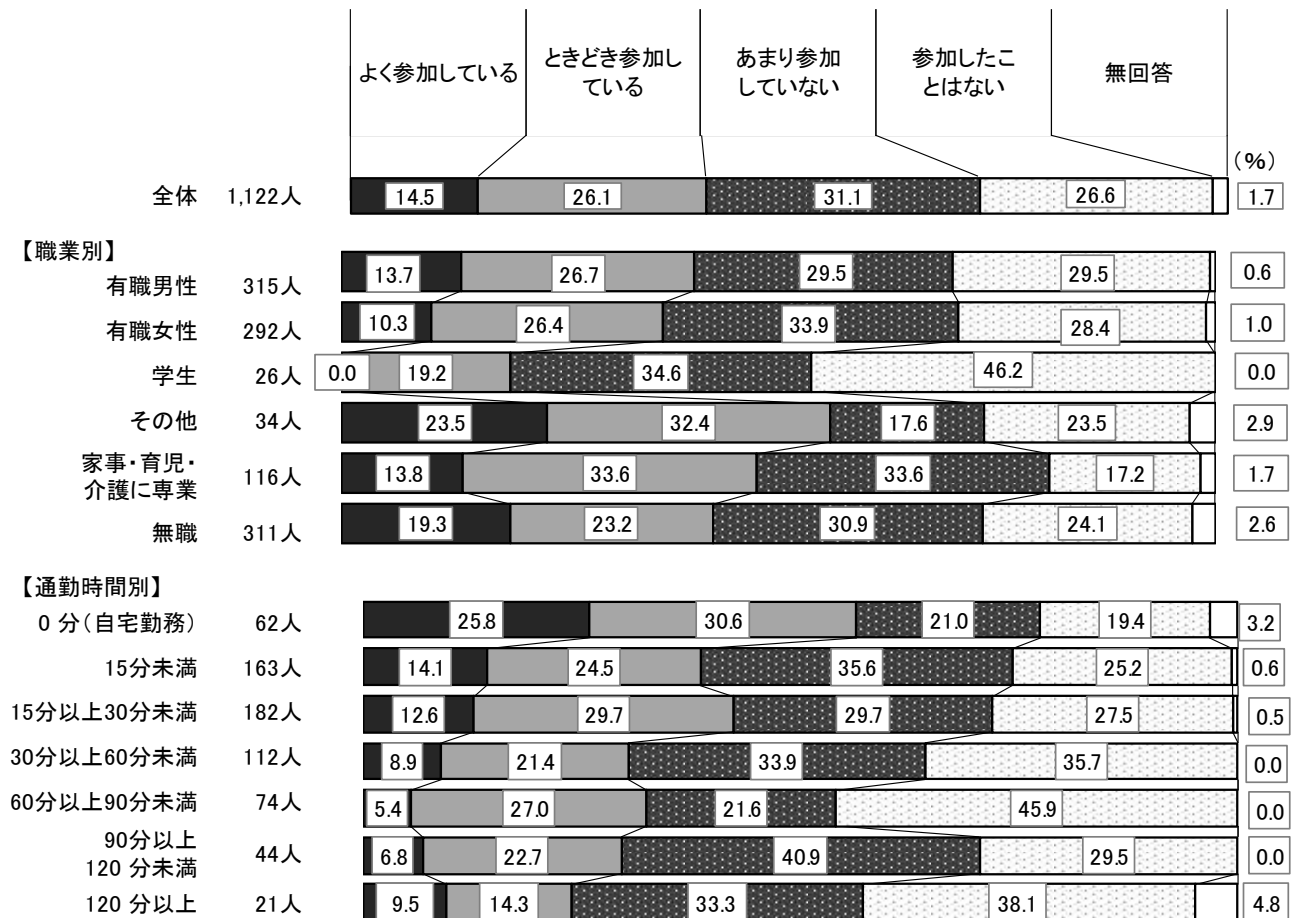
◆ “地域活動に参加している” 40.6% ◆

問 19. あなたは、現在、自治会活動や地域の行事などに参加していますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

地域活動への参加状況



地域活動への参加状況



全体では「よく参加している」と「ときどき参加している」をあわせた“地域活動に参加している”の割合が40.6%、「あまり参加していない」と「参加したことはない」をあわせた“地域活動に参加していない”割合が57.7%となっています。

性別でみると“地域活動に参加している”は男性(42.2%)が女性(39.6%)を2.6ポイント上回っています。

年代別でみると“地域活動に参加している”は年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、60歳代以降の年代で4割以上ですが、18～19歳、20～29歳では特に低くなっています。

居住形態別でみると“地域活動に参加している”は一戸建て持ち家で45.2%、公営の賃貸住宅で37.5%と高くなっていますが、民間の賃貸集合住宅では8.9%と低くなっています。

職業別でみると“地域活動に参加していない”は学生で80.8%と最も高くなっています。

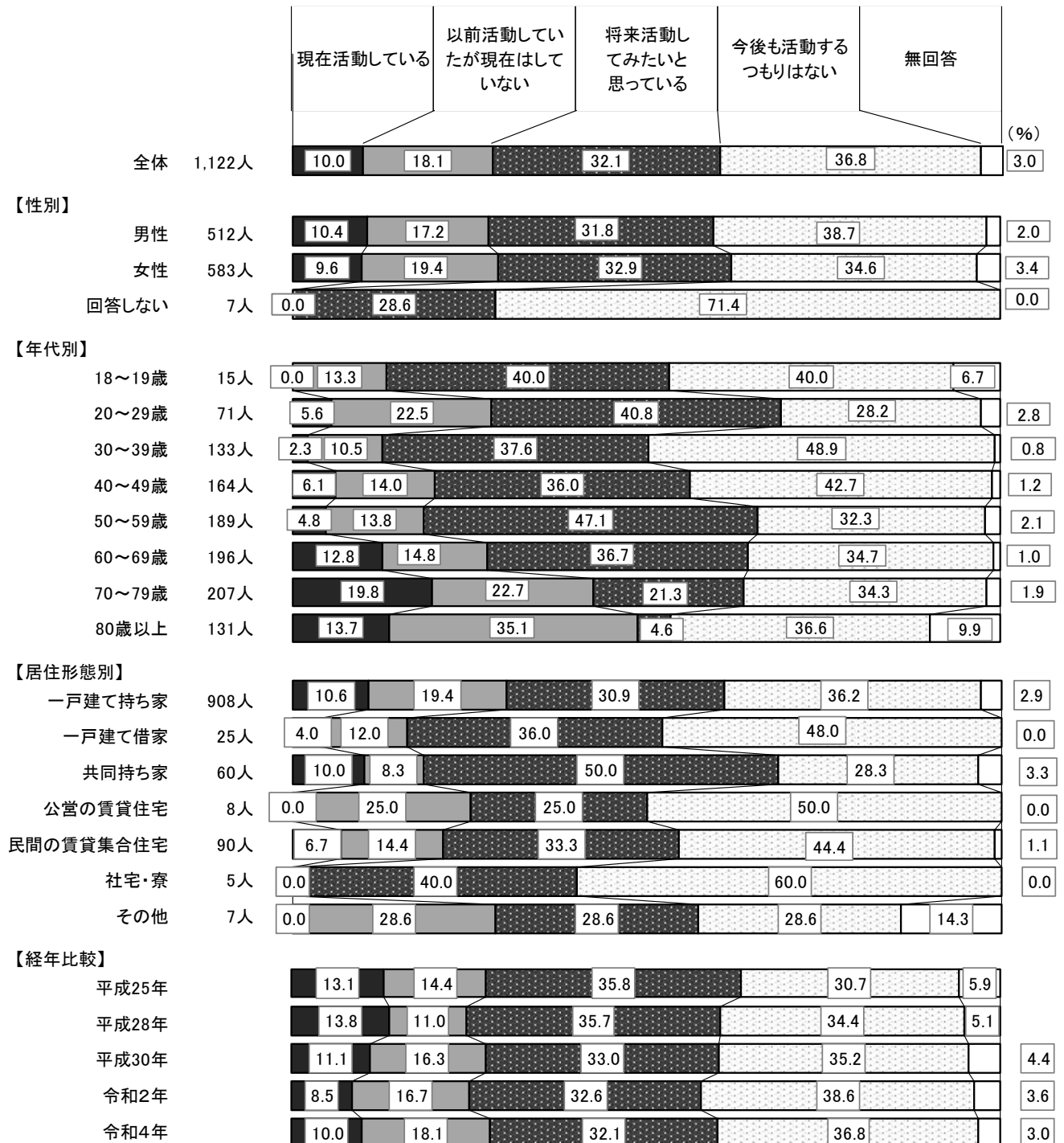
通勤時間別でみると“地域活動に参加していない”は120分以上で最も高くなっています。

7-2 ボランティア活動への参加状況

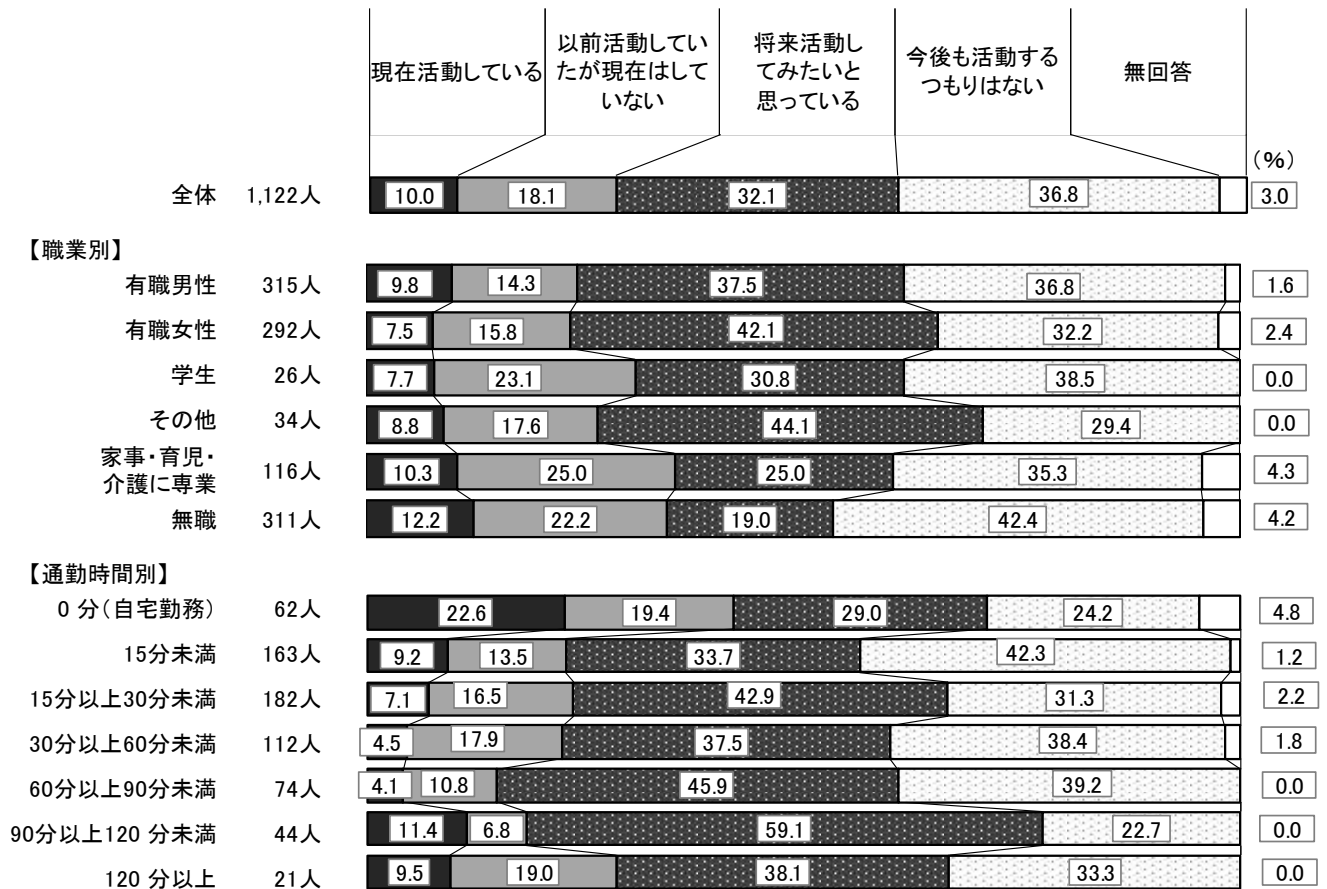
◆ “活動経験がある” 28.1% ◆

問 20. あなたは、団体、サークルまたは個人などでボランティア（社会貢献）活動をしていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

ボランティア活動への参加状況



ボランティア活動への参加状況



全体では「現在活動している」と「以前活動していたが現在はしていない」をあわせた“活動経験がある”の割合が28.1%、「今後も活動するつもりはない」の割合が36.8%、「将来活動してみたいと思っている」の割合が32.1%となっています。

性別でみると“活動経験がある”は女性(29.0%)が男性(27.6%)を1.4ポイント上回っています。

居住形態別でみると“活動経験がある”は一戸建て持ち家(30.0%)、公営の賃貸住宅(25.0%)、民間の賃貸集合住宅(21.1%)で比較的高くなっています。

職業別でみると“活動経験がある”は家事・育児・介護に専業で35.3%と最も高く、次いで無職で34.4%となっています。

通勤時間別でみると“活動経験がある”は0分(自宅勤務)で42.0%と最も高く、次いで120分以上で28.5%となっています。0分(自宅勤務)は「現在活動している」でも22.6%と最も高くなっています。

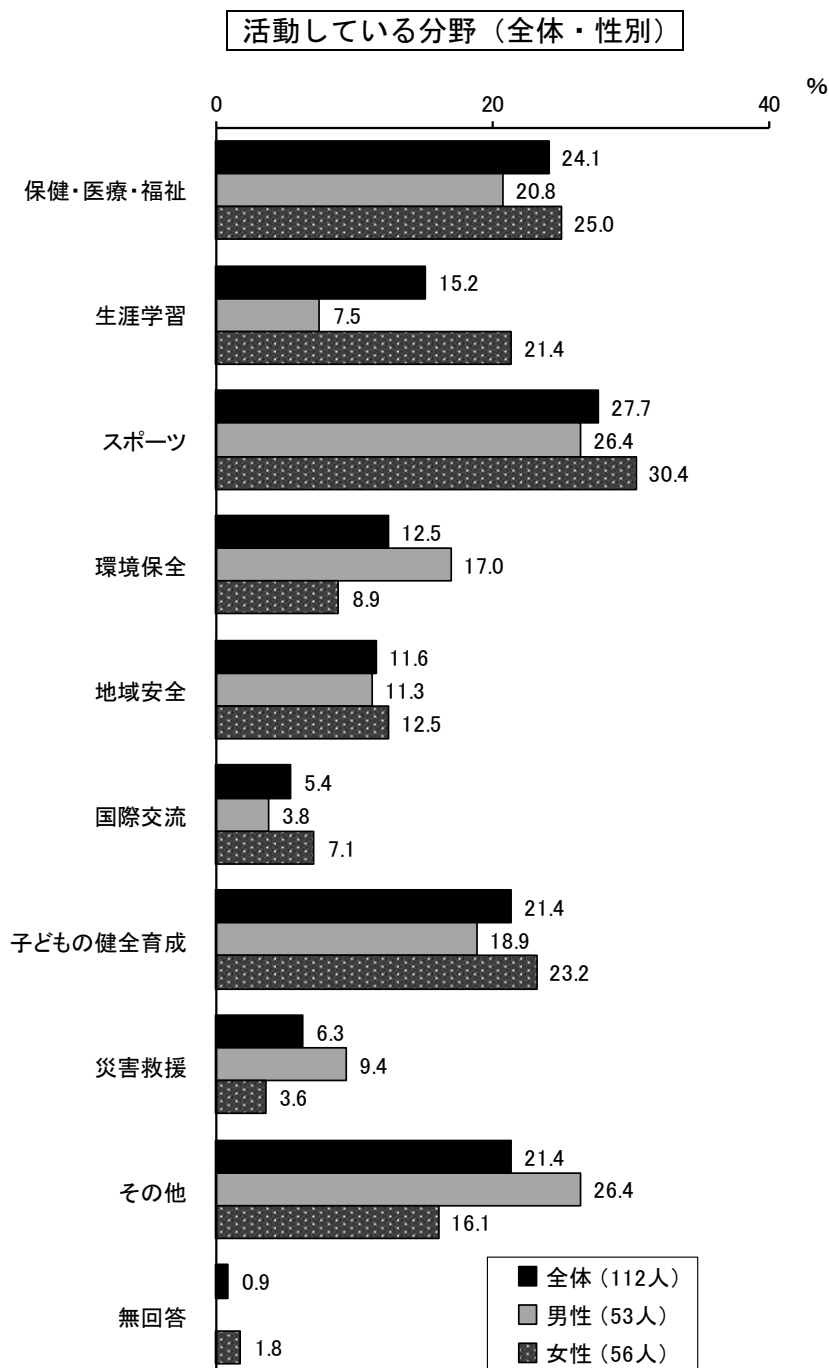
令和2年度調査と比較すると“活動経験がある”は2.9ポイント高くなっています。

7-3 活動している分野

◆「スポーツ」の割合が27.7%、「保健・医療・福祉」24.1%、「子どもの健全育成」21.4%◆

(問20で「現在活動している」とお答えの方におたずねします。)

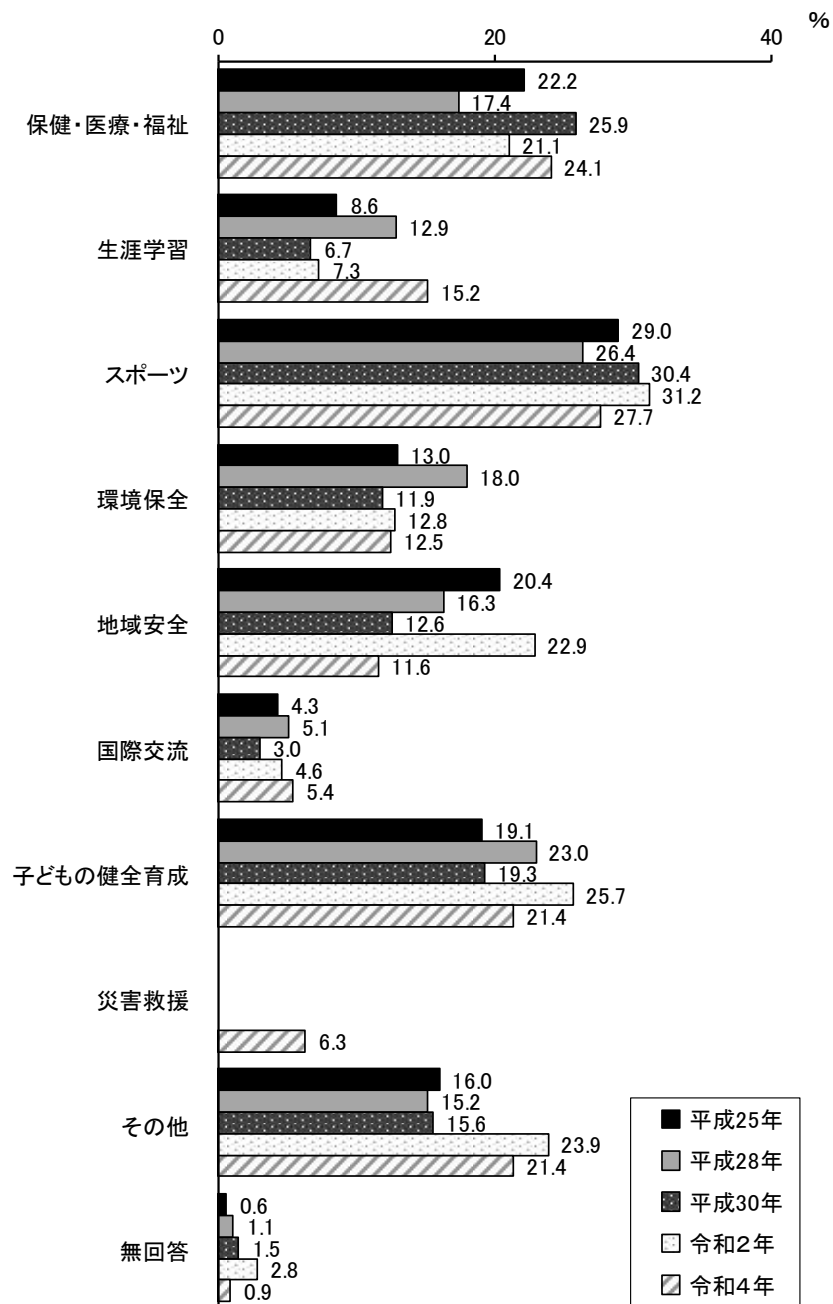
問20-1. 活動しているのはどの分野ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。



全体では「スポーツ」の割合が27.7%と最も高く、次いで「保健・医療・福祉」の割合が24.1%、「子どもの健全育成」の割合が21.4%となっています。「その他」は21.4%となっており、伝統芸能、民生委員といった記述が見受けられます。

性別でみると「生涯学習」で女性(21.4%)が男性(7.5%)を13.9ポイント上回っています。「環境保全」では男性(17.0%)が女性(8.9%)を8.1ポイント上回っています。

活動している分野（経年比較）



※「災害救援」は令和2年度からの選択肢となります。

令和2年度調査と比較すると「地域安全」は11.3ポイント、「子どもの健全育成」は4.3ポイント減少しています。一方「生涯学習」は7.9ポイント増加しています。

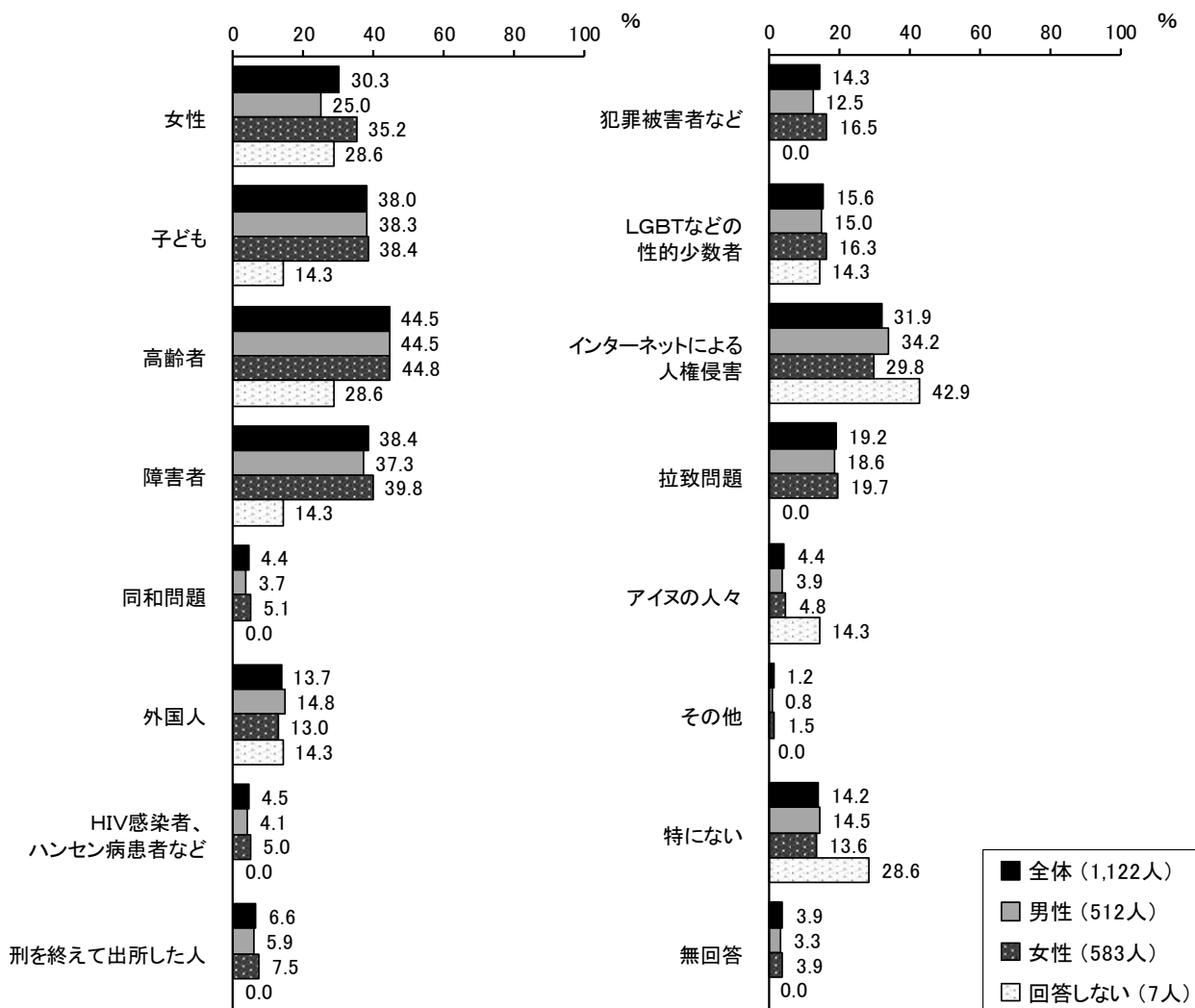
8 人権意識について

8-1 人権の意識について

◆「高齢者」44.5%、「障害者」38.4%、「子ども」38.0%◆

問 21. 現在、社会にはいろいろな人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

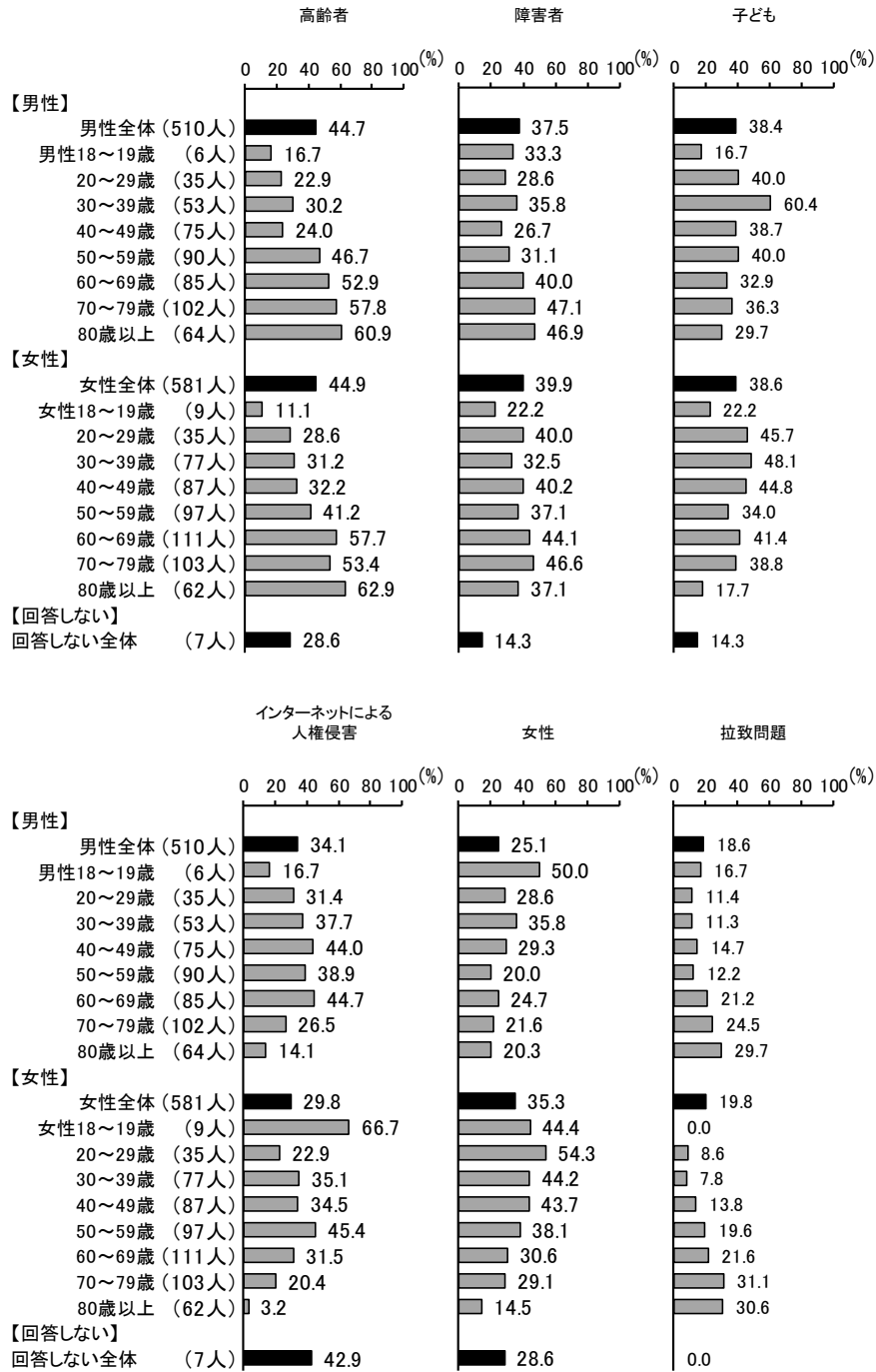
人権の意識について（全体・性）



全体では「高齢者」の割合が44.5%と最も高く、次いで「障害者」の割合が38.4%、「子ども」の割合が38.0%となっています。

性別でみると「女性（の人権問題）」は女性（35.2%）が男性（25.0%）を10.2ポイント上回っています。

人権の意識について（上位6項目 性・年代別）



性・年代別でみると「高齢者」は男性・女性とも年齢が高くなるにつれ、関心が高まっています。

「障害者」は男性・女性ともに70~79歳で最も高くなっています。

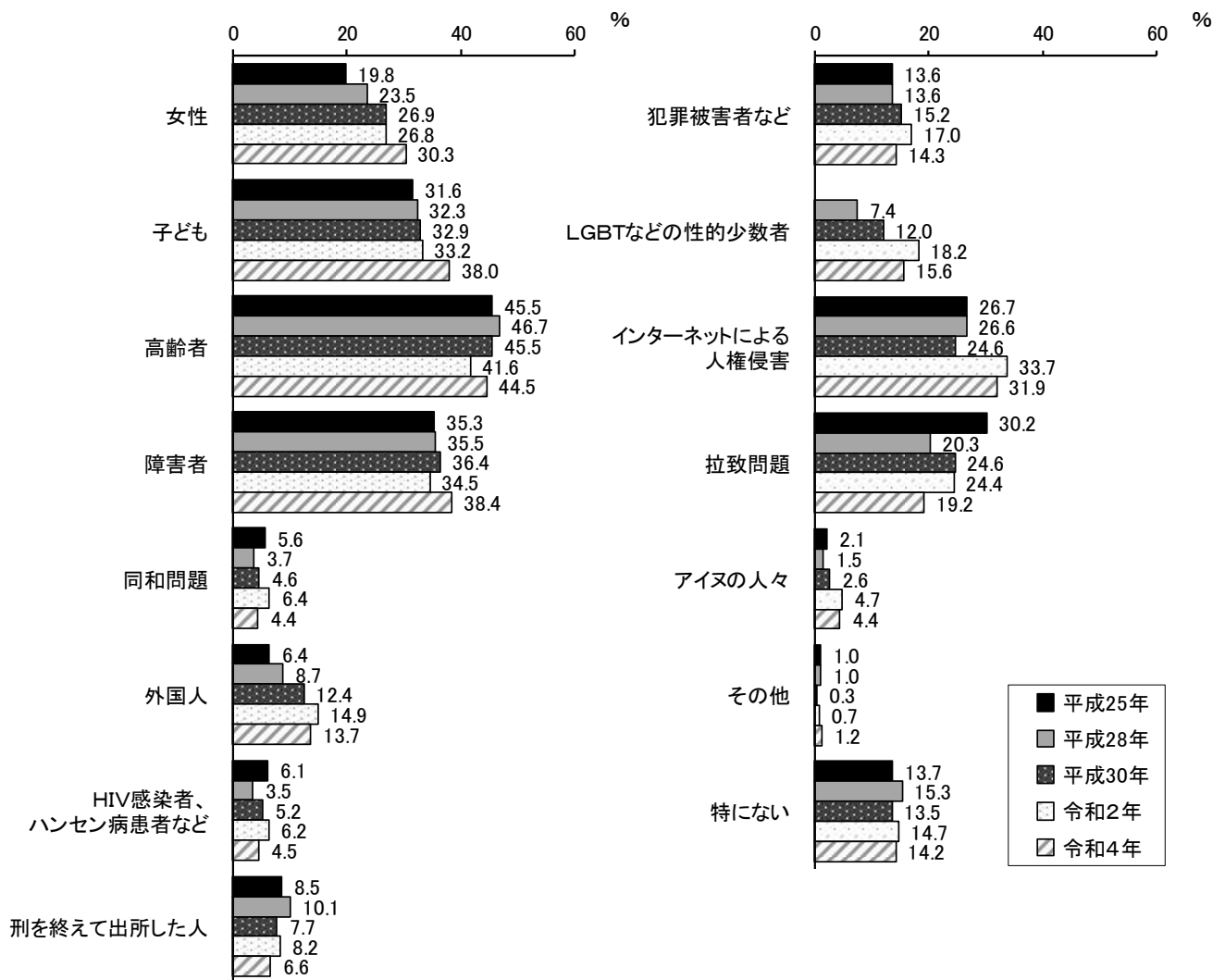
「子ども」は男性の30~39歳で60.4%と最も高くなっています。

「インターネットによる人権侵害」は女性の18~19歳で66.7%と最も高くなっています。

「女性（の人権問題）」は男性の18~19歳で50.0%、女性の20~29歳で54.3%とそれぞれ最も高くなっています。

「拉致問題」は男性の80歳以上で29.7%、女性の70~79歳で31.1%とそれぞれ最も高くなっています。

人権の意識について（経年比較）



※ 「LGBT などの性的少数者」は、平成 28 年度からの選択肢です。

※ 「LGBT などの性的少数者」は、平成 28 年度までは「性的指向・性同一障害などの性的少数者」でした。

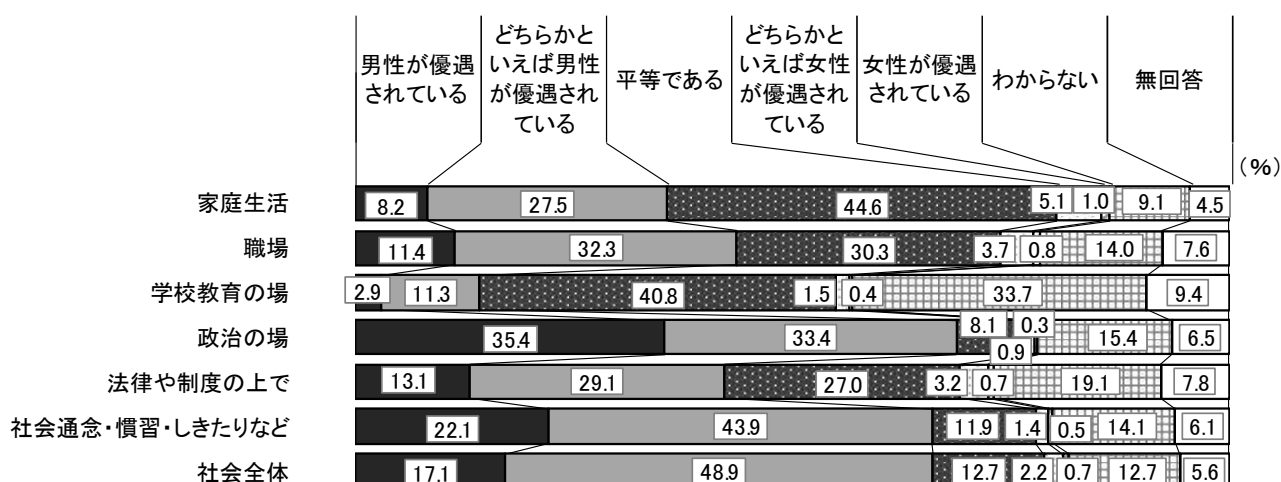
令和 2 年度調査と比較すると「子ども」は 4.8 ポイント、「障害者」は 3.9 ポイント、「女性」は 3.5 ポイント増加しています。一方、「拉致問題」は 5.2 ポイント、「犯罪被害者など」は 2.7 ポイント減少しています。

8-2 男女の地位の平等感

◆〈家庭生活〉の平等感が最も高い◆

問 22. あなたのまわりでは、次の場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

男女の地位の平等感



〈全体の概観と性・年代別〉

「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇と感じている”は〈政治の場〉で 68.8%と最も高くなっています。次いで〈社会通念・慣習・しきたりなど〉〈社会全体〉が 66.0%と高くなっています。

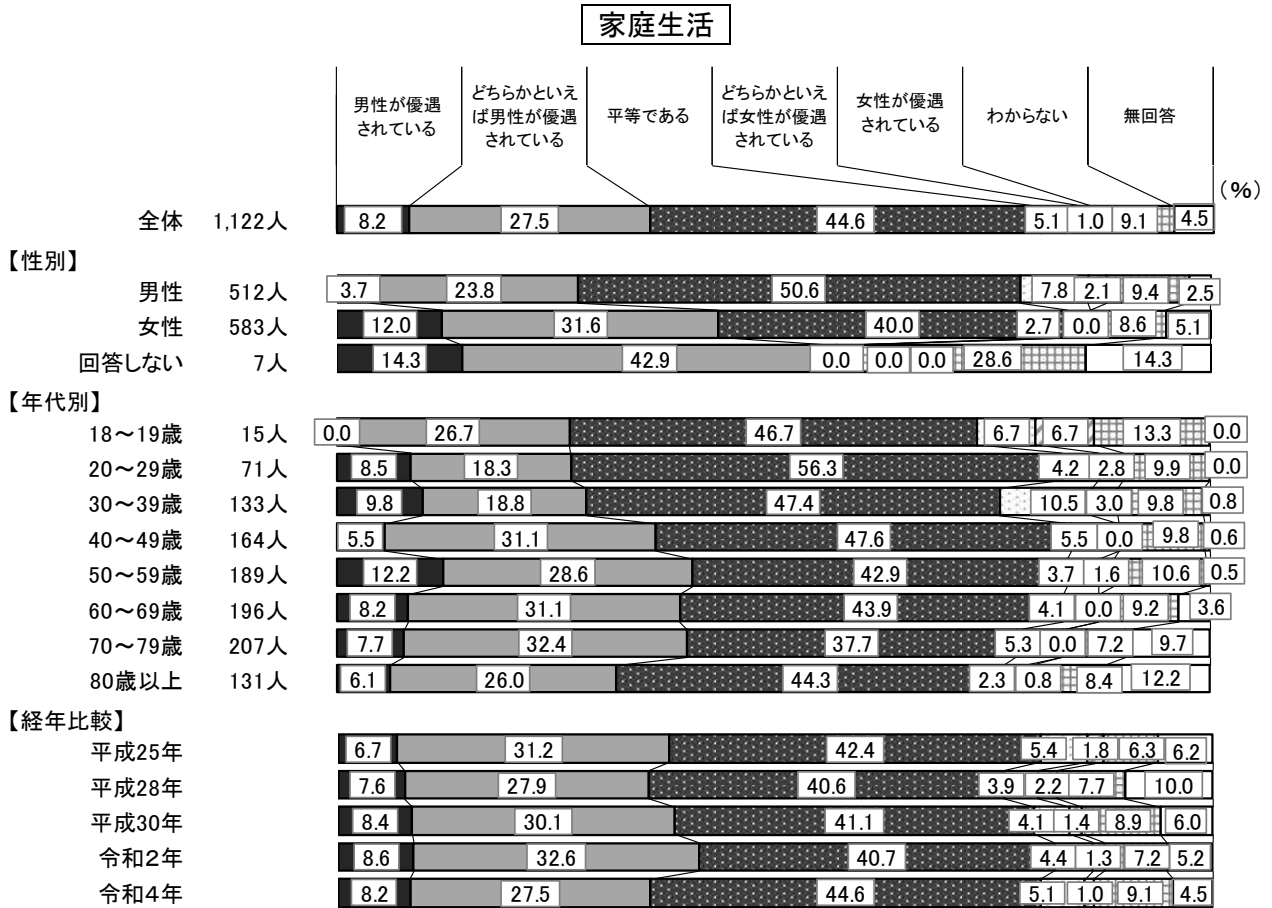
〈学校教育の場〉は「平等である」が 40.8%と“男性優遇と感じている”（14.2%）を大きく上回っています。

性別でみると“男性優遇と感じている”は、全ての項目で女性が男性を上回り、「平等である」でも女性が男性に比べて低くなっています。「平等である」に注目すると〈法律や制度の上で〉では 17.3 ポイントの差があります。

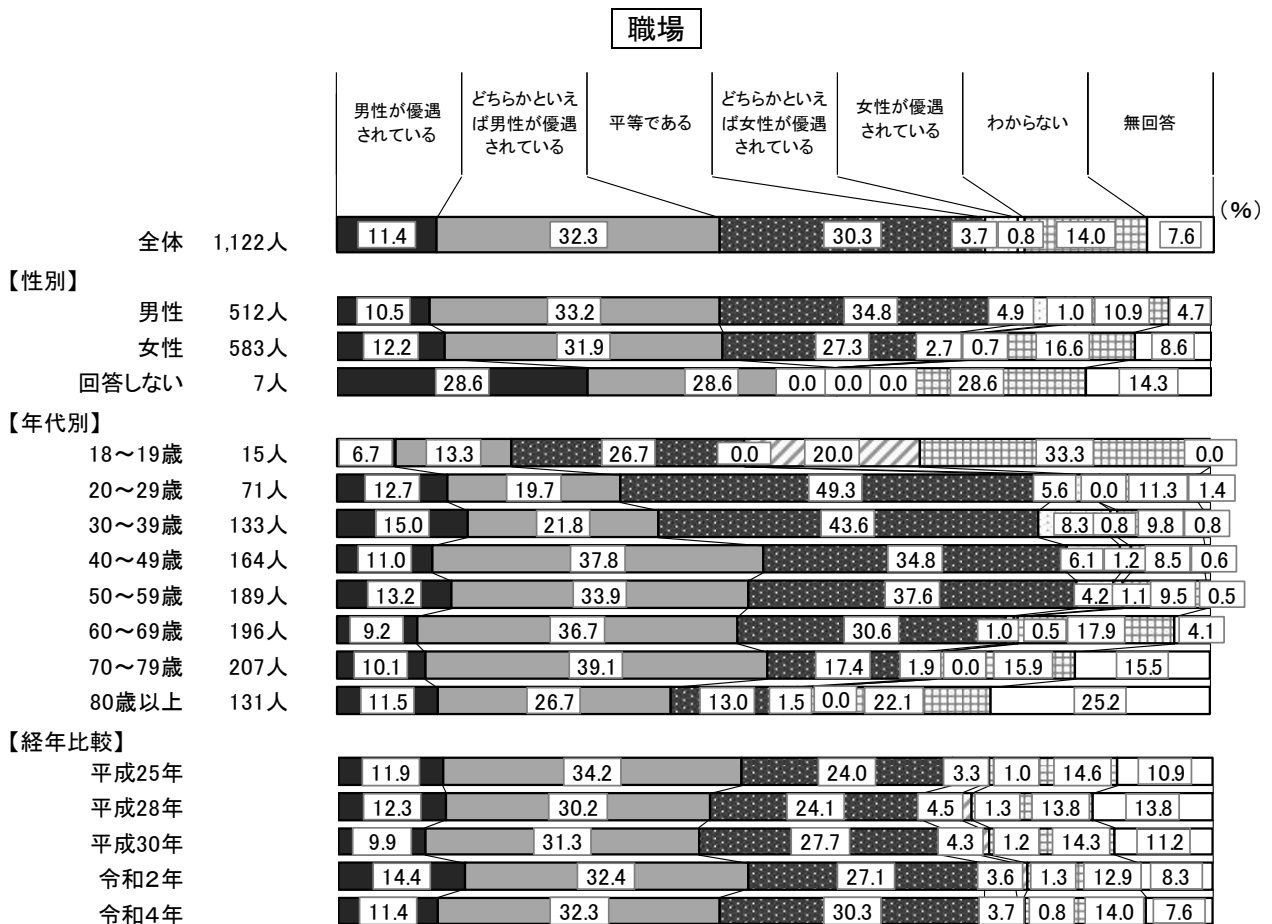
年代別でみると“男性優遇と感じている”は〈家庭生活〉で 50～59 歳、〈職場〉〈学校教育の場〉で 70～79 歳、〈政治の場〉〈法律や制度の上で〉〈社会通念・慣習・しきたりなど〉〈社会全体〉で 60～69 歳が最も高い割合を示しています。

令和 2 年度調査と比較すると「平等である」は、〈家庭生活〉〈職場〉の分野では増加していますが、他の分野では減少しています。

家庭生活 ◆「平等である」44.6%◆

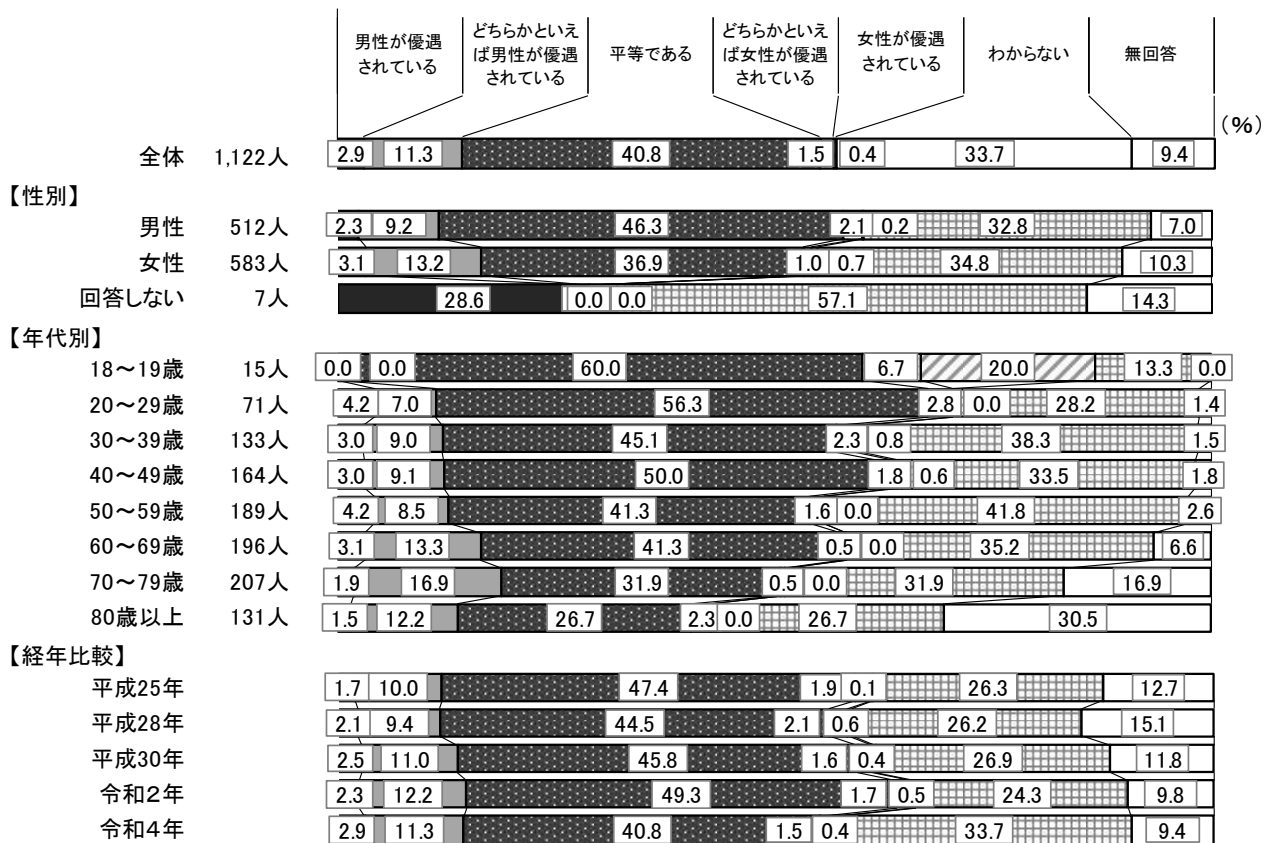


職場 ◆「平等である」30.3%◆



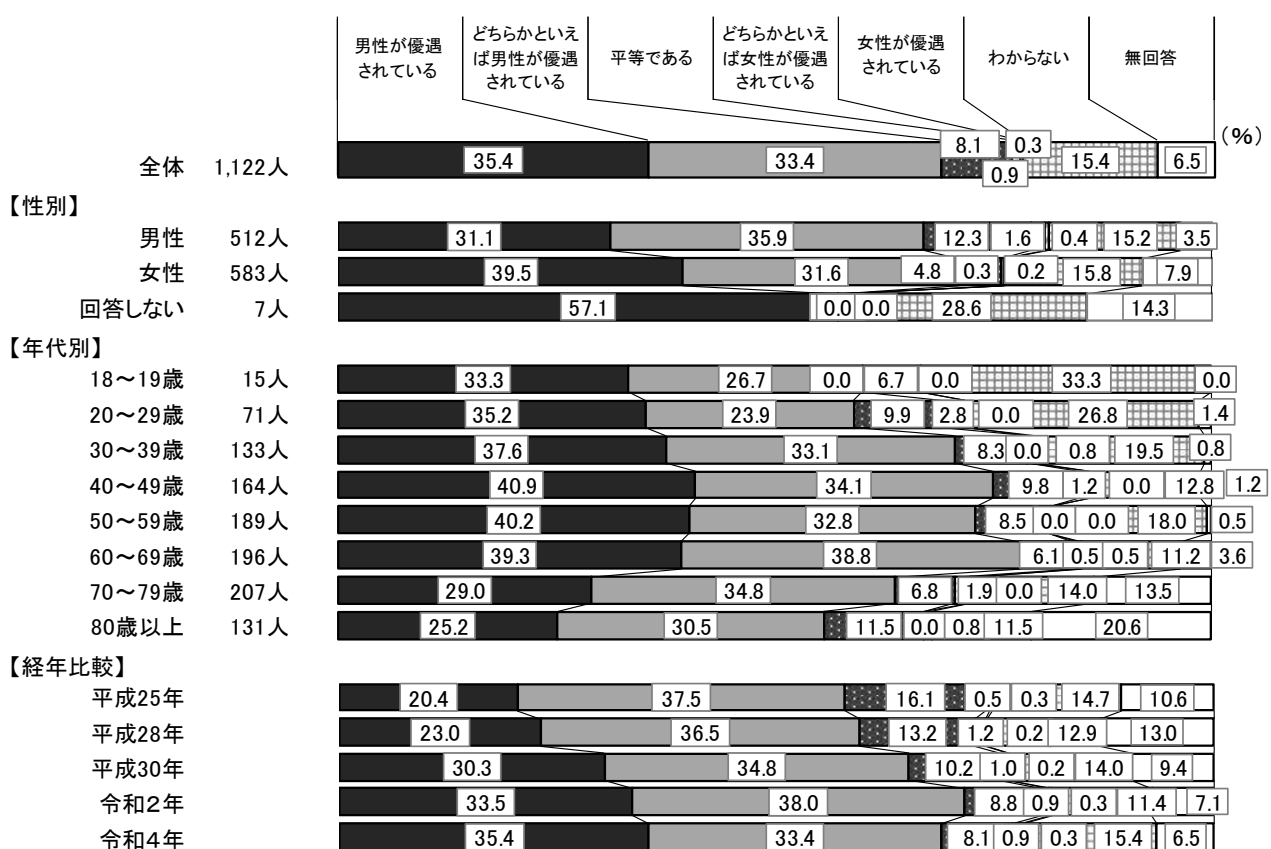
学校教育の場 ◆「平等である」40.8%◆

学校教育の場



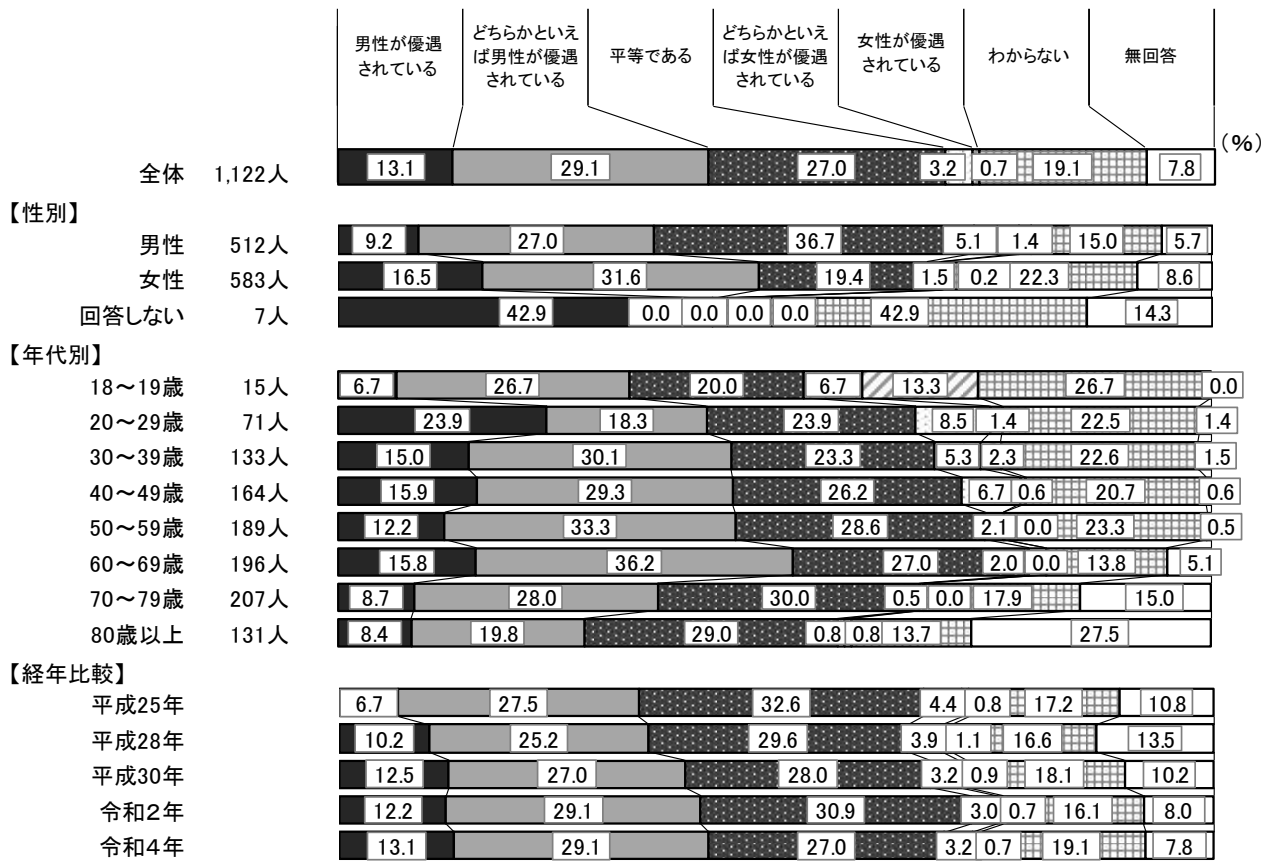
政治の場 ◆「平等である」8.1%◆

政治の場



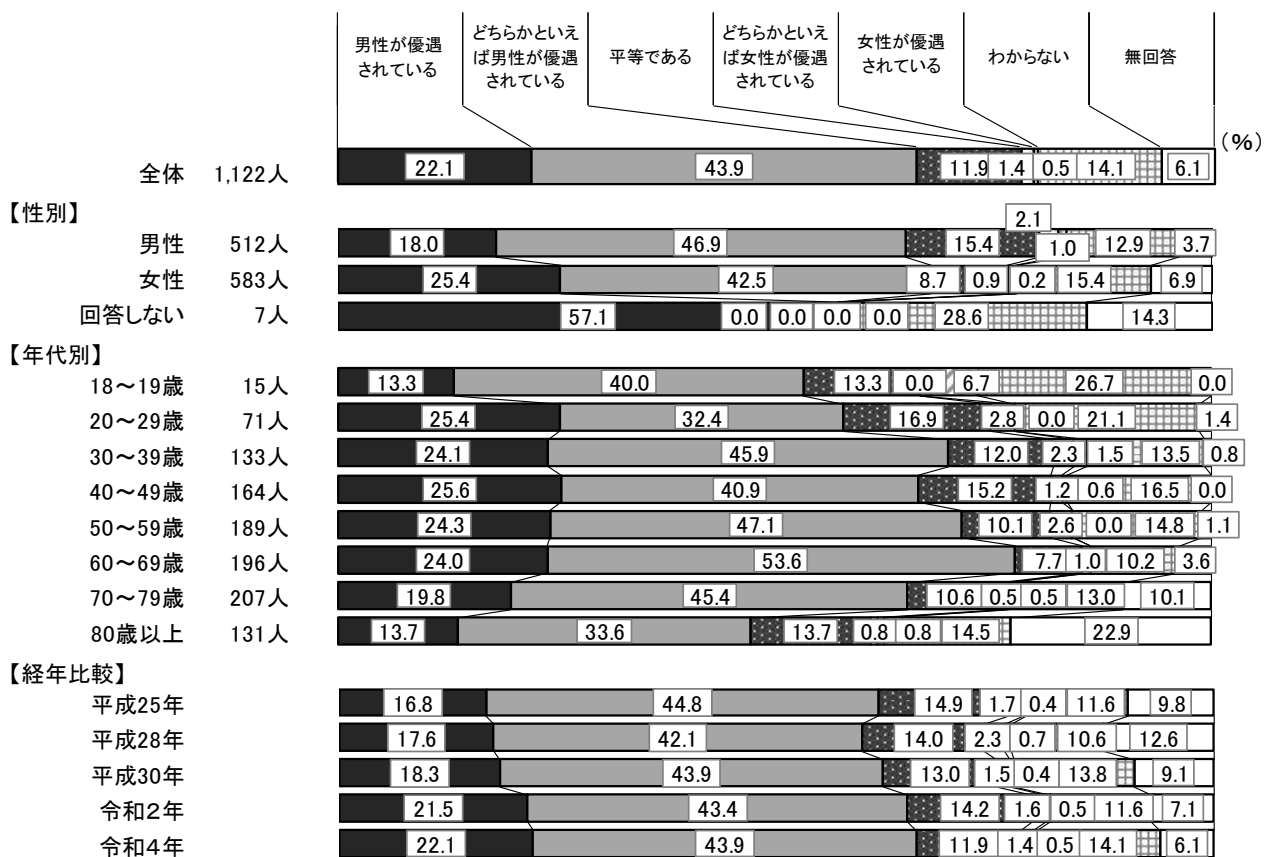
法律や制度の上で ◆「平等である」27.0%◆

法律や制度の上で



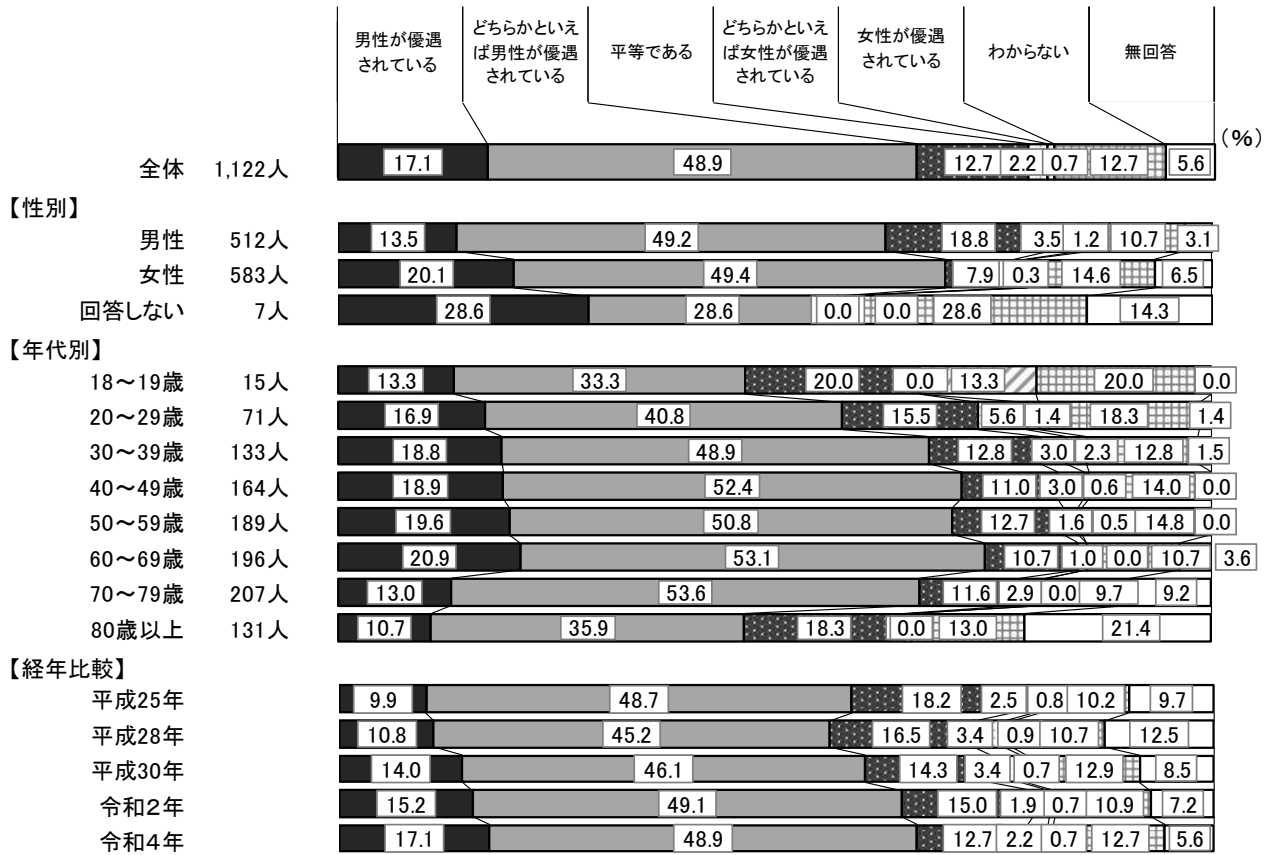
社会通念・慣習・しきたりなど ◆「平等である」11.9%◆

社会通念・慣習・しきたりなど



社会全体 ◆「平等である」12.7%◆

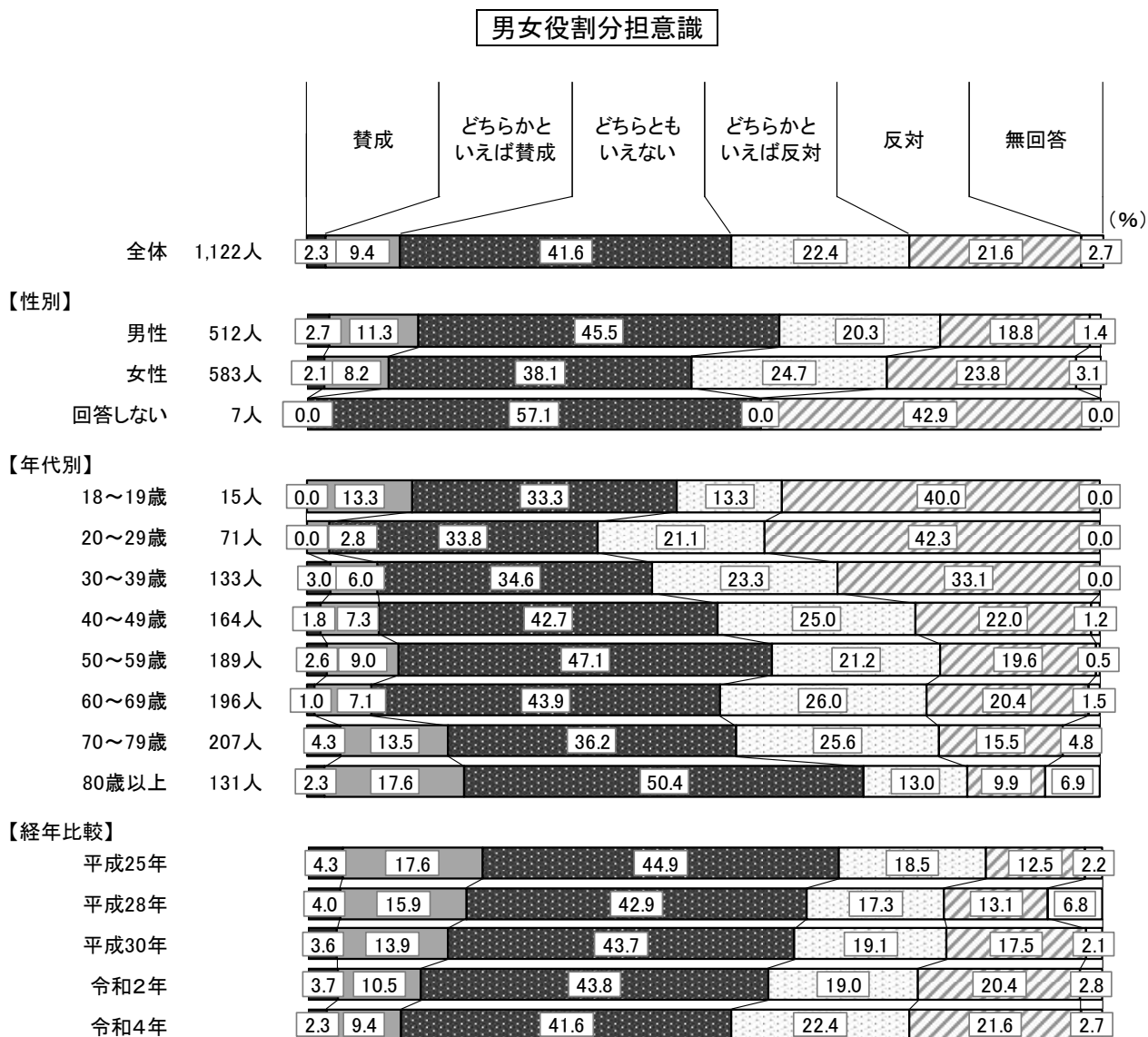
社会全体



8-3 男女役割分担意識

◆ “賛成である” 11.7%、“反対である” 44.0%◆

問 23. あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「賛成」と「どちらかといえば賛成」をあわせた“賛成である”の割合が11.7%、「どちらともいえない」の割合が41.6%、「どちらかといえば反対」と「反対」をあわせた“反対である”の割合が44.0%となっています。

性別で見ると、男性・女性ともに“反対である”が“賛成である”を上回っていますが、男性ではその差が25.1ポイントであるのに対して、女性ではその差が38.2ポイントと大きな開きがあります。

年代別で見ると、全ての年代で“反対である”が“賛成である”を上回っていますが、80歳以上ではその差が3.0ポイントと最も小さくなっています。

平成25年度調査以降、“賛成である”は減少、“反対である”は増加傾向にあります。

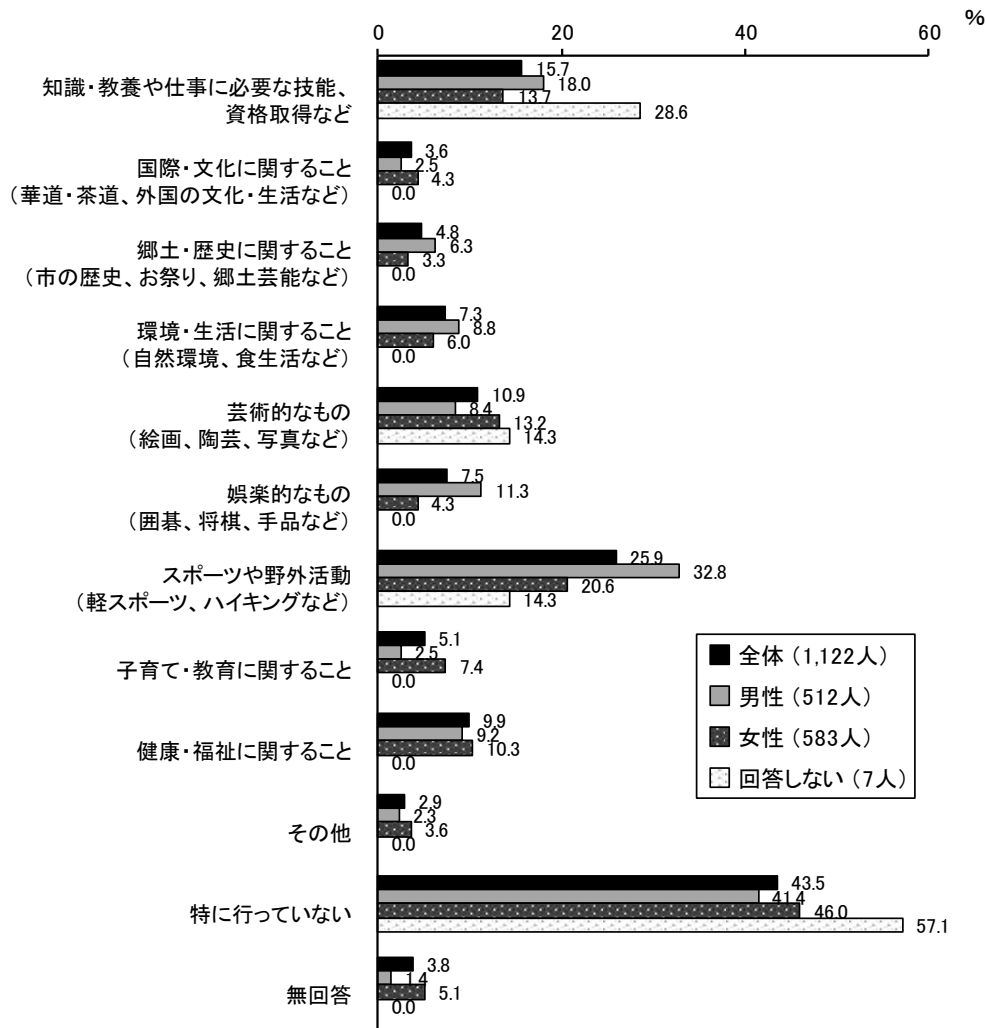
9 生涯学習・生涯スポーツについて

9-1 学習や趣味などの活動状況

- ◆「スポーツや野外活動（軽スポーツ、ハイキングなど）」25.9%、
 「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」15.7%◆

問 24. あなたは現在、学習や趣味などの活動を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

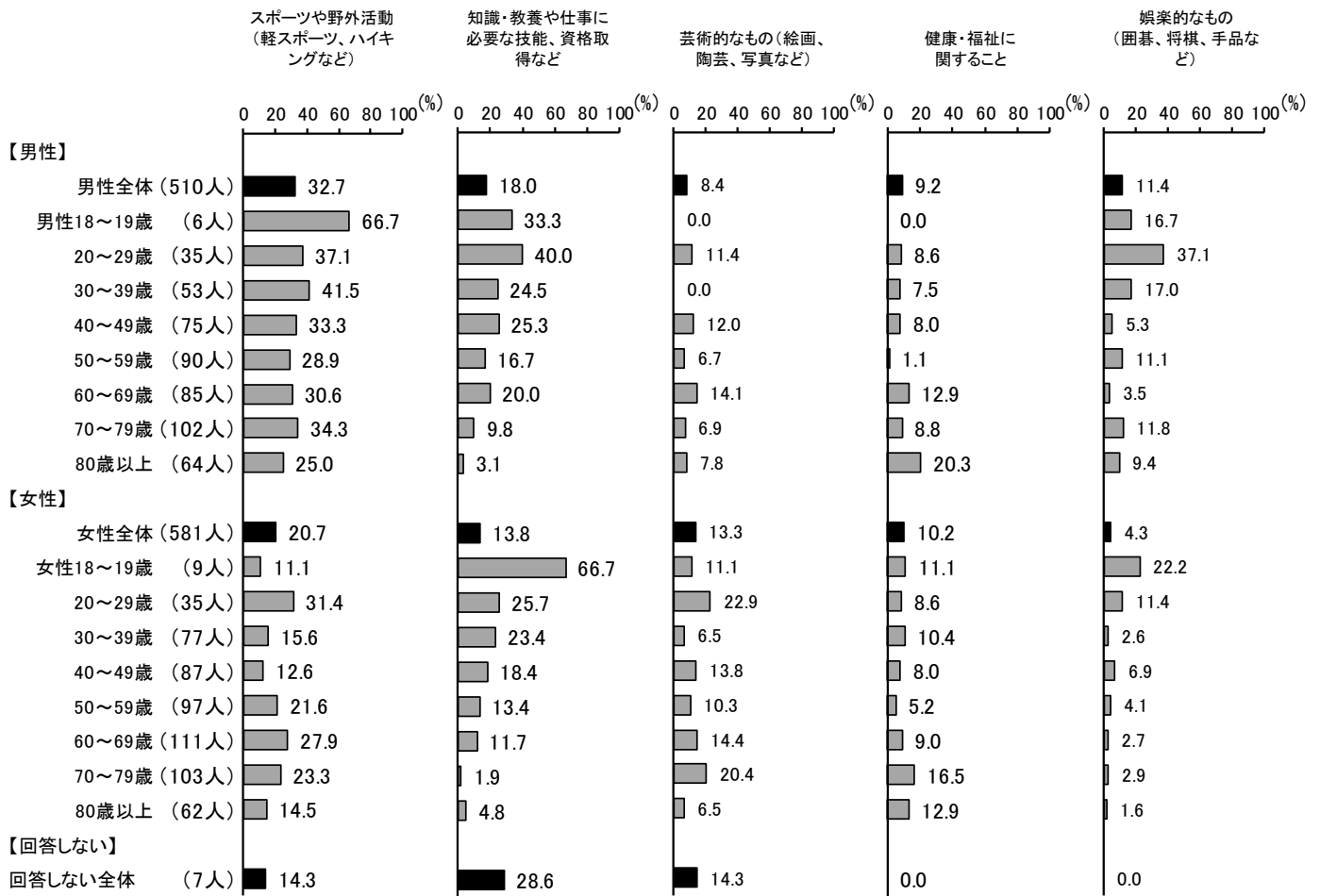
学習や趣味などの活動状況（全体・性別）



全体では「スポーツや野外活動（軽スポーツ、ハイキングなど）」の割合が25.9%、「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」の割合が15.7%となっています。

性別でみると「スポーツや野外活動」で男性（32.8%）が女性（20.6%）を12.2ポイント上回っています。また、「娯楽的なもの（囲碁、将棋、手品など）」で男性（11.3%）が女性（4.3%）を7.0ポイント上回っています。

学習や趣味などの活動状況（上位5項目 性・年代別）



性・年代別で見ると「スポーツや野外活動」は男性の18～19歳で66.7%と最も高くなっています。女性では20～29歳で31.4%となっています。

「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」は男性の20～29歳で40.0%と高くなっています。女性の18～19歳で66.7%と最も高くなっています。

「芸術的なもの」は女性の20～29歳で22.9%と最も高くなっています。

「健康・福祉に関すること」は男性の80歳以上で20.3%、次いで女性の70～79歳で16.5%となっています。

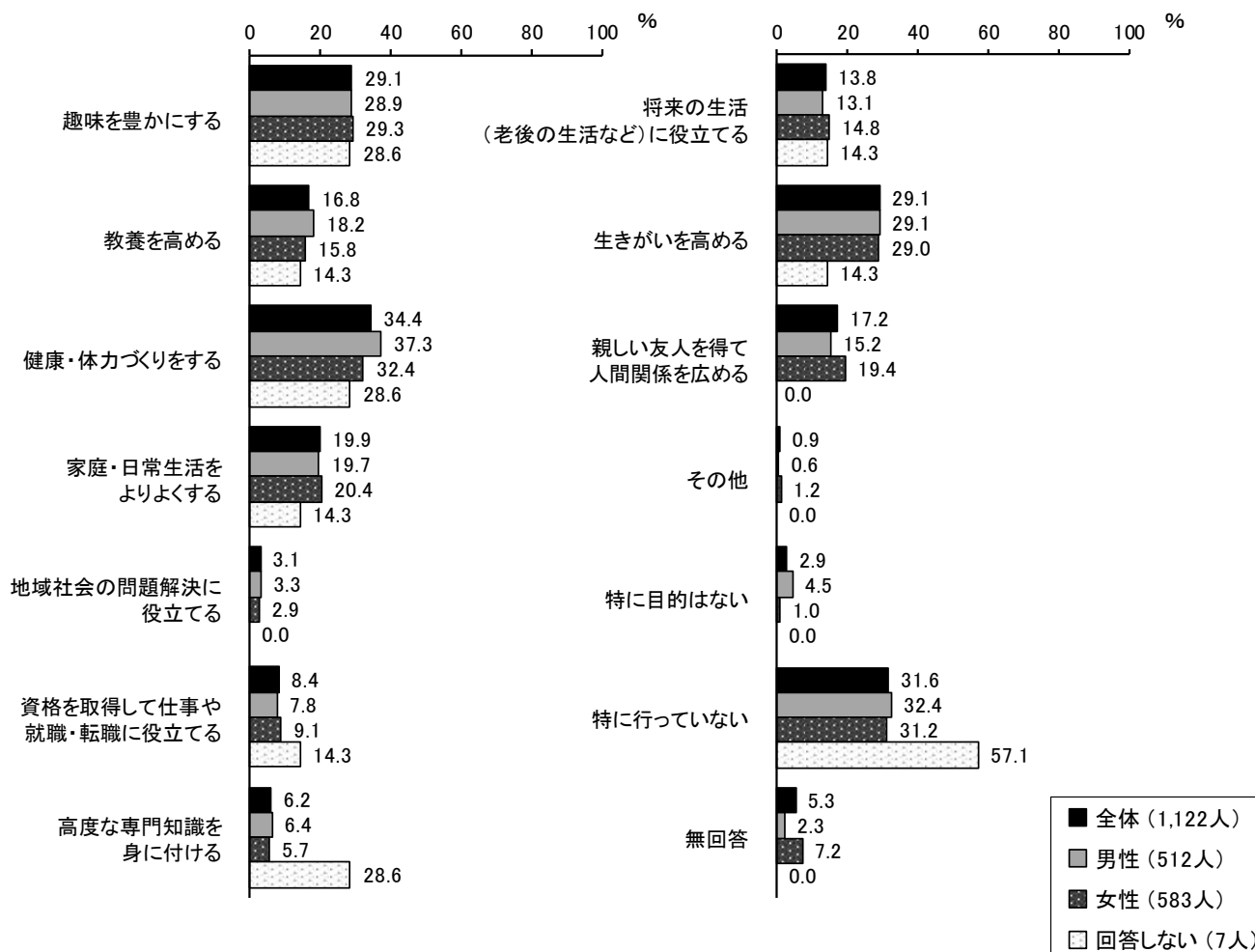
「娯楽的なもの」は男性の20～29歳で37.1%と最も高くなっています。

9-2 生涯学習等の活動を行っている目的

◆「健康・体力づくりをする」34.4%◆

問 25. あなたは、生涯学習としての趣味や習い事の活動について、どのような目的で行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

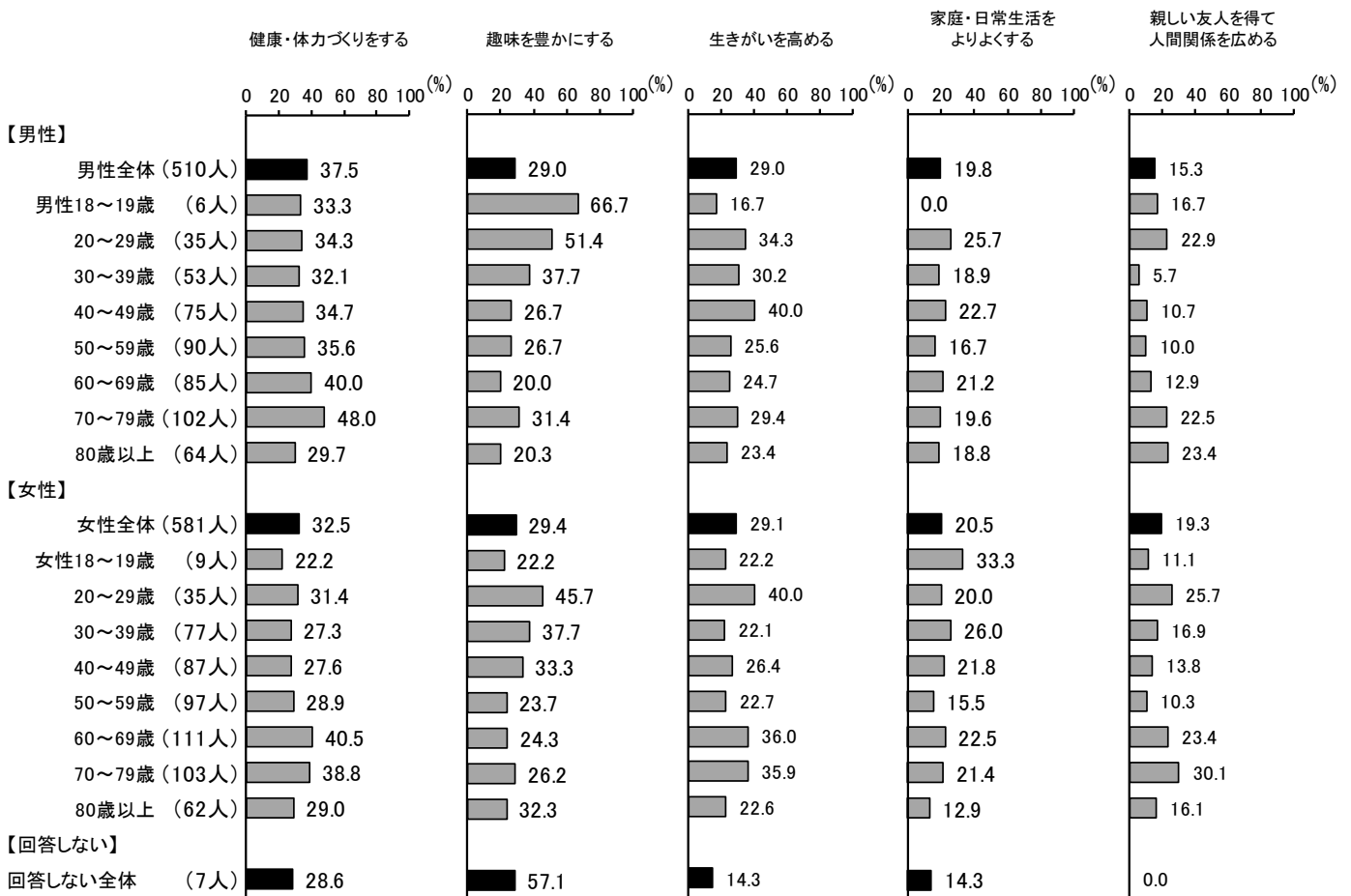
生涯学習等の活動を行っている目的（全体・性別）



全体では「健康・体力づくりをする」の割合が34.4%と最も高く、「趣味を豊かにする」、「生きがいを高める」の割合が29.1%となっています。

性別で見ると「健康・体力づくりをする」で男性(37.3%)が女性(32.4%)を4.9ポイント、「親しい友人を得て人間関係を広める」で女性(19.4%)が男性(15.2%)を4.2ポイント上回っています。

生涯学習等の活動を行っている目的（上位5項目 性・年代別）



性・年代別で見ると「健康・体力づくりをする」は男性の70～79歳で48.0%と最も高くなっています。

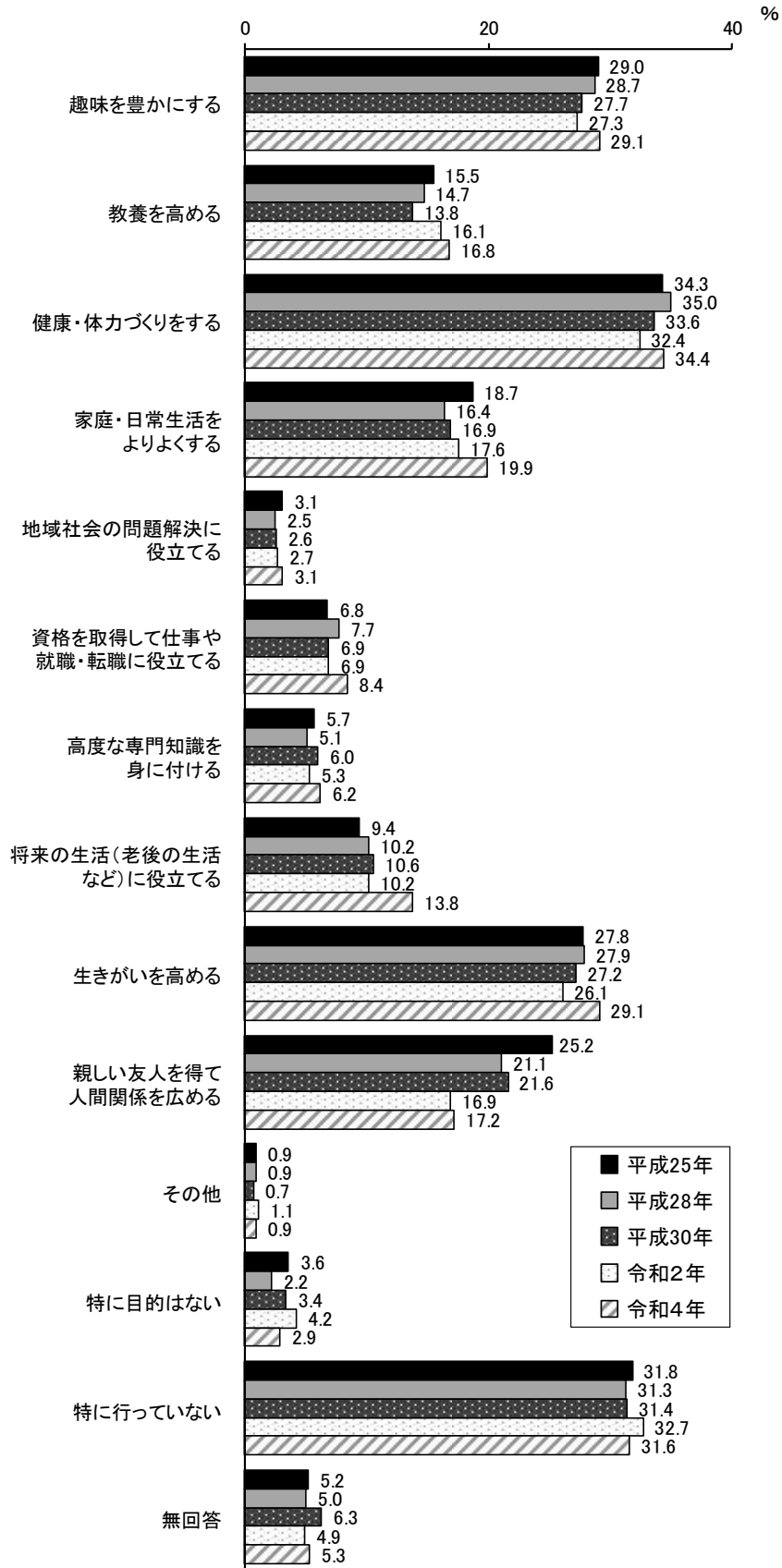
「趣味を豊かにする」は男性の18～19歳で66.7%と最も高くなっています。

「生きがいを高める」は男性の40～49歳、女性の20～29歳で40.0%と最も高くなっています。

「家庭・日常生活をよりよくする」は女性の18～19歳で33.3%と最も高くなっています。

「親しい友人を得て人間関係を広める」は女性の70～79歳で30.1%と最も高くなっており、次いで女性の20～29歳で25.7%となっています。

生涯学習等の活動を行っている目的（経年比較）



令和2年度調査と比較すると、「将来の生活（老後の生活など）に役立てる」は3.6ポイント、「生きがいを高める」は3.0ポイント増加しています。

9-3 運動（スポーツなど）を行う頻度

◆ “習慣的に運動を行っている” 55.8% ◆

問 26. あなたは、過去1年間に運動（スポーツ、ウォーキング、散歩、体操など）を平均してどのくらい行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

運動（スポーツなど）を行う頻度



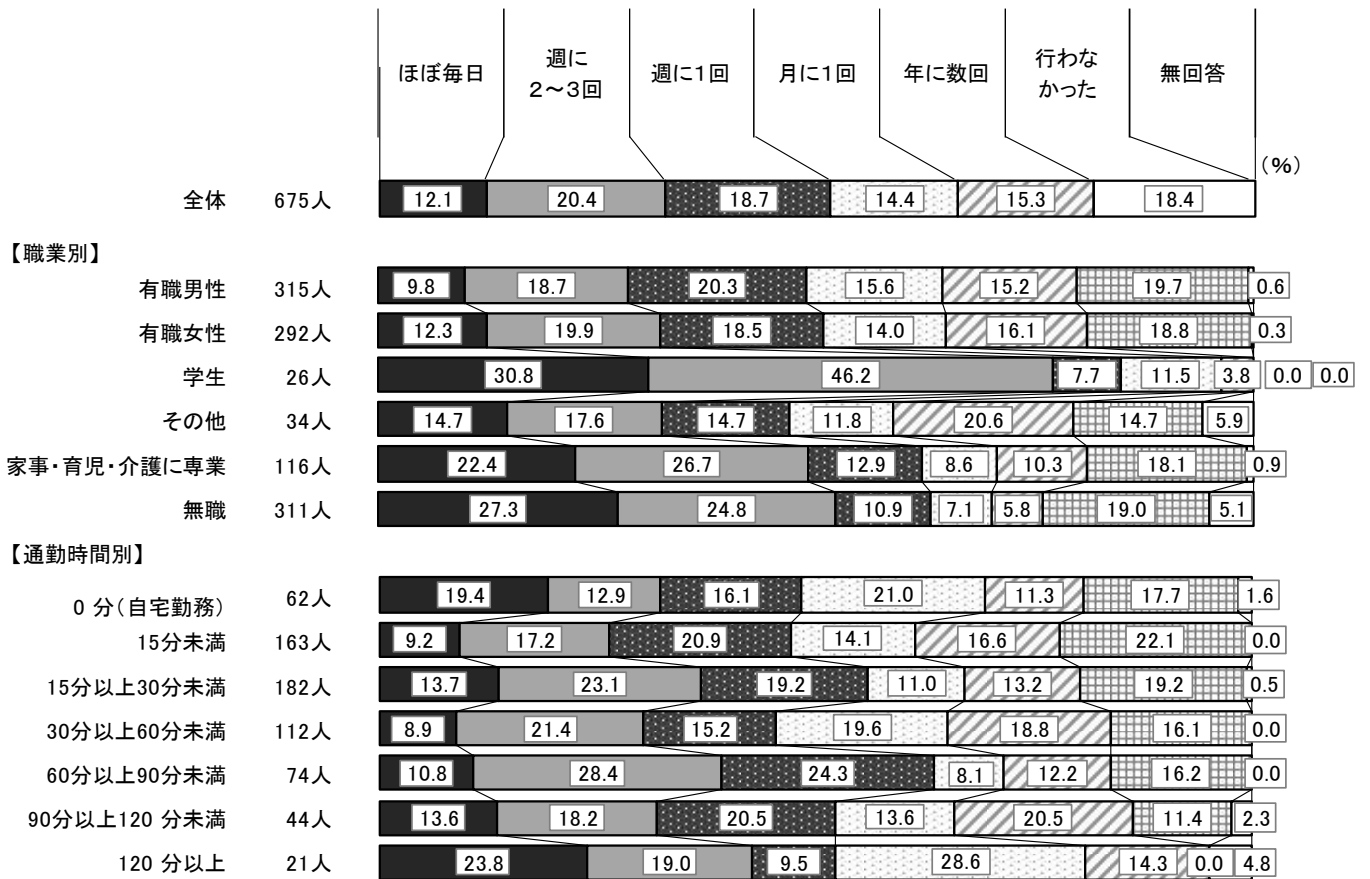
全体では「ほぼ毎日」「週に2~3回」「週に1回」をあわせた“習慣的に運動を行っている”の割合が55.8%、一方で「行わなかった」の割合は18.4%と低く、習慣的に体を動かしている市民が多いことがわかります。

性別でみると“習慣的に運動を行っている”は男性・女性ともに5割半ばとなっており、ほとんど差はありません。

年代別でみると“習慣的に運動を行っている”は18~19歳が80.0%と最も高く、次いで70~79歳が73.0%と高くなっています。また、50~59歳が43.9%と最も低くなっています。

平成25年度調査以降、“習慣的に運動を行っている”は増加傾向にありましたが、令和2年度調査と比較すると3.1ポイント減少しています。

運動（スポーツなど）を行う頻度



職業別で見ると“習慣的に運動を行っている”は学生が 84.7%、無職が 63.0%と高くなっています。

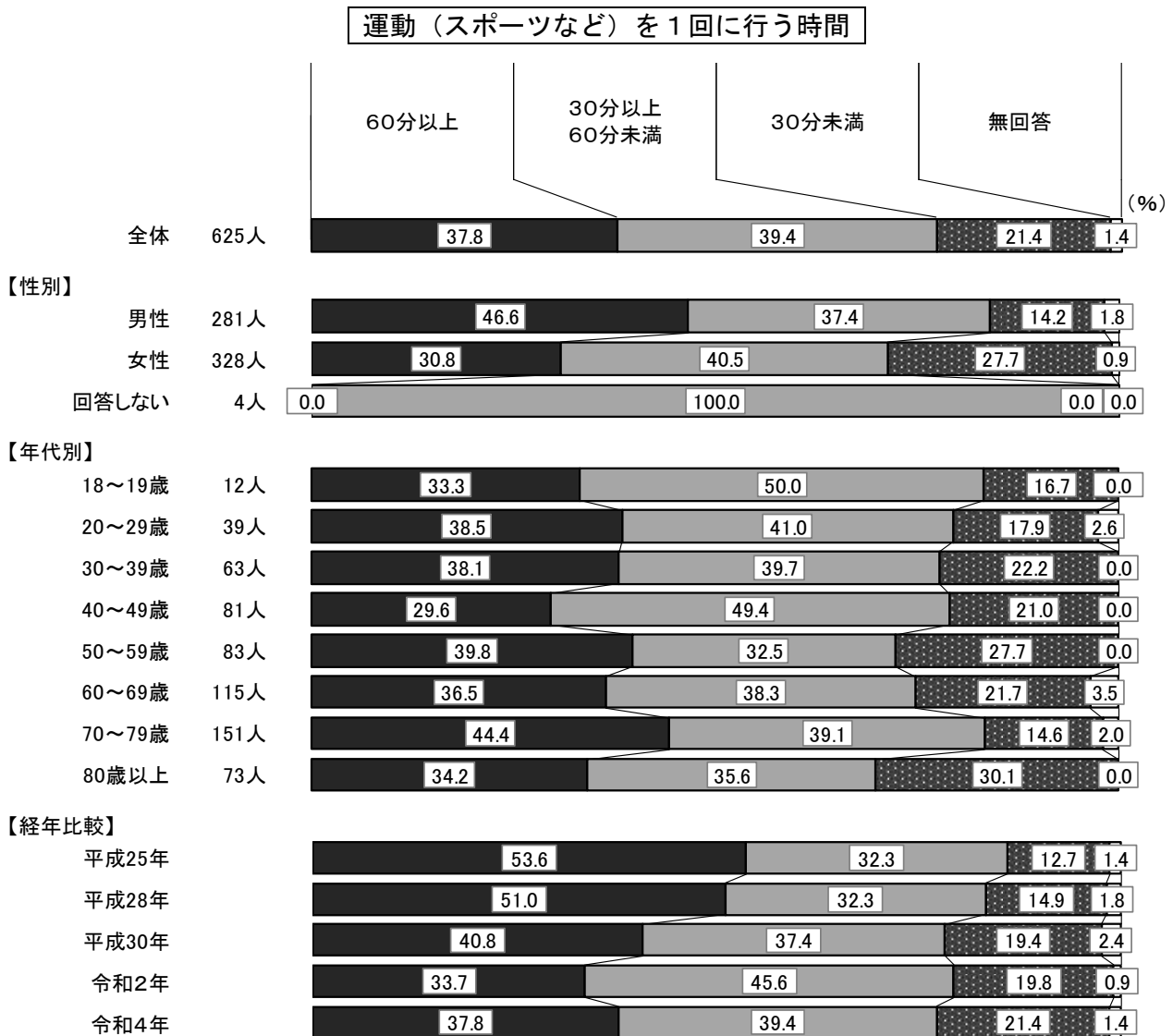
通勤時間別で見ると“習慣的に運動を行っている”は 60分以上 90分未満が 63.5%と最も高く、通勤時間 90分以上 120分未満・120分以上の長距離通勤層も 52.3%と高くなっています。通勤時間 30分以上 60分未満が 45.5%と最も低くなっています。

9-4 運動（スポーツなど）を1回に行う時間

◆「60分以上」の割合が37.8%◆

（問26で「ほぼ毎日」、「週に2～3回」、「週に1回」とお答えの方におたずねします。）

問26-1. 1回にどのくらいの時間行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



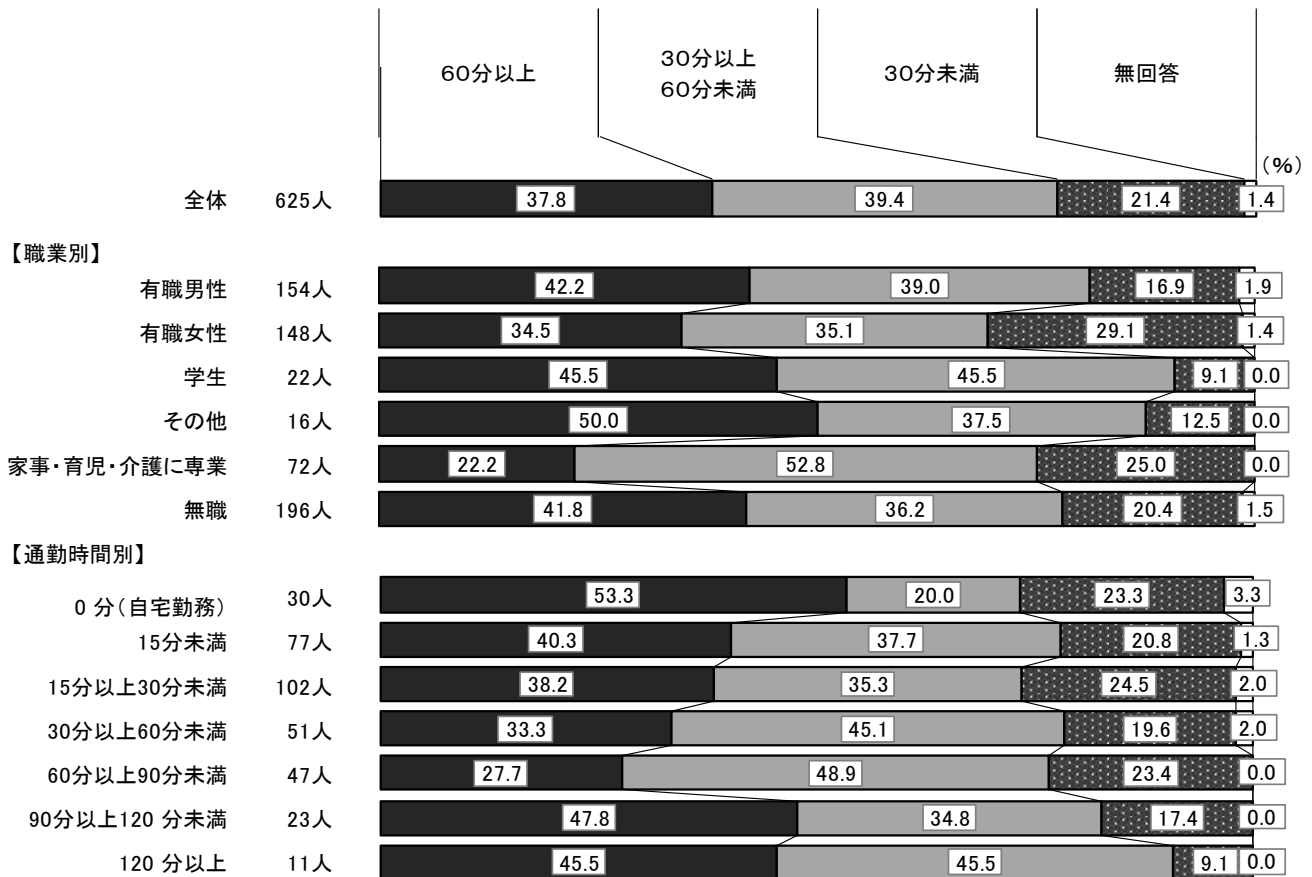
全体では「30分以上 60分未満」の割合が39.4%と最も高く、次いで「60分以上」の割合が37.8%、「30分未満」の割合が21.4%となっています。

性別で見ると、男性の「60分以上」が最も高く、男性（46.6%）が女性（30.8%）を15.8ポイント上回っています。

年代別で見ると「30分以上 60分未満」は18～19歳で50.0%と最も高く、50～59歳で32.5%と最も低くなっています。「30分未満」は50～59歳で27.7%、80歳以上で30.1%と高くなっています。

令和2年度調査と比較すると「30分以上 60分未満」は6.2ポイント減少しています。一方「60分以上」は4.1ポイント増加しています。

運動（スポーツなど）を1回に行う時間



職業別で見ると「30分以上60分未満」は家事・育児・介護に専業で52.8%と最も高く、次いで学生が45.5%となっています。

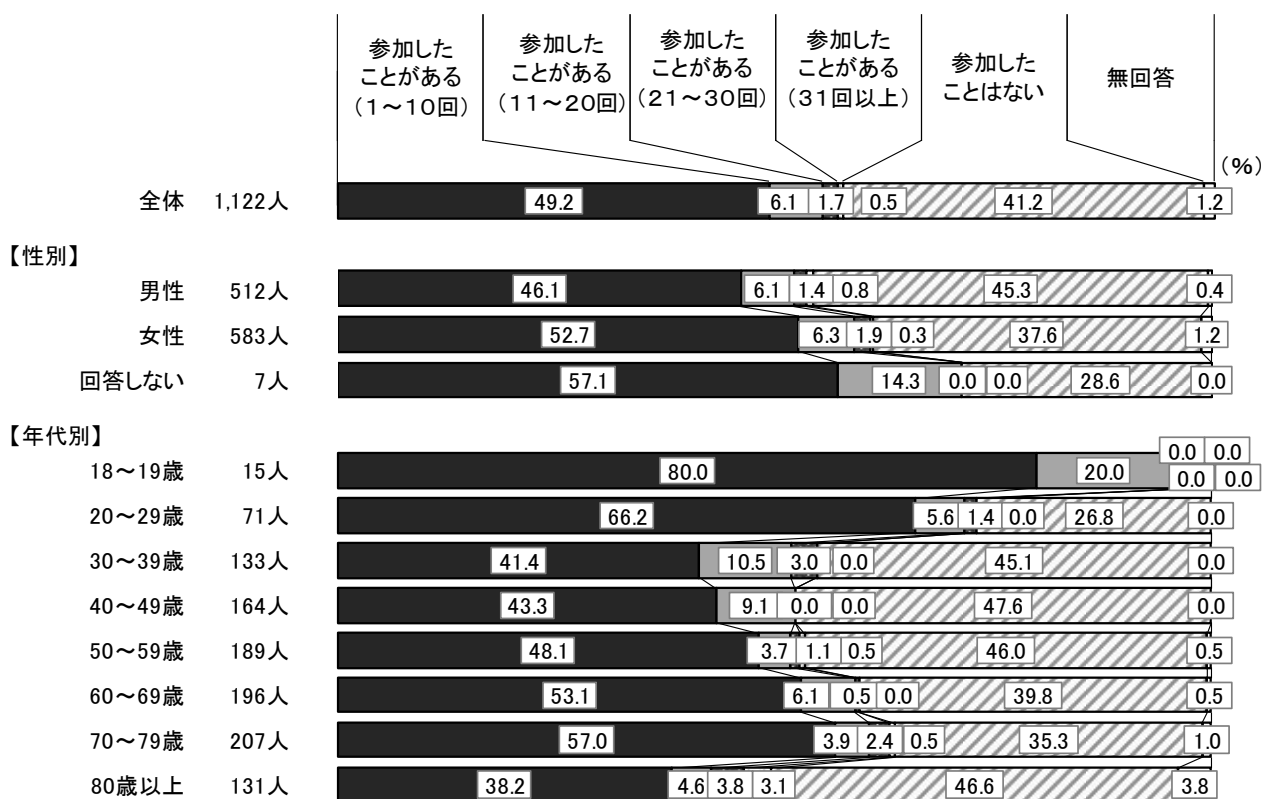
通勤時間別で見ると「60分以上」は通勤時間0分（自宅勤務）で53.3%と最も高く、次いで90分以上120分未満が47.8%となっています。「30分以上60分未満」は通勤時間60分以上90分未満が48.9%、「30分未満」は通勤時間15分以上30分未満が24.5%とそれぞれ最も高くなっています。

9-5 日本スリーデーマーチの参加状況

◆「参加したことがある（1～10回）」49.2%、「参加したことはない」41.2%◆

問 27. あなたは、日本スリーデーマーチに参加したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

日本スリーデーマーチの参加状況

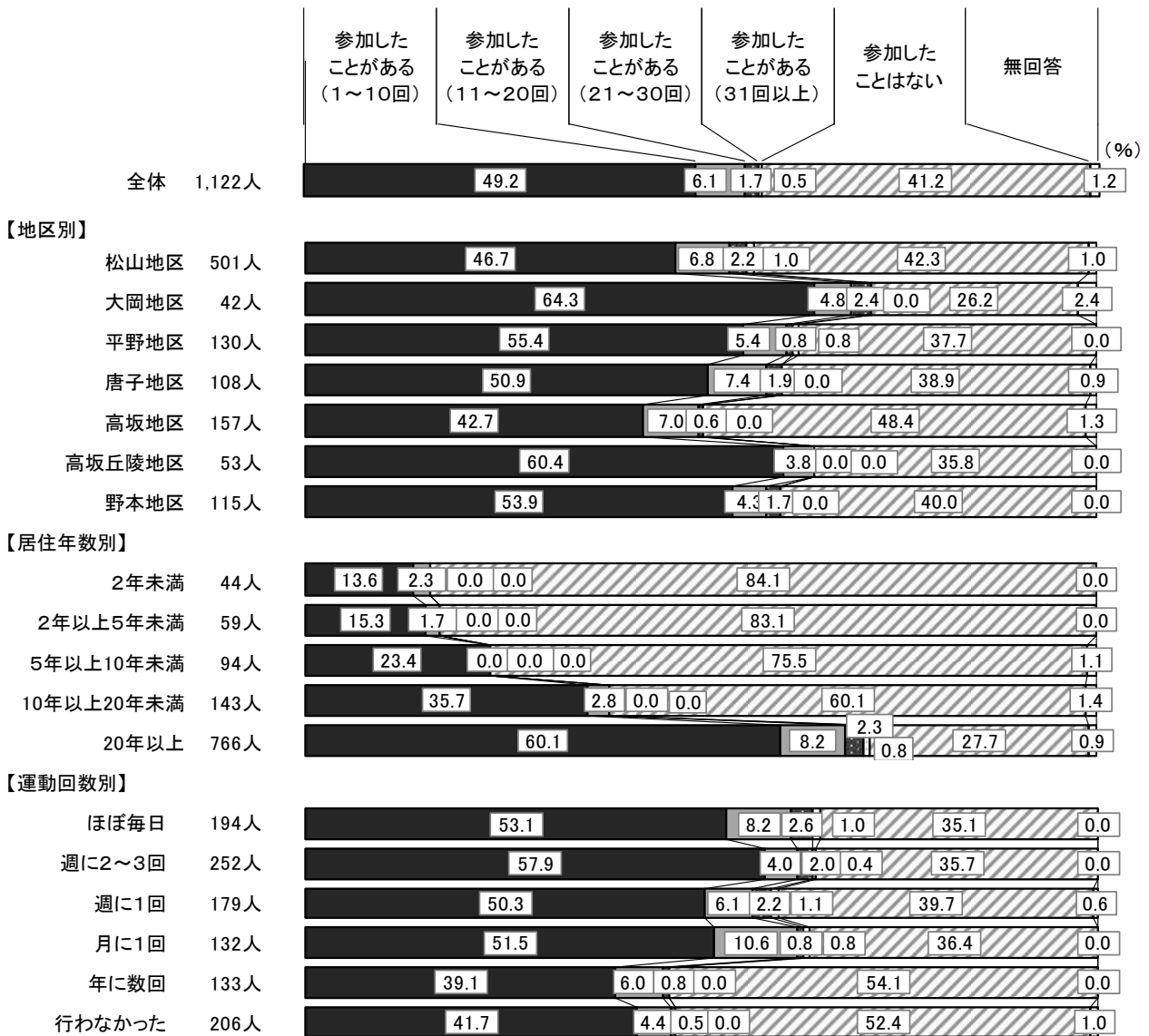


全体では「参加したことがある（1～10回）」の割合が49.2%と最も高く、次いで「参加したことはない」の割合が41.2%となっています。

性別でみると、女性の「参加したことがある（1～10回）」が最も高く、女性（52.7%）が男性（46.1%）を6.6ポイント上回っています。

年代別でみると「参加したことがある（1～10回）」は18～19歳で80.0%と最も高く、次いで20～29歳で66.2%となっています。一方「参加したことはない」は40～49歳代で47.6%と最も高くなっています。

日本スリーデーマーチの参加状況（地区・居住年数・運動回数別）



地区別では「参加したことがある（1～10回）」は大岡地区が64.3%と最も高く、平野地区、唐子地区、高坂丘陵地区、野本地区で5割以上となっています。一方「参加したことはない」は高坂地区が最も高く48.4%となっています。

居住年数で見ると、年数が長くなるほど“参加したことがある”が増加しています。「20年以上」では60.1%の市民に参加経験があることがわかります。

運動回数別で見ると「参加したことがある（1～10回）」は、週に2～3回が57.9%と最も高く、次いでほぼ毎日が53.1%、月に1回が51.5%となっています。一方「参加したことはない」は年に数回で最も高く54.1%となっています。

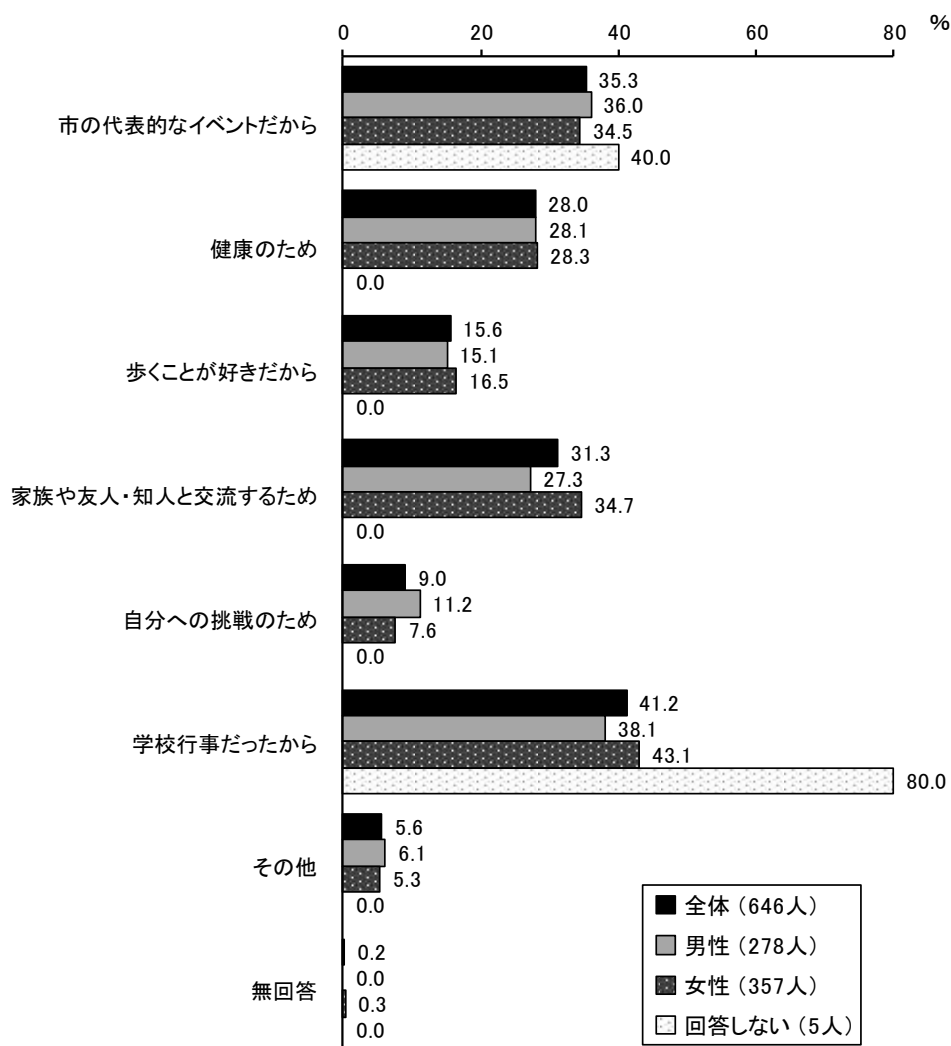
9-6 日本スリーデーマーチに参加した理由

◆「学校行事だったから」41.2%、「市の代表的なイベントだから」35.3%◆

(問27で参加したことがあるとお答えの方におたずねします。)

問27-1. 日本スリーデーマーチに参加した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

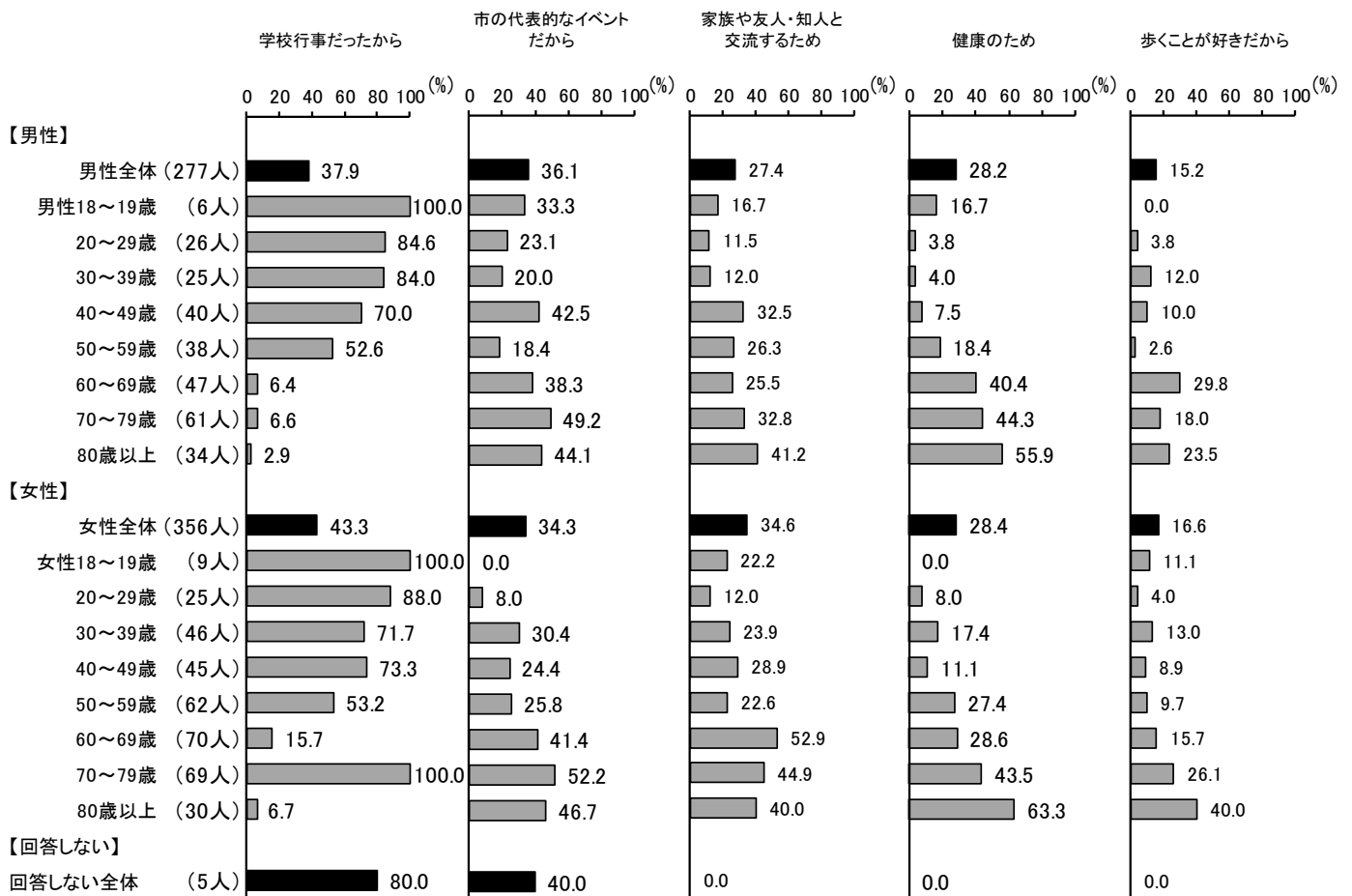
日本スリーデーマーチに参加した理由(全体・性別)



全体では「学校行事だったから」の割合が41.2%と最も高く、次いで「市の代表的なイベントだから」の割合が35.3%、「家族や友人・知人と交流するため」の割合が31.3%となっています。

性別でみると「家族や友人・知人と交流するため」は女性(34.7%)が男性(27.3%)を7.4ポイント上回っています。

日本スリーデーマーチに参加した理由（上位5項目 性・年代別）



性・年代別で見ると「学校行事だったから」は、男性・女性ともに18～19歳で100.0%と最も高くなっています。

「市の代表的なイベントだから」は、女性の70～79歳で52.2%と最も高くなっています。

「家族や友人・知人と交流するため」は、女性の60～69歳で52.9%と最も高くなっています。男性では80歳以上で41.2%と最も高くなっています。

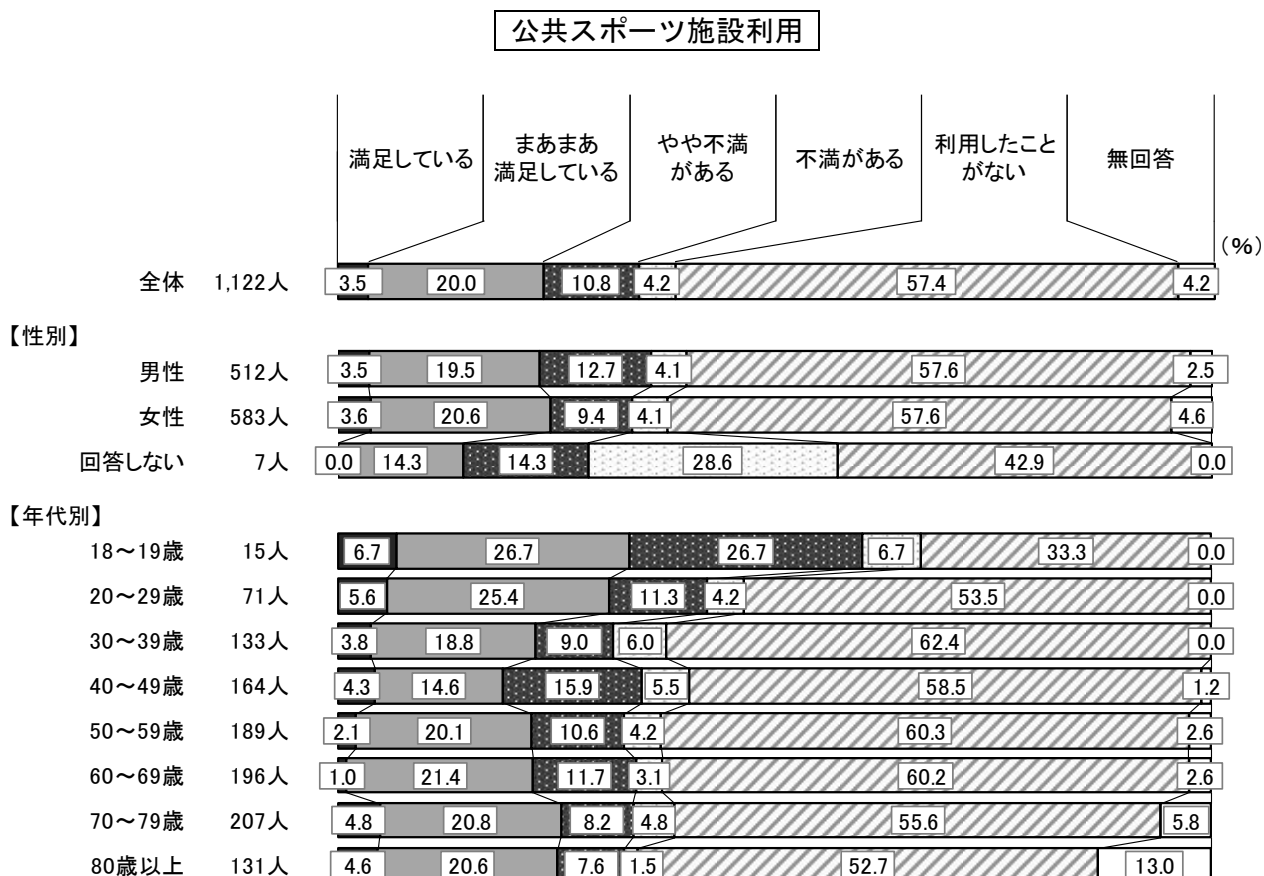
「健康のため」は、男性・女性ともに年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男性の80歳以上で55.9%、女性の80歳以上で63.3%と最も高くなっています。

「歩くことが好きだから」は、女性の80歳以上で40.0%と最も高くなっています。

9-7 公共スポーツ施設利用

◆ “満足している”の割合が23.5%、“不満がある”の割合が15.0%◆

問28. 公共スポーツ施設についておたずねします。公共スポーツ施設を利用してどのように感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



※「公共スポーツ施設利用」は新設の設問です。

全体では「満足している」と「まあまあ満足している」をあわせた“満足している”の割合が23.5%、「やや不満がある」と「不満がある」をあわせた“不満がある”の割合が15.0%、「利用したことがない」の割合が57.4%となっています。

性別でみると大きな差異はみられませんでした。

年代別でみると“満足している”の割合が18～19歳、20～29歳で3割を超えています。一方、“不満がある”の割合が、18～19歳で3割を超えています。

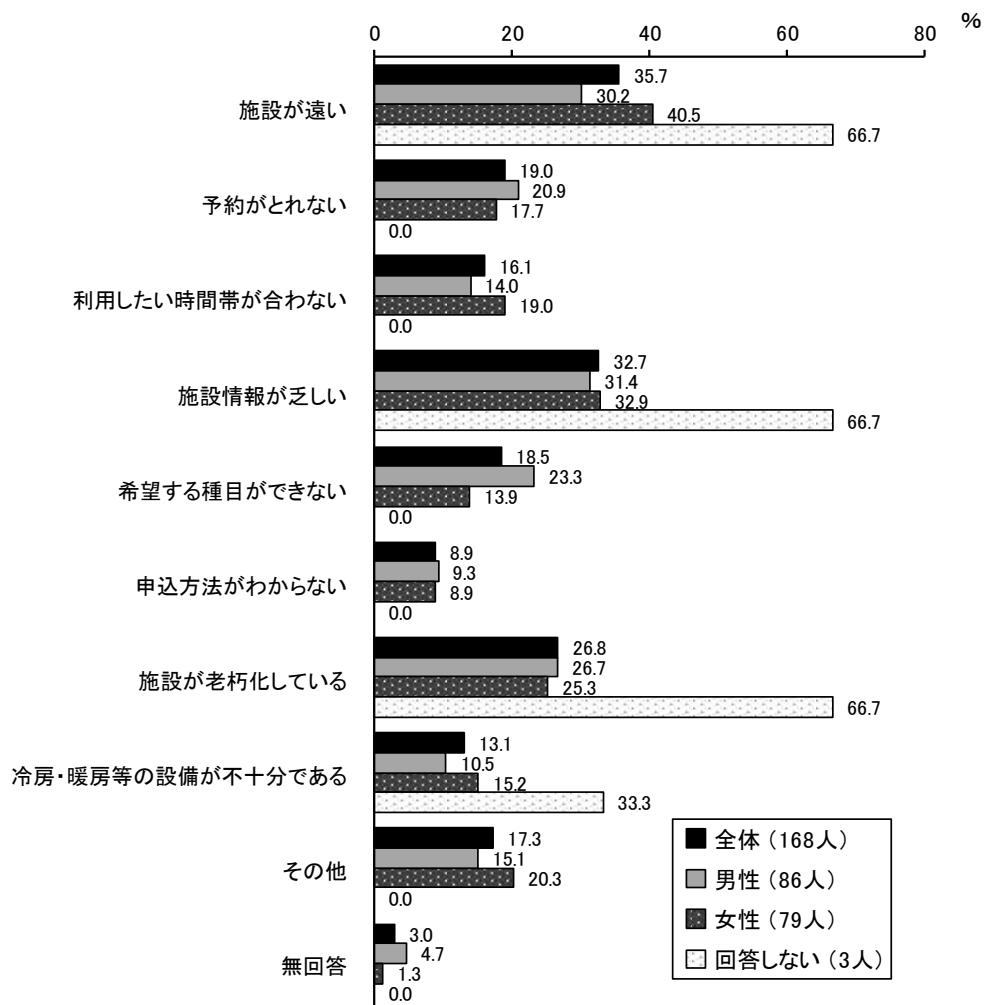
9-8 公共スポーツ施設について不満がある理由

◆「施設が遠い」35.7%、「施設情報が乏しい」32.7%◆

(問28で「やや不満がある」、「不満がある」とお答えの方におたずねします。)

問28-1. その理由は何ですか。3つまで選び、番号を○で囲んでください。

公共スポーツ施設利用について思うことの理由(全体・性別)



※「公共スポーツ施設利用について思うこと」は新設の設問です。

全体では「施設が遠い」の割合が35.7%と最も高く、次いで「施設情報が乏しい」の割合が32.7%、「施設が老朽化している」の割合が26.8%となっています。

性別で見ると「施設が遠い」は女性(40.5%)が男性(30.2%)を10.3ポイント上回っています。

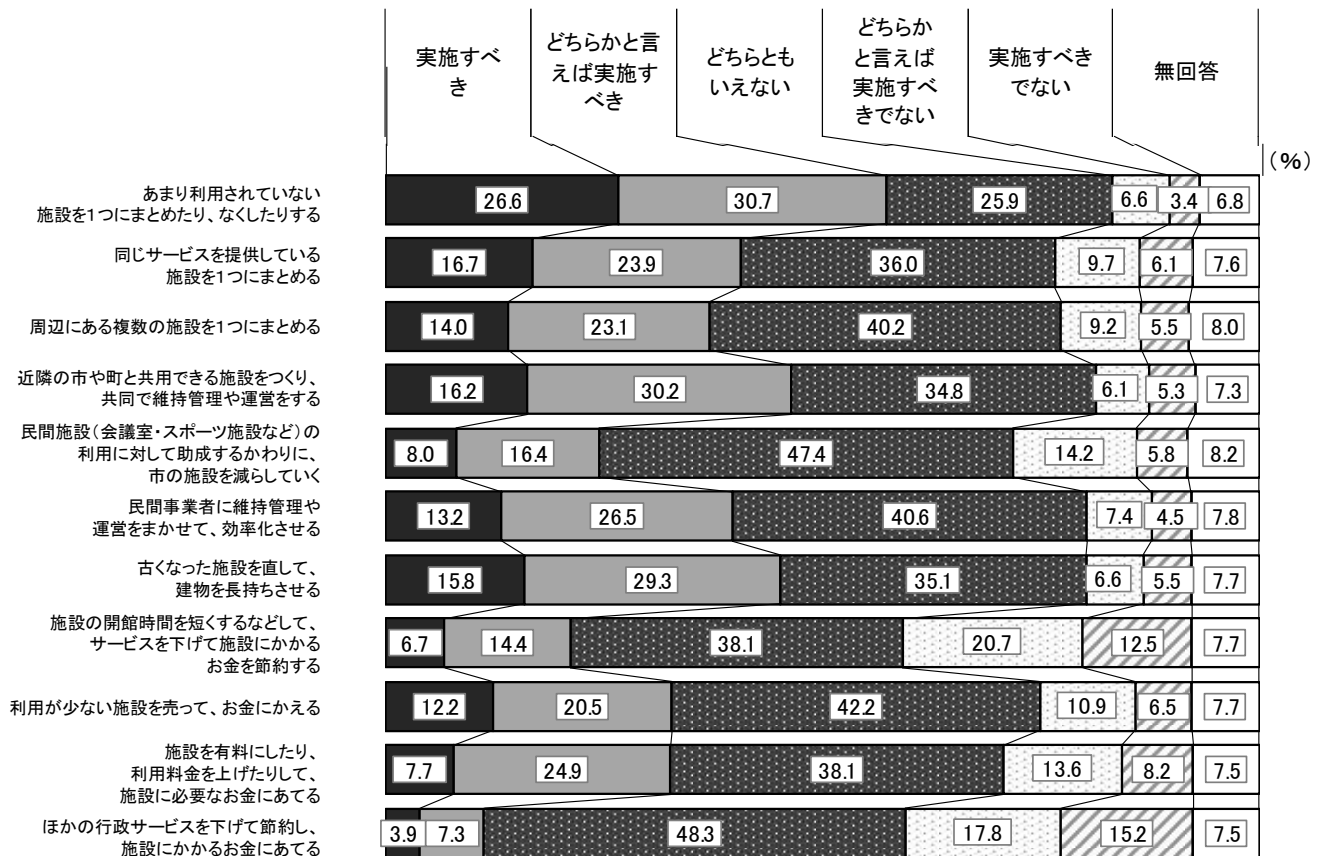
10 公共施設について

10-1 公共施設（市の建物）を維持するためにすべきこと

◆<あまり利用されていない施設を1つにまとめたり、なくしたりする>57.3%◆

問 29. 公共施設（市の建物）に対する考え方についておたずねします。人口減少などによる利用状況の変化や、厳しい財政状況の中で公共施設を維持するためにはどうすべきと思いますか。次の項目について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

公共施設（市の建物）を維持するためにすべきこと



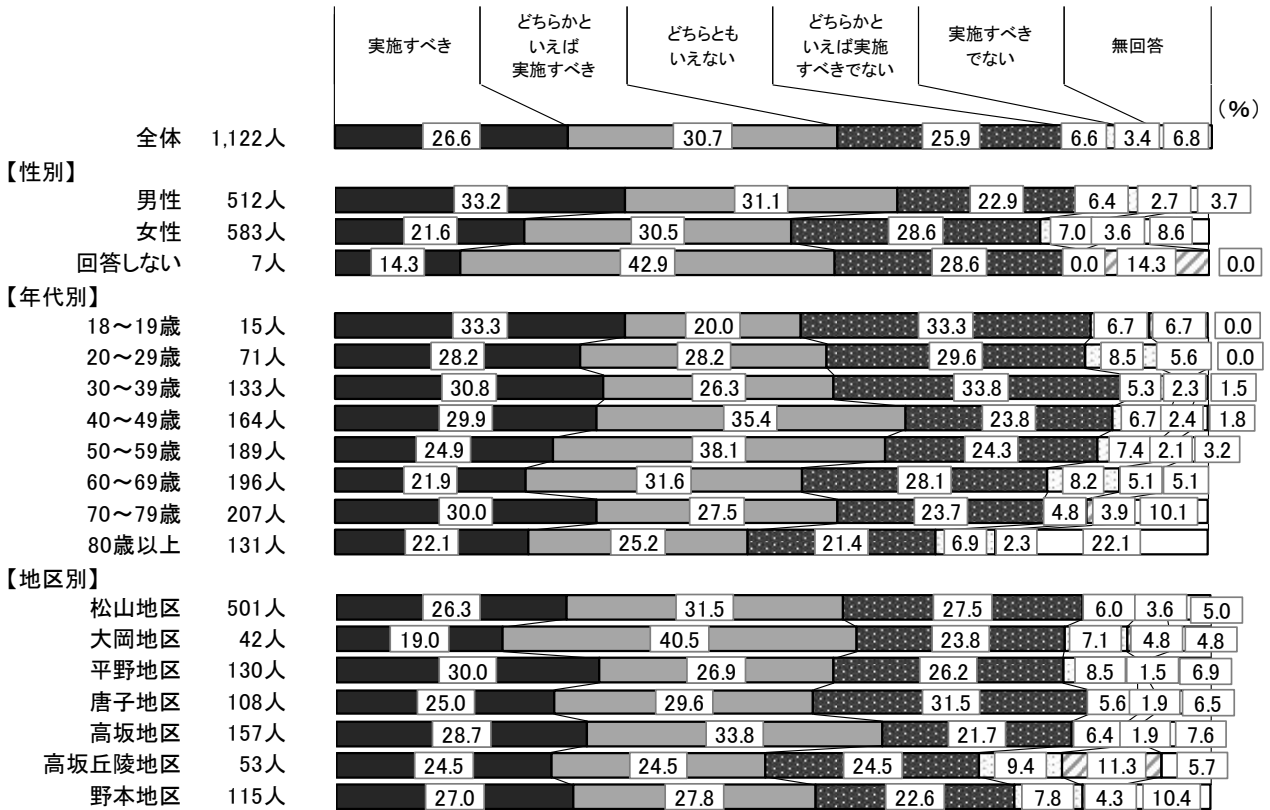
「実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」を合わせた“実施すべき”は<あまり利用されていない施設を1つにまとめたり、なくしたりする>で57.3%と最も高くなっています。また「実施すべきでない」と「どちらかといえば実施すべきでない」を合わせた“実施すべきでない”は<施設の開館時間を短くするなどして、サービスを下げて施設にかかるお金を節約する>で33.2%と最も高くなっています。

“実施すべきでない”が“実施すべき”を上回る項目は<施設の開館時間を短くするなどして、サービスをさげて施設にかかるお金を節約する><ほかの行政サービスをさげて節約し、施設にかかるお金にあてる>の2項目であり、それ以外の項目では“実施すべき”が“実施すべきでない”を上回っていることから、公共施設を維持するための取組について実施すべきとする傾向が高いものの、サービスの低下につながる取組については実施すべきではないという傾向があります。

あまり利用されていない施設を1つにまとめたり、なくしたりする

◆ “実施すべき” 57.3%、“実施すべきでない” 10.0% ◆

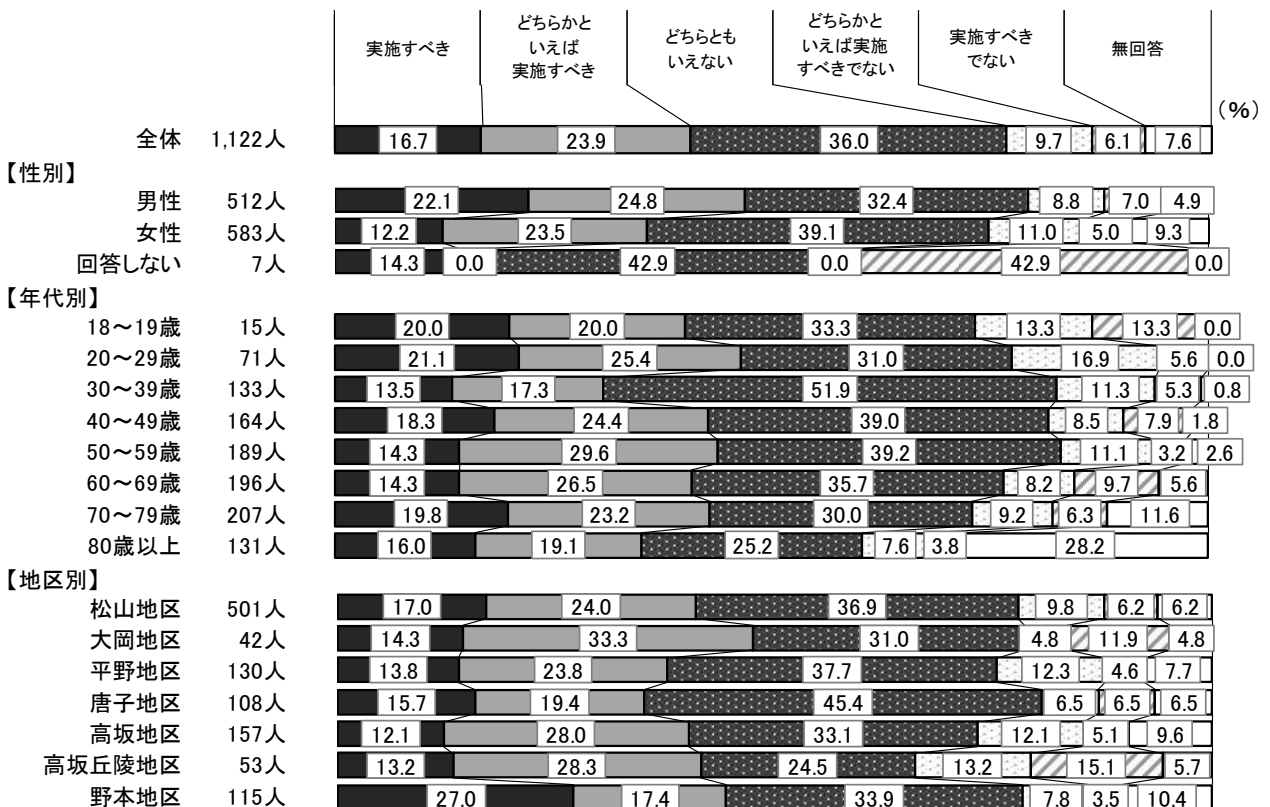
あまり利用されていない施設を1つにまとめたり、なくしたりする



同じサービスを提供している施設を1つにまとめる

◆ “実施すべき” 40.6%、“実施すべきでない” 15.8% ◆

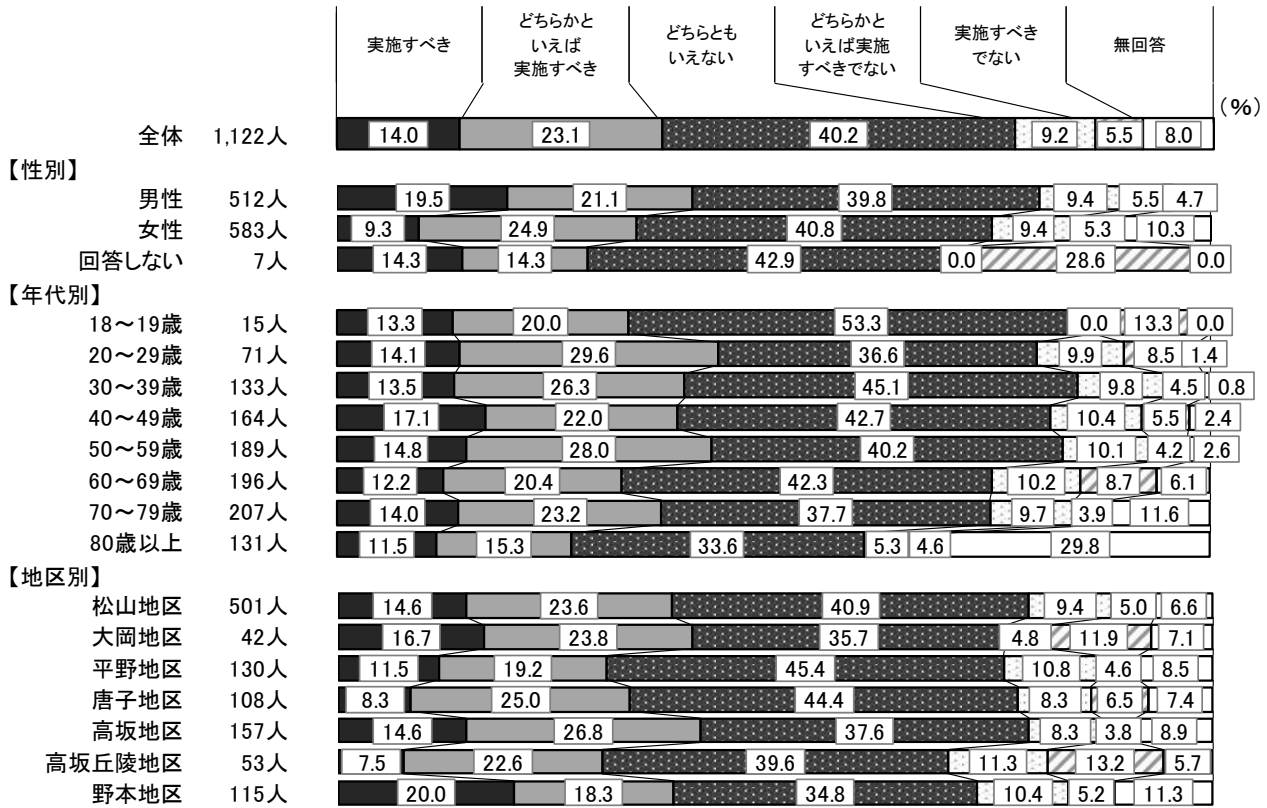
同じサービスを提供している施設を1つにまとめる



周辺にある複数の施設を1つにまとめる

◆ “実施すべき” 37.1%、“実施すべきでない” 14.7%◆

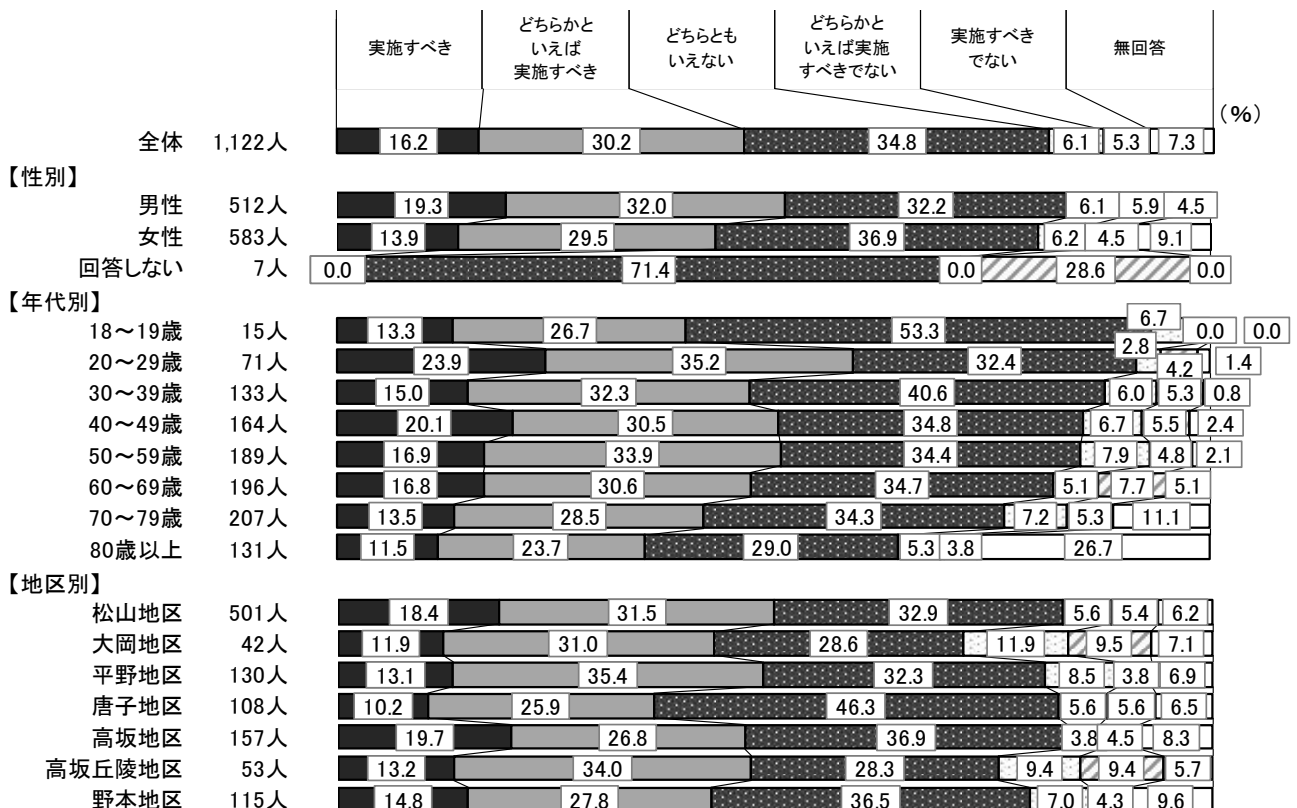
周辺にある複数の施設を1つにまとめる



近隣の市や町と共用できる施設をつくり、共同で維持管理や運営をする

◆ “実施すべき” 46.4%、“実施すべきでない” 11.4%◆

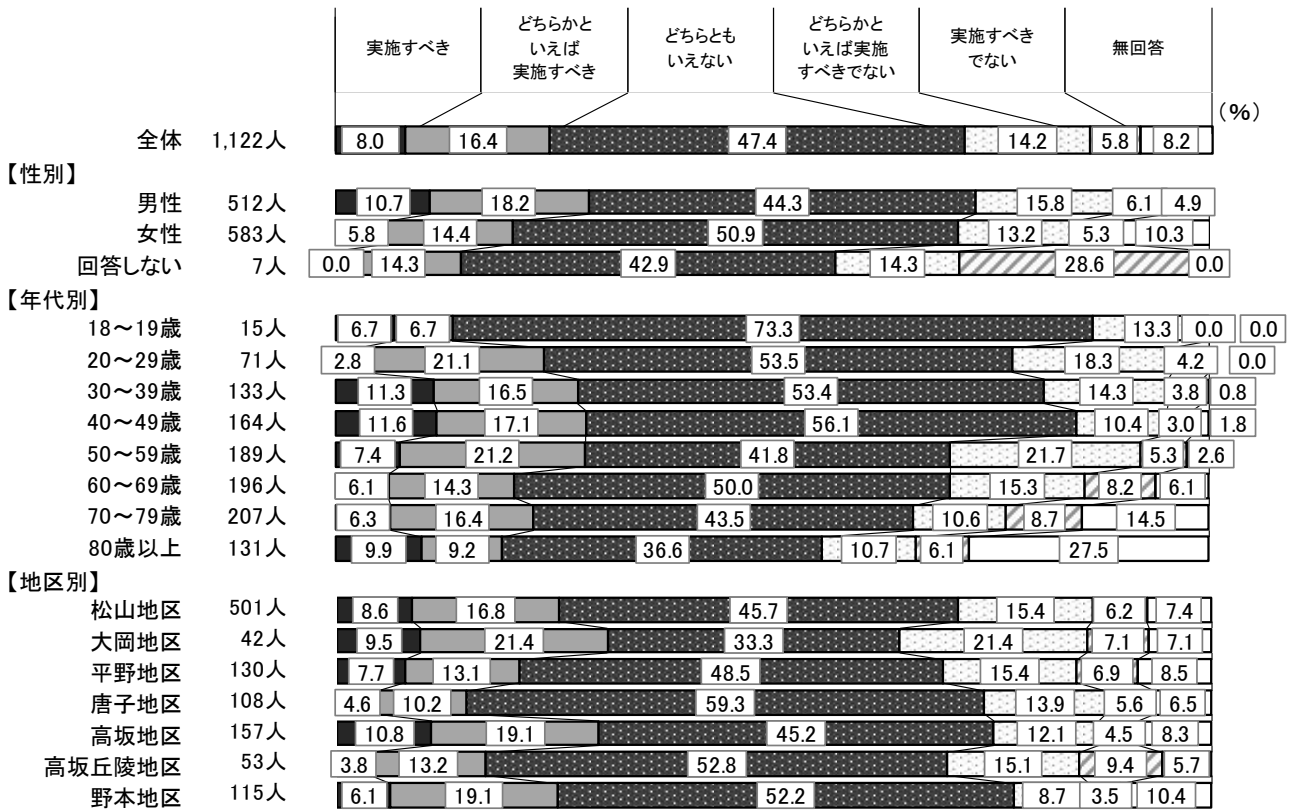
近隣の市や町と共用できる施設をつくり、共同で維持管理や運営をする



民間施設（会議室・スポーツ施設など）の利用に対して助成するかわりに、市の施設を減らしていく

◆ “実施すべき” 24.4%、“実施すべきでない” 20.0% ◆

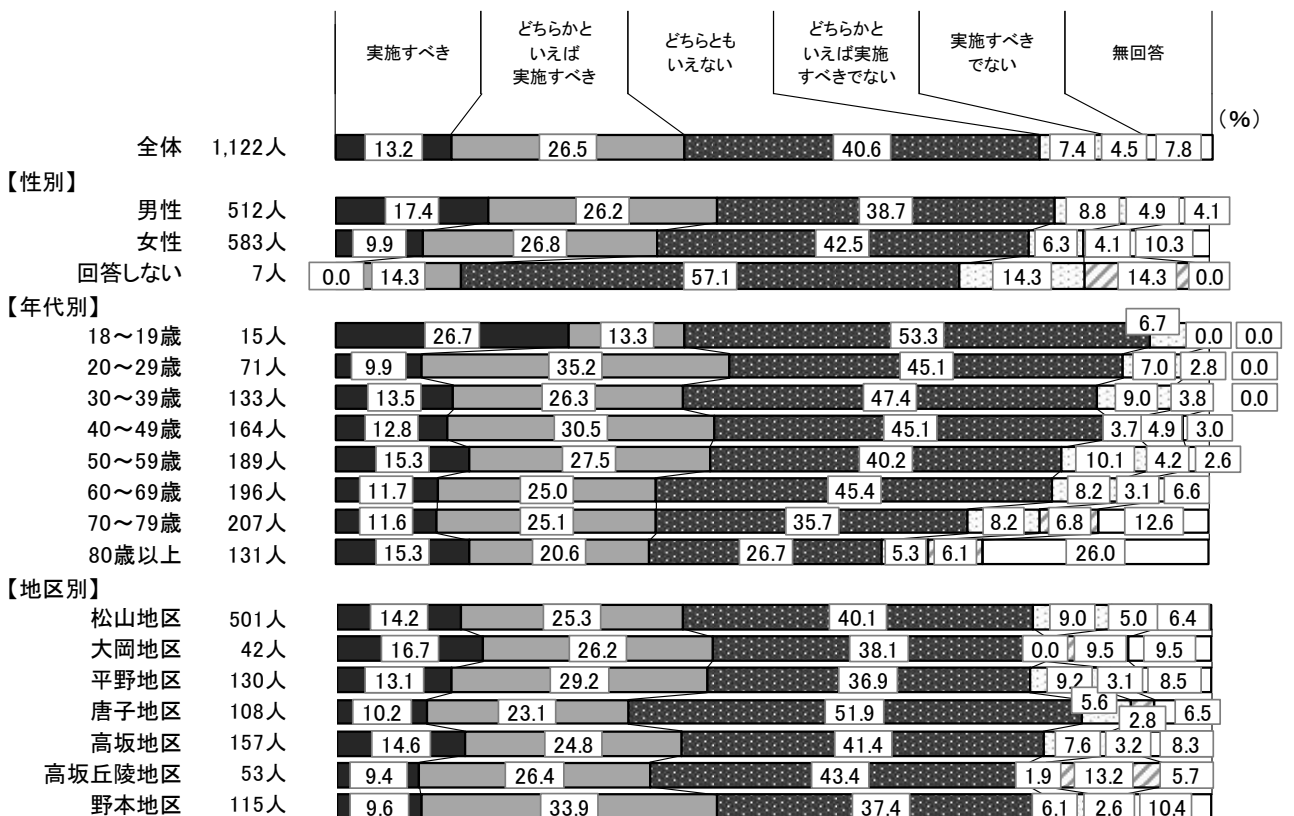
民間施設（会議室・スポーツ施設など）の利用に対して助成するかわりに、市の施設を減らしていく



民間事業者に維持管理や運営をまかせて、効率化させる

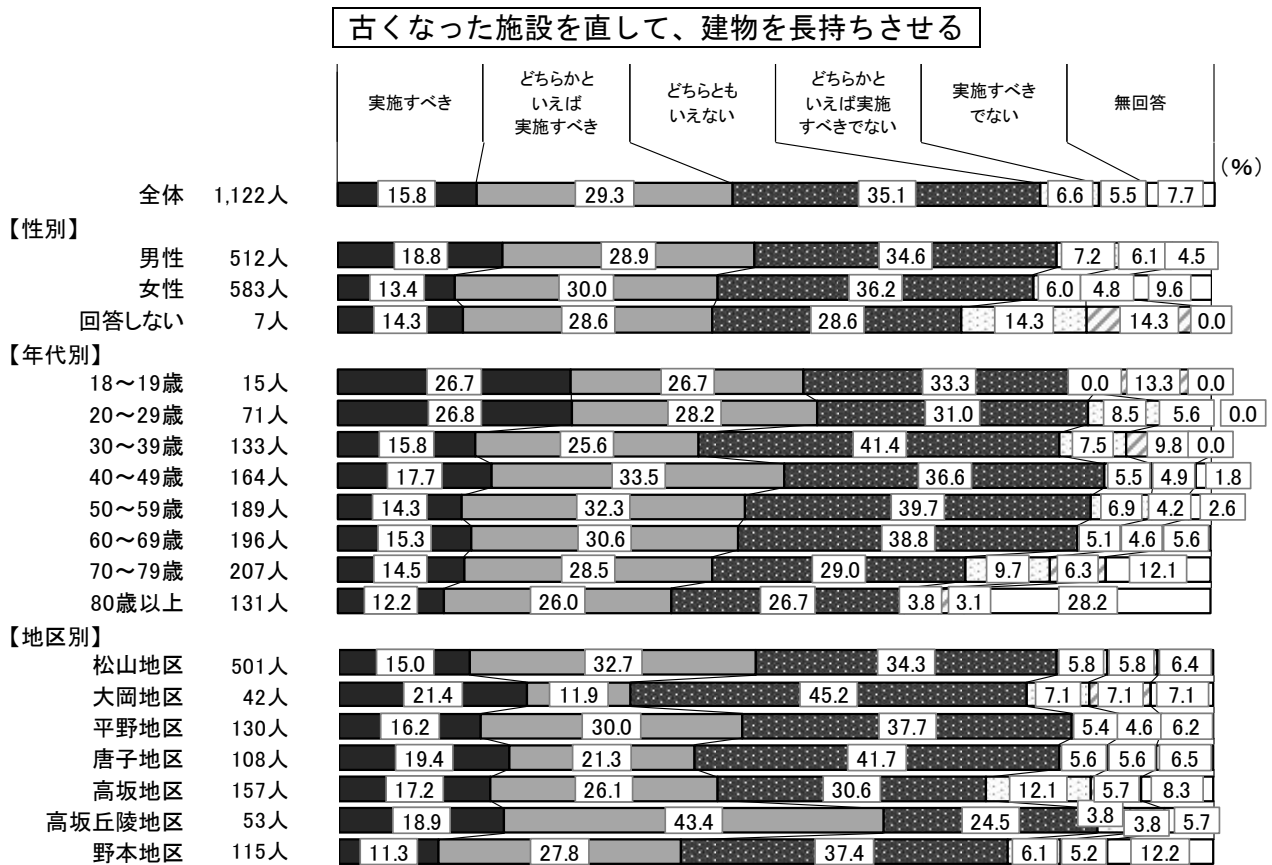
◆ “実施すべき” 39.7%、“実施すべきでない” 11.9% ◆

民間事業者に維持管理や運営をまかせて、効率化させる



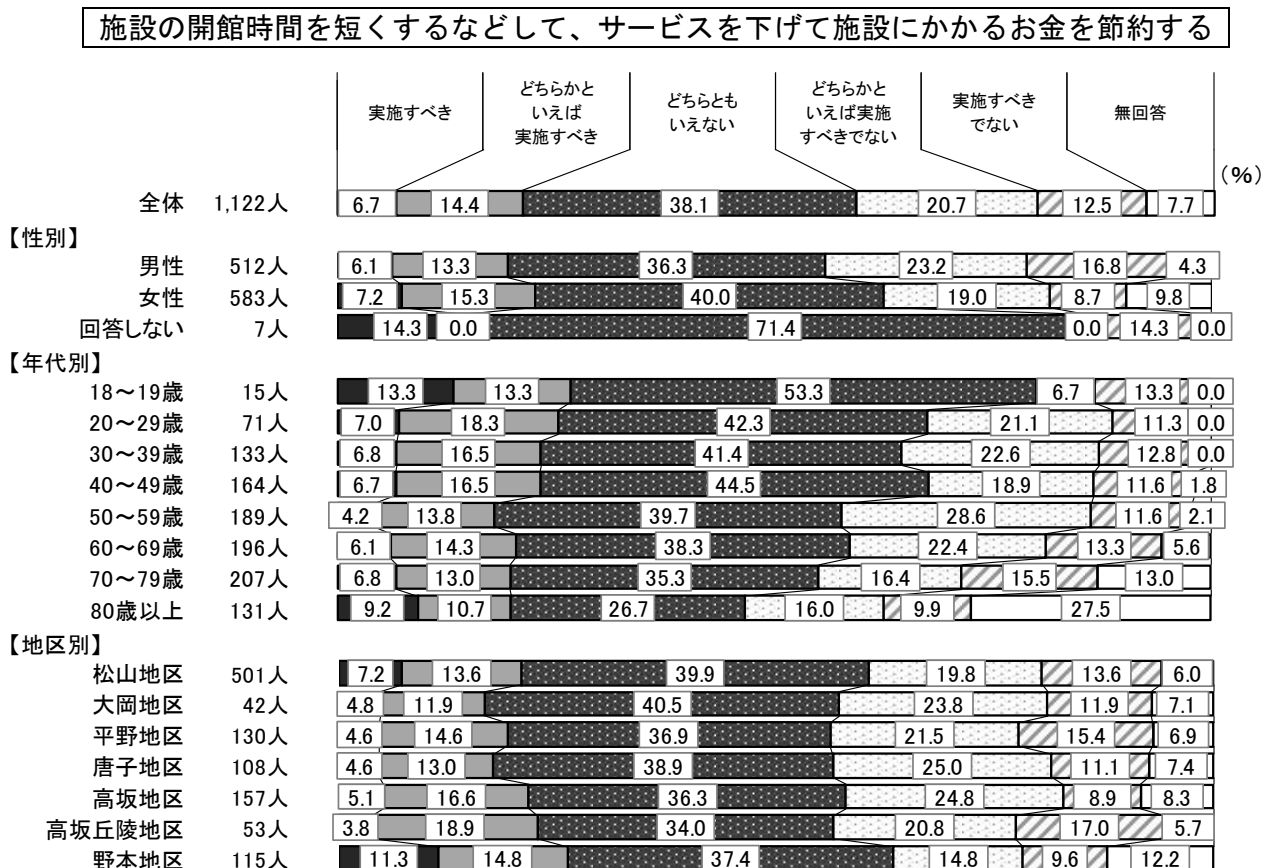
古くなった施設を直して、建物を長持ちさせる

◆ “実施すべき” 45.1%、“実施すべきでない” 12.1%◆



施設の開館時間を短くするなどして、サービスを下げて施設にかかるお金を節約する

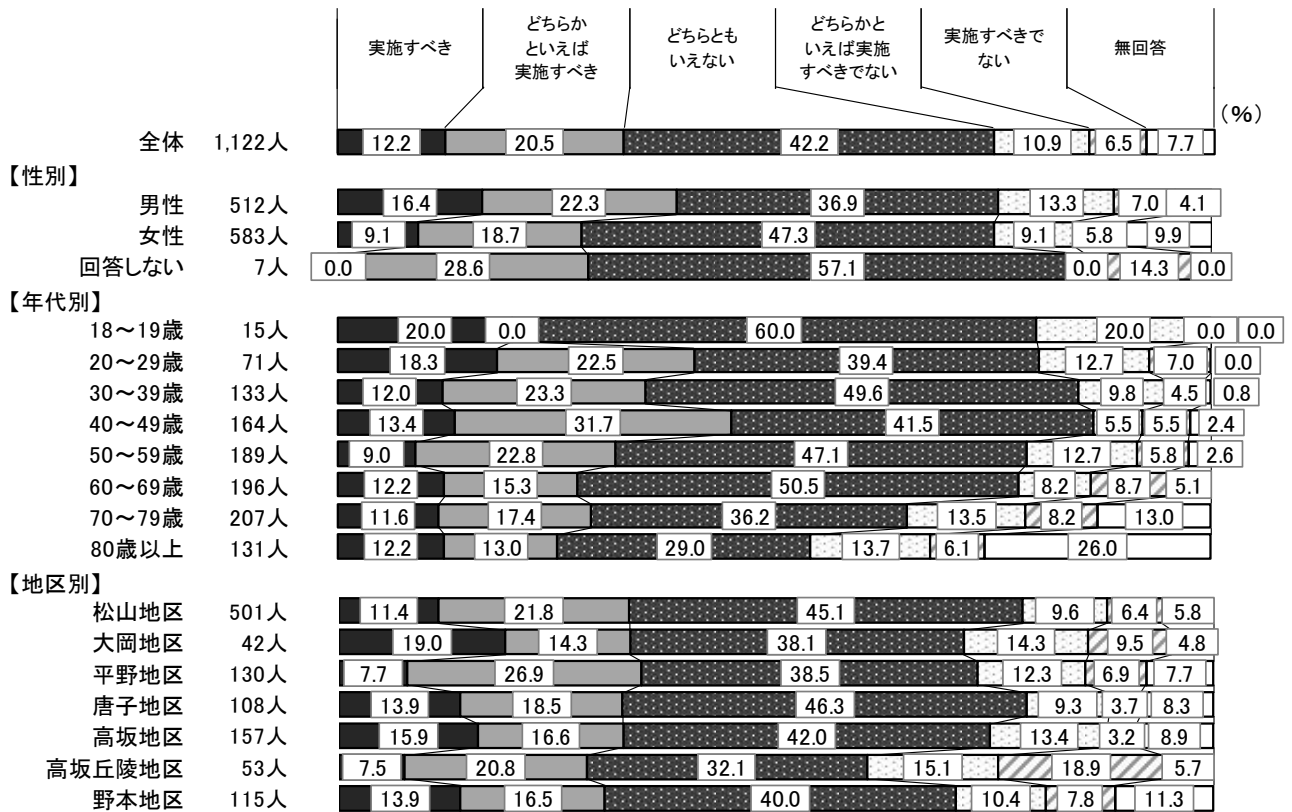
◆ “実施すべき” 21.1%、“実施すべきでない” 33.2%◆



利用が少ない施設を売って、お金にかえる

◆ “実施すべき” 32.7%、“実施すべきでない” 17.4% ◆

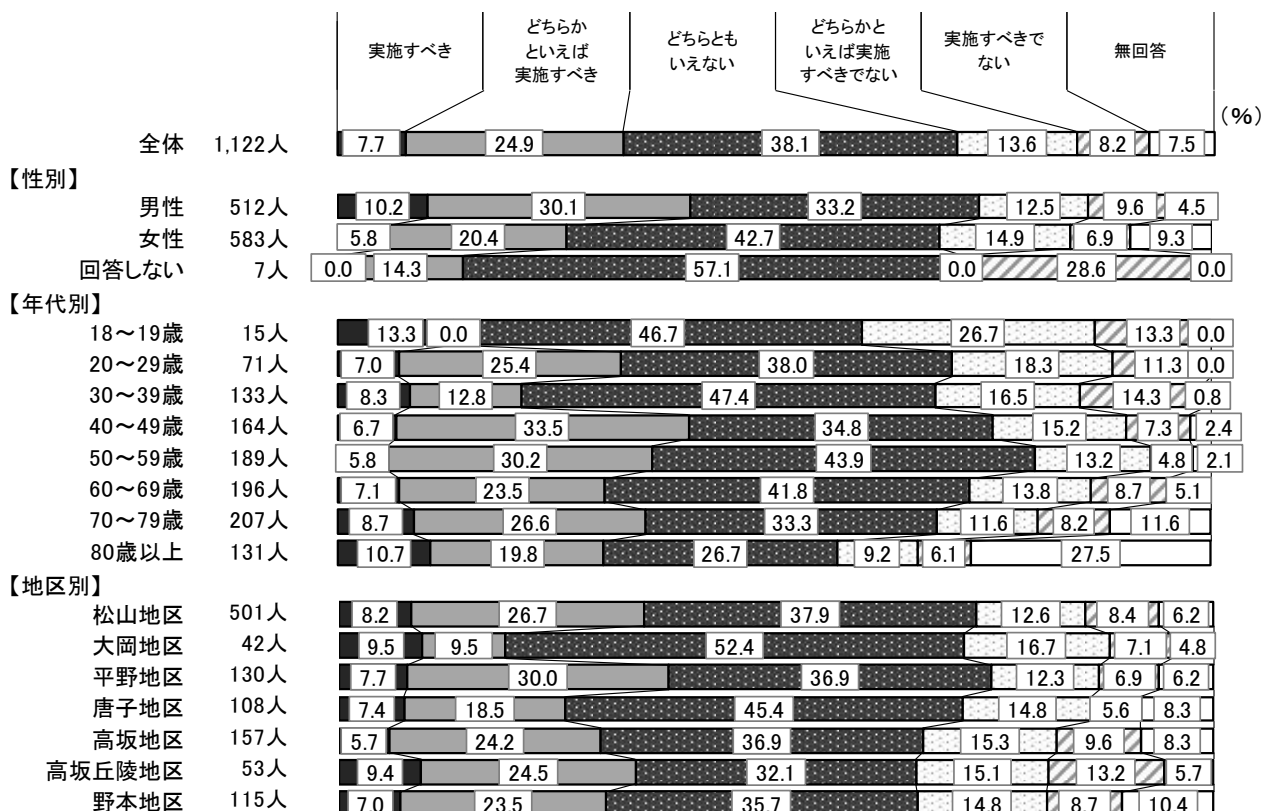
施設の開館時間を短くするなどして、サービスを下げた施設にかかるお金を節約する



施設を有料にしたり、利用料金を上げたりして、施設に必要なお金にあてる

◆ “実施すべき” 32.6%、“実施すべきでない” 21.8% ◆

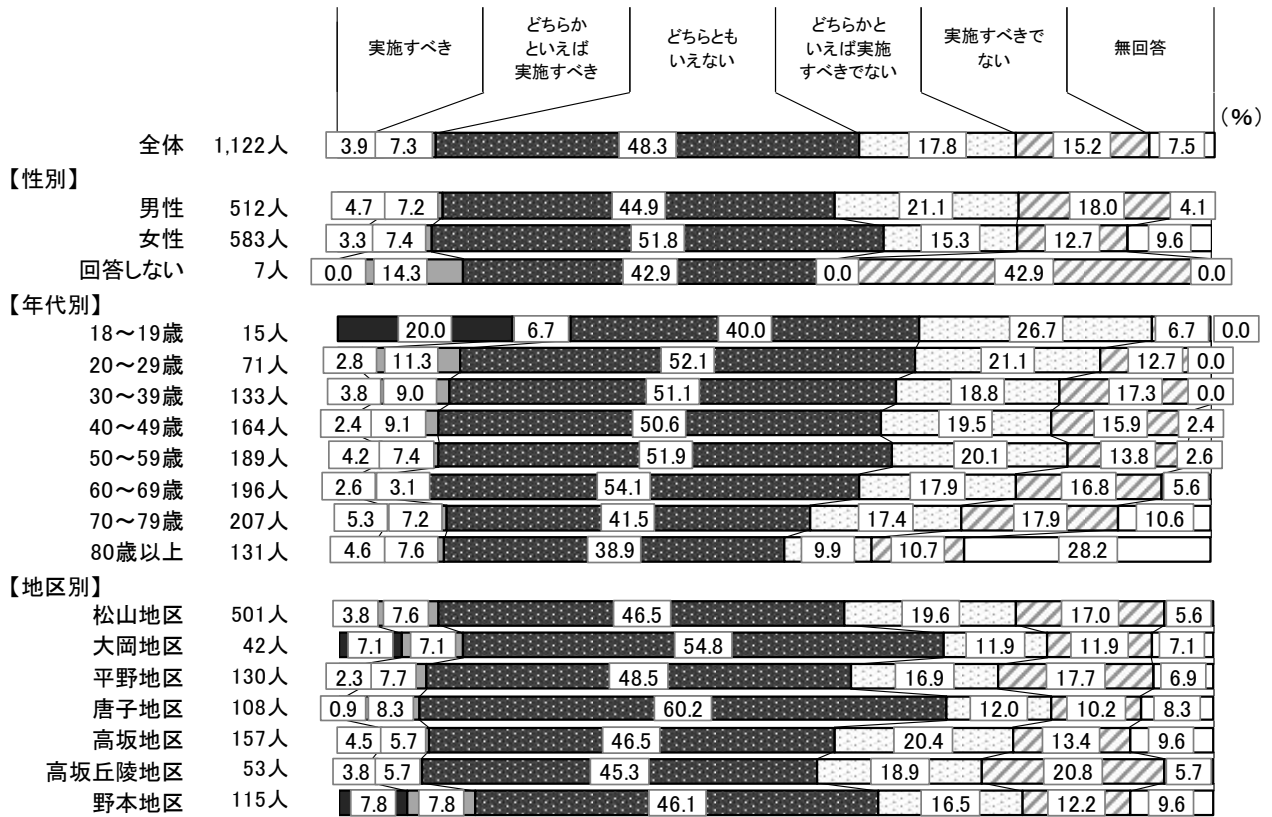
施設を有料にしたり、利用料金を上げたりして、施設に必要なお金にあてる



ほかの行政サービスを下げて節約し、施設にかかるお金にあてる

◆ “実施すべき” 11.2%、“実施すべきでない” 33.0%◆

ほかの行政サービスを下げて節約し、施設にかかるお金にあてる

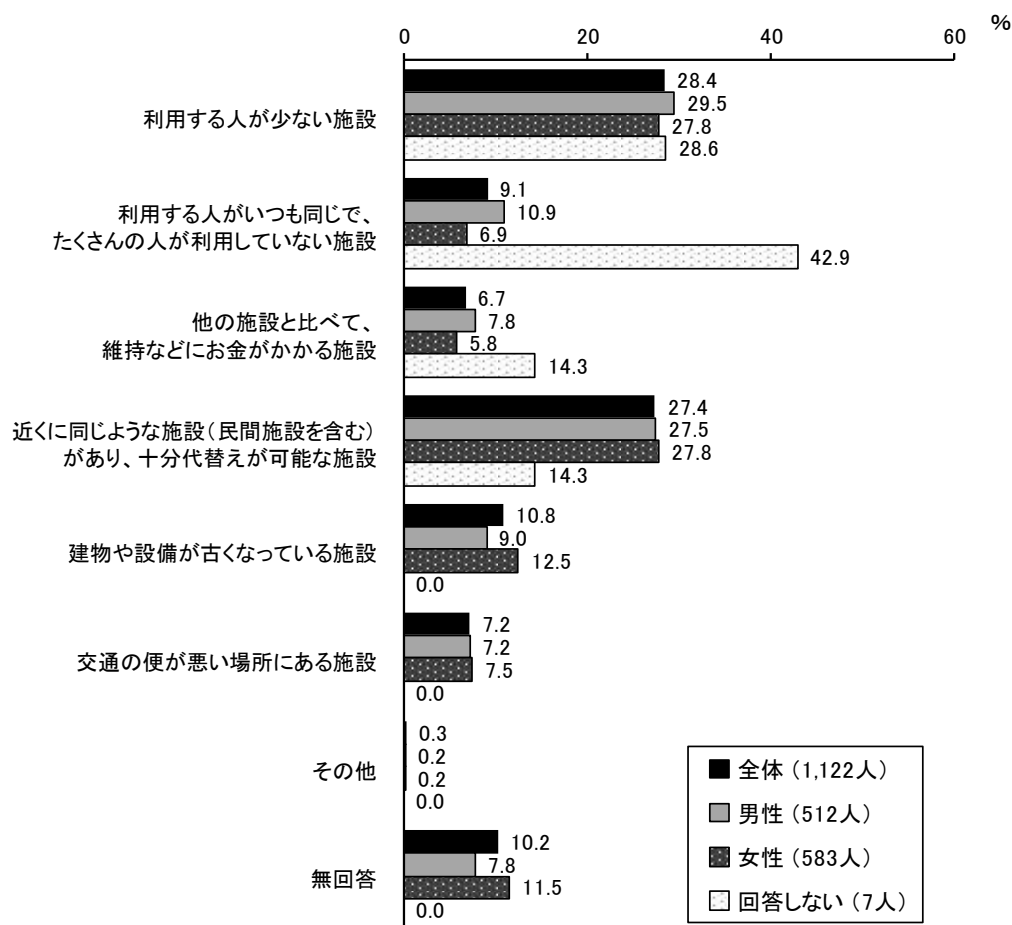


10-2 減らしていくべき公共施設（市の建物）

◆「利用する人が少ない施設」の割合が28.4%◆

問30. 今後、公共施設（市の施設）を減らさなければならなくなった場合に、どのような施設から減らしていくべきと思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

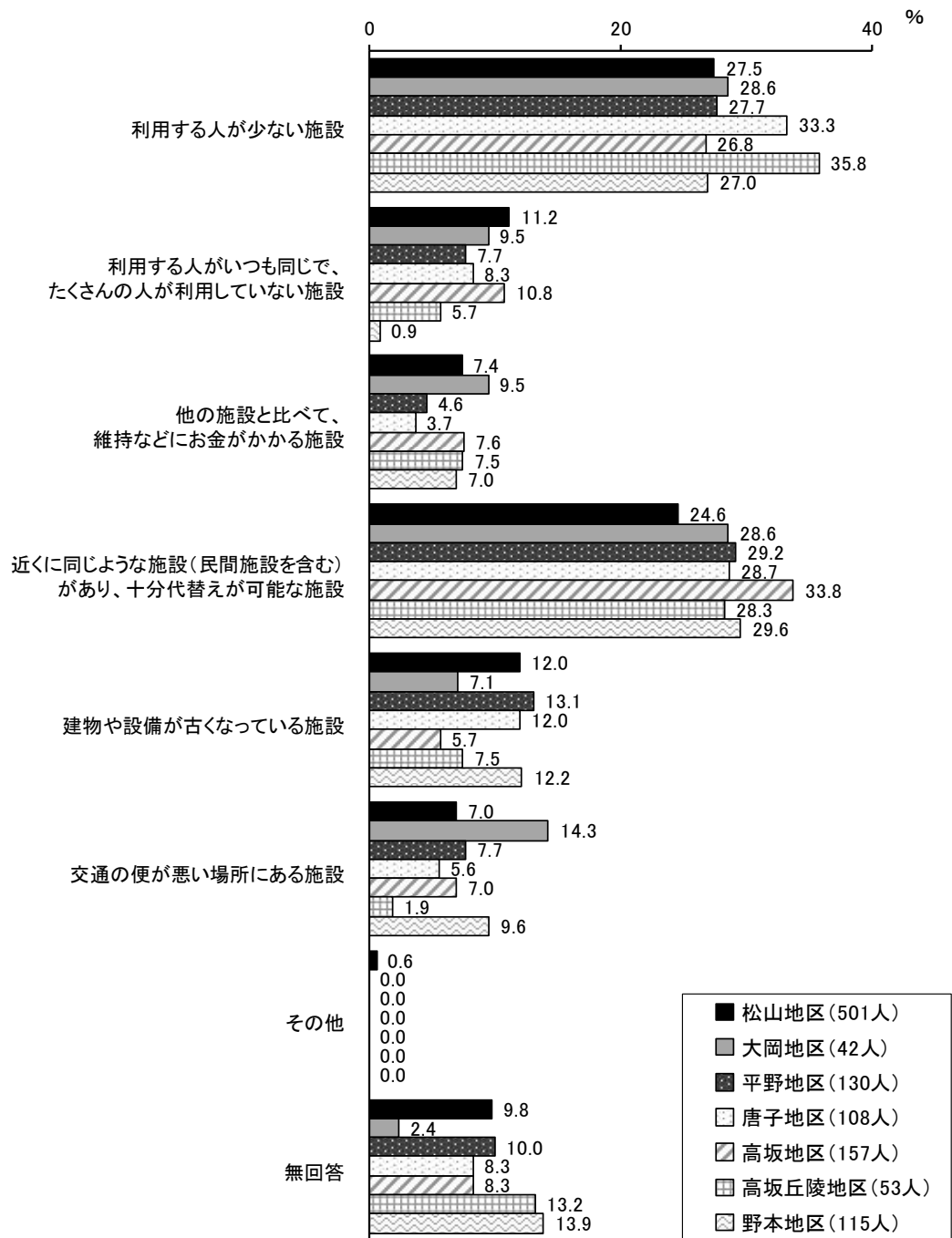
減らしていくべき公共施設（市の建物）（全体・性別）



全体では「利用する人が少ない施設」の割合が28.4%と最も高く、次いで「近くに同じような施設（民間施設を含む）があり、十分代替えが可能な施設」の割合が27.4%、「建物や設備が古くなっている施設」の割合が10.8%となっています。

性別で見ると「利用する人がいつも同じで、たくさんの人が利用していない施設」で男性（10.9%）が女性（6.9%）を4.0ポイント上回っています。一方「建物や設備が古くなっている施設」では女性（12.5%）が男性（9.0%）を3.5ポイント上回っています。

減らしていくべき公共施設（市の建物）（地区別）



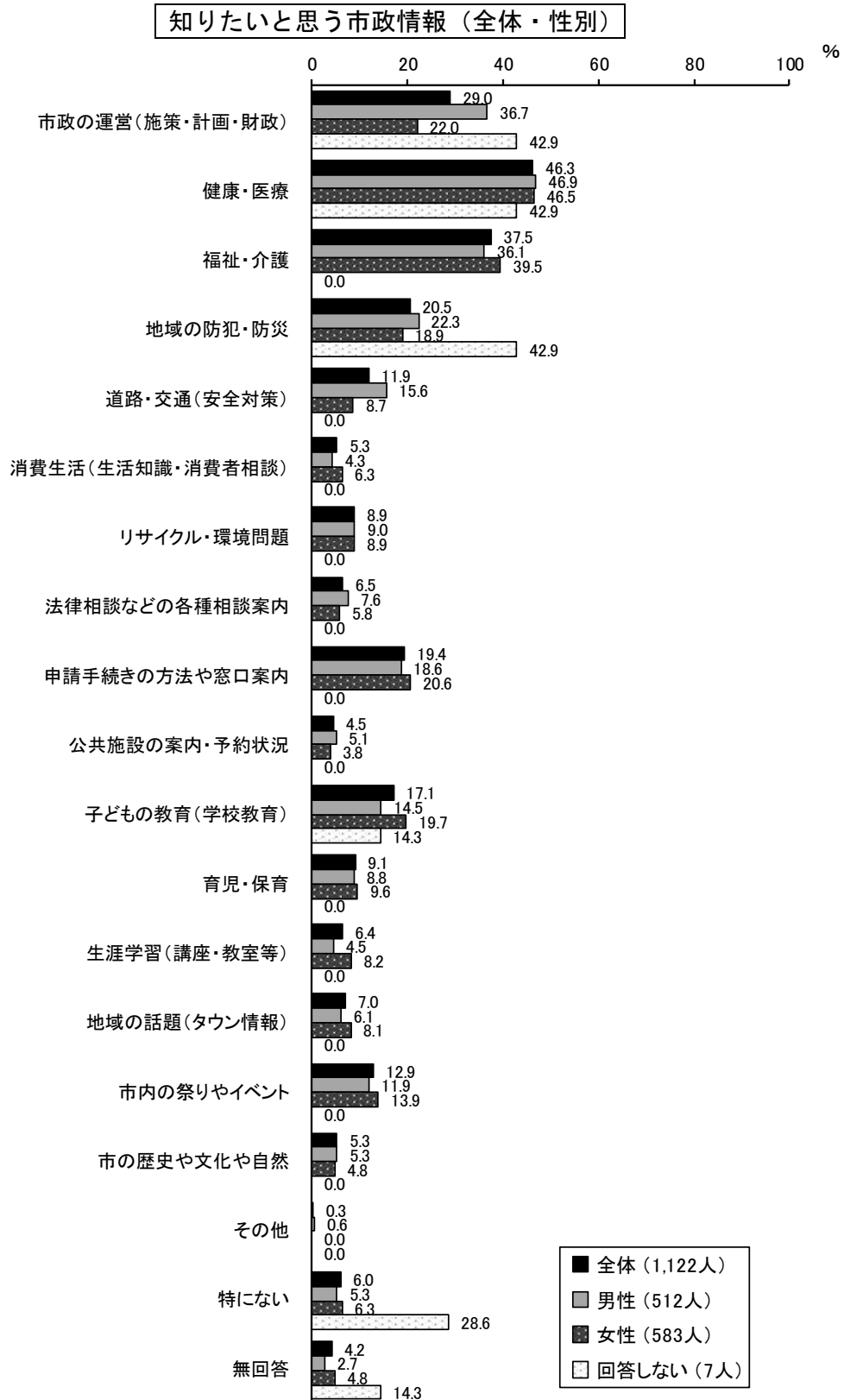
地区別でみると「利用する人が少ない施設」は高坂丘陵地区で35.8%と最も高く、高坂地区で26.8%と最も低くなっています。また「近くに同じような施設（民間施設を含む）があり、十分代替えが可能な施設」は高坂地区で33.8%と高くなっています。

11 市政情報について

11-1 知りたいと思う市政情報

◆「健康・医療」46.3%◆

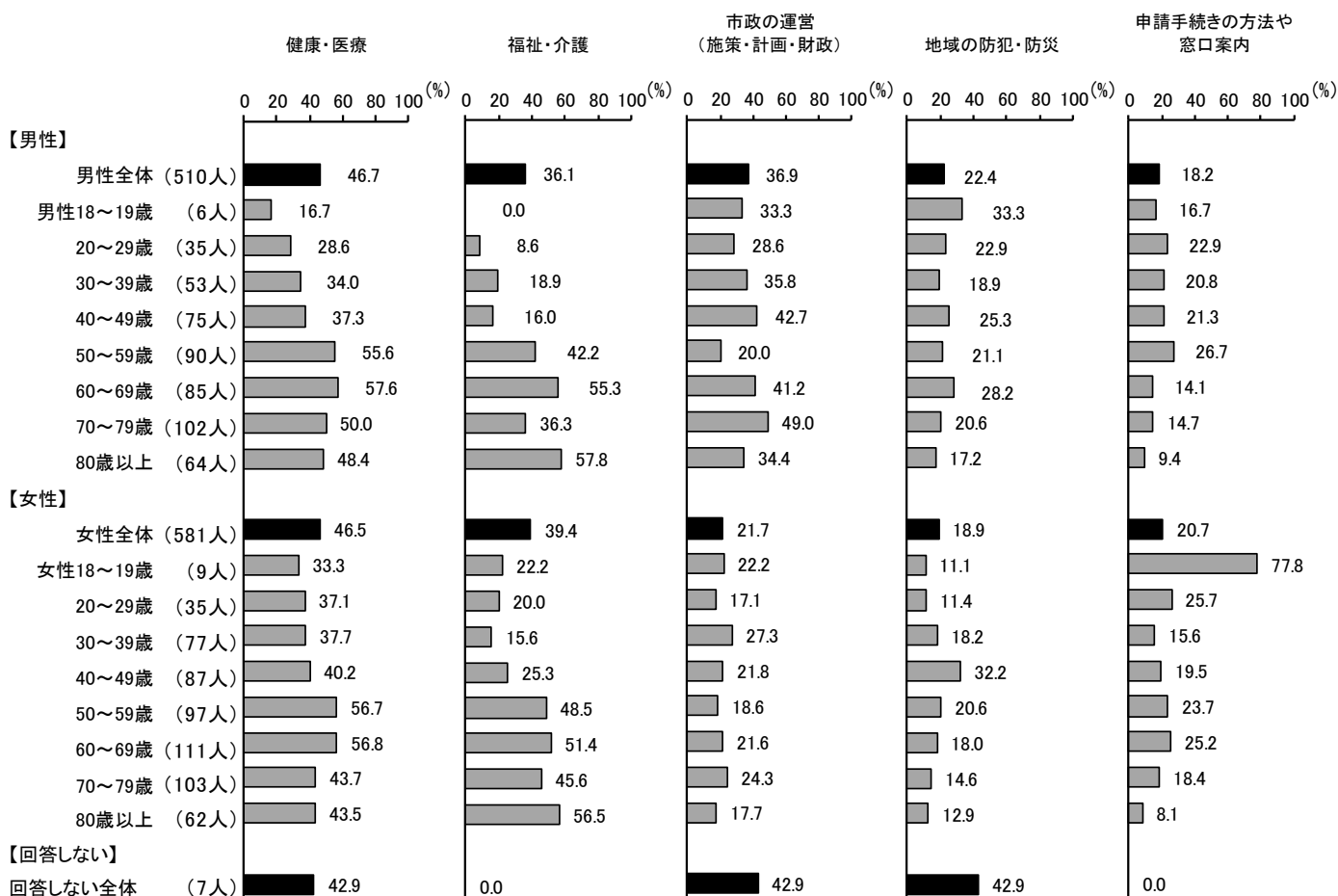
問 31. あなたが知りたいと思う市政にかかわる情報はどのようなものですか。3つまで
 選び、番号を○で囲んでください。



全体では「健康・医療」の割合が46.3%と最も高く、次いで「福祉・介護」の割合が37.5%、「市政の運営（施策・計画・財政）」の割合が29.0%となっています。

性別でみると「市政の運営（施策・計画・財政）」で男性（36.7%）が女性（22.0%）を14.7ポイント、「地域の防犯・防災」で男性（22.3%）が女性（18.9%）を3.4ポイント上回っています。一方、「子どもの教育（学校教育）」は女性（19.7%）が男性（14.5%）を5.2ポイント、「生涯学習（講座・教室等）」では女性（8.2%）が男性（4.5%）を3.7ポイント上回っています。

知りたいと思う市政情報（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「健康・医療」は男性の50~59歳から70~79歳までで5割を超え、女性の50~59歳と60~69歳で5割半ばと高くなっています。

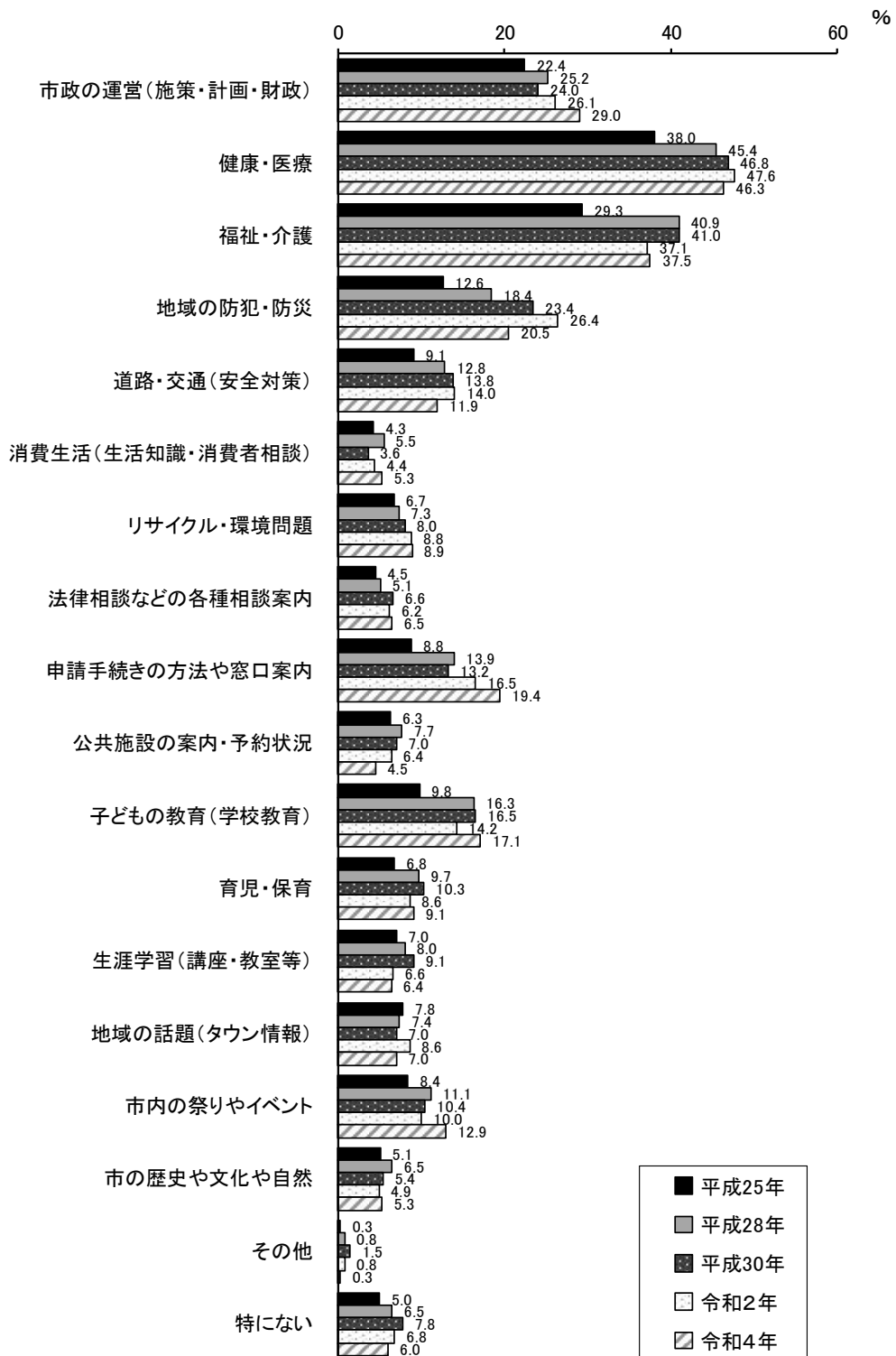
「福祉・介護」は男性・女性ともに80歳以上で57.8%、56.5%とそれぞれ最も高くなっています。

「市政の運営（施策・計画・財政）」は男性の70~79歳で49.0%と高くなっています。女性では30~39歳で27.3%と比較的高くなっています。

「地域の防犯・防災」は男性の18~19歳で33.3%、女性の40~49歳で32.2%と最も高くなっています。

「申請手続きの方法や窓口案内」は男性の50~59歳で26.7%、女性の18~19歳で77.8%と最も高くなっています。

知りたいと思う市政情報（経年比較）

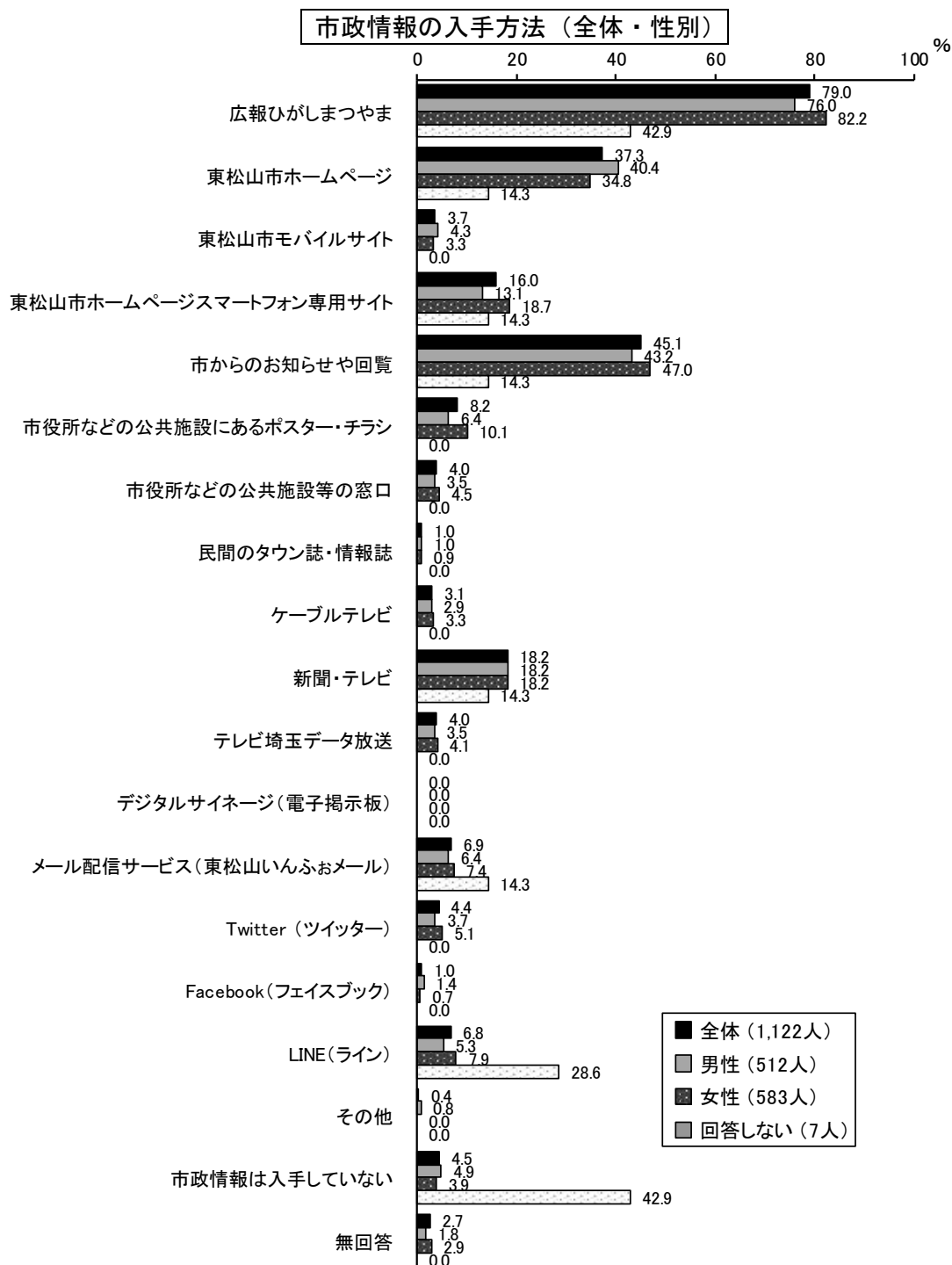


令和2年度調査と比較すると、「市政の運営（施策・計画・財政）」「申請手続きの方法や窓口案内」 「子どもの教育（学校教育）」 「市内の祭りやイベント」で2.9ポイント増加しています。また、平成25年度調査以降「リサイクル・環境問題」は増加しています。

11-2 市政情報の入手方法

◆「広報ひがしまつやま」79.0%◆

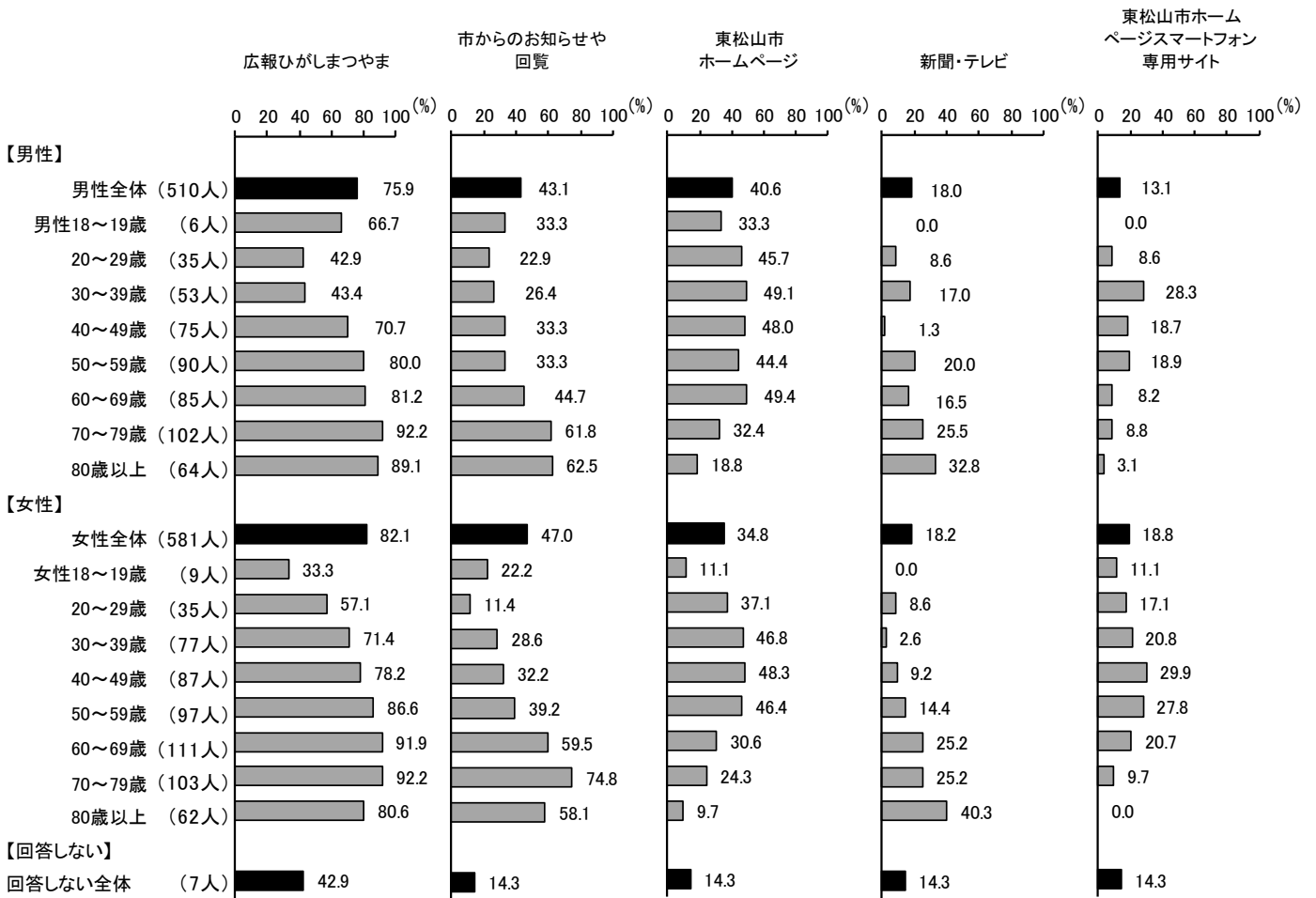
問 32. あなたは、市政情報をどのような方法で入手していますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。



全体では「広報ひがしまつやま」の割合が79.0%と最も高く、次いで「市からのお知らせや回覧」の割合が45.1%、「東松山市ホームページ」の割合が37.3%となっています。

性別でみると「広報ひがしまつやま」では女性(82.2%)が男性(76.0%)を6.2ポイント、「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」では女性(18.7%)が男性(13.1%)を5.6ポイント上回っています。

市政情報の入手方法（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「広報ひがしまつやま」は男性の70～79歳で、女性の60～69歳、70～79歳で9割を超え、高い割合となっていますが、男性の20～29歳、30～39歳はそれぞれ42.9%、43.4%、女性の18～19歳は33.3%と低くなっています。

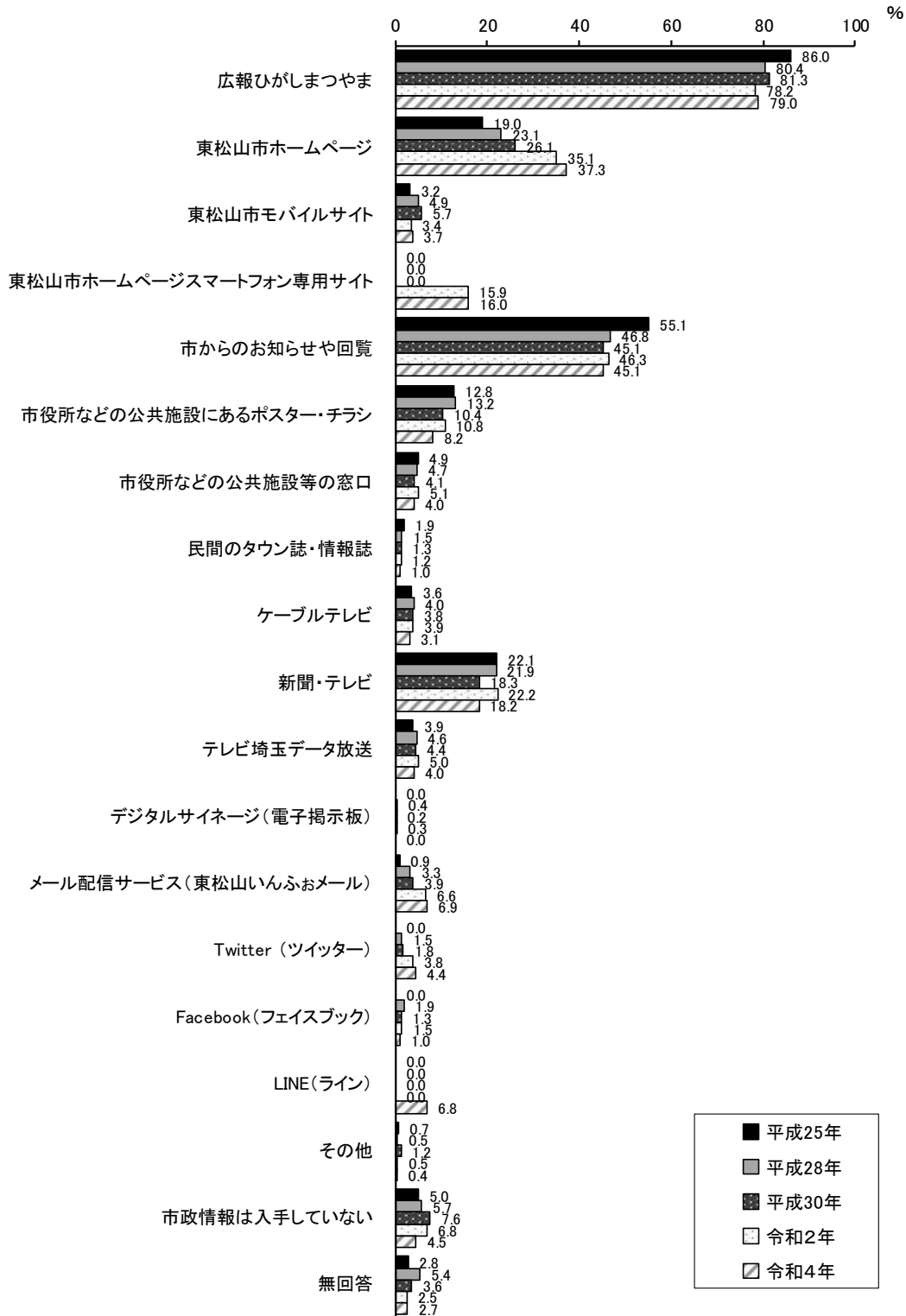
「市からのお知らせや回覧」は年齢が高くなるほど、おおむね割合が高くなる傾向にあり、男性の80歳以上で62.5%、女性の70～79歳で74.8%と最も高くなっています。

「東松山市ホームページ」は男性の60～69歳で49.4%、女性の40～49歳で48.3%とそれぞれ最も高くなっています。

「新聞・テレビ」は男性・女性ともに80歳以上でそれぞれ32.8%、40.3%と最も高くなっています。

「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」は女性の40～49歳で29.9%と最も高く、男性の30～39歳で28.3%、女性の50～59歳で27.8%となっています。

市政情報の入手方法（経年比較）



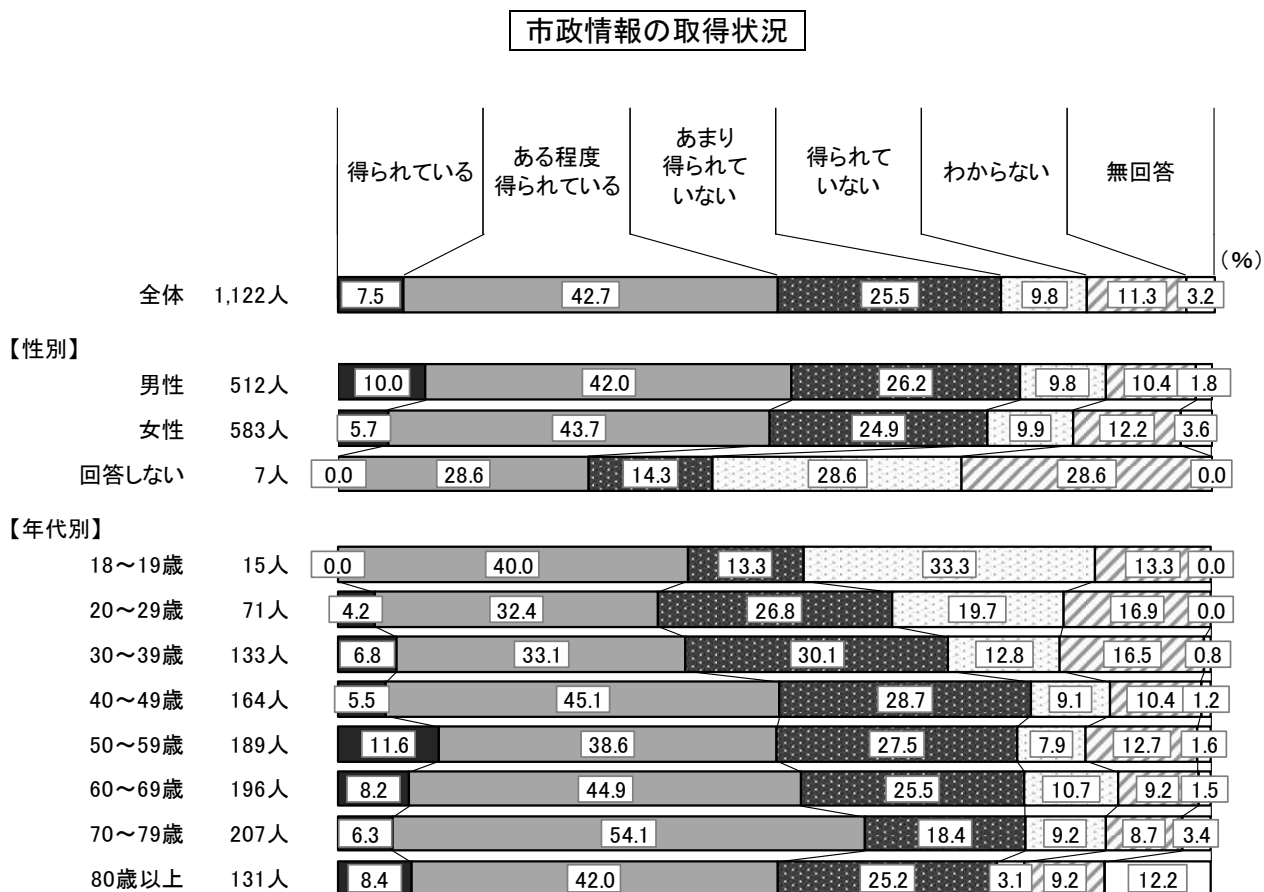
※「メール配信サービス（東松山いんふおメール）」は平成 25 年度までは「メール配信サービス・Twitter（ツイッター）」、平成 30 年度までは「メール配信サービス」で平成 25 年度からの選択肢となります。「テレビ埼玉データ放送」は平成 25 年度調査から、「デジタルサイネージ（電子掲示板）」「Twitter（ツイッター）」「Facebook（フェイスブック）」は平成 28 年度から、「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」は令和 2 年度からの選択肢となります。
 ※「LINE（ライン）」は令和 4 年度からの選択肢となります。

平成 25 年度調査以降、「東松山市ホームページ」「メール配信サービス（東松山いんふおメール）」「Twitter（ツイッター）」は増加傾向にあります。一方「広報ひがしまつやま」「市からのお知らせや回覧」「市役所などの公共施設にあるポスター・チラシ」は減少傾向にあります。

11-3 市政情報の取得状況

◆ “市政情報を得られている” 50.2%、“市政情報を得られていない” 35.3%◆

問 33. あなたは現在、東松山市の市政の情報を得られていると思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「得られている」と「ある程度得られている」をあわせた“市政情報を得られている”の割合が 50.2%、「あまり得られていない」と「得られていない」をあわせた“市政情報を得られていない”の割合が 35.3%、「わからない」の割合が 11.3%となっています。

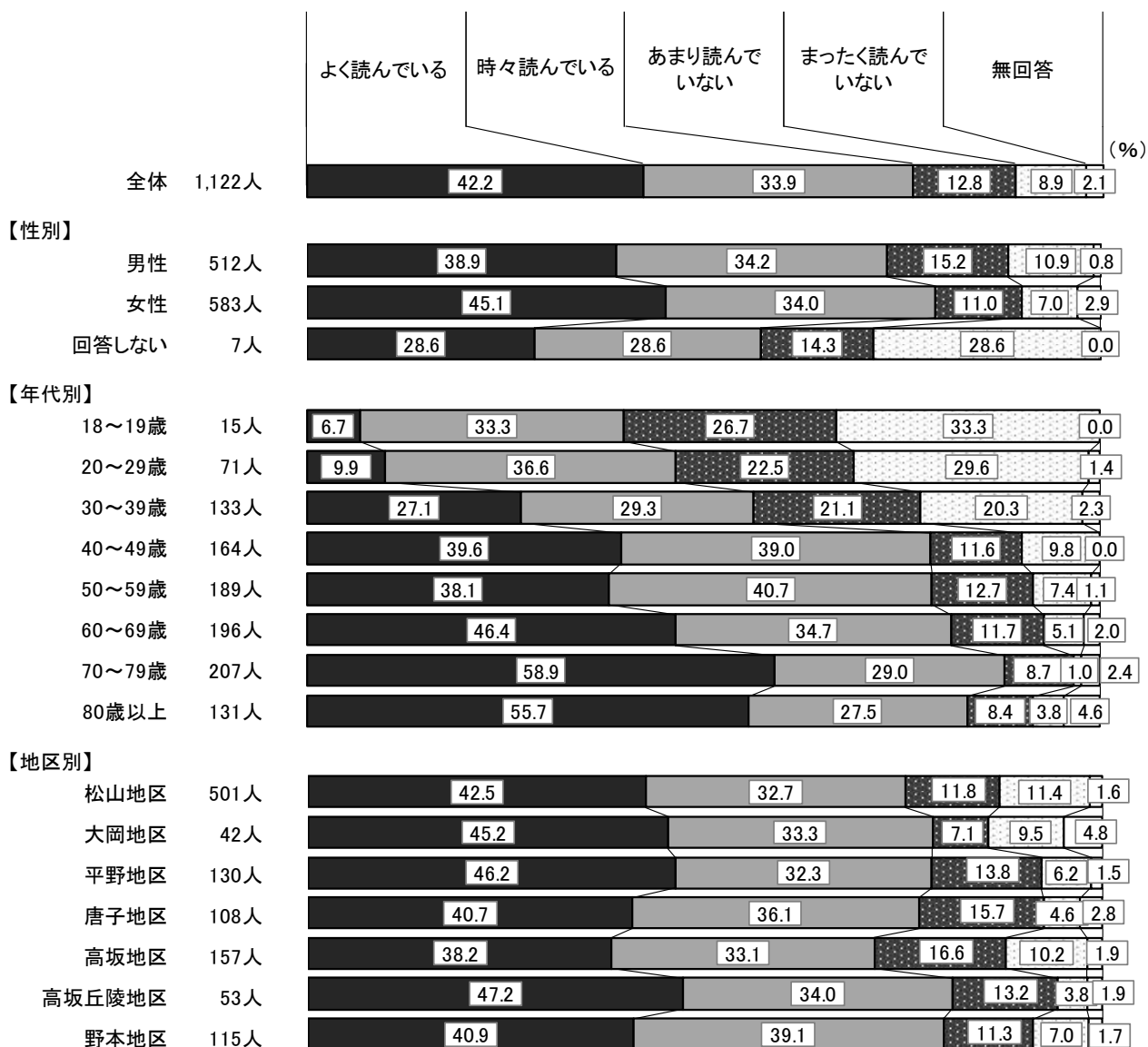
年代別で見ると、40～49歳以降の年代では“市政情報を得られている”が“市政情報を得られていない”の割合を上回っていますが、18歳～19歳から30～39歳までは“市政情報を得られていない”の割合の方が高くなっています。“市政情報を得られている”の割合は70～79歳で60.4%と最も高くなっています。一方“市政情報を得られていない”の割合は18～19歳で46.6%と高くなっています。

11-4 広報紙「広報ひがしまつやま」の閲読状況

◆ “読んでいる” 76.1%、“読んでいない” 21.7%◆

問 34. あなたは、広報紙「広報ひがしまつやま」を読んでいますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

広報紙「広報ひがしまつやま」の閲読状況



全体では「よく読んでいる」と「時々読んでいる」をあわせた“読んでいる”の割合が76.1%、「あまり読んでいない」と「まったく読んでいない」をあわせた“読んでいない”の割合が21.7%となっています。

年代別でみると“読んでいる”は年齢が高くなるほどおおむね高くなる傾向にあります。70～79歳では「よく読んでいる」が58.9%と最も高くなっています。

地区別でみると“読んでいる”は高坂丘陵地区、野本地区で8割以上となっています。

11-5 広報紙「広報ひがしまつやま」の入手方法

◆「自治会等からの配布」94.3%◆

(問34で「よく読んでいる」または「時々読んでいる」とお答えの方におたずねします。)

問34-1. 「広報ひがしまつやま」を主にどのように入手していますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

「広報ひがしまつやま」の入手方法



全体では「自治会等からの配布」の割合が94.3%と最も高くなっています。

地区別でも「自治会等からの配布」は全ての地区で9割以上となっています。

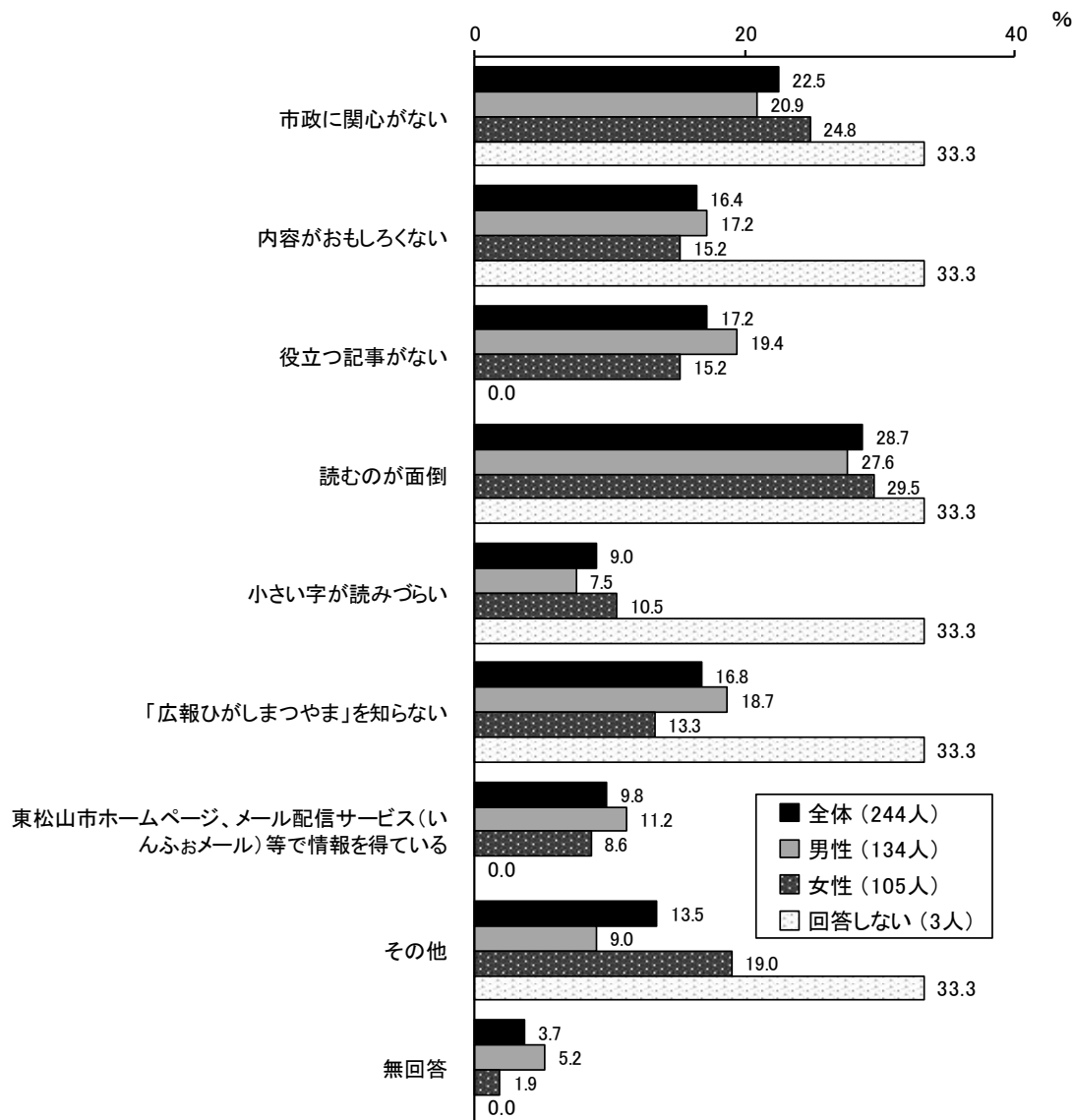
11-6 広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由

◆「読むのが面倒」28.7%、「市政に関心がない」22.5%◆

(問34で「あまり読んでいない」または「まったく読んでいない」とお答えの方におたずねします。)

問34-2. 「広報ひがしまつやま」を読まないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

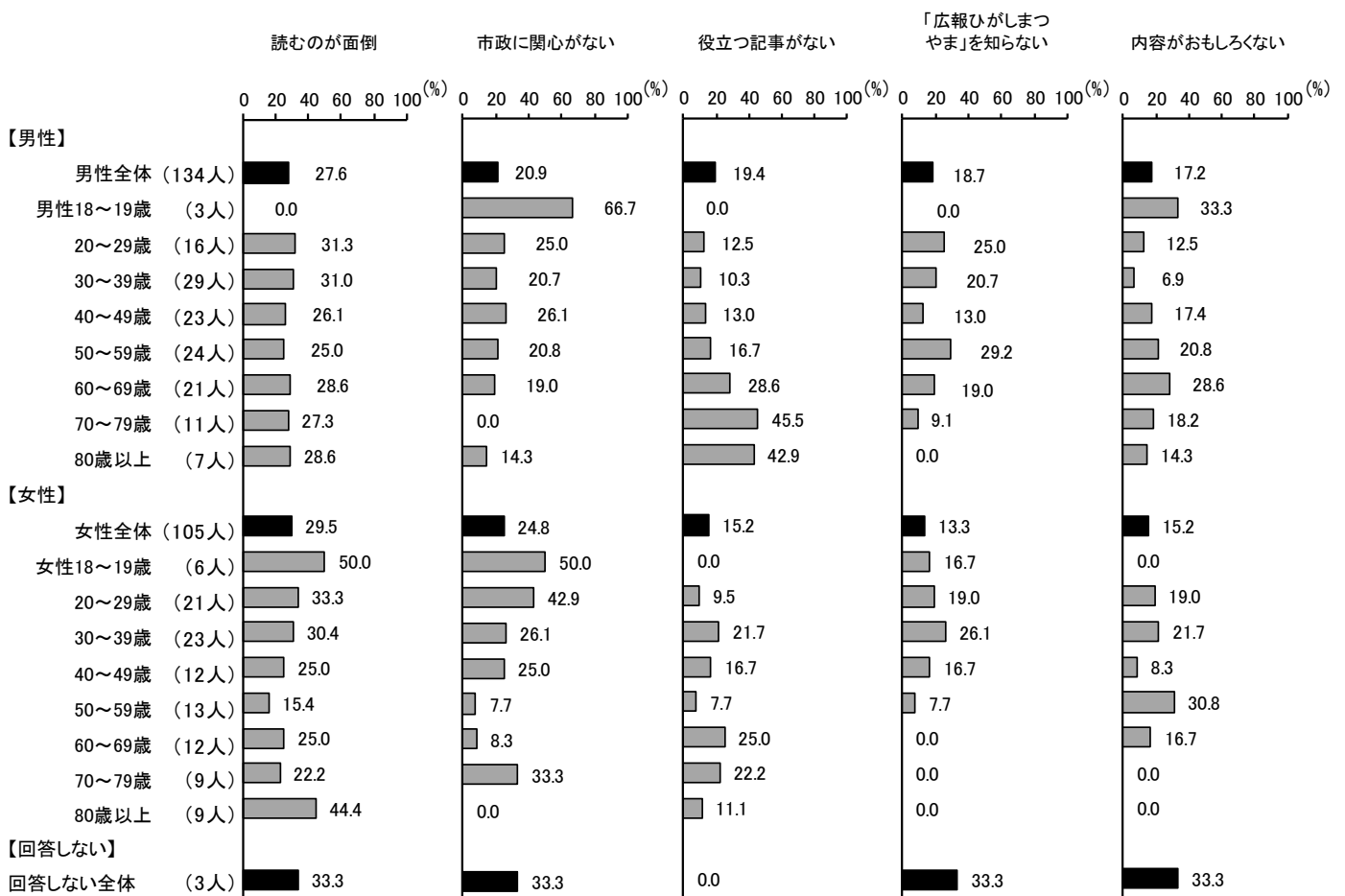
「広報ひがしまつやま」を読まない理由（全体・性別）



全体では「読むのが面倒」の割合が28.7%と最も高く、次いで「市政に関心がない」の割合が22.5%、「役立つ記事がない」の割合が17.2%となっています。

性別で見ると「読むのが面倒」では女性(29.5%)が男性(27.6%)を1.9ポイント上回っています。

「広報ひがしまつやま」を読まない理由（上位5項目 性・年代別）



性・年代別で見ると「読むのが面倒」は男性の20～29歳、30～39歳で3割を超え、女性の18～19歳で50.0%と高くなっています。

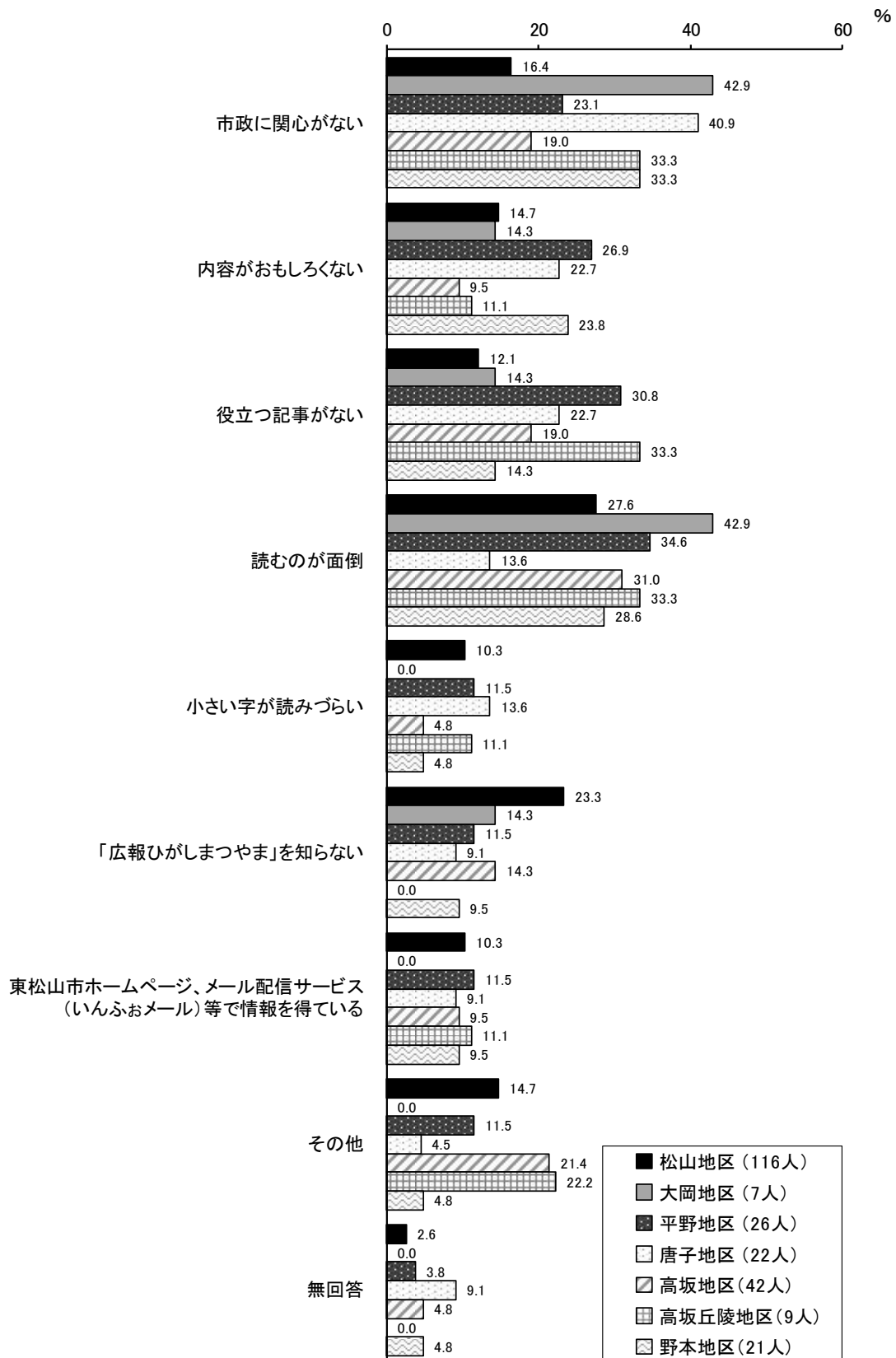
「市政に関心がない」は男性の18～19歳で66.7%、女性の18～19歳で50.0%と高くなっています。

「役立つ記事がない」は男性の70～79歳で最も高くなっています。

「「広報ひがしまつやま」を知らない」は男性・女性ともに全ての年代で3割以下と低くなっていますが、男性の50～59歳で29.2%、女性の30～39歳で26.1%と比較的高くなっています。

「内容がおもしろくない」は男性の18～19歳で33.3%、女性の50～59歳で30.8%と高くなっています。

「広報ひがしまつやま」を読まない理由（地区別）



地区別でみると大岡地区で「市政に関心がない」「読むのが面倒」が42.9%と高くなっています。また、松山地区で「広報ひがしまつやまを知らない」が23.3%と高くなっています。

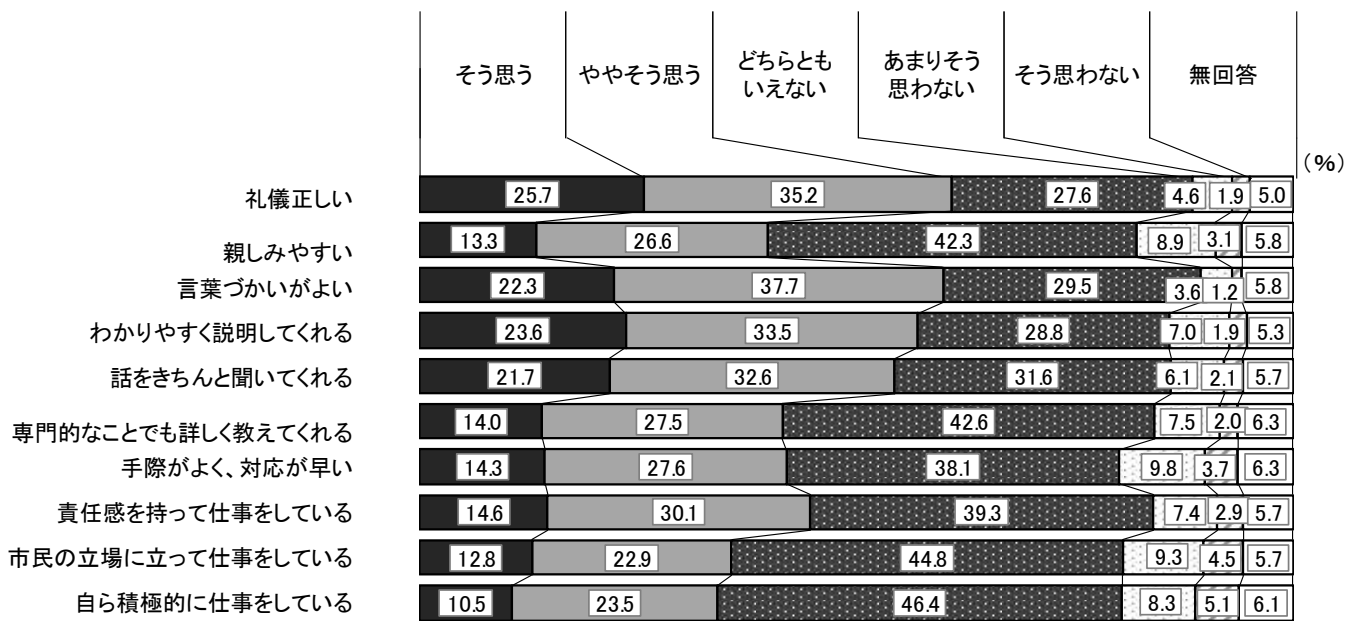
12 行政運営について

12-1 東松山市の職員について

◆<礼儀正しい>や<言葉づかいがよい>などで肯定的な評価◆

問 35. あなたは、市の職員についてどのように感じていますか。次の項目について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

東松山市の職員について



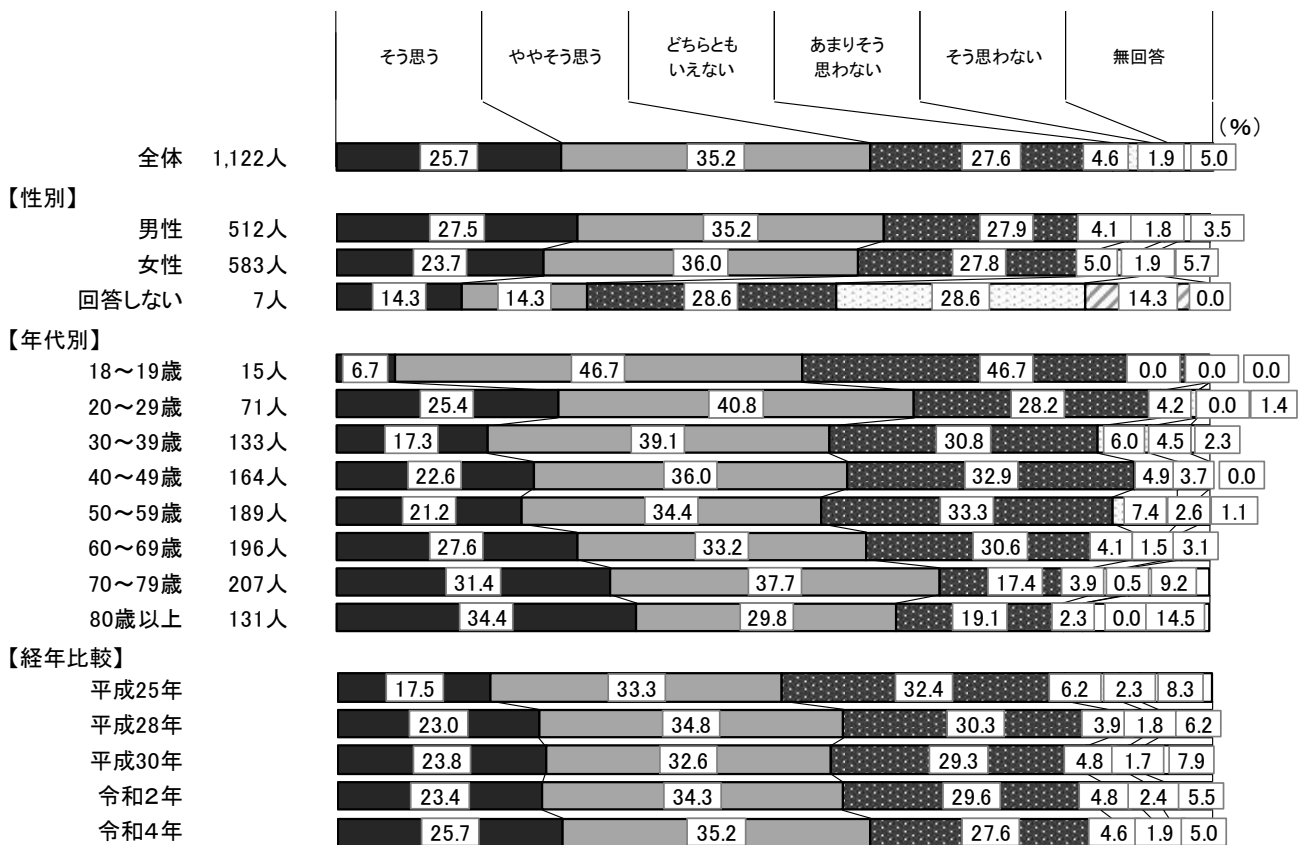
<全体の概観と経年比較>

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた“そう思う”は、<礼儀正しい>が 60.9%、<言葉づかいがよい>が 60.0%、<わかりやすく説明してくれる>が 57.1%、<話をきちんと聞いてくれる>が 54.3%となっており、評価が高くなっています。

平成 25 年度調査以降、全ての項目で“そう思う”が増加傾向にあります。

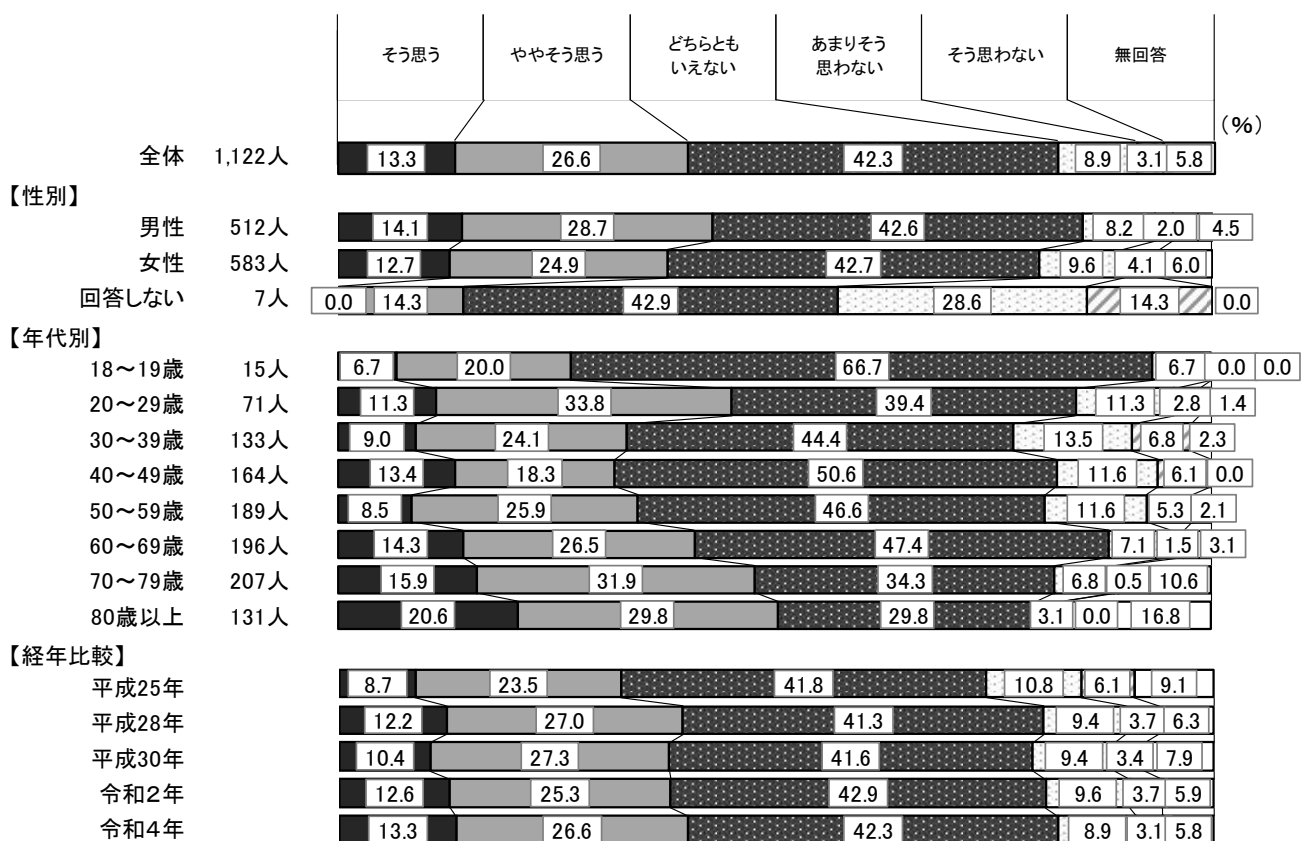
礼儀正しい ◆ “そう思う” 60.9%、“そう思わない” 6.5%◆

礼儀正しい



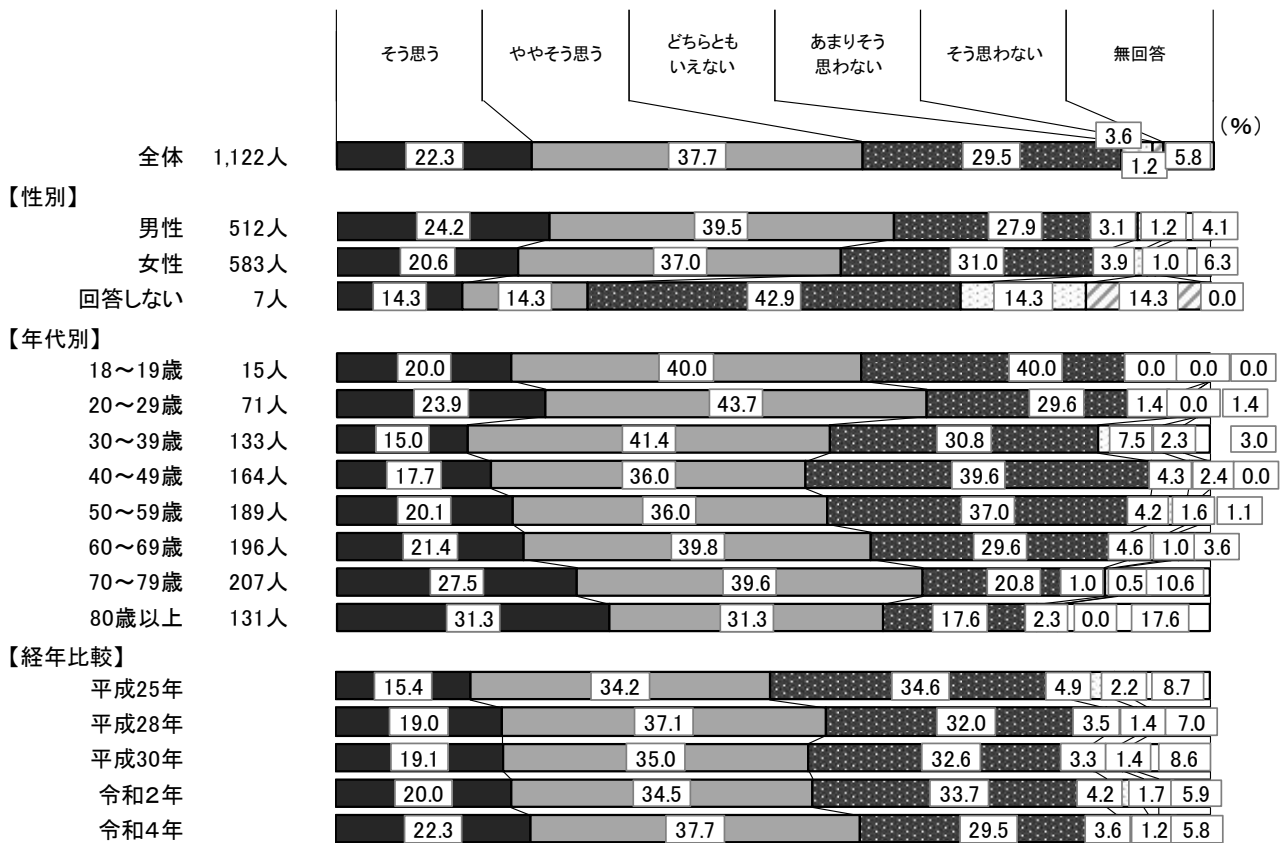
親しみやすい ◆ “そう思う” 39.9%、“そう思わない” 12.0%◆

親しみやすい



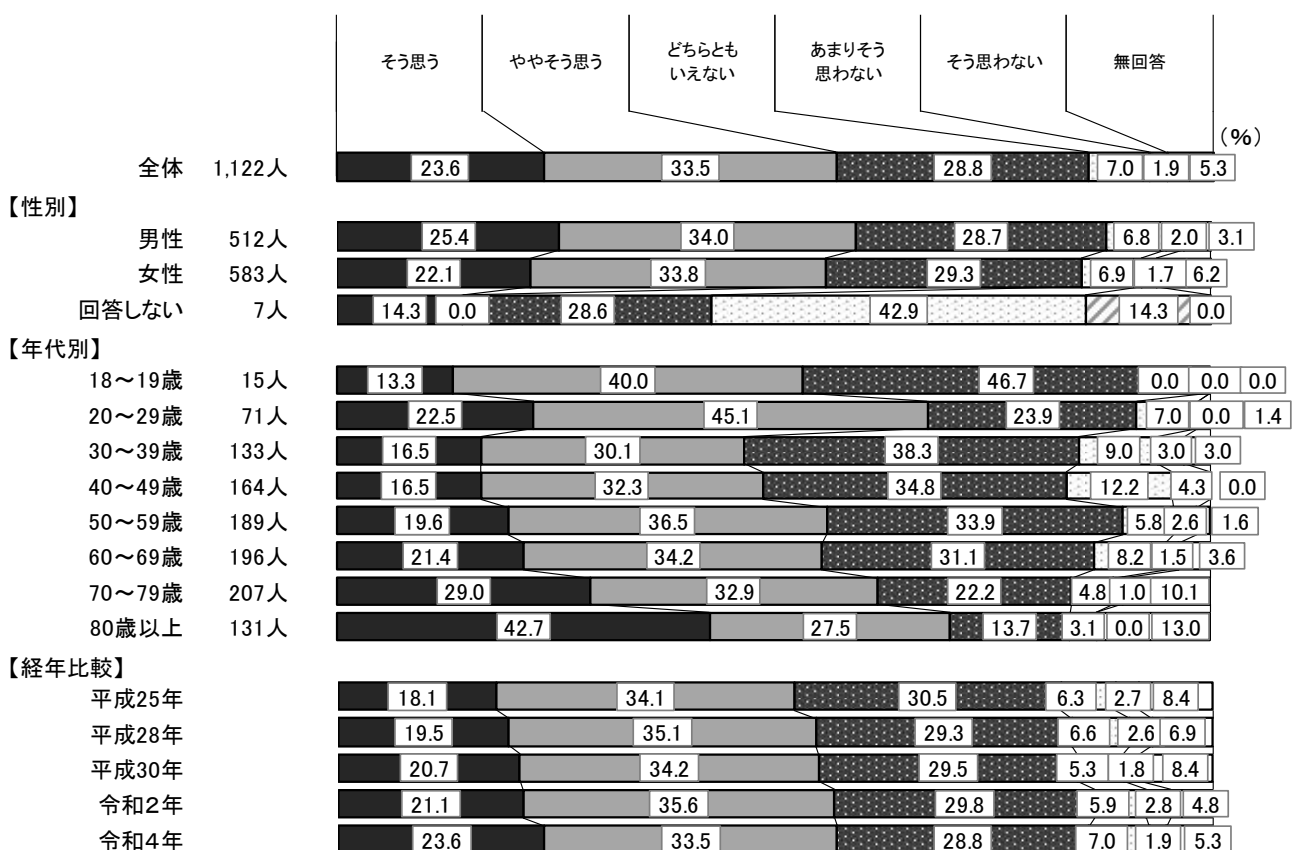
言葉づかいがよい ◆ “そう思う” 60.0%、“そう思わない” 4.8%◆

言葉づかいがよい



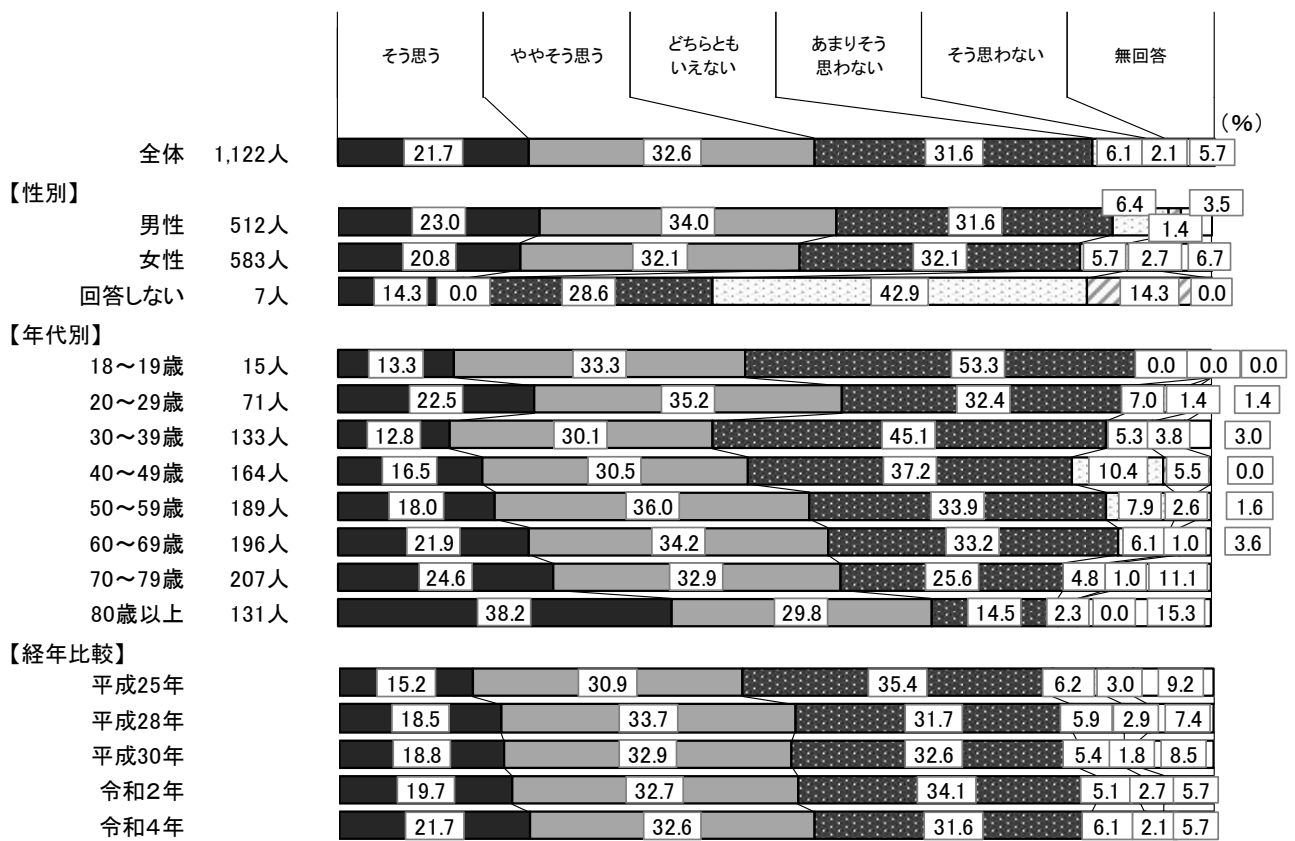
わかりやすく説明してくれる ◆ “そう思う” 57.1%、“そう思わない” 8.9%◆

わかりやすく説明してくれる



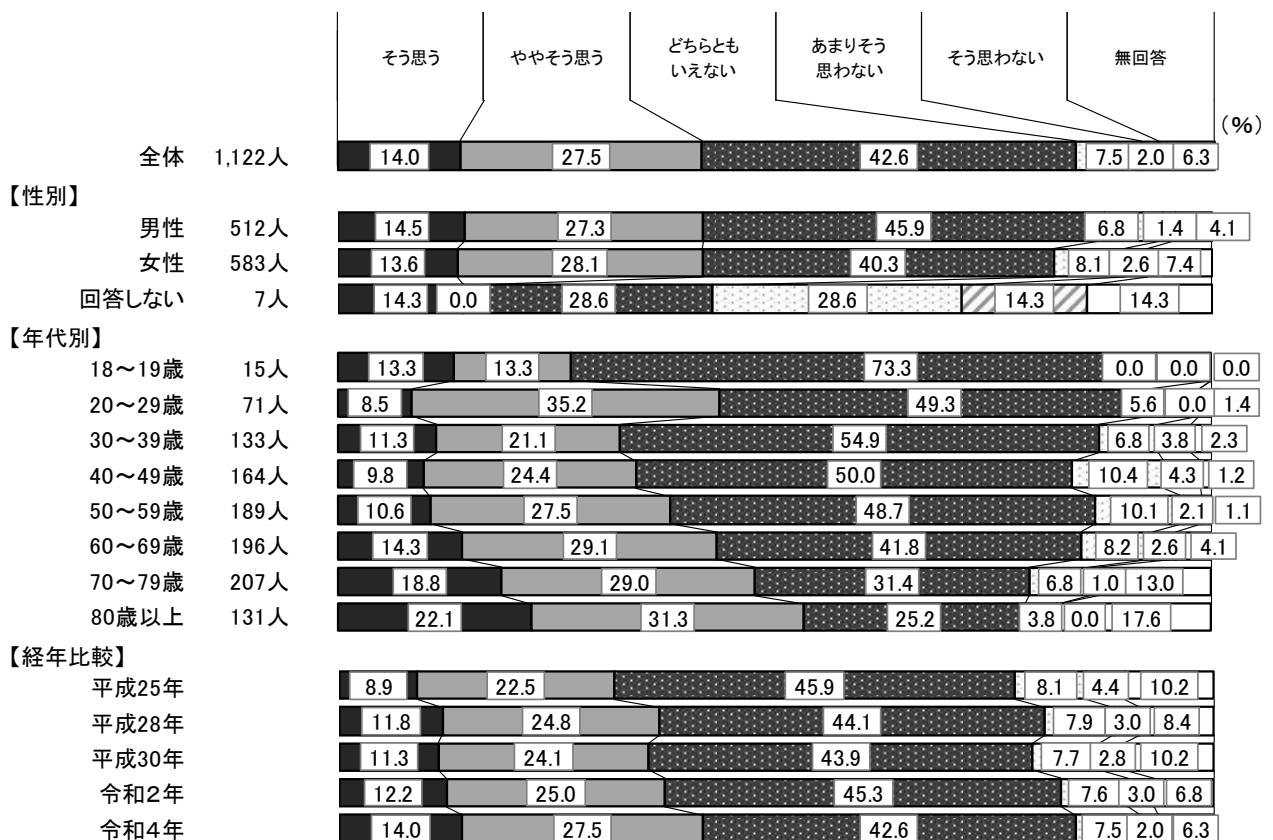
話をきちんと聞いてくれる ◆ “そう思う” 54.3%、“そう思わない” 8.2%◆

話をきちんと聞いてくれる



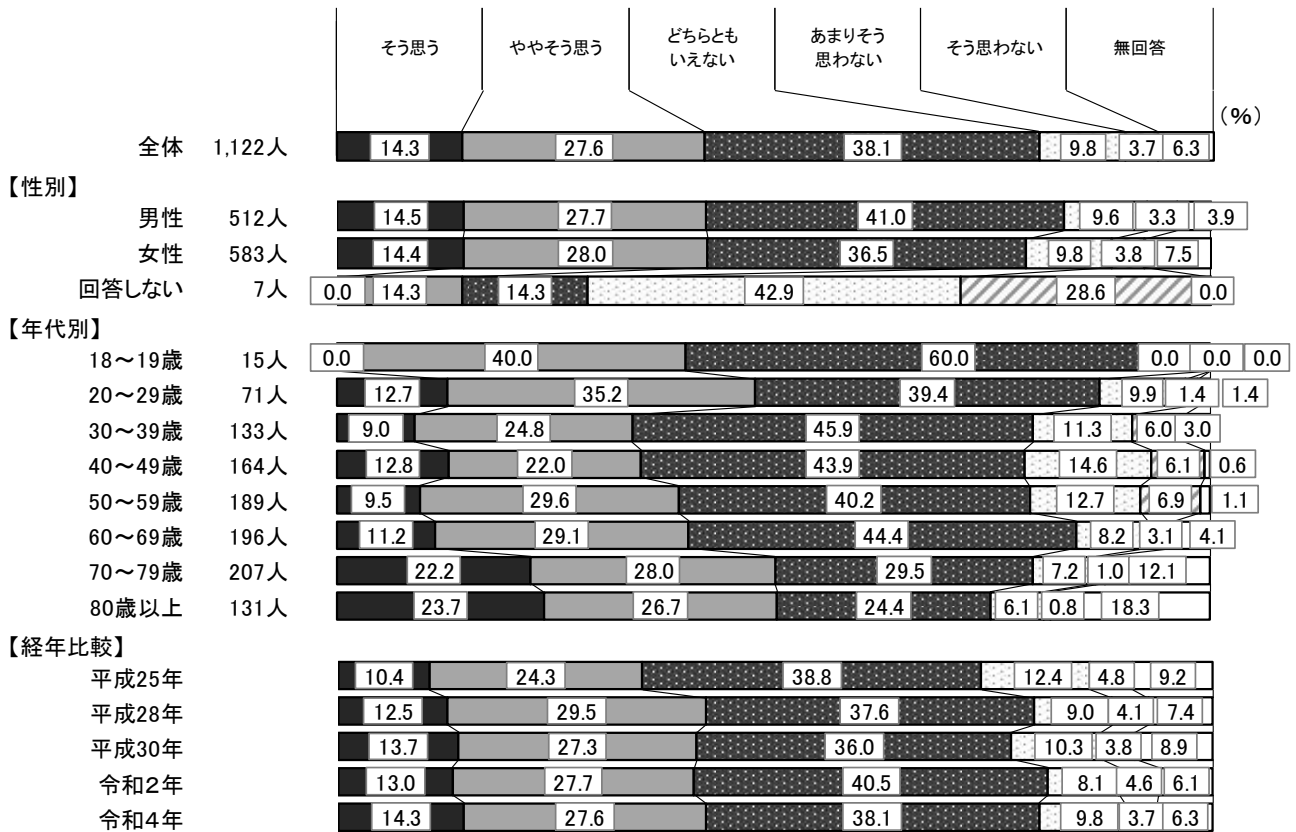
専門的なことでも詳しく教えてくれる ◆ “そう思う” 41.5%、“そう思わない” 9.5%◆

専門的なことでも詳しく教えてくれる



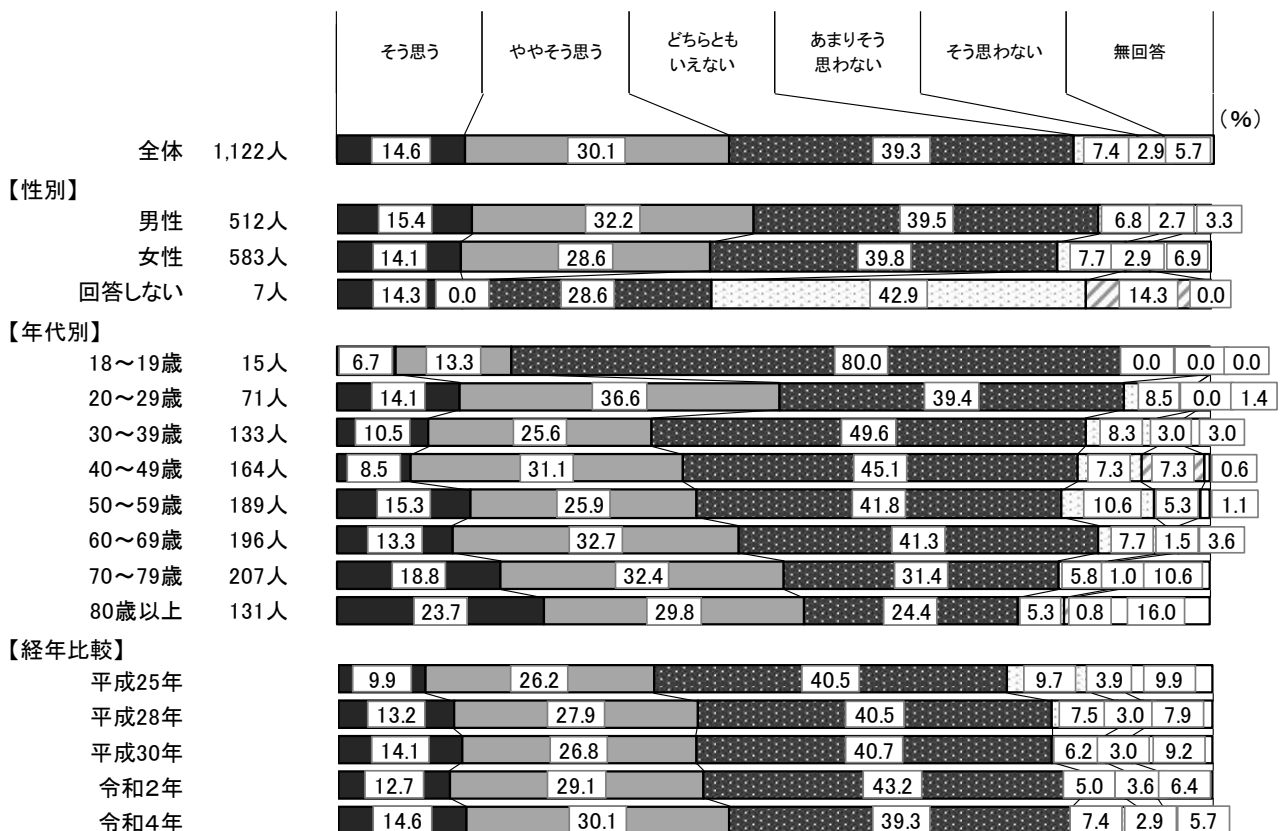
手際がよく、対応が早い ◆ “そう思う” 41.9%、“そう思わない” 13.5%◆

手際がよく、対応が早い



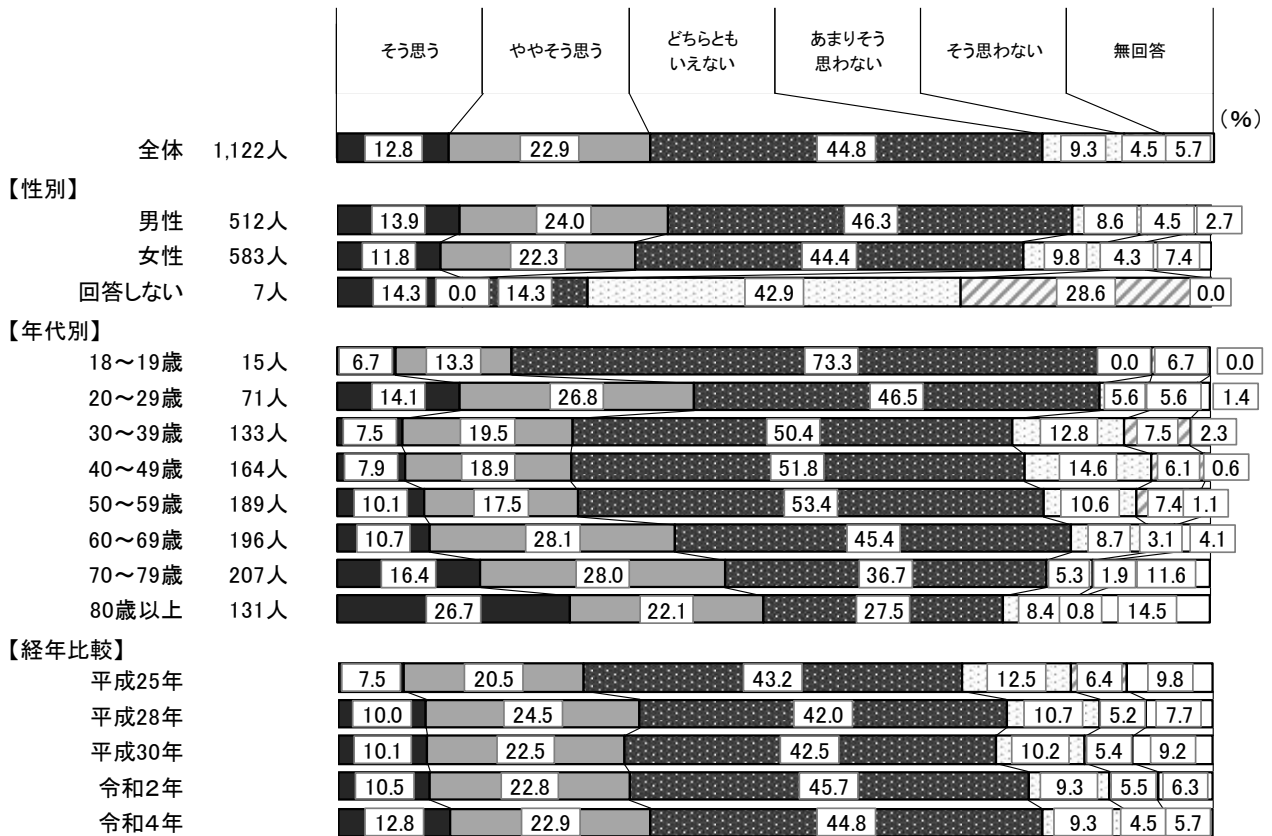
責任感を持って仕事をしている ◆ “そう思う” 44.7%、“そう思わない” 10.3%◆

責任感を持って仕事をしている



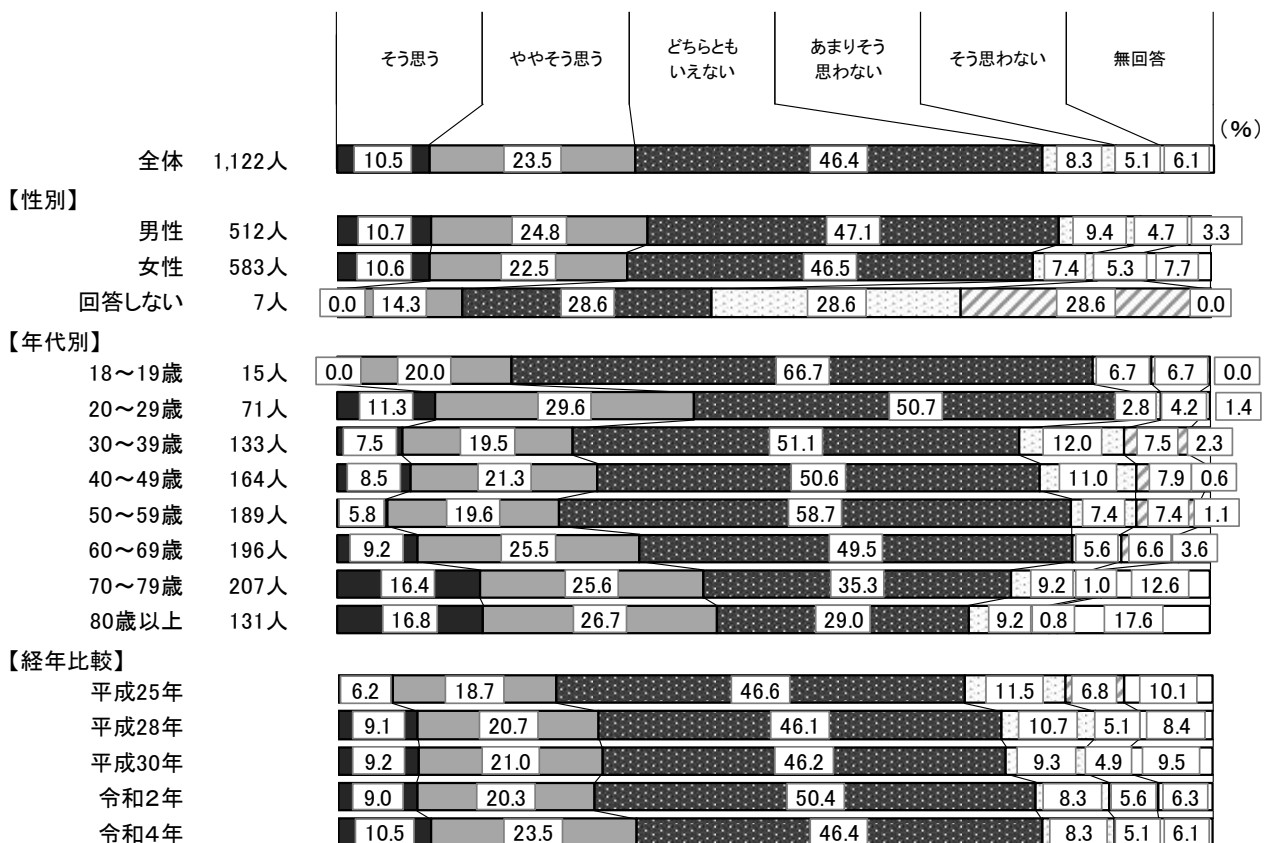
市民の立場に立って仕事をしている ◆ “そう思う” 35.7%、“そう思わない” 13.8%◆

市民の立場に立って仕事をしている



自ら積極的に仕事をしている ◆ “そう思う” 34.0%、“そう思わない” 13.4%◆

自ら積極的に仕事をしている

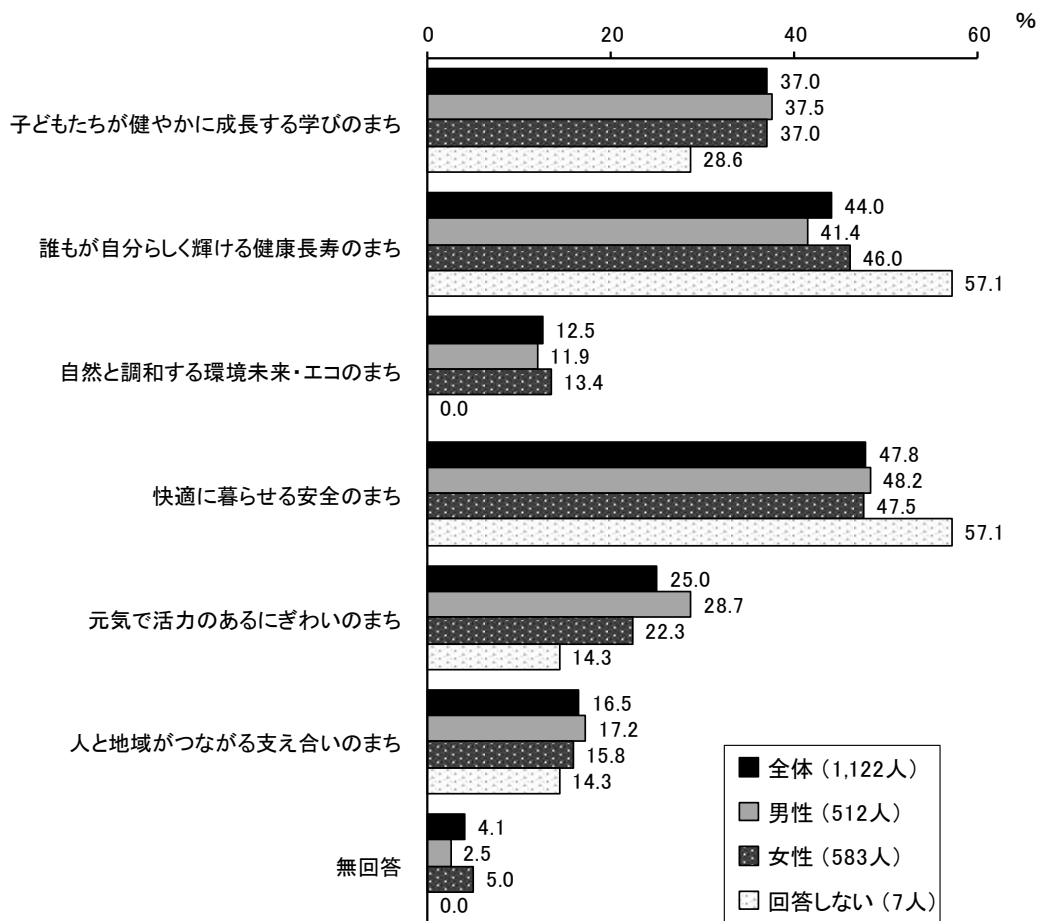


12-2 東松山市の将来像

◆「快適に暮らせる安全のまち（防災、防犯、都市基盤整備）」47.8%◆

問 36. あなたは、これから東松山市がどんなまちになってほしいと思いますか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。

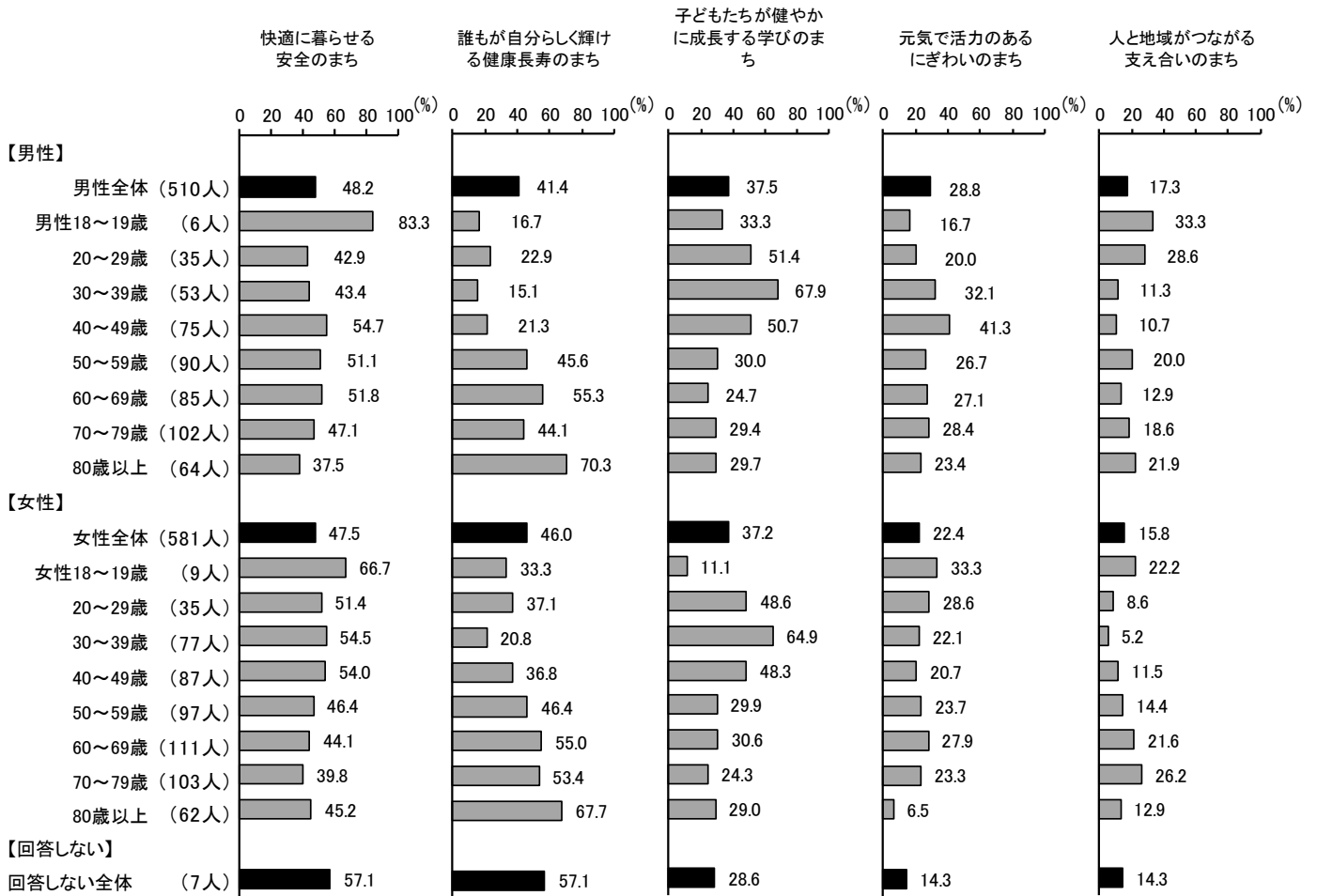
東松山市の将来像（全体・性別）



全体では「快適に暮らせる安全のまち（防災、防犯、都市基盤整備）」の割合が47.8%と最も高く、次いで「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち（健康づくり、保健・医療、地域福祉、社会保障、高齢者福祉、障害者福祉）」の割合が44.0%、「子どもたちが健やかに成長する学びのまち（子育て支援、学校教育の充実）」の割合が37.0%となっています。

性別でみると「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち」は女性（46.0%）が男性（41.4%）を4.6ポイント上回っています。一方「元気で活力のあるにぎわいのまち」は男性（28.7%）が女性（22.3%）を6.4ポイント上回っています。

東松山市の将来像（上位5項目 性・年代別）



性・年代別で見ると「快適に暮らせる安全のまち」は男性・女性ともに18～19歳で割合が高くなっています。

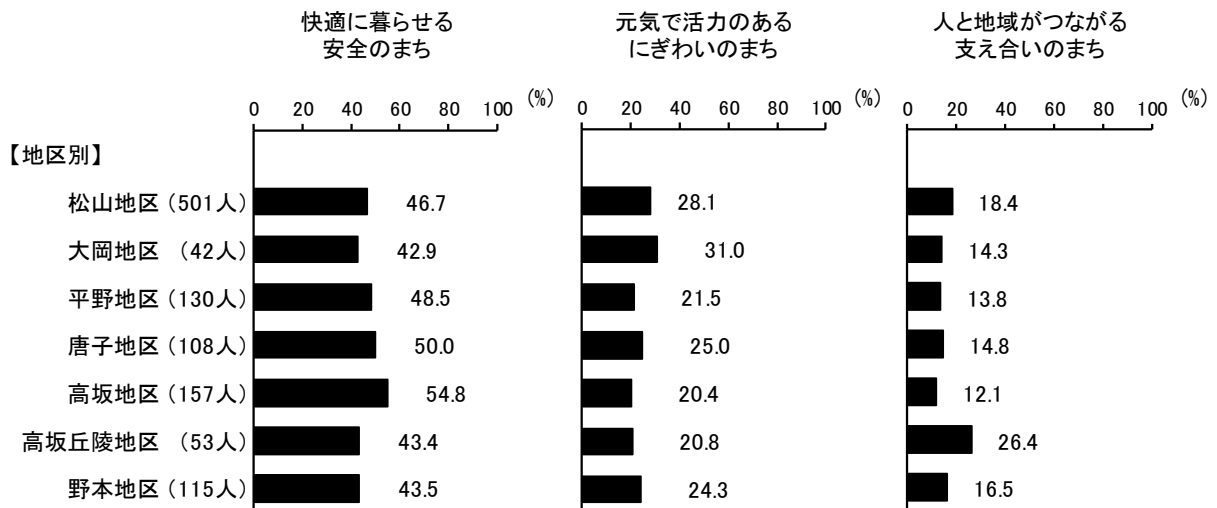
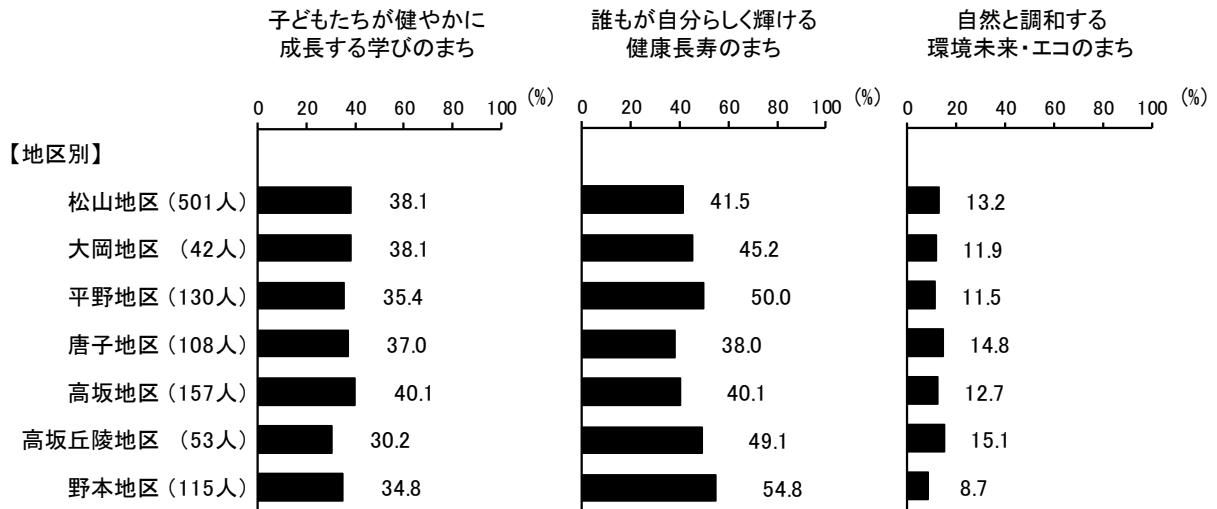
「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち」は男性の80歳以上で70.3%、女性の80歳以上で67.7%とそれぞれ最も高くなっています。

「子どもたちが健やかに成長する学びのまち」は男性・女性ともに30～39歳で割合が高くなっています。

「元気で活力のあるにぎわいのまち」は男性の40～49歳で41.3%、女性の18～19歳で33.3%と高くなっています。

「人と地域がつながる支え合いのまち」は男性の18～19歳で33.3%、女性では70～79歳で26.2%と高くなっています。

東松山市の将来像（地区別）



地区別でみると「子どもたちが健やかに成長する学びのまち」は高坂地区で40.1%と最も高く、他のいずれの地区でも3割台となっています。

「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち」は平野地区、野本地区で5割以上となっています。

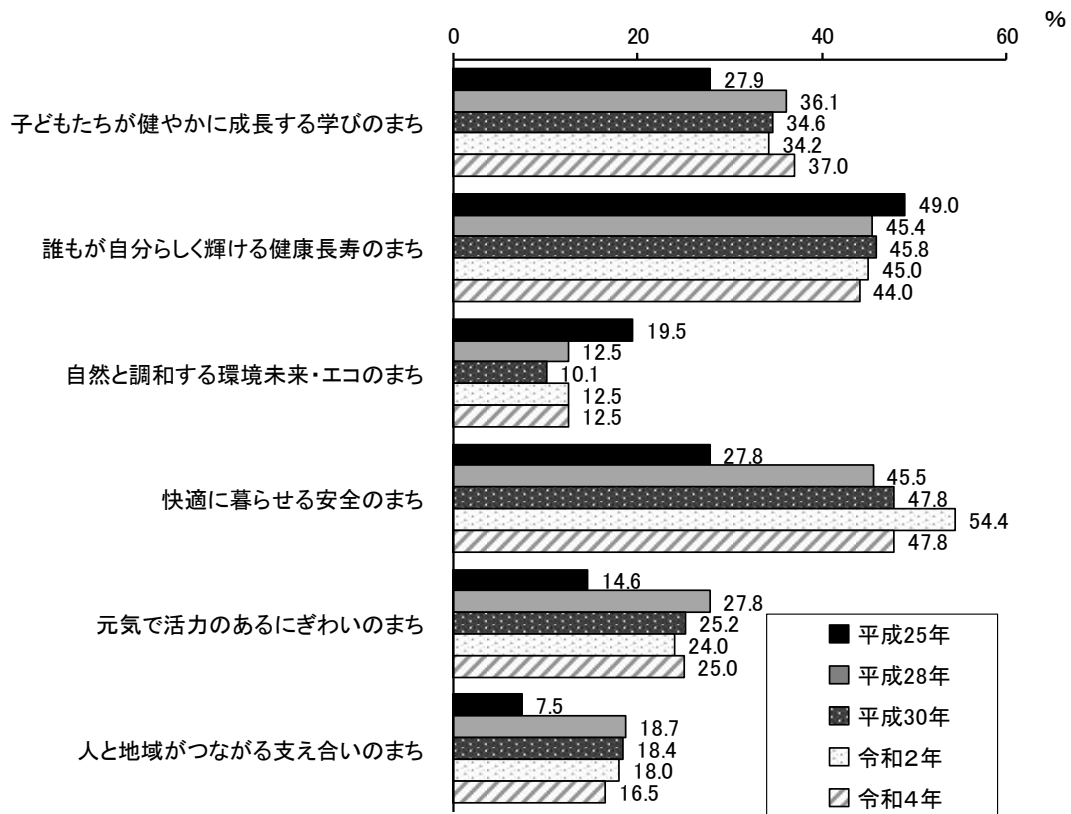
「自然と調和する環境未来・エコのまち」はいずれの地区でも2割以下となっており、最も高い高坂丘陵地区でも15.1%となっています。

「快適に暮らせる安全のまち」は唐子地区、高坂地区で5割以上となっており、他のいずれの地区でも4割台となっています。

「元気で活力のあるにぎわいのまち」は大岡地区で31.0%と最も高く、他のいずれの地区でも2割台となっています。

「人と地域がつながる支え合いのまち」は高坂丘陵地区が26.4%と最も高くなっています。

東松山市の将来像（経年比較）



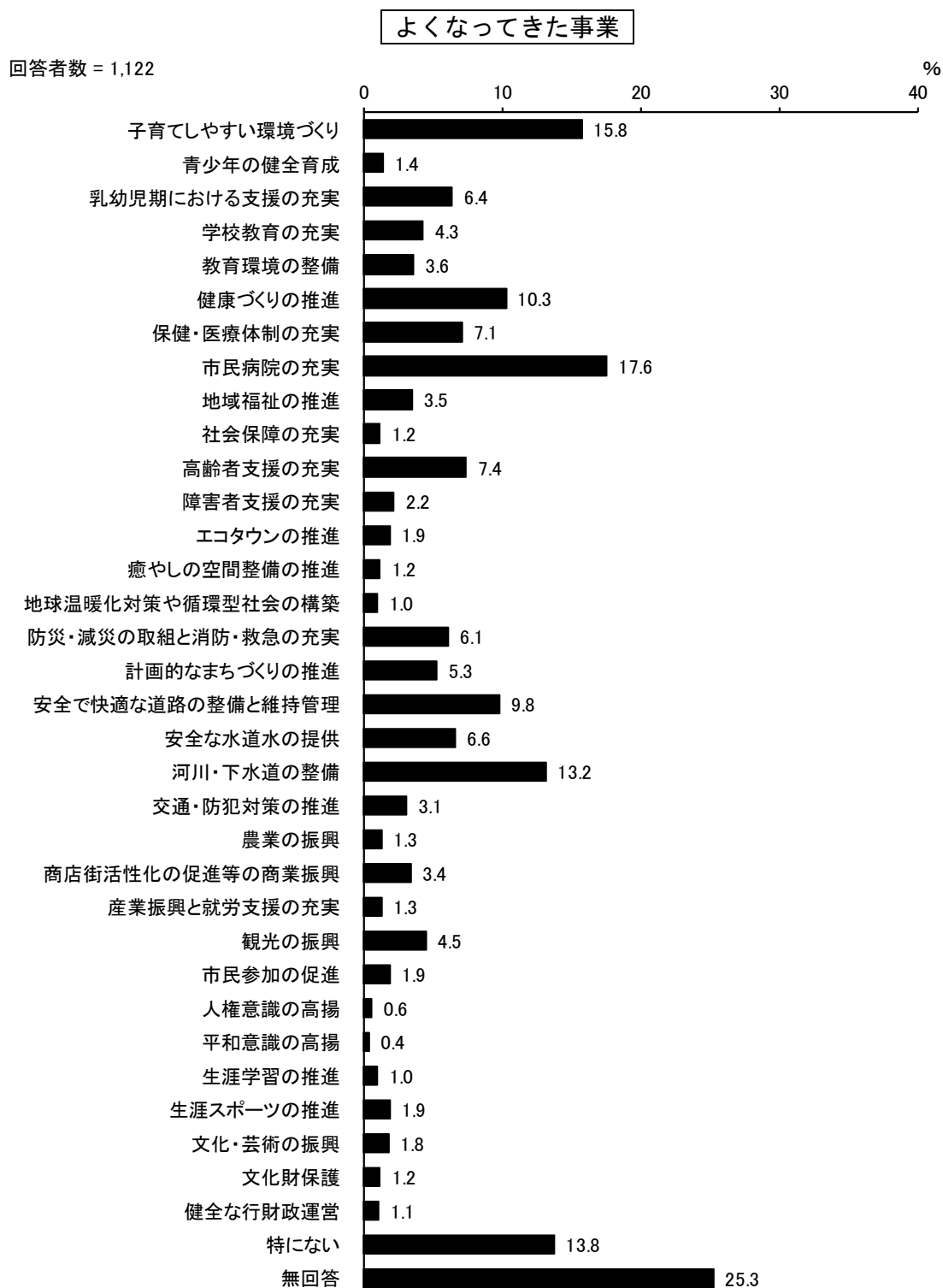
- ※「子どもたちが健やかに成長する学びのまち」は、平成 25 年度調査以前では「子どもたちの成長や子育てを応援するまち」と比較しています。
- ※「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち」は、平成 25 年度調査以前では「医療・福祉が充実したまち」と比較しています。
- ※「自然と調和する環境未来・エコのまち」は、平成 25 年度調査以前では「自然環境を大切にした緑豊かなまち」と比較しています。
- ※「快適に暮らせる安全のまち」は、平成 25 年度調査以前では「都市の環境が整い、快適に暮らせるまち」と比較しています。
- ※「元気で活力のあるにぎわいのまち」は、平成 25 年度調査以前では「魅力的な産業や観光で人が集まるまち」と比較しています。
- ※「人と地域がつながる支え合いのまち」は、平成 25 年度調査以前では「スポーツや学習活動、地域活動がさかんなまち」と比較しています。

令和 2 年度調査と比較すると「子どもたちが健やかに成長する学びのまち」は 2.8 ポイント増加しています。平成 25 年度調査以降「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち（健康づくり、保健・医療、地域福祉、社会保障、高齢者福祉、障害者福祉）」「人と地域がつながる支え合いのまち」は減少傾向にあります。

12-3 よくなってきた事業／重点的に取り組むべき事業

◆よくなってきた事業「市民病院の充実」17.6%◆

問 37. あなたは、東松山市でよくなってきた事業、また、今後、東松山市が重点的に取り組んでいくべき事業は何だと思えますか。それぞれ3つまで選び、選択肢下の回答欄に番号を記入してください。



全体では「市民病院の充実」の割合が17.6%と最も高く、次いで「子育てしやすい環境づくり」の割合が15.8%、「河川・下水道の整備」の割合が13.2%となっています。

よくなってきた事業（性・年代別 上位5項目）

属性	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
【性・年代別】						
男性（510人）		市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり	河川・下水道の整備	安全で快適な道路の整備と維持管理	健康づくりの推進
		17.8%	14.9%	14.1%	11.6%	10.6%
女性（581人）		市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり	河川・下水道の整備	健康づくりの推進	乳幼児期における支援の充実
		18.1%	16.9%	12.2%	10.5%	9.5%
回答しない（7人）		河川・下水道の整備	防災・減災の取組と消防・救急の充実／計画的なまちづくりの推進／安全な水道水の提供／農業の振興／生涯学習の推進／文化・芸術の振興			
		42.9%	14.3%			
男性18～19歳（6人）		子育てしやすい環境づくり／健康づくりの推進		保健・医療体制の充実／市民病院の充実／高齢者支援の充実／地球温暖化対策や循環型社会の構築／計画的なまちづくりの推進／交通・防犯対策の推進／人権意識の高揚／生涯スポーツの推進		
		33.3%		16.7%		
20～29歳（35人）		安全で快適な道路の整備と維持管理	保健・医療体制の充実／防災・減災の取組と消防・救急の充実	子育てしやすい環境づくり／学校教育の充実／教育環境の整備／安全な水道水の提供／観光の振興		
		20.0%	14.3%	8.6%		
30～39歳（53人）		子育てしやすい環境づくり	安全で快適な道路の整備と維持管理	河川・下水道の整備	健康づくりの推進／市民病院の充実	
		28.3%	22.6%	17.0%	9.4%	
40～49歳（75人）		河川・下水道の整備	子育てしやすい環境づくり	健康づくりの推進／安全で快適な道路の整備と維持管理		防災・減災の取組と消防・救急の充実／安全な水道水の提供
		18.7%	14.7%	10.7%		9.3%
50～59歳（90人）		子育てしやすい環境づくり	河川・下水道の整備	市民病院の充実／安全で快適な道路の整備と維持管理		高齢者支援の充実
		20.0%	18.9%	12.2%		10.0%
60～69歳（85人）		市民病院の充実	河川・下水道の整備	健康づくりの推進	安全で快適な道路の整備と維持管理	子育てしやすい環境づくり
		23.5%	15.3%	12.9%	11.8%	10.6%
70～79歳（102人）		市民病院の充実	健康づくりの推進	子育てしやすい環境づくり	保健・医療体制の充実／安全な水道水の提供／河川・下水道の整備	
		28.4%	13.7%	10.8%	9.8%	
80歳以上（64人）		市民病院の充実	健康づくりの推進	高齢者支援の充実	子育てしやすい環境づくり／保健・医療体制の充実／河川・下水道の整備	
		28.1%	17.2%	12.5%	10.9%	
女性18～19歳（9人）		学校教育の充実／高齢者支援の充実／安全で快適な道路の整備と維持管理			子育てしやすい環境づくり／防災・減災の取組と消防・救急の充実／観光の振興／市民参加の促進／平和意識の高揚	
		22.2%			11.1%	
20～29歳（35人）		子育てしやすい環境づくり	安全で快適な道路の整備と維持管理	乳幼児期における支援の充実	学校教育の充実／保健・医療体制の充実／エコタウンの推進／防災・減災の取組と消防・救急の充実／河川・下水道の整備／観光の振興	
		17.1%	14.3%	11.4%	8.6%	
30～39歳（77人）		子育てしやすい環境づくり	乳幼児期における支援の充実	観光の振興	健康づくりの推進	河川・下水道の整備
		22.1%	13.0%	11.7%	10.4%	9.1%
40～49歳（87人）		子育てしやすい環境づくり	市民病院の充実／河川・下水道の整備		乳幼児期における支援の充実	観光の振興
		26.4%	13.8%		12.6%	10.3%
50～59歳（97人）		河川・下水道の整備	子育てしやすい環境づくり	安全で快適な道路の整備と維持管理	乳幼児期における支援の充実／市民病院の充実	
		24.7%	17.5%	14.4%	11.3%	
60～69歳（111人）		市民病院の充実	健康づくりの推進	子育てしやすい環境づくり	乳幼児期における支援の充実	河川・下水道の整備
		27.0%	14.4%	13.5%	9.9%	9.0%
70～79歳（103人）		市民病院の充実	健康づくりの推進	子育てしやすい環境づくり	安全な水道水の提供	河川・下水道の整備
		31.1%	15.5%	13.6%	12.6%	10.7%
80歳以上（62人）		市民病院の充実	安全な水道水の提供	健康づくりの推進／高齢者支援の充実		子育てしやすい環境づくり／地域福祉の推進
		24.2%	12.9%	11.3%		8.1%

上位5項目を性別でみると、男性・女性ともに「市民病院の充実」が1位となっており、次いで「子育てしやすい環境づくり」が2位となっています。

性・年代別でみると男性・女性ともに60歳以上で「市民病院の充実」が1位となっています。また、男性の18～19歳、30～39歳、50～59歳と女性の20～49歳では「子育てしやすい環境づくり」が1位となっています。

「河川・下水道の整備」は男性の40～49歳、女性の50～59歳で1位となっています。

よくなってきた事業（地区別 上位5項目）

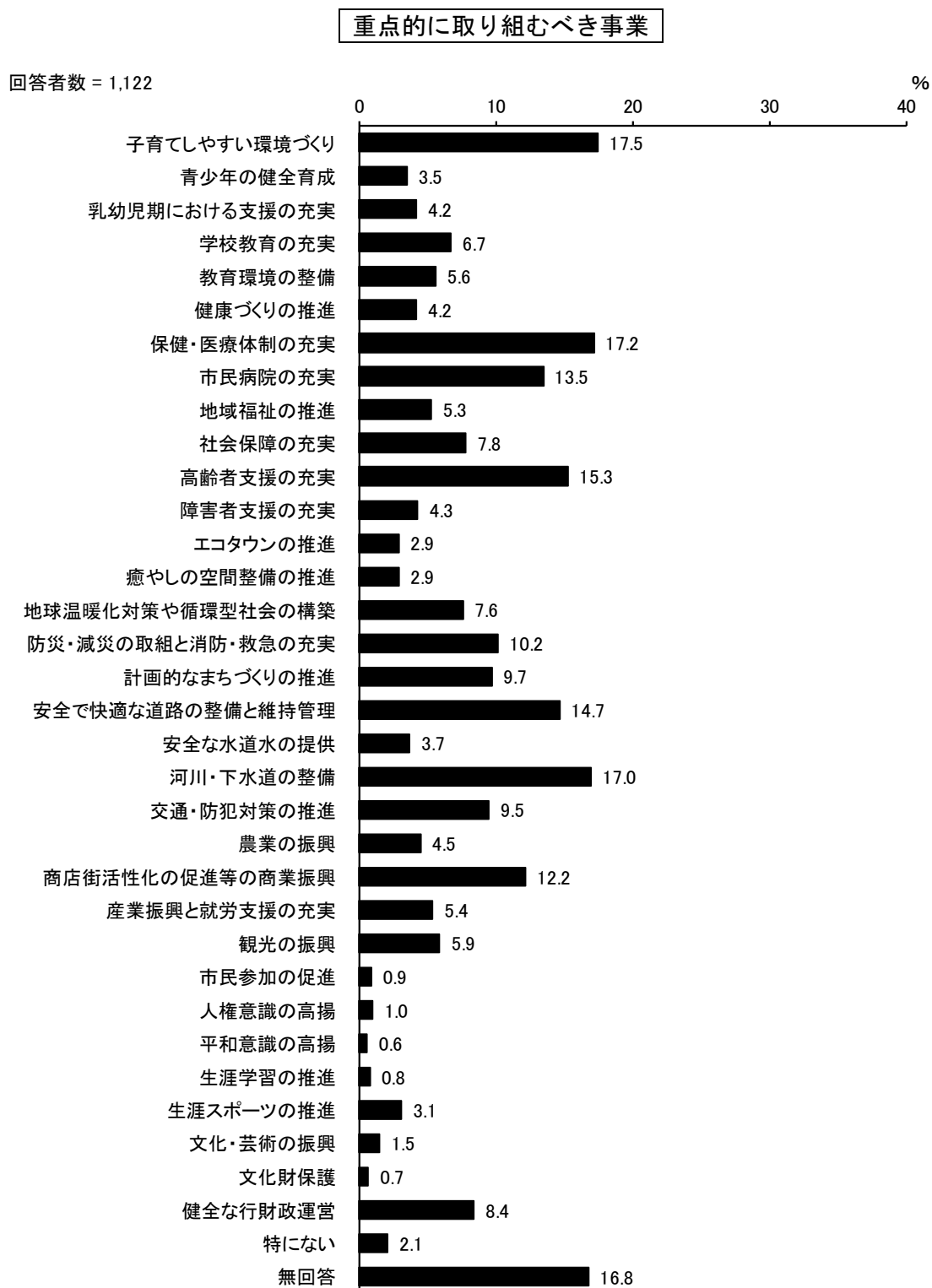
属性	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 (1,122人)		市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり	河川・下水道の整備	健康づくりの推進	安全で快適な道路の整備と維持管理
		17.6%	15.8%	13.2%	10.3%	9.8%
【地区別】						
松山地区 (501人)		市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり	河川・下水道の整備	健康づくりの推進	安全で快適な道路の整備と維持管理
		16.8%	16.6%	13.4%	11.4%	9.6%
大岡地区 (42人)		市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり／観光の振興		乳幼児期における支援の充実／学校教育の充実	
		21.4%	9.5%		7.1%	
平野地区 (130人)		市民病院の充実	高齢者支援の充実	子育てしやすい環境づくり／健康づくりの推進／河川・下水道の整備		
		24.6%	12.3%	10.8%		
唐子地区 (108人)		河川・下水道の整備	安全で快適な道路の整備と維持管理	市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり	健康づくりの推進／防災・減災の取組と消防・救急の充実
		19.4%	15.7%	14.8%	13.9%	11.1%
高坂地区 (157人)		子育てしやすい環境づくり	河川・下水道の整備	市民病院の充実	安全で快適な道路の整備と維持管理	健康づくりの推進／計画的なまちづくりの推進
		24.2%	15.3%	14.6%	11.5%	8.3%
高坂丘陵地区 (53人)		市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり／健康づくりの推進／安全で快適な道路の整備と維持管理／商店街活性化の促進等の商業振興			
		22.6%	11.3%			
野本地区 (115人)		市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり／河川・下水道の整備	健康づくりの推進／保健・医療体制の充実		
		16.5%	13.0%	10.4%		

上位5項目を地区別でみると、松山地区、大岡地区、平野地区、高坂丘陵地区、野本地区では「市民病院の充実」、唐子地区では「河川・下水道の整備」、高坂地区では「子育てしやすい環境づくり」が1位となっています。

次いで、松山地区、大岡地区、高坂丘陵地区、野本地区では「子育てしやすい環境づくり」、平野地区では「高齢者支援の充実」、唐子地区では「安全で快適な道路の整備と維持管理」、高坂地区では「河川・下水道の整備」が高くなっています。

大岡地区では「観光の振興」が高く、松山地区、平野地区、唐子地区、高坂地区、高坂丘陵地区、野本地区では「健康づくりの推進」が5位以内に入っています。

◆重点的に取り組むべき事業「子育てしやすい環境づくり」17.5%◆



全体では「子育てしやすい環境づくり」の割合が17.5%と最も高く、次いで「保健・医療体制の充実」の割合が17.2%、「河川・下水道の整備」の割合が17.0%となっています。

重点的に取り組むべき事業（性・年代別 上位5項目）

属性	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
【性・年代別】						
男性（510人）		子育てしやすい環境づくり 20.8%	河川・下水道の整備 19.8%	保健・医療体制の充実 17.1%	高齢者支援の充実 15.7%	市民病院の充実 14.1%
女性（581人）		保健・医療体制の充実 17.4%	安全で快適な道路の整備と維持管理／高齢者支援の充実 15.8%	子育てしやすい環境づくり／河川・下水道の整備 14.8%		
回答しない（7人）		保健・医療体制の充実／社会保障の充実／健全な行財政運営 28.6%			子育てしやすい環境づくり／地域福祉の推進 14.3%	
男性18～19歳（6人）		保健・医療体制の充実／観光の振興／生涯スポーツの推進 33.3%			子育てしやすい環境づくり／青少年の健全育成／高齢者支援の充実／防災・減災の取組と消防・救急の充実／安全で快適な道路の整備と維持管理／河川・下水道の整備／交通・防犯対策の推進／産業振興と就労支援の充実／健全な行財政運営 16.7%	
20～29歳（35人）		子育てしやすい環境づくり 34.3%	保健・医療体制の充実 20.0%	安全で快適な道路の整備と維持管理／観光の振興 14.3%	教育環境の整備／市民病院の充実／地球温暖化対策や循環型社会の構築／計画的なまちづくりの推進／河川・下水道の整備／交通・防犯対策の推進 11.4%	
30～39歳（53人）		子育てしやすい環境づくり 34.0%	河川・下水道の整備 18.9%	保健・医療体制の充実 15.1%	安全で快適な道路の整備と維持管理 13.2%	防災・減災の取組と消防・救急の充実／商店街活性化の促進等の商業振興 11.3%
40～49歳（75人）		河川・下水道の整備 24.0%	子育てしやすい環境づくり 22.7%	保健・医療体制の充実 20.0%	防災・減災の取組と消防・救急の充実／商店街活性化の促進等の商業振興 14.7%	
50～59歳（90人）		河川・下水道の整備 20.0%	市民病院の充実／高齢者支援の充実 18.9%	保健・医療体制の充実 17.8%	子育てしやすい環境づくり／社会保障の充実／計画的なまちづくりの推進／安全で快適な道路の整備と維持管理 15.6%	
60～69歳（85人）		河川・下水道の整備 25.9%	子育てしやすい環境づくり／高齢者支援の充実 21.2%	保健・医療体制の充実／市民病院の充実 17.6%		
70～79歳（102人）		子育てしやすい環境づくり 18.6%	高齢者支援の充実 17.6%	保健・医療体制の充実 15.7%	市民病院の充実／河川・下水道の整備 14.7%	
80歳以上（64人）		高齢者支援の充実／河川・下水道の整備 20.3%		市民病院の充実／健全な行財政運営 17.2%	保健・医療体制の充実／安全で快適な道路の整備と維持管理 12.5%	
女性18～19歳（9人）		エコタウンの推進／地球温暖化対策や循環型社会の構築／安全で快適な道路の整備と維持管理／農業の振興／商店街活性化の促進等の商業振興 22.2%				
20～29歳（35人）		子育てしやすい環境づくり 34.3%	保健・医療体制の充実 20.0%	交通・防犯対策の推進／商店街活性化の促進等の商業振興 17.1%	乳幼児期における支援の充実／地域福祉の推進／防災・減災の取組と消防・救急の充実／観光の振興 14.3%	
30～39歳（77人）		子育てしやすい環境づくり 29.9%	交通・防犯対策の推進 16.9%	教育環境の整備／保健・医療体制の充実 15.6%	防災・減災の取組と消防・救急の充実／安全で快適な道路の整備と維持管理／河川・下水道の整備 14.3%	
40～49歳（87人）		安全で快適な道路の整備と維持管理 21.8%	保健・医療体制の充実 19.5%	市民病院の充実 18.4%	交通・防犯対策の推進 17.2%	子育てしやすい環境づくり／河川・下水道の整備／観光の振興 16.1%
50～59歳（97人）		高齢者支援の充実 25.8%	市民病院の充実／河川・下水道の整備 19.6%	保健・医療体制の充実 18.6%	安全で快適な道路の整備と維持管理 15.5%	
60～69歳（111人）		保健・医療体制の充実 24.3%	高齢者支援の充実 18.9%	子育てしやすい環境づくり／計画的なまちづくりの推進 17.1%	安全で快適な道路の整備と維持管理 16.2%	
70～79歳（103人）		高齢者支援の充実 18.4%	河川・下水道の整備 17.5%	商店街活性化の促進等の商業振興 15.5%	安全で快適な道路の整備と維持管理 14.6%	地球温暖化対策や循環型社会の構築 13.6%
80歳以上（62人）		高齢者支援の充実 21.0%	保健・医療体制の充実 17.7%	安全で快適な道路の整備と維持管理 12.9%	市民病院の充実 11.3%	地球温暖化対策や循環型社会の構築／河川・下水道の整備 9.7%

上位5項目を性別でみると、男性では「子育てしやすい環境づくり」が、女性では「保健・医療体制の充実」が1位となっており、次いで男性では「河川・下水道の整備」、女性では「安全で快適な道路の整備と維持管理」「高齢者支援の充実」が2位となっています。

性・年代別でみると、「子育てしやすい環境づくり」は男性の20～39歳、70～79歳、女性の20～39歳で1位となっています。男性の40～49歳、60～69歳では「子育てしやすい環境づくり」は2位となっています。

「保健・医療体制の充実」は男性の18～19歳、女性の60～69歳で1位となっています。男性の20～29歳、女性の20～29歳、40～49歳、80歳以上では2位となっています。

「河川・下水道の整備」は男性の40～69歳、80歳以上で1位、「高齢者支援の充実」は男性の80歳以上、女性の50～59歳、70歳以上で1位となっています。

重点的に取り組むべき事業（地区別 上位5項目）

属性	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 (1,122人)		子育てしやすい環境づくり	保健・医療体制の充実	河川・下水道の整備	高齢者支援の充実	安全で快適な道路の整備と維持管理
		17.5%	17.2%	17.0%	15.3%	14.7%
【地区別】						
松山地区 (501人)		子育てしやすい環境づくり	商店街活性化の促進等の商業振興	高齢者支援の充実	保健・医療体制の充実	安全で快適な道路の整備と維持管理
		19.8%	17.6%	16.4%	16.2%	15.4%
大岡地区 (42人)		子育てしやすい環境づくり	安全で快適な道路の整備と維持管理	計画的なまちづくりの推進	保健・医療体制の充実	教育環境の整備／地球温暖化対策や循環型社会の構築／交通・防犯対策の推進
		21.4%	19.0%	16.7%	14.3%	11.9%
平野地区 (130人)		河川・下水道の整備	保健・医療体制の充実	市民病院の充実	安全で快適な道路の整備と維持管理	子育てしやすい環境づくり
		22.3%	19.2%	16.2%	14.6%	13.8%
唐子地区 (108人)		河川・下水道の整備	高齢者支援の充実／安全で快適な道路の整備と維持管理		子育てしやすい環境づくり	保健・医療体制の充実／社会保障の充実
		15.7%	13.9%		13.0%	12.0%
高坂地区 (157人)		河川・下水道の整備	保健・医療体制の充実	防災・減災の取組と消防・救急の充実	子育てしやすい環境づくり	安全で快適な道路の整備と維持管理
		28.7%	19.1%	17.8%	15.3%	14.0%
高坂丘陵地区 (53人)		子育てしやすい環境づくり／保健・医療体制の充実		高齢者支援の充実	市民病院の充実	商店街活性化の促進等の商業振興
		32.1%		24.5%	17.0%	15.1%
野本地区 (115人)		高齢者支援の充実	河川・下水道の整備	安全で快適な道路の整備と維持管理	保健・医療体制の充実	交通・防犯対策の推進
		19.1%	18.3%	16.5%	15.7%	13.9%

上位5項目を地区別で見ると、松山地区、大岡地区、高坂丘陵地区では「子育てしやすい環境づくり」、平野地区、唐子地区、高坂地区では「河川・下水道の整備」、高坂丘陵地区では、「保健・医療体制の充実」、野本地区では「高齢者支援の充実」が1位となっています。

次いで、「安全で快適な道路の整備と維持管理」は大岡地区、唐子地区、「保健・医療体制の充実」は平野地区、高坂地区、「商店街活性化の促進等の商業振興」は松山地区、「高齢者支援の充実」は唐子地区、「河川・下水道の整備」は野本地区で2位となっています。

松山地区、高坂丘陵地区では「高齢者支援の充実」、大岡地区では「計画的なまちづくりの推進」、高坂地区では「防災・減災の取組と消防・救急の充実」が3位以内に入っています。

13 地域資源について

◆「やきとり（やきとん、かしら）」335件◆

問38. あなたが、「東松山市の地域資源（名物・名所、文化財、伝統行事、植物などで特徴となるもの）」として思い浮かべるものは何ですか。具体的にお書きください。

東松山市の地域資源について、627人の市民の皆さまからご意見をいただきました。「名所（自然・建造物・歴史等）」「名物・農産物」「祭り・イベント」「植物」と分類し、集計した結果、主な地域資源に以下のようなものがあげられています。

最も多いのは「やきとり（やきとん、かしら）」（335件）、次いで「日本スリーデーマーチ」（278件）、「箭弓稲荷神社」（193件）、「ぼたん」（152件）と続いています。

■名所[自然・建造物・歴史等]（10件以上）

項目	件数
箭弓稲荷神社	193件
ぼたん園	116件
埼玉県こども動物自然公園 （コアラ含む）	113件
岩殿観音正法寺（いちょう）	58件
ピオニーウォーク	25件
吉見百穴	16件
丸木美術館	15件
東松山市農林公園	14件

■名物・農産物（上位4項目）

項目	件数
やきとり（やきとん、かしら）	335件
梨	55件
みそだれ	15件
栗	9件

■祭り・イベント（5件以上）

項目	件数
日本スリーデーマーチ	278件
夏まつり（天王さま）	26件
ひがしまつやま花火大会	21件
各地区のお祭り	9件
ぼたんまつり	5件

■植物（上位2項目）

項目	件数
ぼたん	152件
桜	7件

IV. 自由意見

IV 自由意見

今回の市民意識調査の中で、東松山市のまちづくりについて、446人の市民の方からご意見をいただきました。分野ごとに分類すると、以下のようになります。

分野	件数
1 都市基盤の整備について	164件
2 駅周辺や商店街の活性化について	40件
3 環境について	37件
4 防災・防犯・安全について	24件
5 保健・医療・福祉について	39件
6 教育・文化・スポーツについて	33件
7 産業について	23件
8 情報について	7件
9 市政について	104件
10 その他	59件
合 計	530件

主だったいくつかのご意見を紹介させていただきます。

1 都市基盤の整備について

性別	年齢	市民の声
男性	18～19 歳	路地の道路をきれいにしてほしい。
女性	18～19 歳	最近道路整備が多く行われていて良いと思います。
男性	20～29 歳	横断歩道の増設、自転車用横断歩道の追加。
女性	20～29 歳	自宅周辺の道路が、かなりボコボコしているので暗い時間の運転は少し怖いと思います。また小さな子どもがいるので近所の公園など、定期的に整備して頂けると安心です。
女性	20～29 歳	点字ブロックがつぶれて見えなくなっている道がところどころに見受けられるので直していただきたい。
男性	30～39 歳	子供があそびやすい公園を増やしてほしい。
女性	30～39 歳	道路のデコボコが多い。ベビーカーで歩くところだけなめになっていたり歩きづらく感じるが多かった。
男性	40～49 歳	通学路の安全をもっと確保して欲しい。
女性	40～49 歳	子どもが思いっきり遊べる公園が少なく、いつも市外まで遊びに行っているの、公園を作って頂きたいです。
男性	50～59 歳	市内、所々舗装されていない地区、歩道路面（雑草など）自転車など走りづらい場所が有る。整備してほしい。
女性	50～59 歳	ウォーキングやランニングができる景観のきれいな公園があると嬉しいです。
男性	60～69 歳	バスやオンデマンドタクシーなど移動手段の充実と思いついた料金設定。
女性	60～69 歳	バスの本数。バス停を増設しマイカーでなくとも駅や商店街へ行けたらありがたい。車で行きやすい場所しか行かなくなりました。
男性	70～79 歳	市道等の道路センターライン等の表示が消えかかっている所が非常に多い。昼間は気にかからないが、夜（天気の悪い時）等事故の原因になるので修繕して下さい。
女性	70～79 歳	市街地は整備がよくなっていますが、郊外は道路整備が遅れている現状ですので郊外の方も整備してほしい。
男性	80 歳以上	遅れている浄化槽、生活配水等の問題早くやってほしい。
男性	80 歳以上	町の中を広くきれいにする事が遅い。

2 駅周辺や商店街の活性化について

性別	年齢	市民の声
女性	18～19 歳	駅前や住宅地の傍などにもう少しショッピングモールなど買い物のできる場所を作ってほしいです。
女性	20～29 歳	商店街を元気あるものにしてほしい。
男性	30～39 歳	駅の近くに有名な飲食チェーン店を誘致するなどのホットな話題がほしいです。
女性	30～39 歳	東松山市駅周辺がシャッター街になっていて、あまり活気がない。
男性	40～49 歳	駅前に商業施設（スーパーや弁当屋）などを充実させてほしい。
女性	40～49 歳	東松山駅周辺は年々さみしくなり、店も減り人はどんどん来なくなった。アーケード商店街などにしてにぎわいができれば、色んな人も遊びにきて、活気がでるのではないか。
男性	50～59 歳	市街地に生活用品を買える商店街を作って欲しい。歩いて行ける場所にお店が少ない様な気がする。
女性	50～59 歳	東松山駅周辺に食料品が購入できる小さいスーパーがあると便利。
男性	60～69 歳	大きな街ではないけれど、住みやすい良い街だと思う。市中心部にもっと活気が戻ってくると良い。
女性	60～69 歳	商店街がさびしい、賑やかさがない。昔はまだまだ活気があった。
男性	70～79 歳	年々街の活気が薄れている。特に駅周辺の商店街や、楽しい祭りが、街に魅力が無くなった。
女性	70～79 歳	東松山の駅前と商店街の発展、駅がきれいになったので、利用しやすくなった。
男性	80 歳以上	個人商店が軒並みに減少している。さびしい気がする。町としての暖かさを復活させて欲しい。
女性	80 歳以上	東松山駅前に食料品のスーパーがあればよい。

3 環境について

性別	年齢	市民の声
女性	20～29 歳	最近アジア系の外国の方が増えてきたのはいいのですが、騒音やごみ分別で少し不満に思う面があります。外国の方（居住している）へ、ごみ分別等についてていねいに説明して欲しいです。
男性	30～39 歳	ペットボトル、ビン、カンの回収を、週 1 回に増やしてほしい。
女性	30～39 歳	プラスチックゴミの回収を週 2 回に増やしてもらえると嬉しい。
男性	40～49 歳	都内から引っ越してきたので、自然が好きな自分としては、いい街だと思った。ただ、森林や畑が最近少しずつ減り造成地や商業施設に変わっていくのは寂しい気もする。
女性	40～49 歳	雑木林が消え、太陽光発電パネルが増え、好きだった東松山の風景ではなくなった。
男性	50～59 歳	ゴミ処理施設を充実させて、分別を少なくして欲しい。リサイクルできるものを増やすのは良いが、埋めたてに回すものを減らす努力が足りないと思う。
女性	50～59 歳	環境問題として家の庭で枯木やゴミなどを燃やしている人を見かけます。けむりや臭いで体調が悪くなる事があるので再度、徹底して、住みやすいまちづくりにしてもらいたいです。
男性	60～69 歳	最近北部において太陽光発電の設置のための自然破壊が進んでいる。市の条例を作り、自然を未来に残す様にするべき。
女性	60～69 歳	太陽光発電設備が増えていますが、経年劣化が考慮されているのか疑問に思う。空き家がたくさんあるのに、宅地造成を広げたり、自然環境を壊す前の推考をお願いしたい。
男性	70～79 歳	脱炭素を目的に、ソーラー発電施設の増加は理解できるが、畑、山林を潰し、ソーラー畑、ソーラー林に変わる事には賛同しかねる。
女性	80 歳以上	高坂駅のムクドリの対策に力を入れて下さい。

4 防災・防犯・安全について

性別	年齢	市民の声
女性	18～19 歳	災害も少なく落ち着いて生活できる場所だと思います。
男性	20～29 歳	東松山市の中心部は力を入れて開発等に取り組んでいますが、大岡や平野地区の方などは安全、防犯、防災の取り組みが出来ていない。
女性	20～29 歳	防災に強く、安心して暮せるまちづくりをお願いします。
男性	30～39 歳	浸水しない町にしてほしいです。
女性	30～39 歳	防災・防犯に強いまちになってほしい。どの世代も住みやすい地域になると良いと思う。
女性	40～49 歳	台風ですぐ、浸水したり、停電したりしすぎ。もっと災害対策をするべき。パトカーでのパトロールを、もっと強化して欲しい。
男性	50～59 歳	地域の安全、防犯カメラや街灯の設置、巡回。
女性	50～59 歳	川が氾濫しないように整備してほしい。外灯を付けてほしい。
男性	60～69 歳	台風の大型化にそなえて、パチンコ店の立体駐車場を車の避難場所にして欲しい。
女性	60～69 歳	住宅地に外灯を増やしてほしい。子供達も習い事などで帰りが遅くなることが多い。
男性	70～79 歳	人が安心して住めることが重要だと思う。その為には、自然災害（特に河川）から守る取り組みが必要だと思う。

5 保健・医療・福祉について

性別	年齢	市民の声
女性	30～39 歳	小児科は市外に受診したりと信頼できる医師がおらず、病院が少ない。
男性	40～49 歳	病院や、障害者（特に医療的ケア児）のための施設がない。
女性	40～49 歳	こども食堂など、子ども達が生活しやすい場所の充実。
男性	50～59 歳	急病の時やけがした時に病院が無い気がする。実際に市外に行くしかないと思っている。
女性	50～59 歳	市民病院は、かかりつけであっても夜間、救急対応してくれず、不親切です。当直する医師も、夜間対応できる医師にしてもらわなければ意味ありません。
男性	60～69 歳	がんセンターをつくる。有料老人ホームを増やす。
女性	60～69 歳	就労支援の充実化と子育てしやすい環境づくりで、待機児童の減少を希望致します。

男性	70～79 歳	安心、安全なまちづくり。福祉の充実。
男性	80 歳以上	医療（高度を含む）施設を充実してほしい。
女性	80 歳以上	もっと市として特養の施設を増やしてもらえないものだろうか。入所者が多く、入りたいのに待機者が多いのが現状である。
女性	80 歳以上	どこへ行くのも車が必要ですが、高齢になると運転も難しく、まず医療施設が近くにないのが困る。

6 教育・文化・スポーツについて

性別	年齢	市民の声
男性	20～29 歳	ストリートバスケットができる場所がほしいです。
男性	20～29 歳	日本スリーデーマーチはテレビでも取り上げられることもある東松山の魅力の一つなのでこれからも知名度を広げていくと良いと思う。
男性	30～39 歳	子供が少なくなる中で、1 学年 10 名前後の学校を今後どうしていくかということは、子供にとってどうかということを考えて、早く進めて欲しい。いつ、どうなるのかということがわからないのが一番不安。
女性	30～39 歳	スポーツの強い大学が市内にあるのだから、子どもたちへの指導をお願いする。
男性	40～49 歳	スポーツの推進を期待します。
女性	40～49 歳	図書館の蔵書やサービスが充実してほしい。
男性	50～59 歳	ボールを使ったスポーツができる広場。
女性	50～59 歳	高坂小学校の電気消し忘れがある。ムダな経費であり、改善をお願いしたい。
男性	60～69 歳	防音室がある施設が欲しい。
女性	60～69 歳	伝統行事に対して、努力されている事。
男性	70～79 歳	スポーツ施設の改善。
女性	70～79 歳	娯楽的なもの、スポーツなどは、市でやらず個人で有料でやって欲しいものです。
男性	80 歳以上	都幾川河川敷内にあったマレットゴルフ場は近隣にはないほこれる立派なマレット場でした。土手補強の為とりつぶされてしまいましたが大勢な高齢者が利用してました、とても残念でした。
男性	80 歳以上	スリーデーマーチの専用コースの設定及びコースの整備。

7 産業について

性別	年齢	市民の声
男性	20～29 歳	企業誘致をもっと積極的に行い雇用創出に力を入れるべきだと思う。
男性	30～39 歳	今後の東松山市の発展には「産業振興」「商業振興」による人口の呼び込みが重要かと思います。市街化調整区域のエリア見直しによる、住宅開発、産業や企業の誘致、市街中心の空洞化を減らす為に商業エリア拡充を希望します。
男性	40～49 歳	人を集めるためのものがない（スリーデーマーチ以外になにか魅力的なものもつくって欲しい）。
女性	40～49 歳	大きな変化は求めています、"ランドマーク"になるような施設ができれば地区の活性化につながるのではないかと思います。
男性	50～59 歳	企業誘致、商業活性化
女性	50～59 歳	地産地消に力を入れてほしい。特に米。（米農家なので）。
男性	60～69 歳	ホームセンターやスーパーばかりでなく、映画館や他県から人を呼び込める施設を建設して欲しい。
女性	60～69 歳	遊べて美味しいものが食べられて、いろいろな物が販売されて、ゆっくり楽しく、幅広い世代で、天気が悪くても屋内で遊べるような施設があるといいです。
女性	70～79 歳	豊かな自然もなし、産業もなし、魅力のないまちです。せめて産業、教育面で活性化できるものを誘致しないといけない。

8 情報について

性別	年齢	市民の声
女性	40～49 歳	色々な助成金について広報で知らせてほしい。
男性	50～59 歳	近隣から引越された方が住民税が高くなったと話された方がおり、市の施設利用も含めどの様に違うのかをホームページなどで教えてほしい。
男性	60～69 歳	コロナ情報（人数・年齢・ワクチン接種等）。イノシシ情報（どこへ・対策は）。振り込み情報（内容・年齢・対策は）。
女性	70～79 歳	現在回覧は全く回って来ません。コロナ禍になり情報は全く得られず、近隣の方ともゴミ出し日に顔を見るだけとなりました。
女性	70～79 歳	リサイクル（ゆずります）コーナーを再開してほしい。物をすてるのがつらい。
女性	80 歳以上	介護施設に空家を利用し2～3人で住めてオープンにできるようないろいろ種類がありそうで内容を広報などで知らせてほしい。

9 市政について

性別	年齢	市民の声
男性	20～29 歳	失敗しても良いので色々チャレンジしてほしい。
女性	20～29 歳	子どもの為の市政を行ってほしいです。
男性	30～39 歳	市民が納得できる政策・地域おこし等。宜しくお願ひしたい。
女性	30～39 歳	東松山市は他の市町村に比べると住民税が高額である。働いていていやになります。高額な税がどのように使われているのか見えてこない。
男性	40～49 歳	田舎というほど魅力や観光になるような田舎ではなく、かと言って住むのに便利で快適でもない中途半端なまちだと思っています。治安は悪くないので、今ある自然を大事に保全しながら産業など豊かになれば、魅力のある良いまちになっていくと思います。
女性	40～49 歳	行政だけで子育てに関する施策を決めるのではなく、子育てに関わる人（特に母親）にも意見を聞いてから決めてほしい。
男性	50～59 歳	住民が住んでよかったと思えるまちづくりをお願いします。
女性	50～59 歳	公共施設維持管理について、利用する人が少ない施設でもその地域にとっては必要なものもあると思うし、古くなったからと簡単に建て替えられる程安いものでもないの、地域、利用者等と良く話し合っ解決してほしい。
女性	50～59 歳	計画性が全く感じられず、活性も先が見えません。情報の発信の仕方や、目に見える生活への安心のできる防犯対策など、がんばってほしい。
男性	60～69 歳	公共施設が老朽化しており、点検して早急に修繕していただきたい。
女性	60～69 歳	箱物を増やすのではなく、人やある施設の充実を求めて住みやすい市になることが大切だと思う。
男性	70～79 歳	何を、何を目的として、いつまでに、どの様に実行するかを中期計画（3～5年）として又、長期計画（10～15年）として、公表するべき。
女性	70～79 歳	50年、100年後を見据えた人材育成を。
男性	80歳以上	人命を考え（第一に）予算を（税金）配分して下さい。
女性	80歳以上	皆んなが、健康で笑顔で暮らせる様お願いします。

10 その他

性別	年齢	市民の声
男性	18～19 歳	自治会はいらない。
女性	20～29 歳	この調査自体をインターネットで入力できるようにしてほしい。
男性	30～39 歳	マイナンバーカードで住民票をコンビニで取得できるようにしてほしい。
女性	30～39 歳	小学生が下校する時に見守りをお願いする放送がもっと明るいもの（子どもの声など）だといいなと思います。
女性	40～49 歳	「花いっぱい」でのお花を育てる上でプランターや土、肥料などの提供は必要である。市からの送りものですが、プランターがどこの家庭でも割れていたり古びていていつもみにくいと思っている。
女性	40～49 歳	お祭りや市の花火大会を実施してほしい。子どもが夏祭りを楽しめず、いつのまにか成長していくのはかわいそう。スリーデーマーチの他に市の祭りを考案してほしい。
男性	50～59 歳	駅の大鳥居はシンボルだと思う。無くなったのがさみしい。
女性	50～59 歳	年輩が集まる施設やサークルではなく、若者や中高年が楽しめる施設やサークルの充実。高水準の w i - f i 環境を増やしてほしい。
女性	50～59 歳	現住民と市外から来た方々が仲良く生活できるような街になってほしい。
男性	60～69 歳	アンケートは W e b でも可能に（用紙のムダ）、エコタウンを進めて下さい。
女性	60～69 歳	もっと L G B T に関する事業に力を入れて、パートナーシップ制度など、「これから」につながる支援をするべき。
男性	70～79 歳	自治会運営が高齢者家庭が多く、困難になって行くのでは、班長の順が来ても、活動できない。楽しいはずの地域行事の準備、運営に参画しにくい班長、住民も多い。
女性	70～79 歳	家庭内も同じですが、高齢者と若い人との交流がほしい。
女性	80 歳以上	前には広報にゆずって下さい、ゆずりますのページがあり利用した事があり、お互いに使っていただいたり使わせていただいたりが良かったので、又そのコーナーがあるといいと思います。

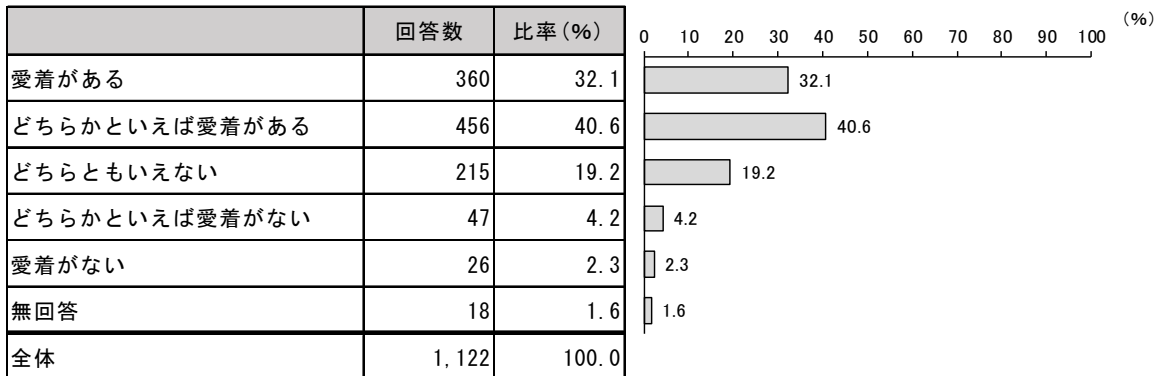
V. 資料

V 資料

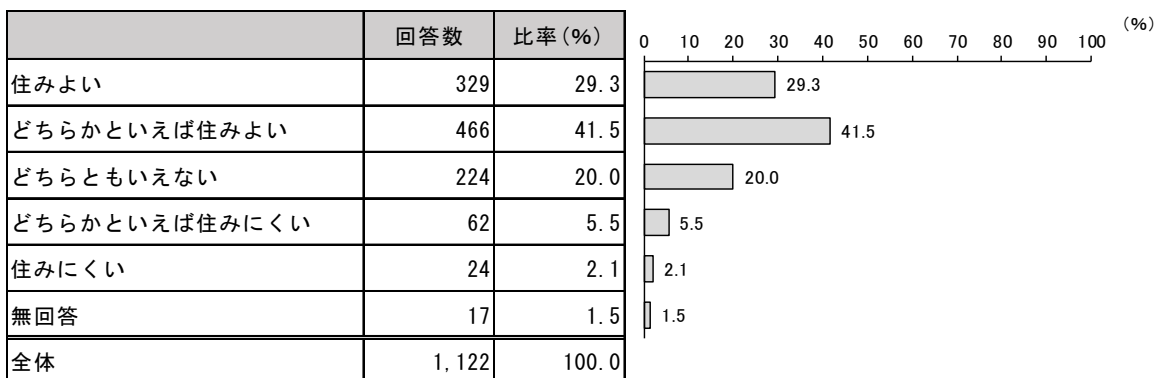
調査への回答（単純集計結果）

〈まち全体の印象について〉

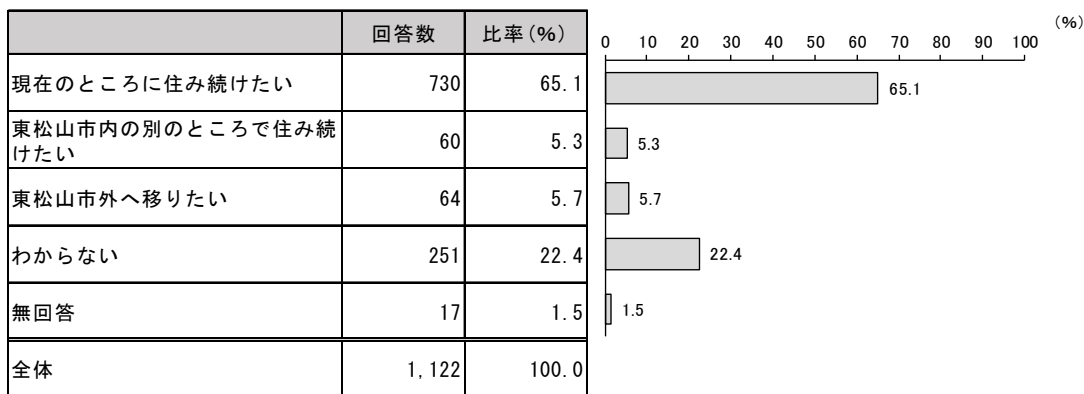
問1. あなたは、東松山市に愛着を感じていますか。（単数回答）



問2. あなたにとって、東松山市は住みよいまちですか。（単数回答）

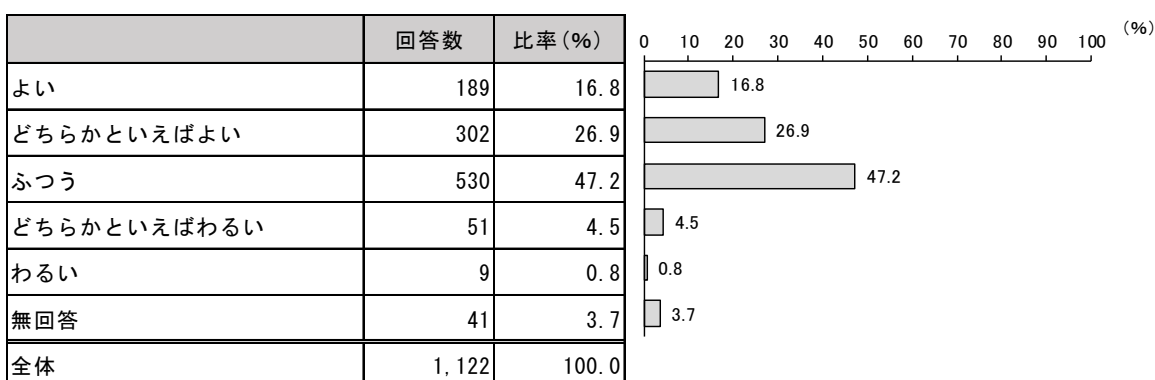


問3. あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいですか。（単数回答）

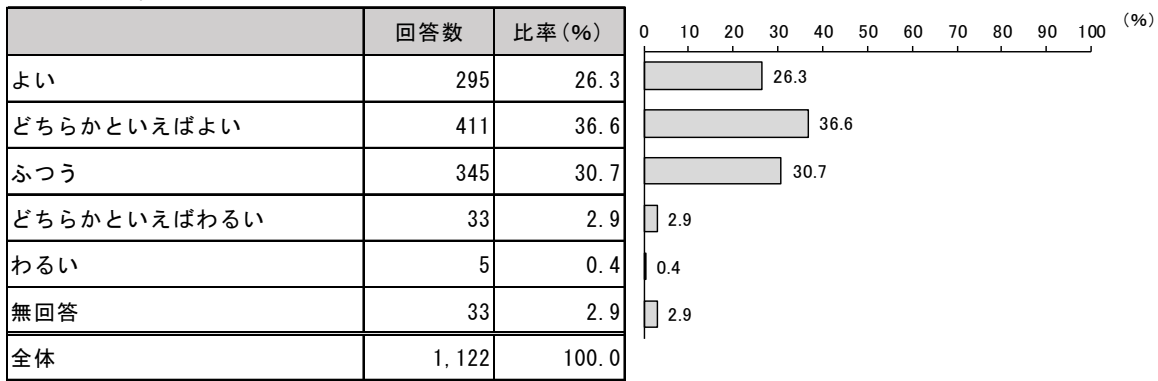


問4. あなたは、東松山市についてどのように思いますか。（単数回答）

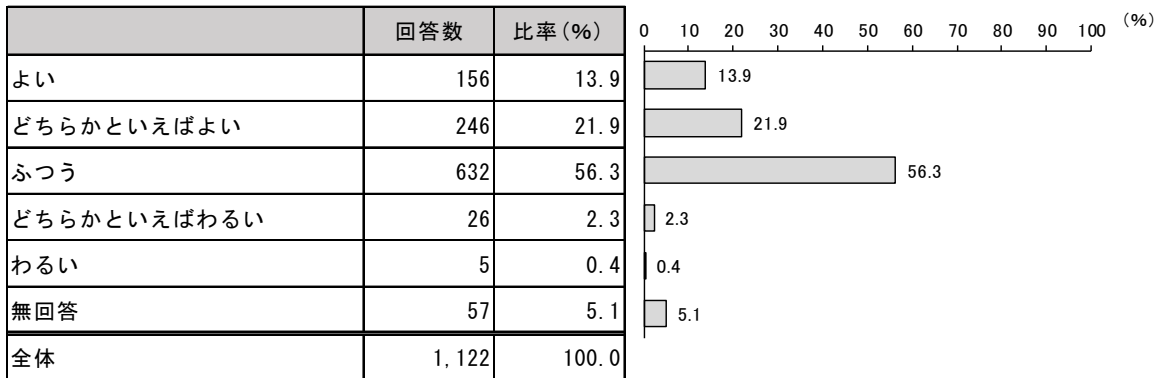
(ア) 人柄・土地柄



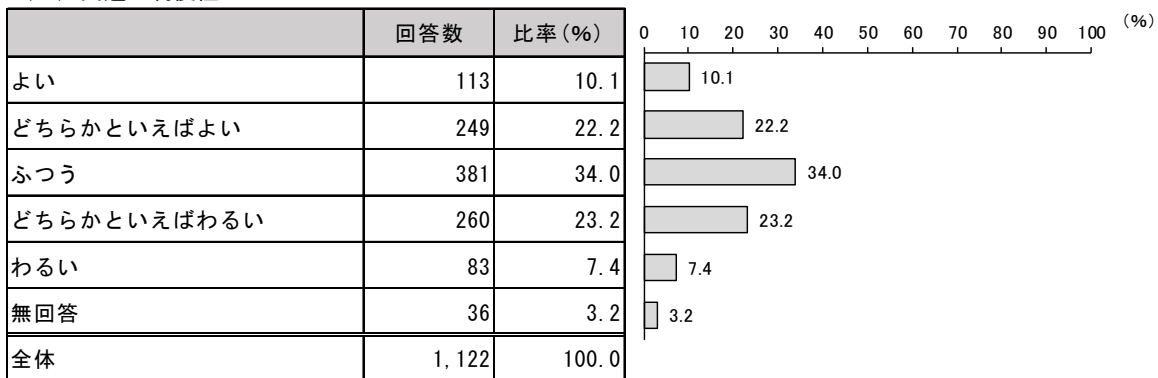
(イ) 自然環境



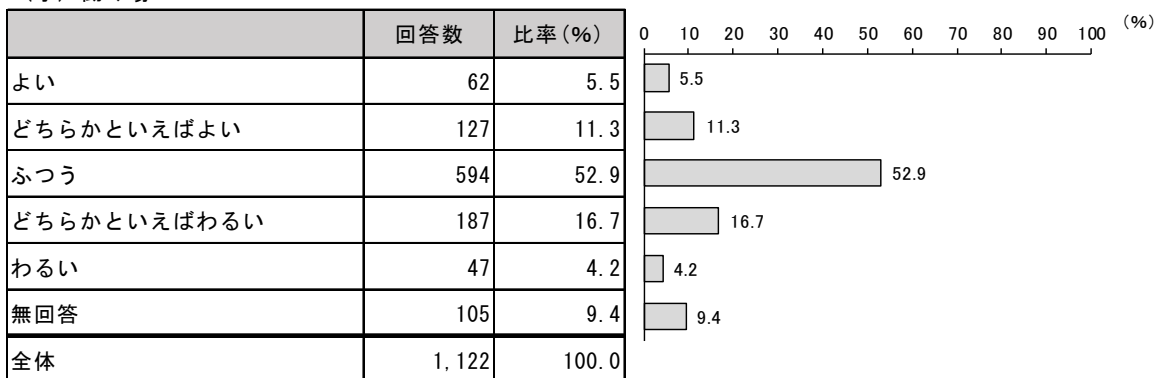
(ウ) 歴史と伝統



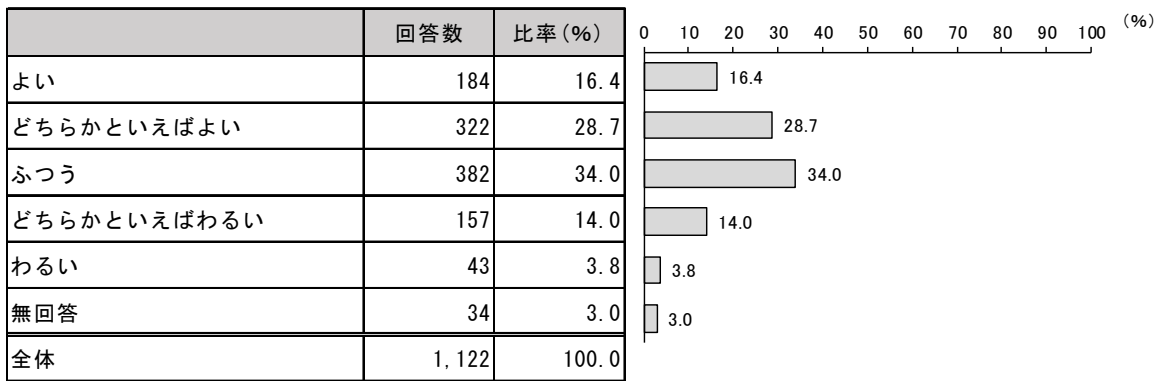
(エ) 交通の利便性



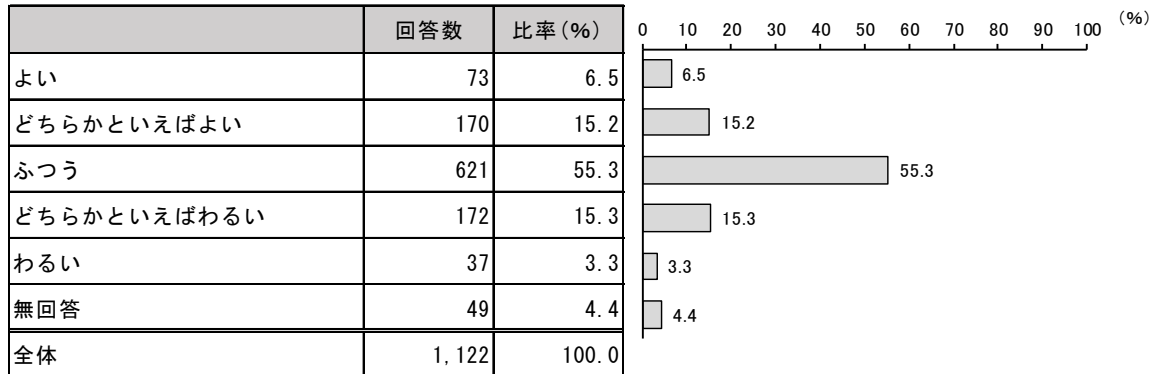
(オ) 働く場



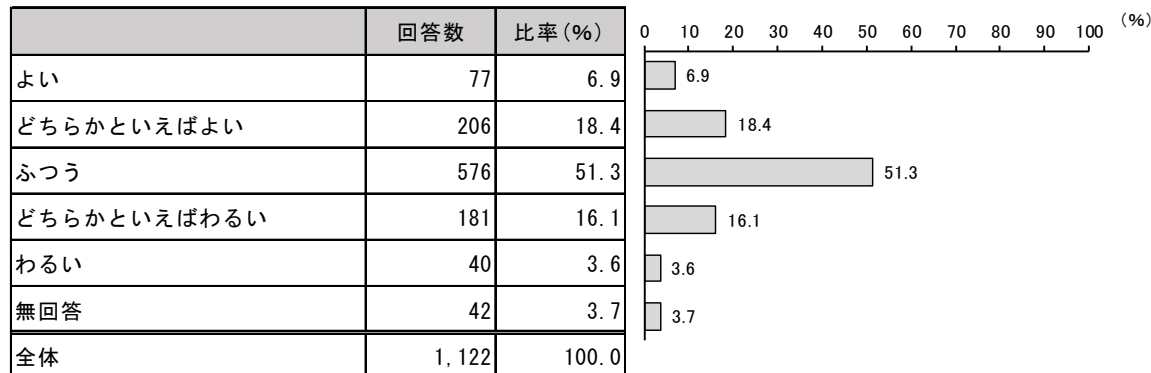
(カ) 買物などの日常生活の利便性



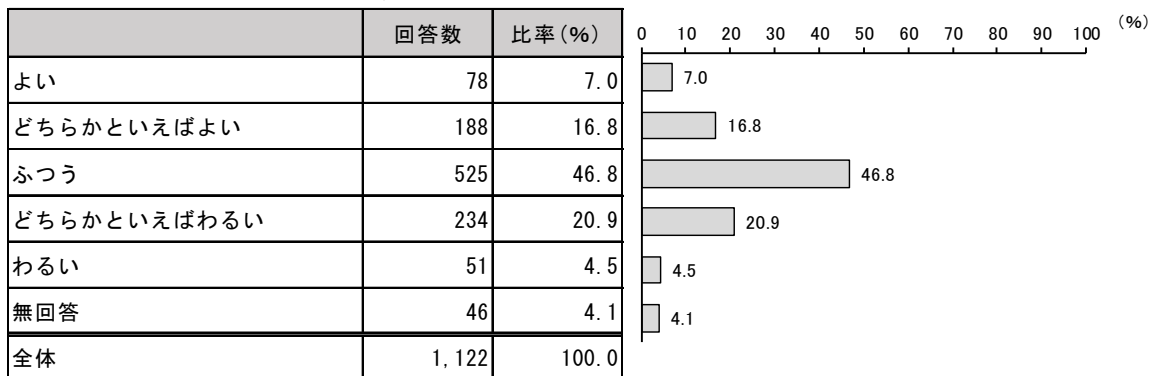
(キ) 教育・文化・スポーツ施設



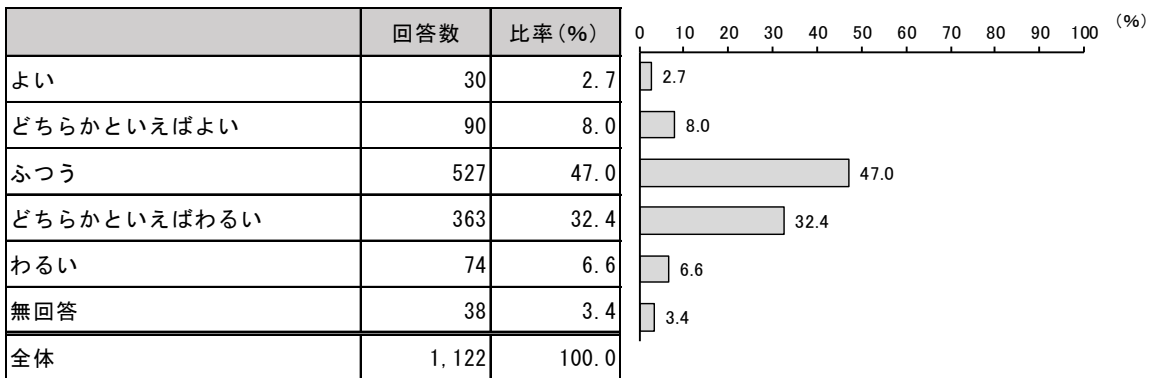
(ク) 医療・福祉施設



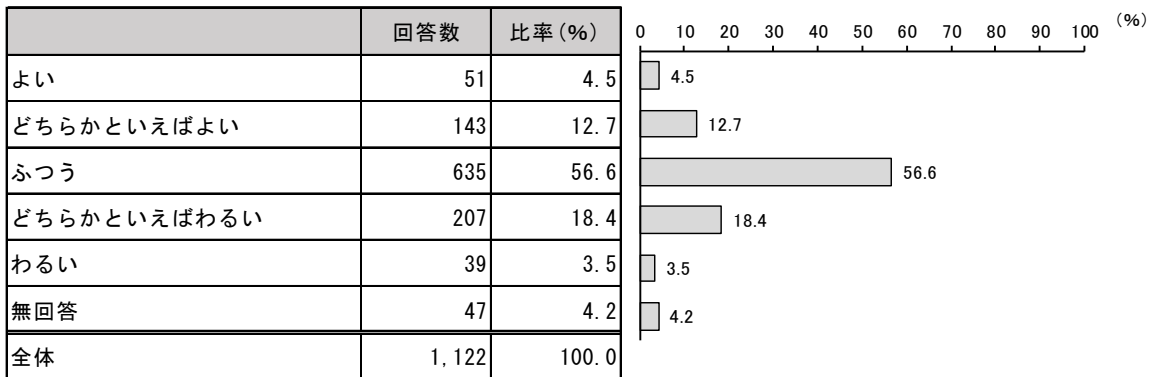
(ケ) 道路や公園等の生活の基盤施設



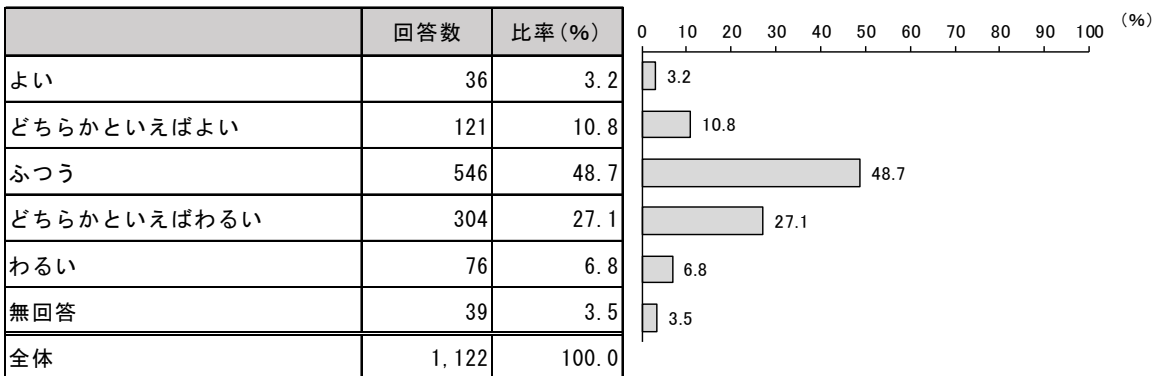
(コ) 活気とにぎわい



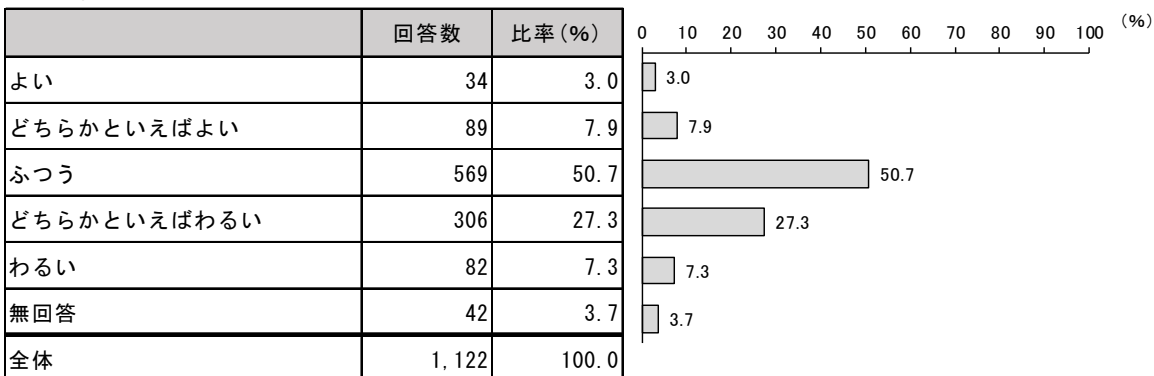
(サ) 街並みの美しさ



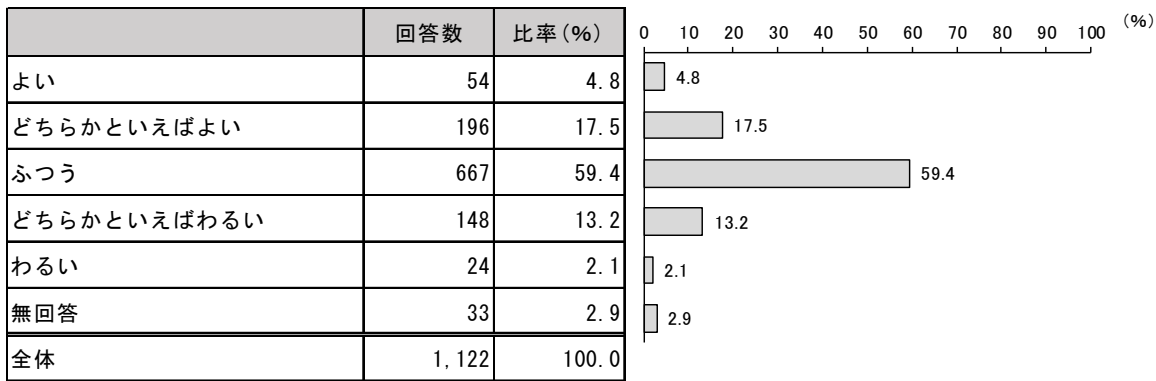
(シ) 市の発展性



(ス) 都市としての個性や魅力

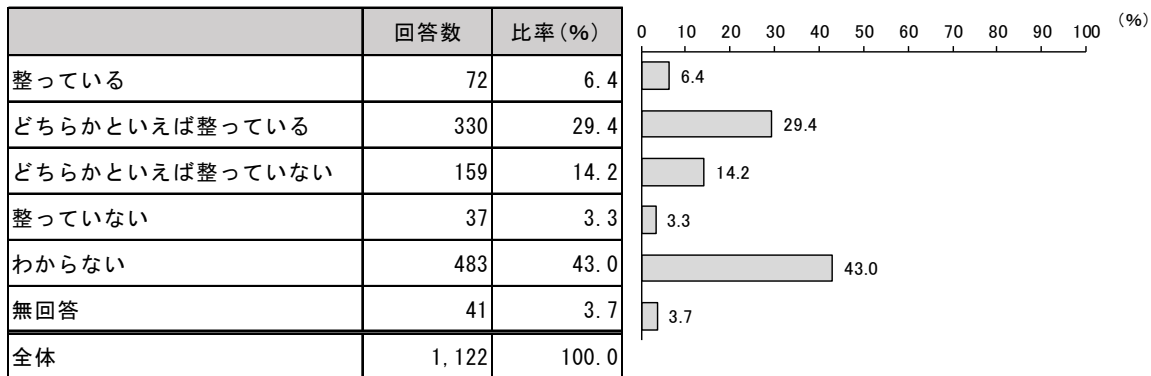


(セ) 総合的に見て

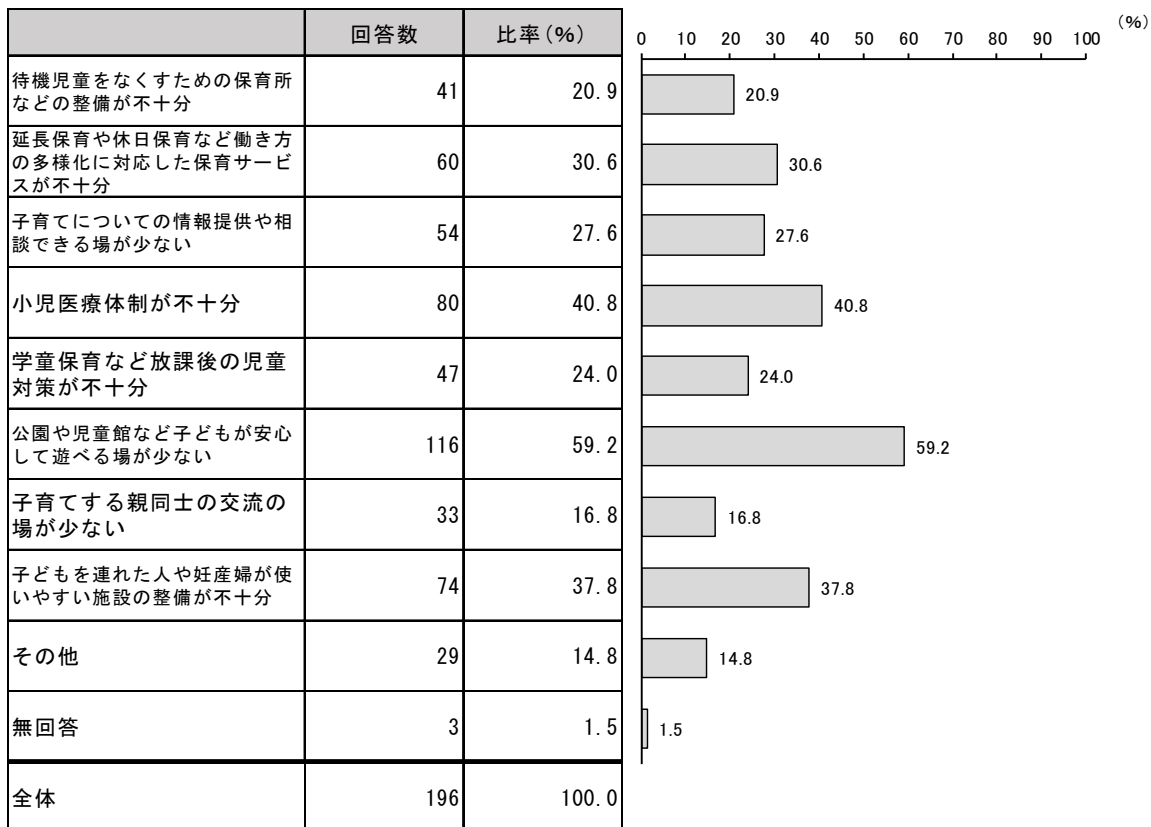


〈子どもの分野について〉

問5. あなたは、東松山市は子育てしやすい環境が整ったまちだと思いますか。(単数回答)

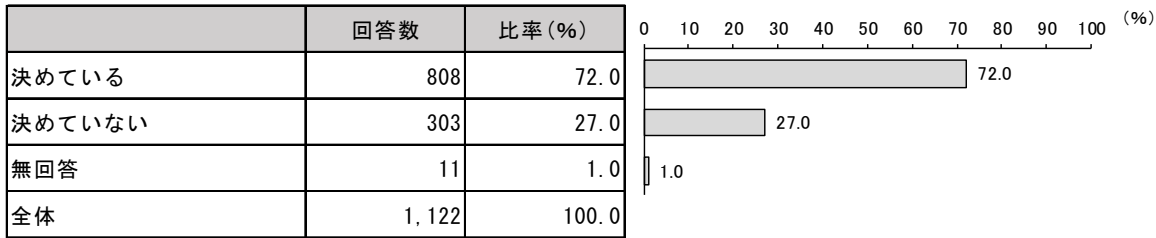


問5-1. “環境が整っていない”と思う理由は何ですか。(複数回答)

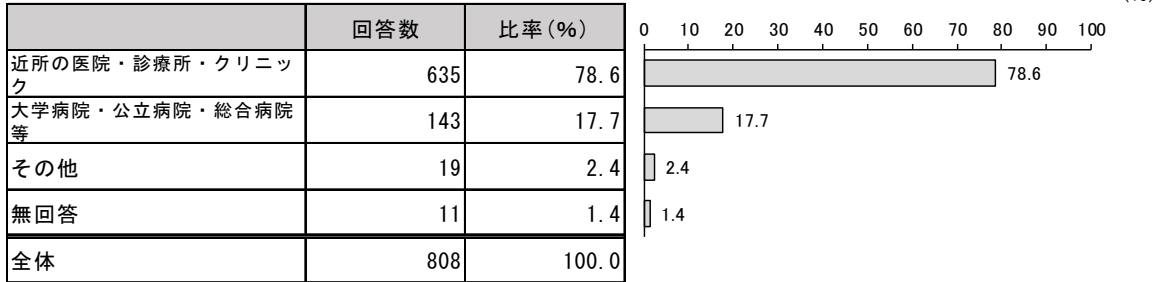


〈健康福祉の分野について〉

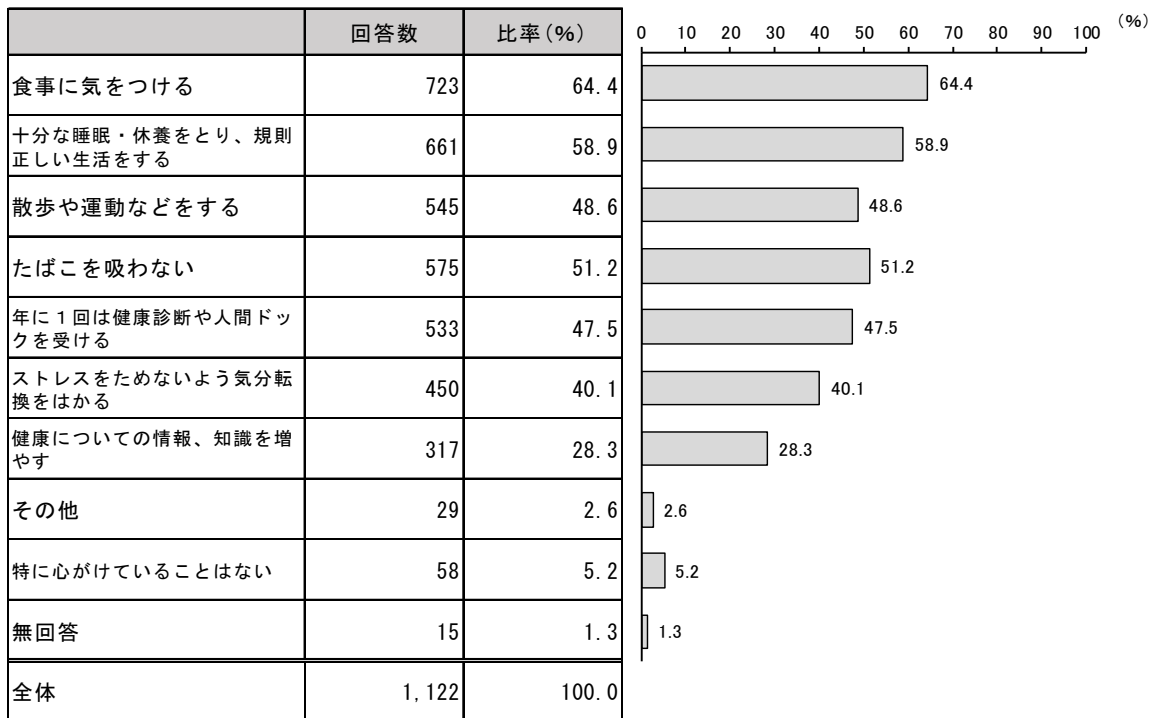
問6. あなたは、体の不調を感じたとき、最初にかかる医療機関を決めていますか。(単数回答)



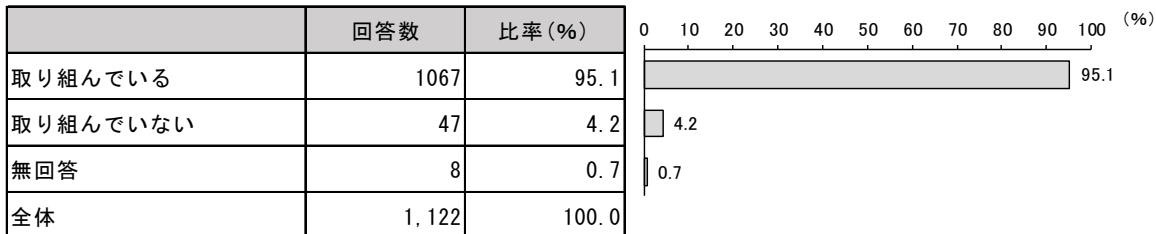
問6-1. 最初にかかる医療機関は、次のどれですか。(単数回答)



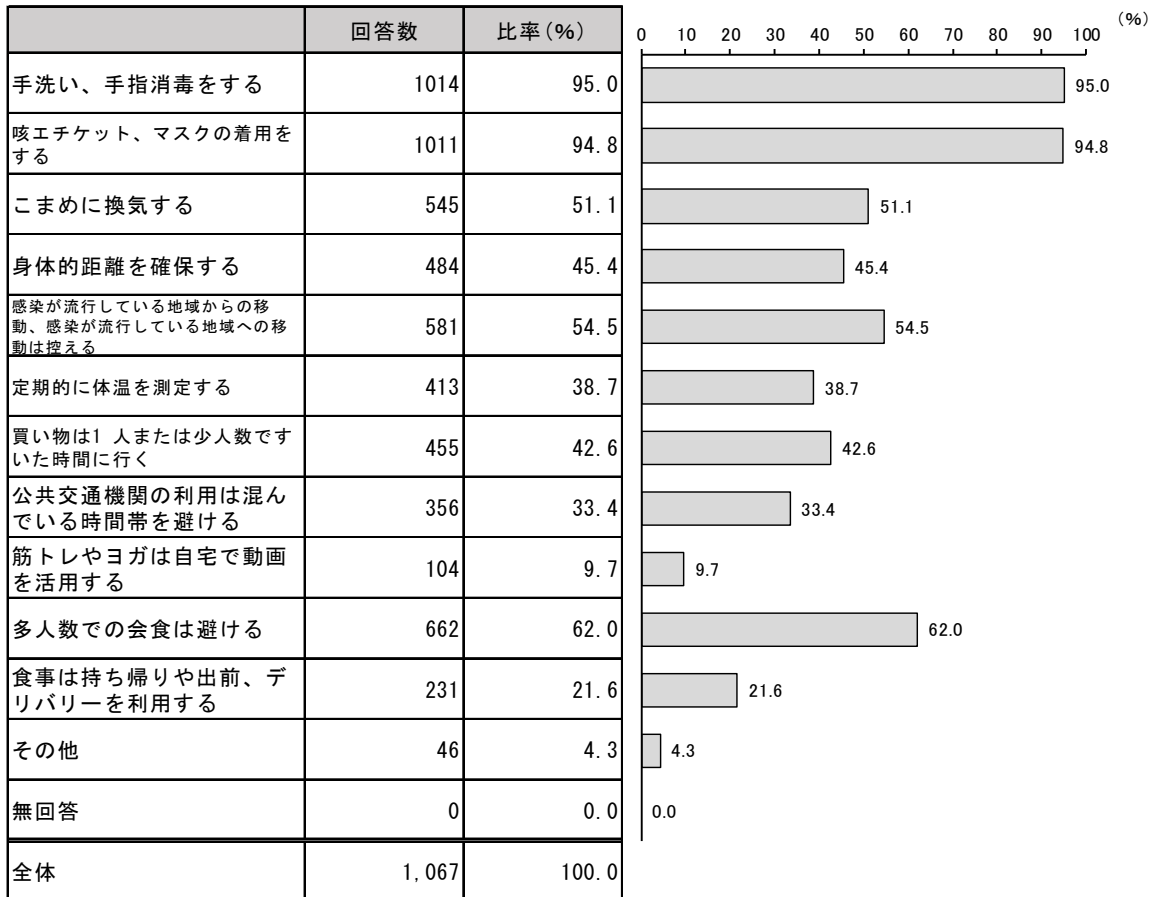
問7. あなたが、自分の健康づくりのために日頃から心がけていることはどのようなことですか。(複数回答)



問8. あなたは、感染症対策に取り組んでいますか。(単数回答)

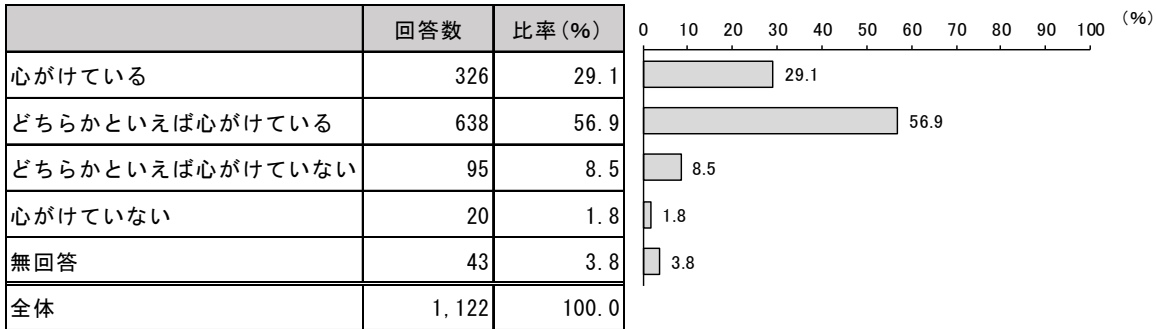


問8-1. 日常生活の中で、どのようなことに取り組んでいますか。(複数回答)

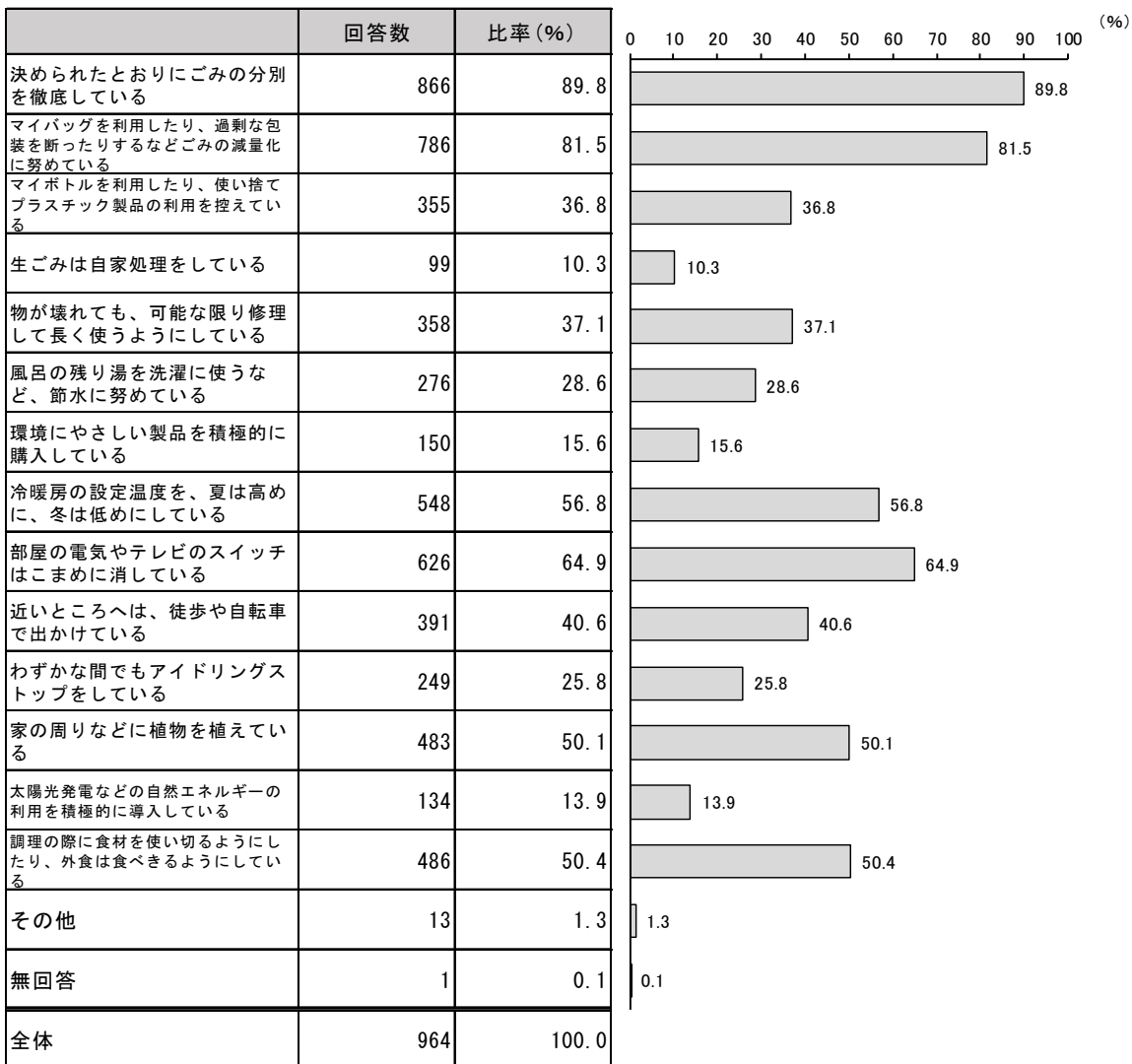


〈環境について〉

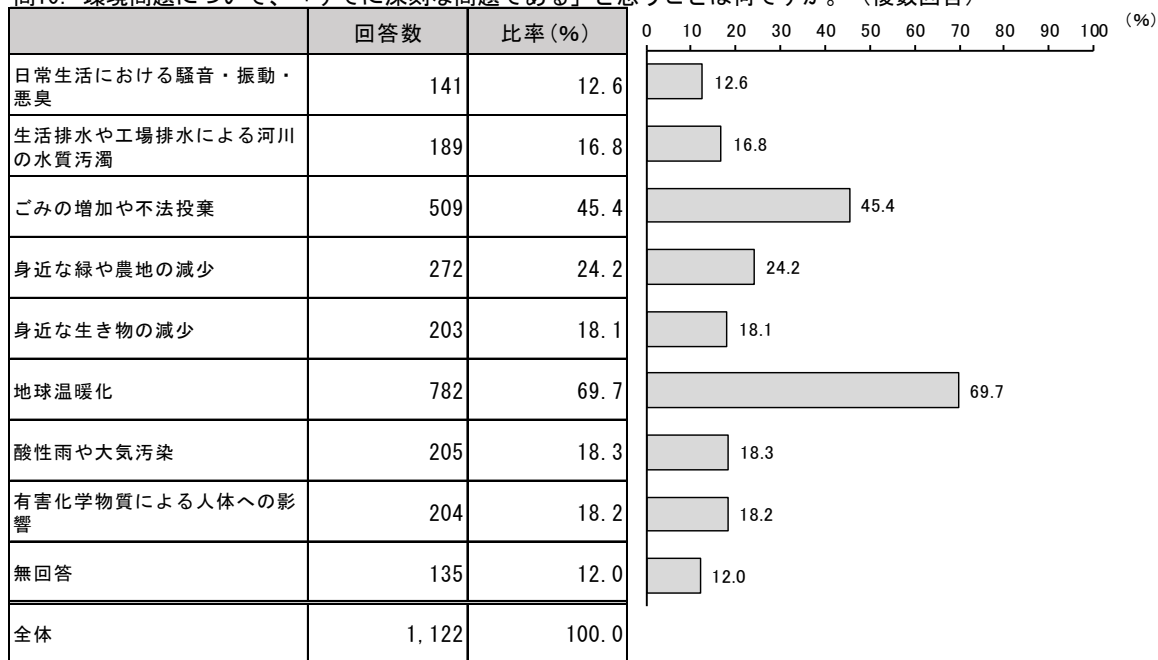
問9. あなたは、環境に配慮した生活を心がけていますか。(単数回答)



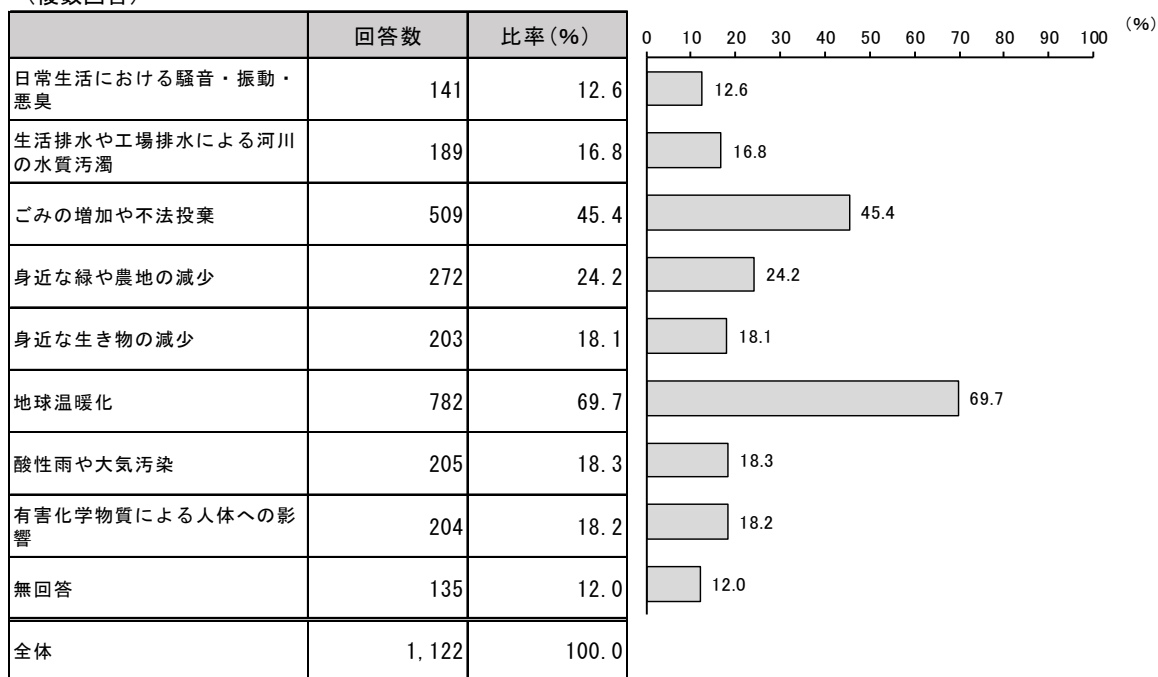
問9-1. 日常生活の中で、具体的に取り組んでいますか。(複数回答)



問10. 環境問題について、「すでに深刻な問題である」と思うことは何ですか。（複数回答）

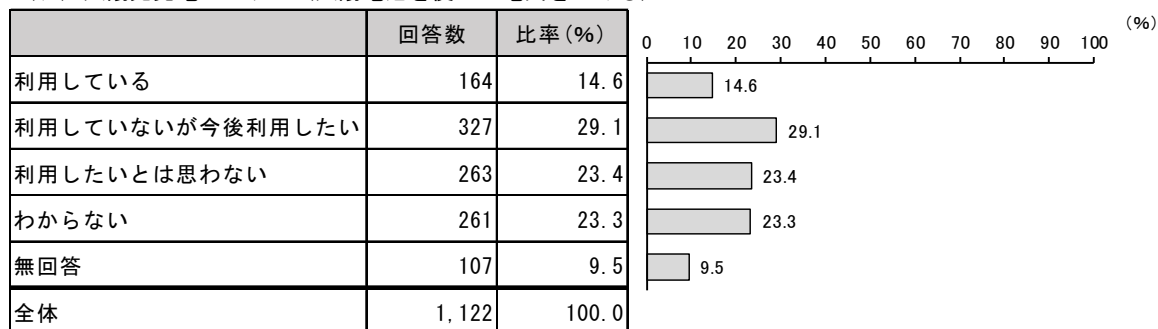


環境問題について、今後、改善していくうえで「重点的に取り組んでいく必要がある」と思うことは何ですか。（複数回答）

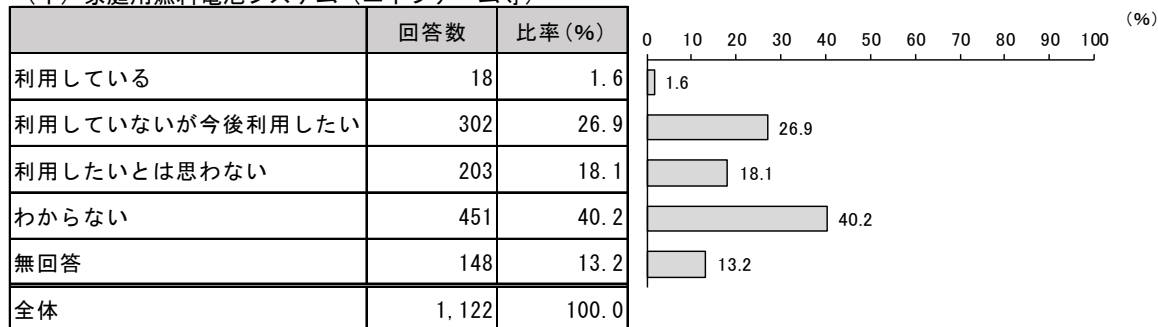


問11. あなたは、省エネ設備・家電や太陽光などの新エネルギーによる創エネ・蓄エネ設備を利用していますか。(単数回答)

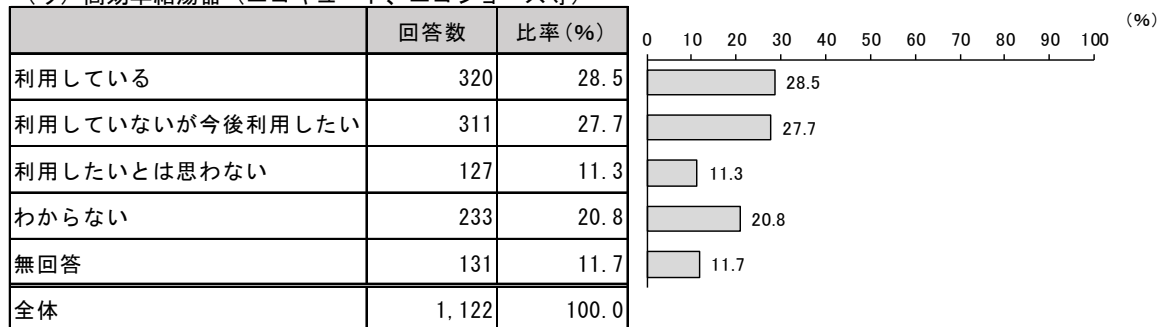
(ア) 太陽光発電システム(太陽電池を使って電気をつくる)



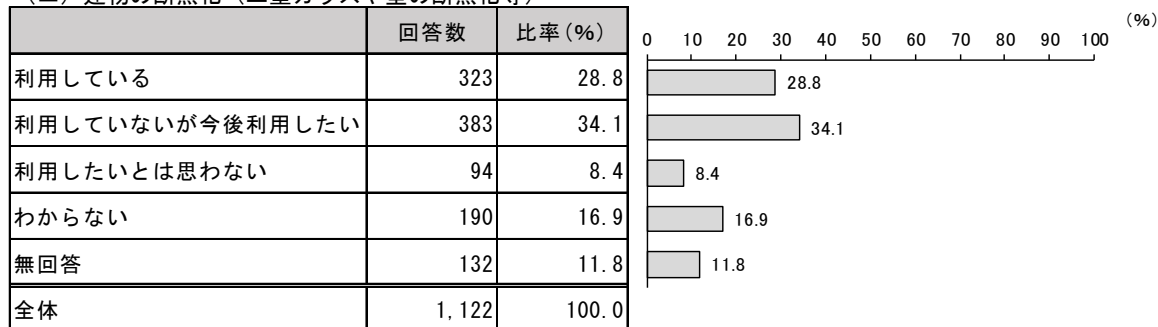
(イ) 家庭用燃料電池システム(エネファーム等)



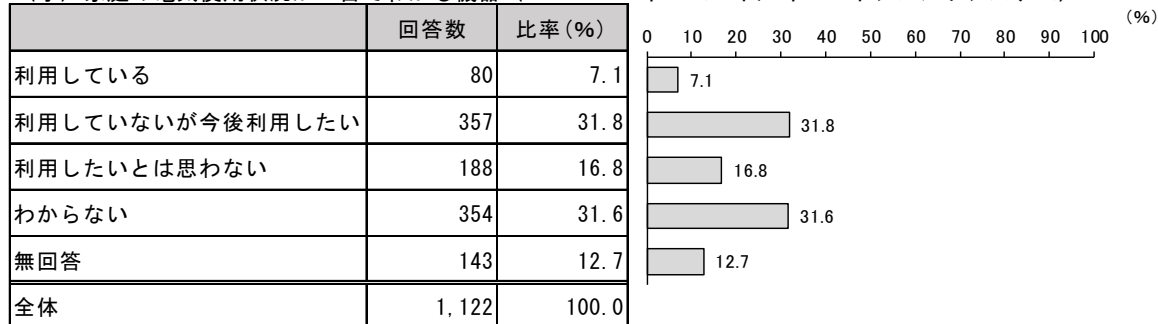
(ウ) 高効率給湯器(エコキュート、エコジョーズ等)



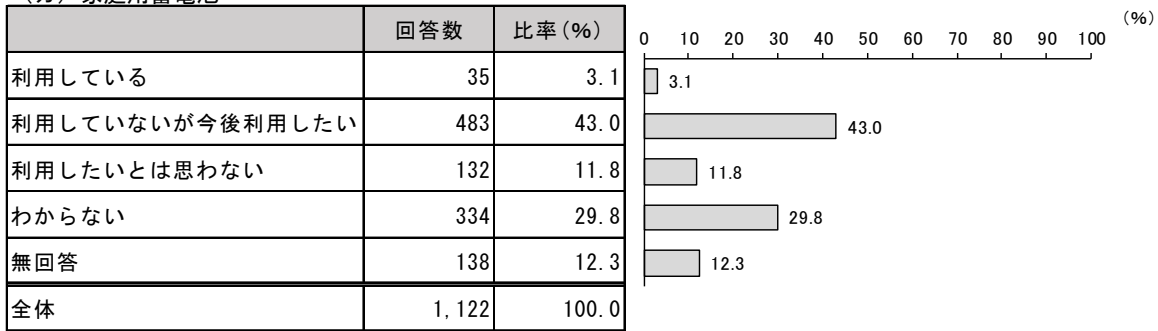
(エ) 建物の断熱化(二重ガラスや壁の断熱化等)



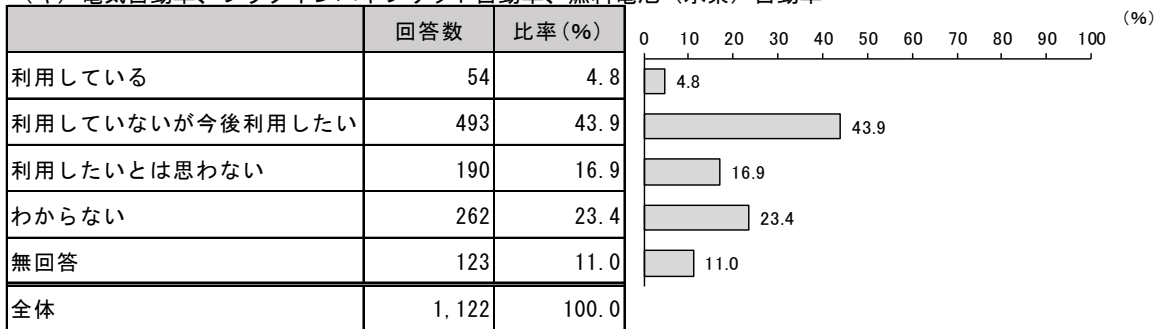
(オ) 家庭の電気使用状況が一目でわかる機器(HEMS:ホームエネルギーマネジメントシステム)



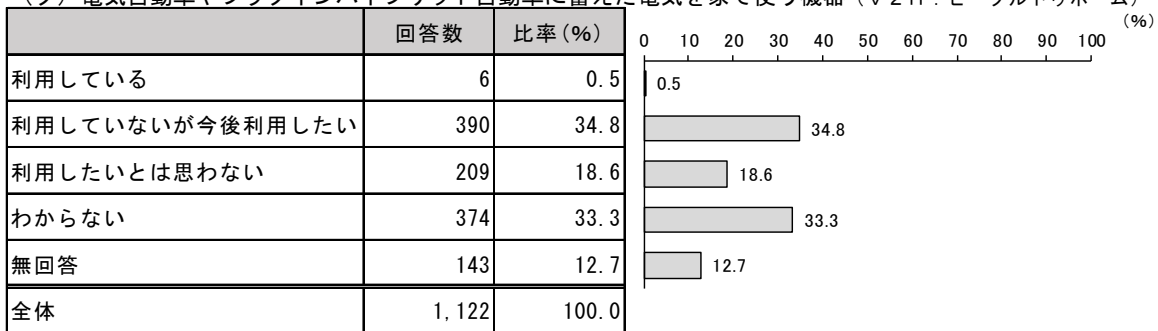
(カ) 家庭用蓄電池



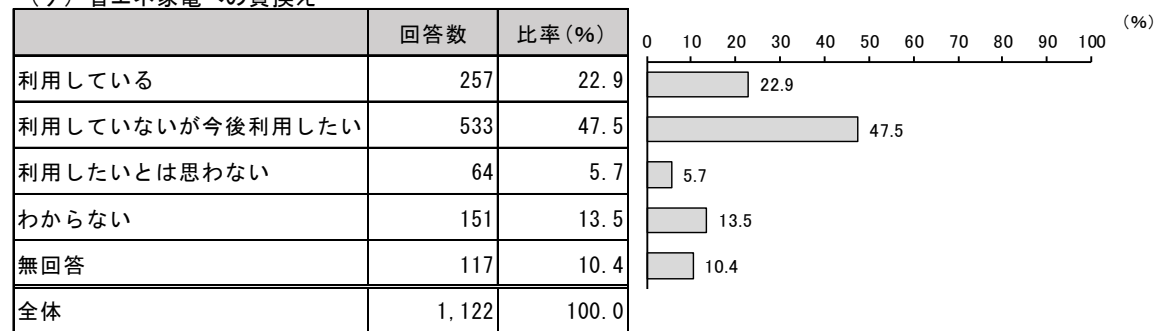
(キ) 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池（水素）自動車



(ク) 電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に蓄えた電気を家で使う機器 (V2H: ビークルトゥホーム)

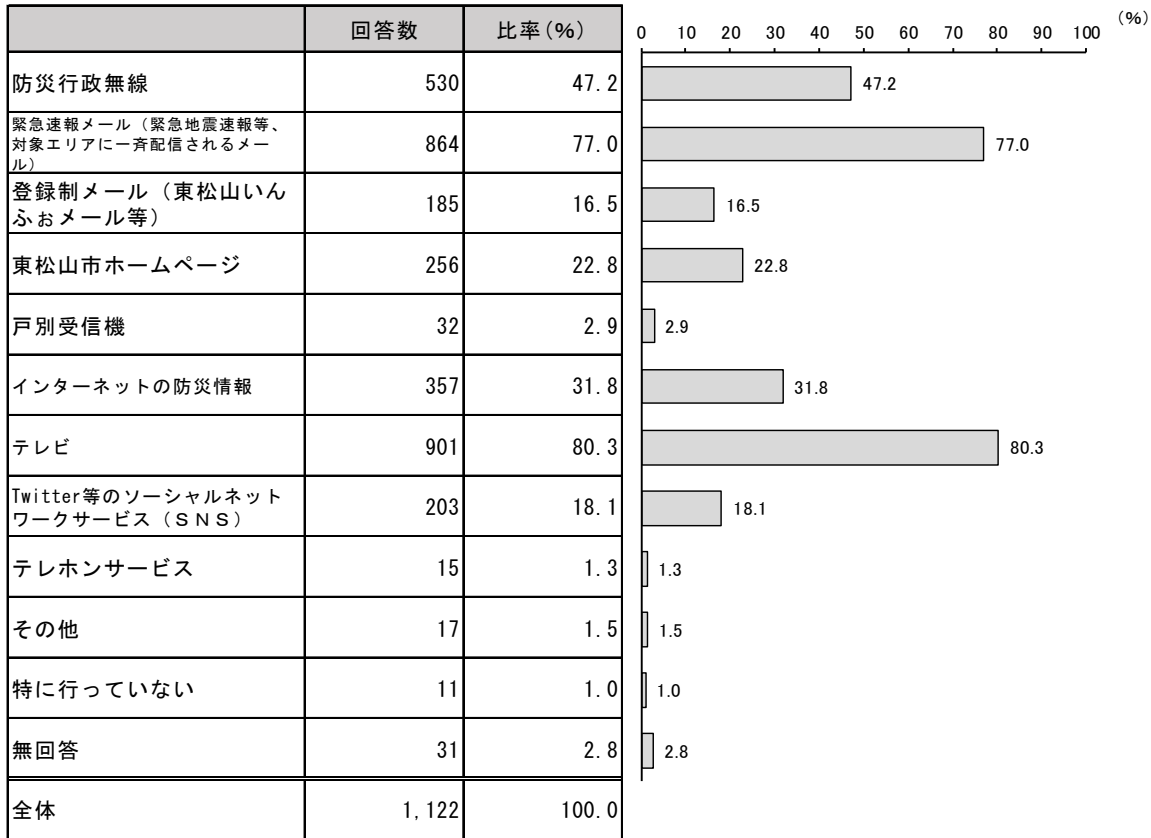


(ケ) 省エネ家電への買換え

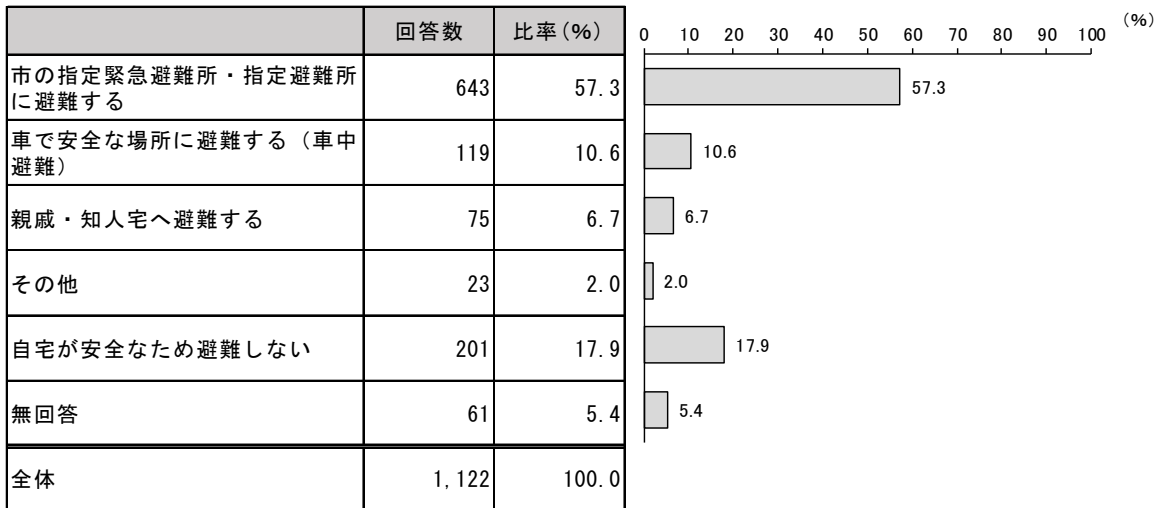


〈生活基盤について〉

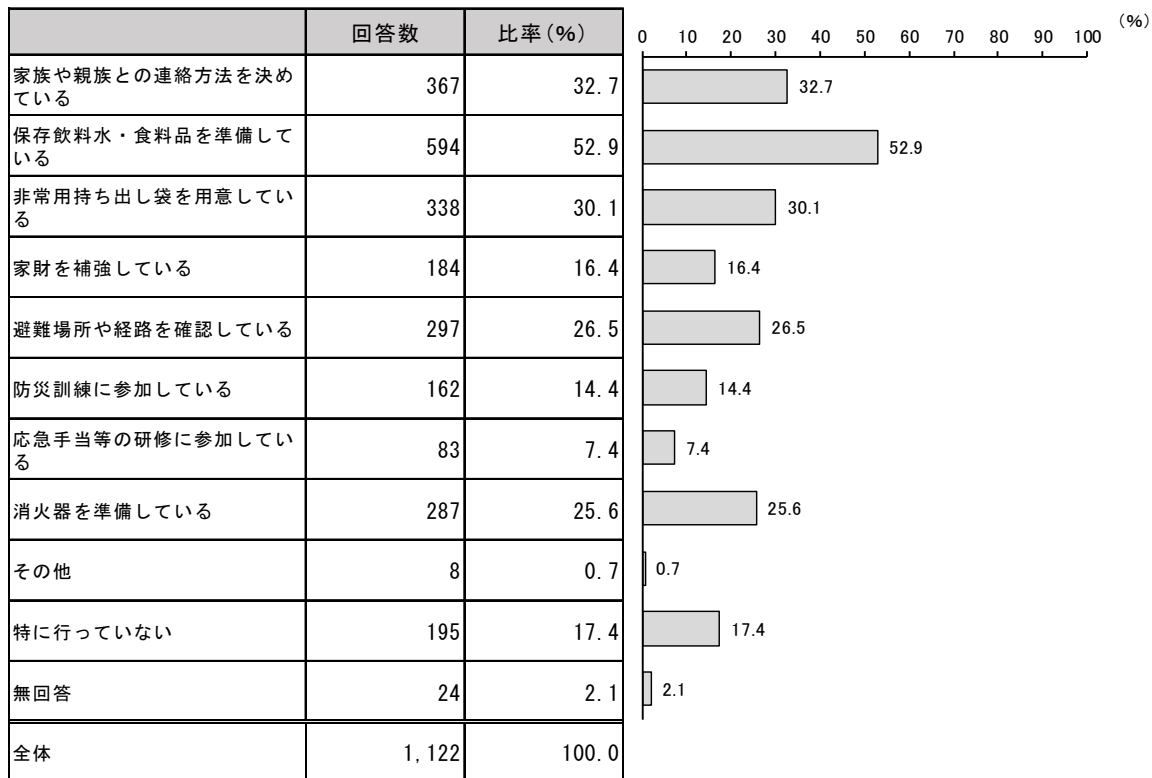
問12. あなたは、災害時の防災情報（避難情報）をどのように取得していますか。（複数回答）



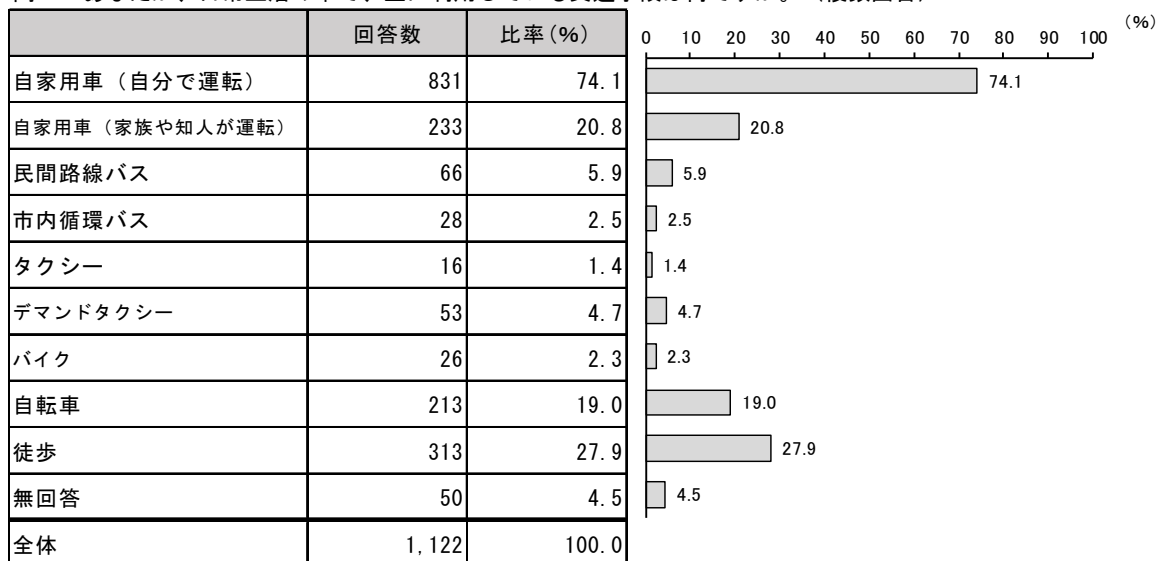
問13. あなたは、避難行動を求められたら主にどのように避難を行いますか。（単数回答）



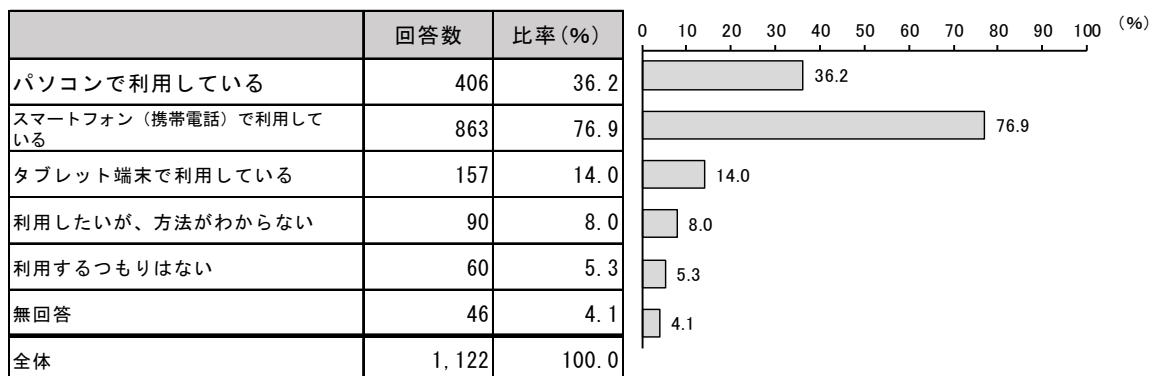
問14. あなたは、日頃から災害に備え、どのようなことを行っていますか。（複数回答）



問15. あなたが、日常生活の中で、主に利用している交通手段は何ですか。（複数回答）



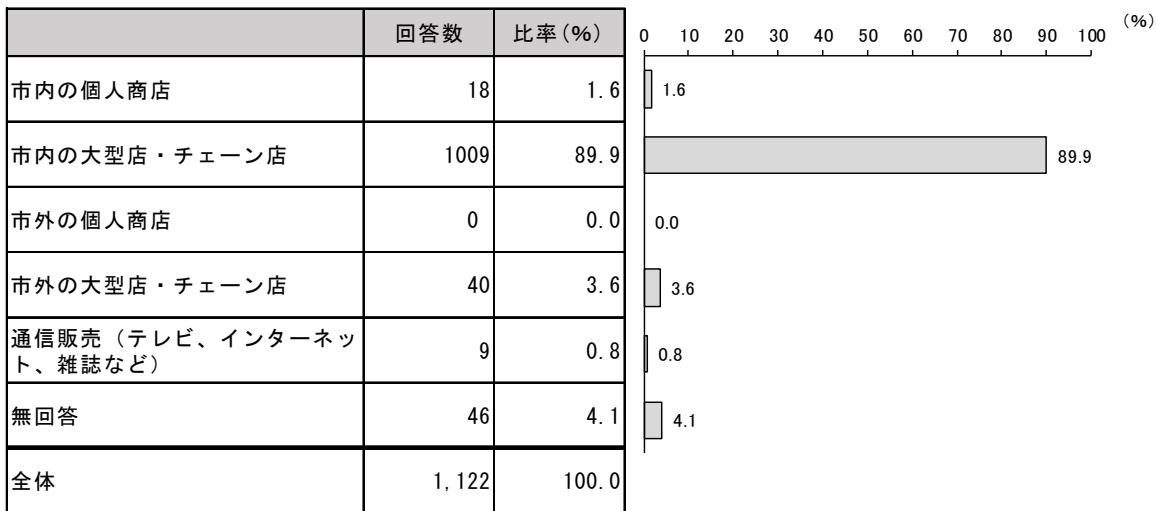
問16. あなたは、ホームページを見たり、インターネットを利用したりしていますか。（複数回答）



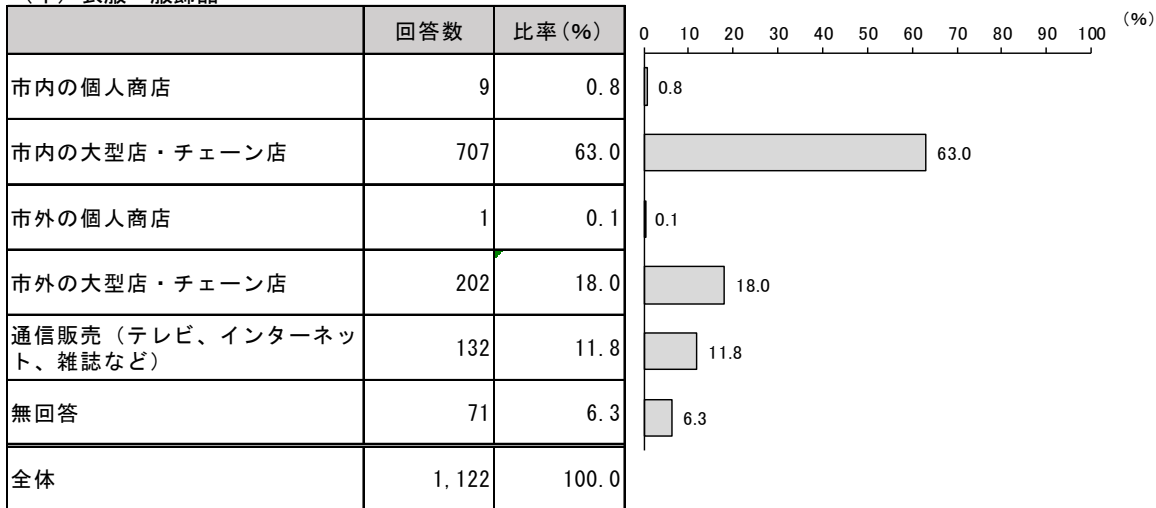
〈商業の活性化について〉

問17. あなたは、次の商品を主にどの商店で購入していますか。(単数回答)

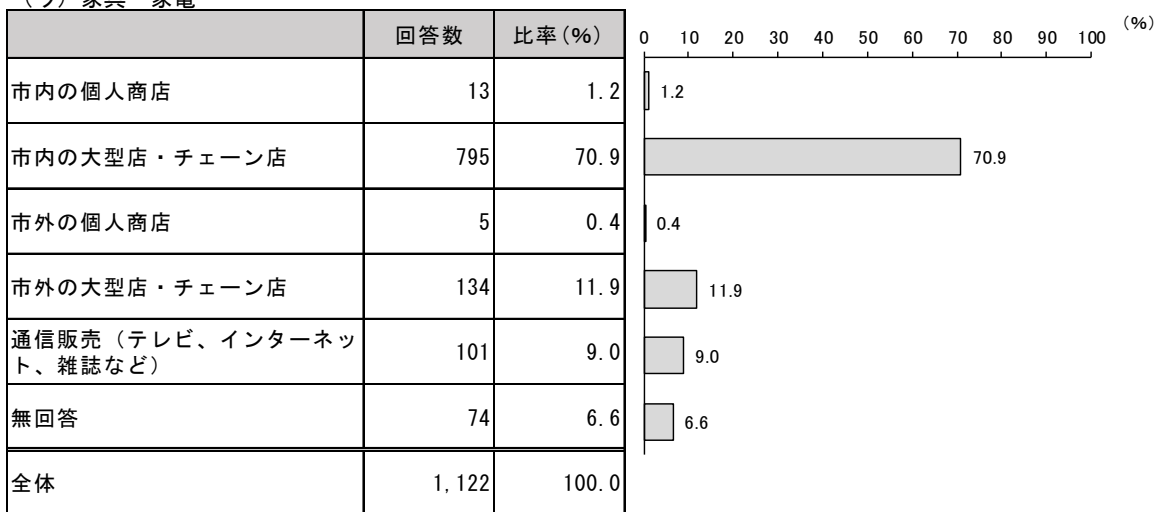
(ア) 食料品



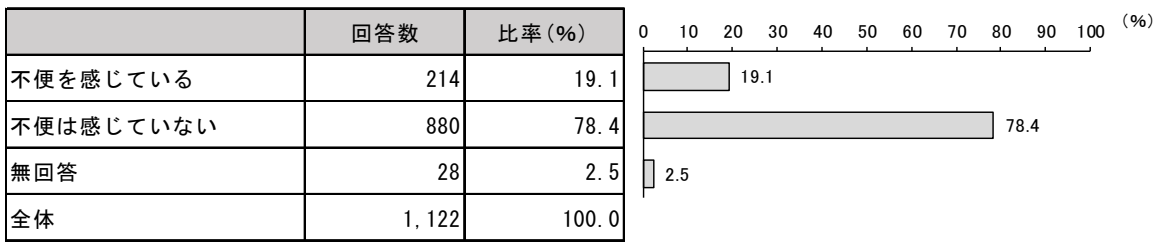
(イ) 衣服・服飾品



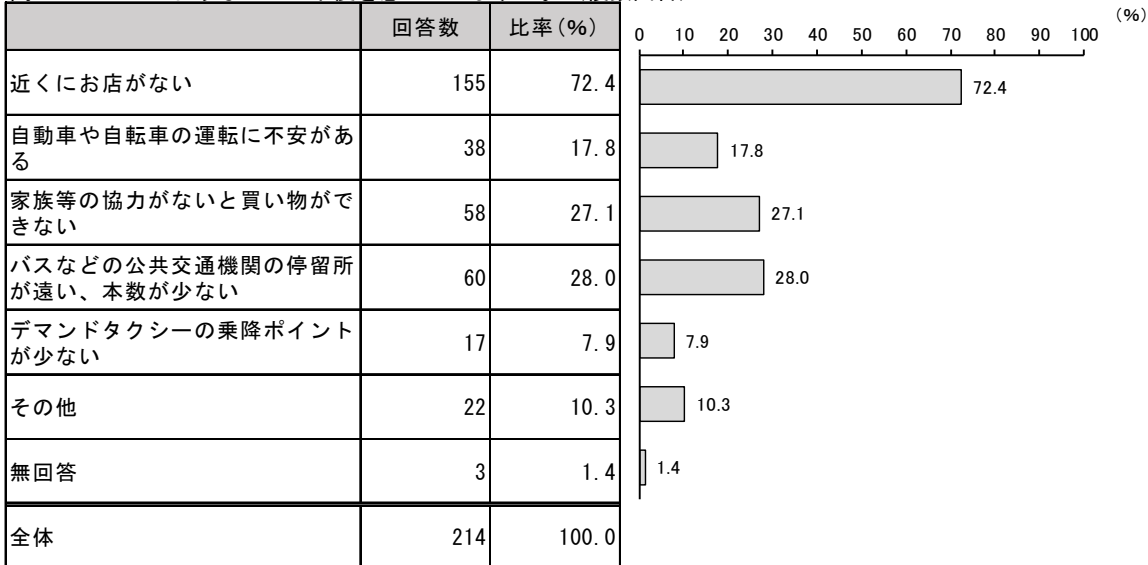
(ウ) 家具・家電



問18. あなたは、食料品などの日用品の買い物で不便を感じていますか。（単数回答）

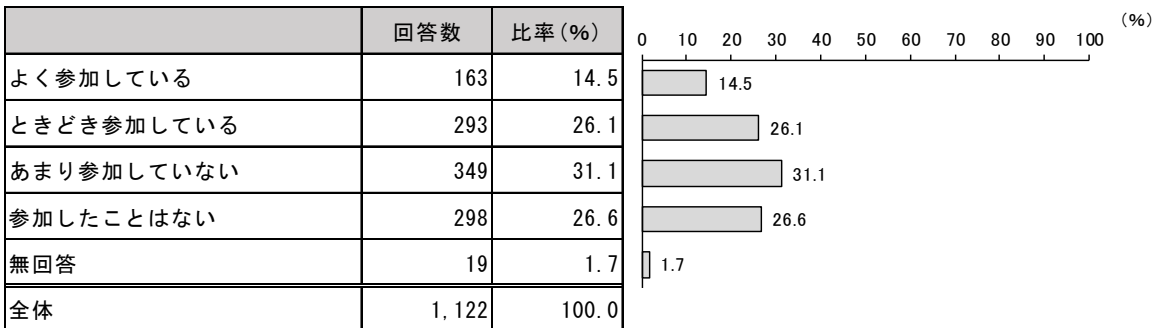


問18-1. どのようなことで不便を感じていますか。（複数回答）

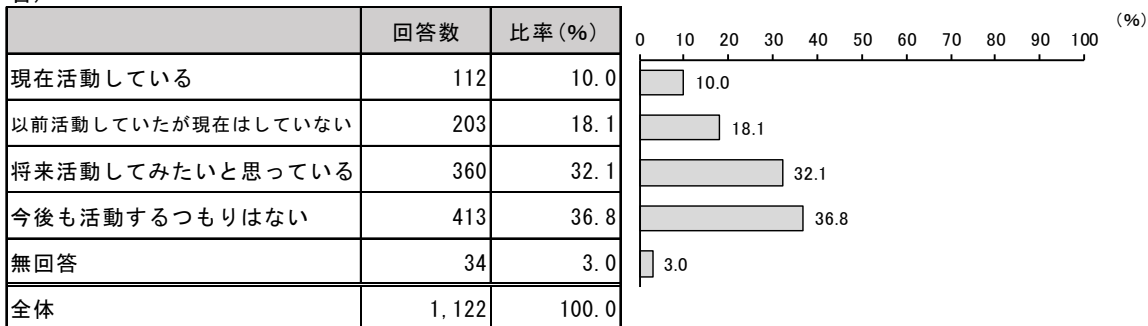


〈協働によるまちづくりについて〉

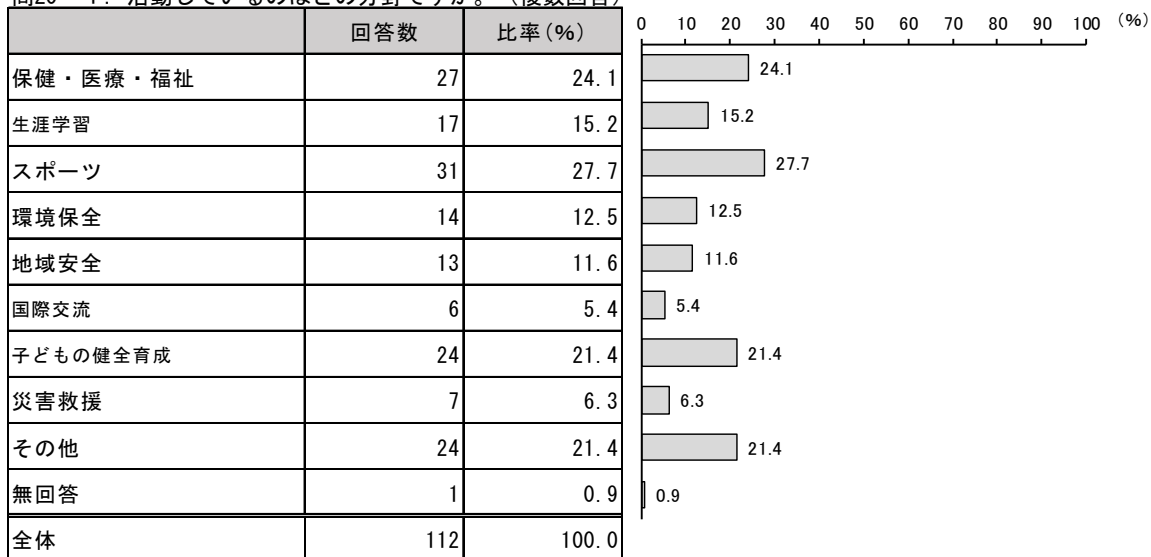
問19. あなたは、現在、自治会活動や地域の行事などに参加していますか。（単数回答）



問20. あなたは、団体、サークルまたは個人などでボランティア（社会貢献）活動をしていますか。（単数回答）

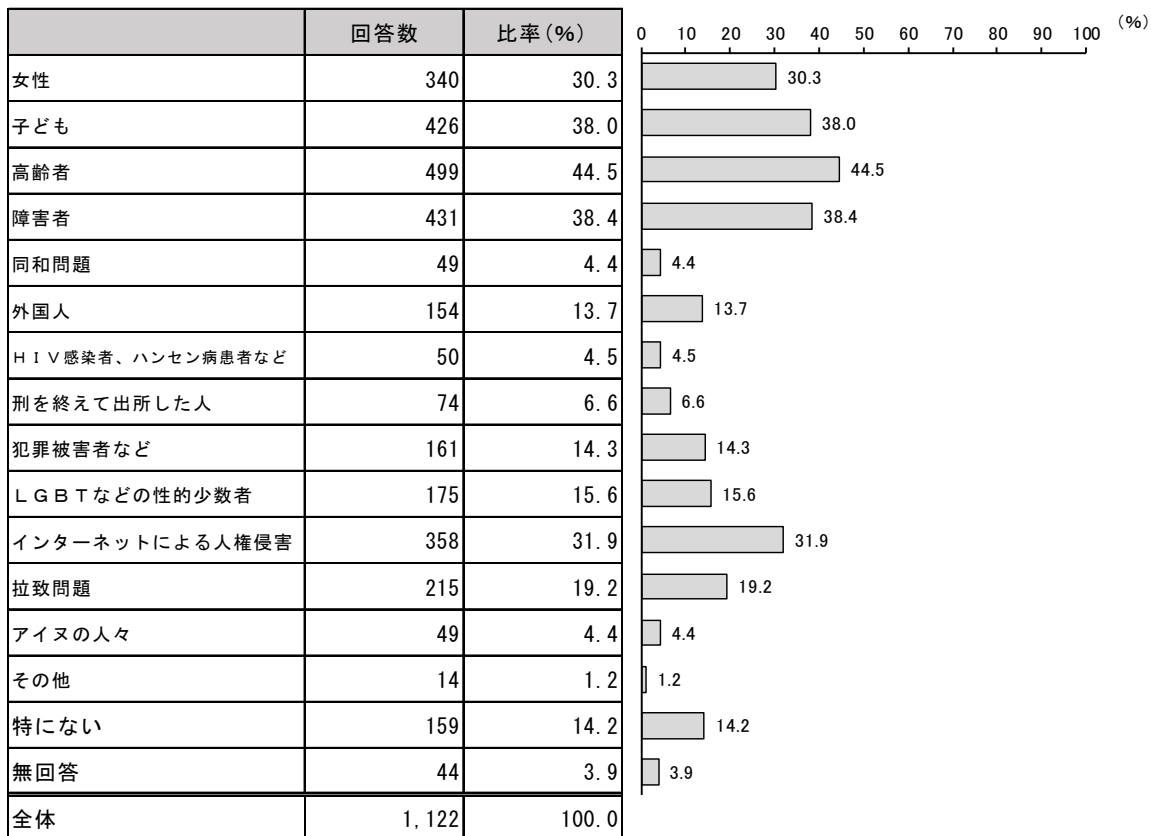


問20-1. 活動しているのはどの分野ですか。(複数回答)



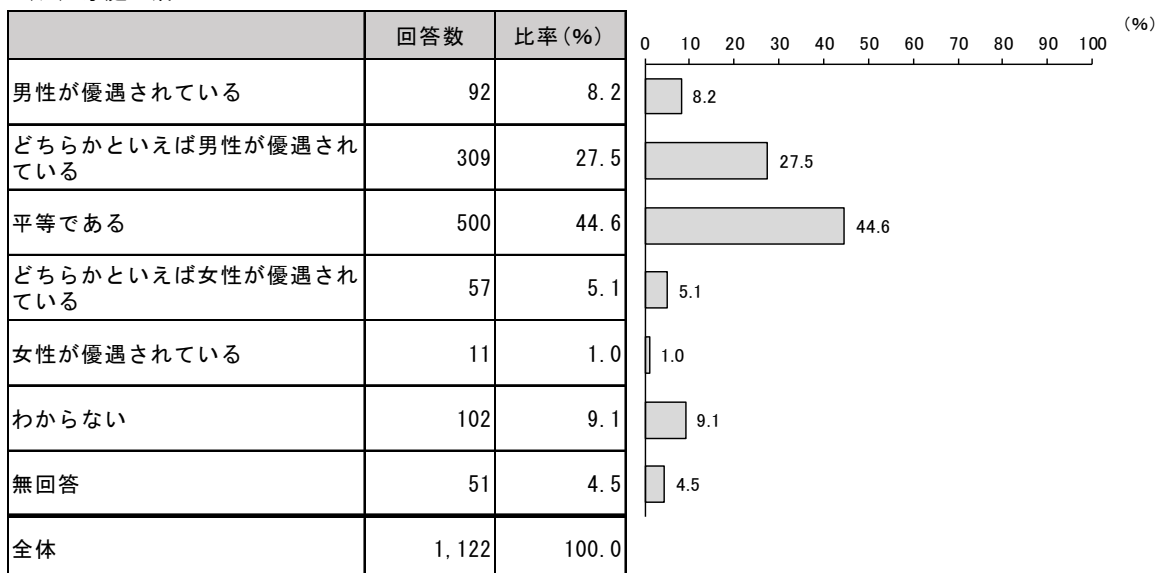
〈人権意識について〉

問21. 現在、社会にはいろいろな人権問題がありますが、あなたに関心のあるものはどれですか。(複数回答)

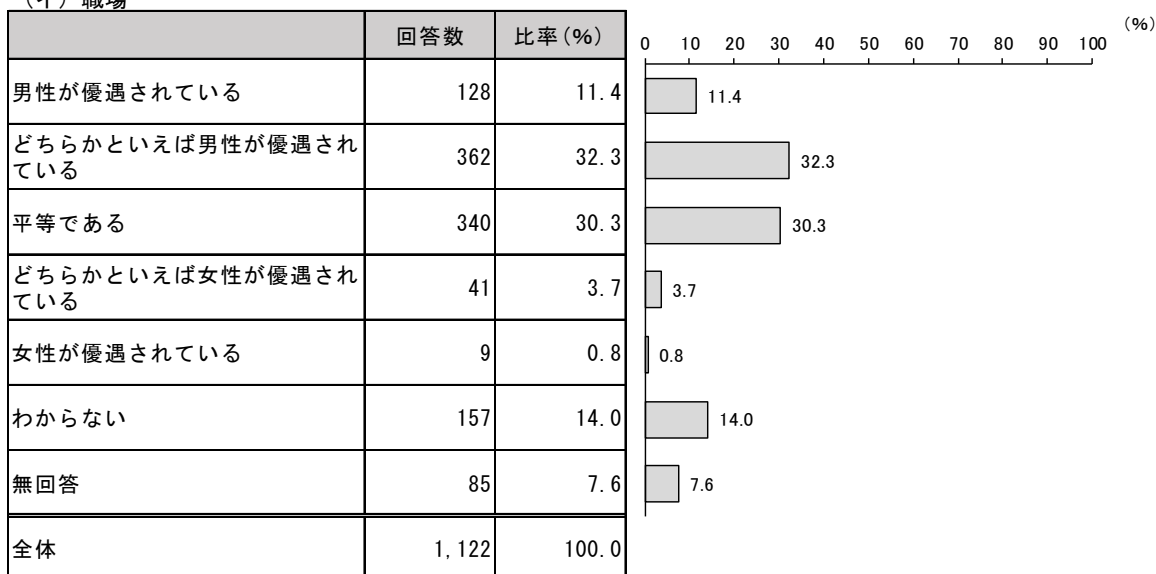


問22. あなたのまわりでは、次の場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。（単数回答）

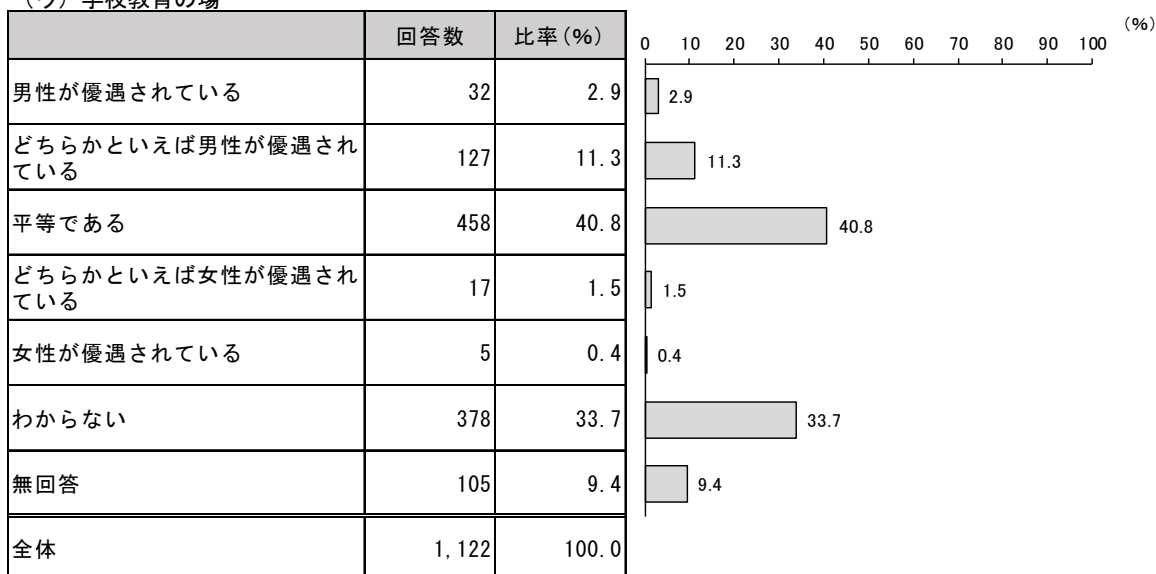
(ア) 家庭生活



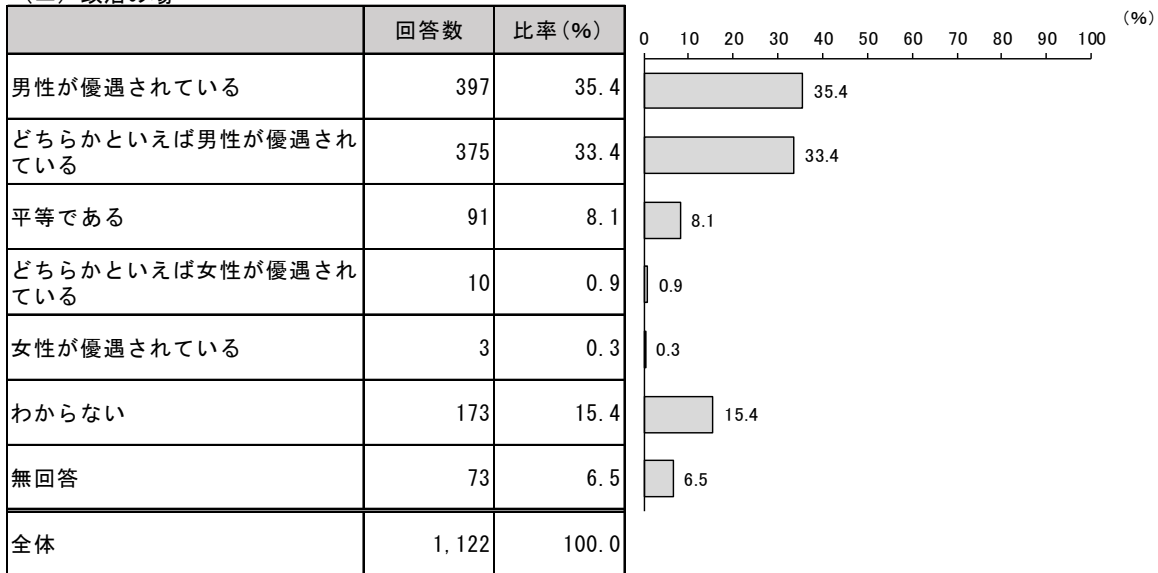
(イ) 職場



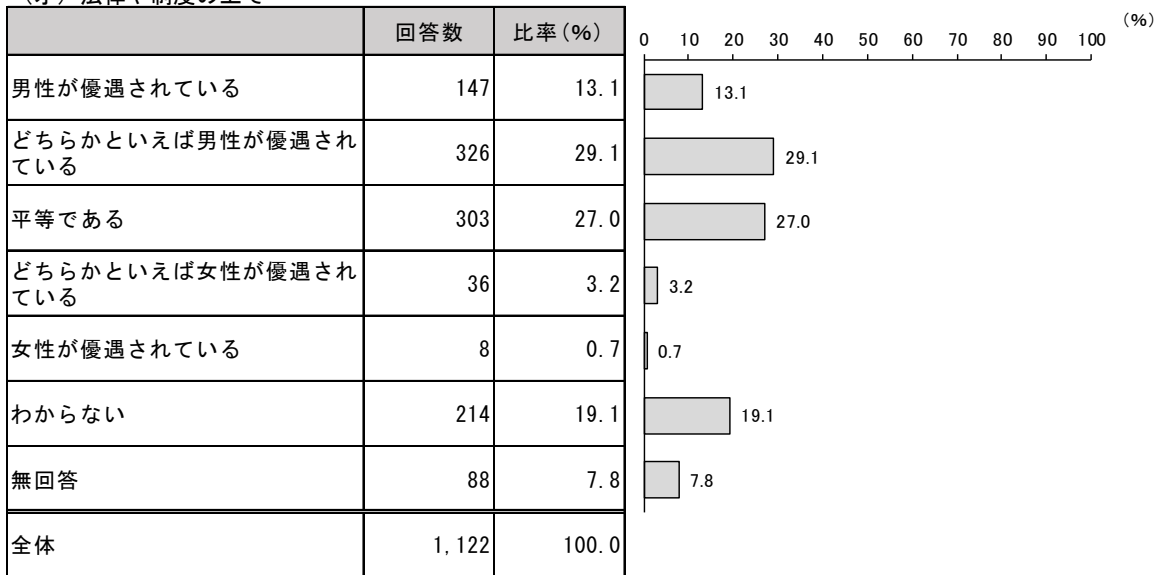
(ウ) 学校教育の場



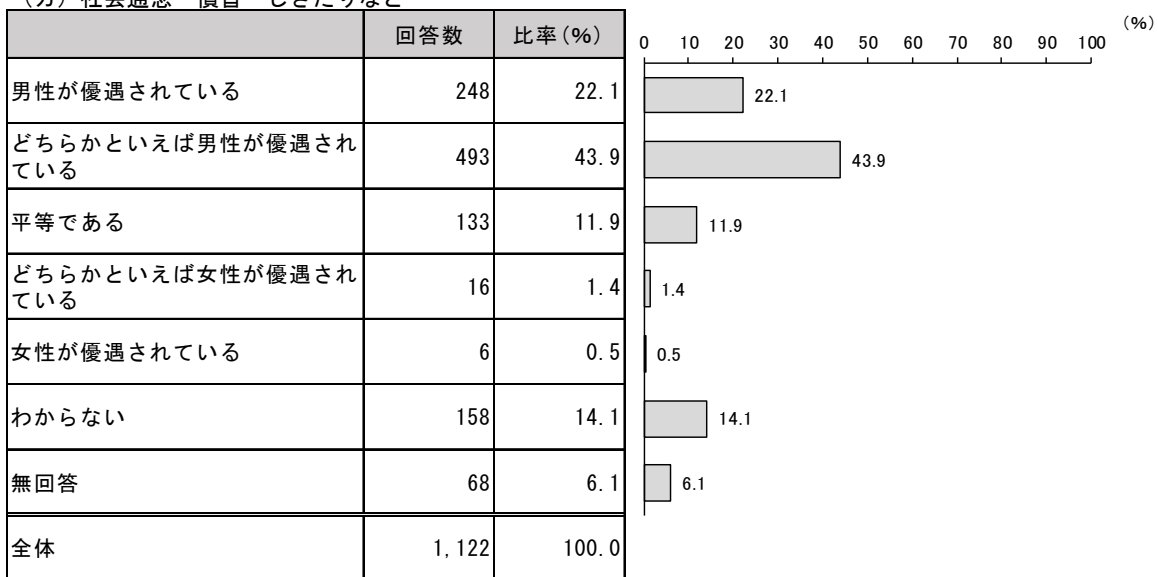
(エ) 政治の場



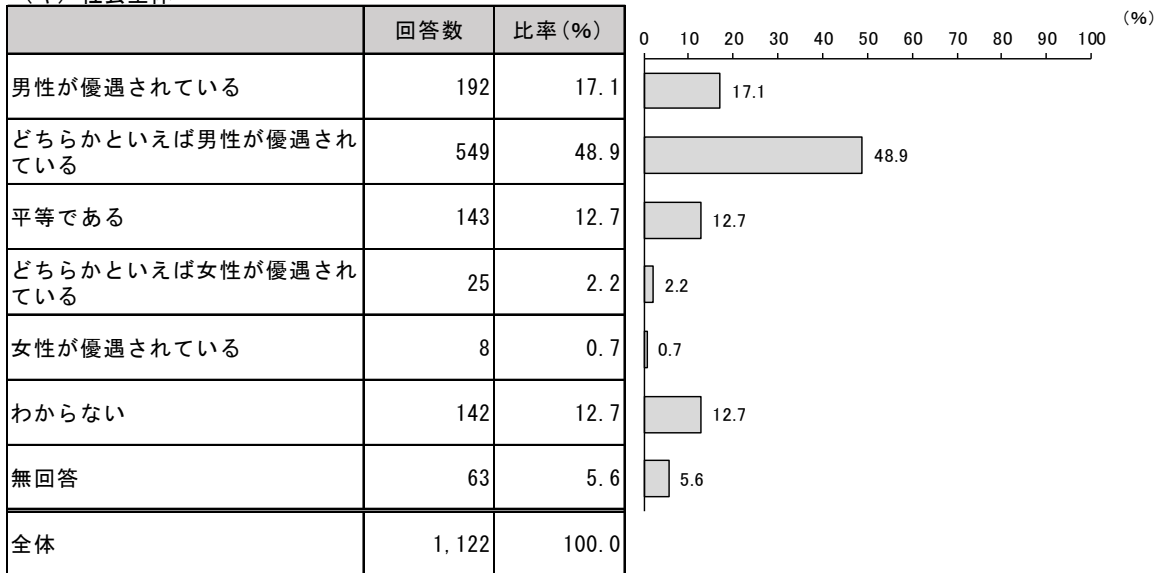
(オ) 法律や制度の上で



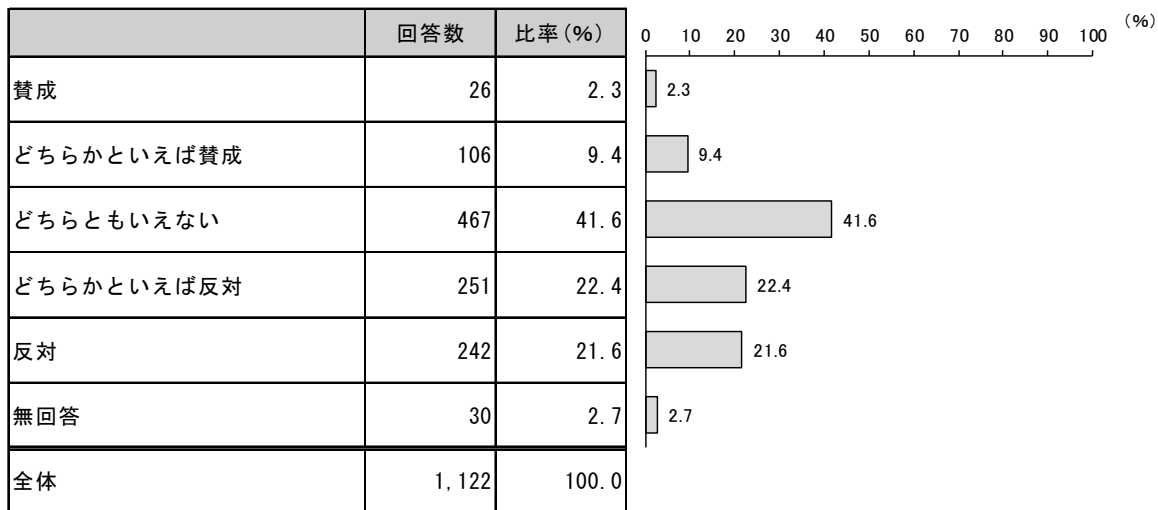
(カ) 社会通念・慣習・しきたりなど



(キ) 社会全体

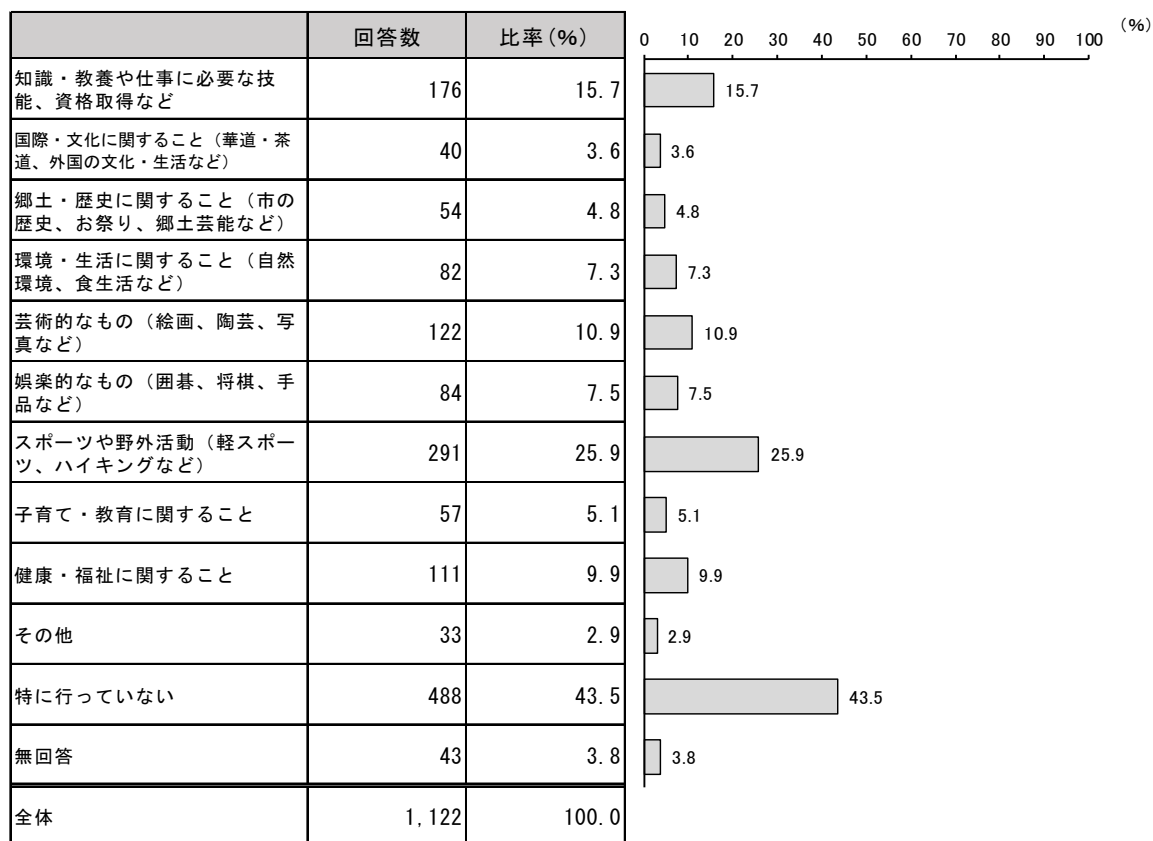


問23. あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。(単数回答)

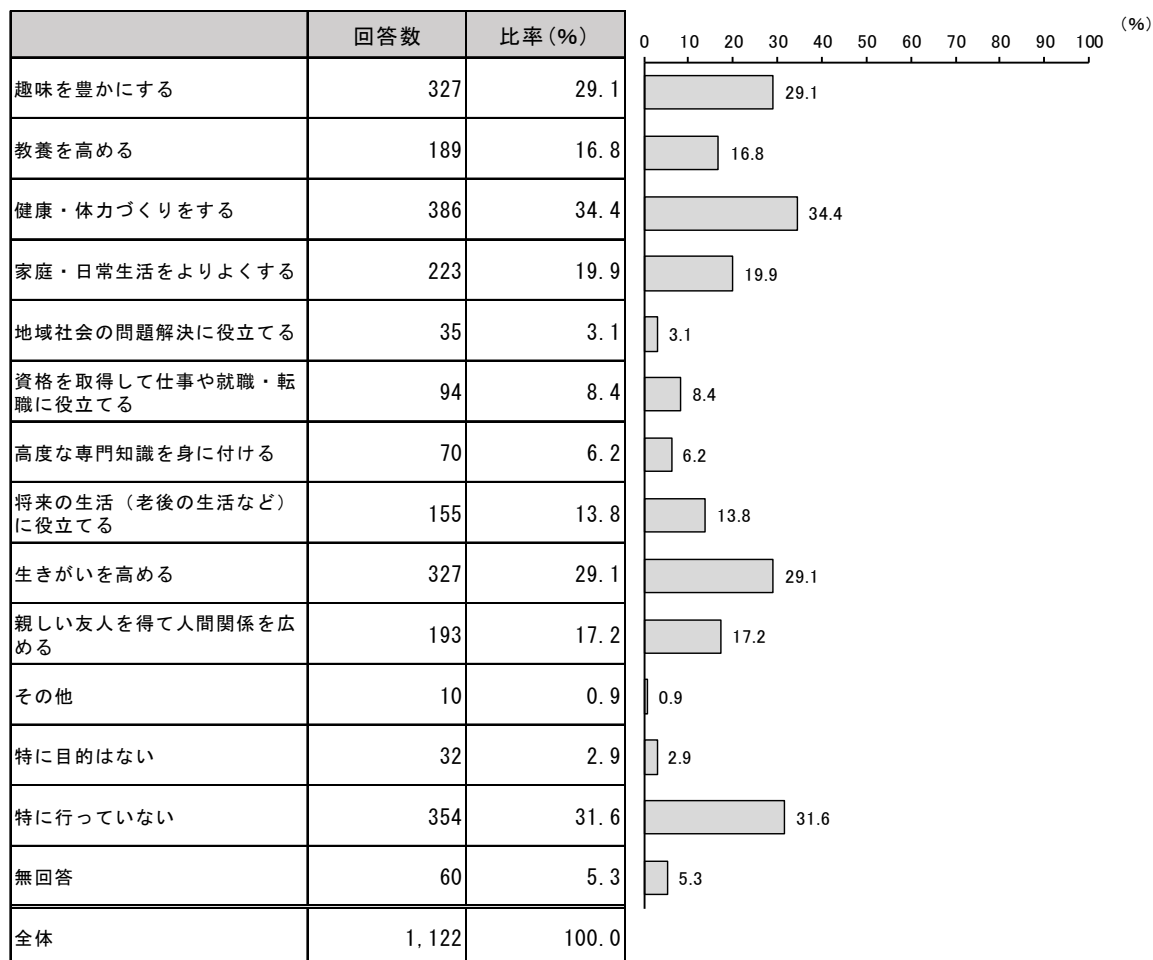


〈生涯学習・生涯スポーツについて〉

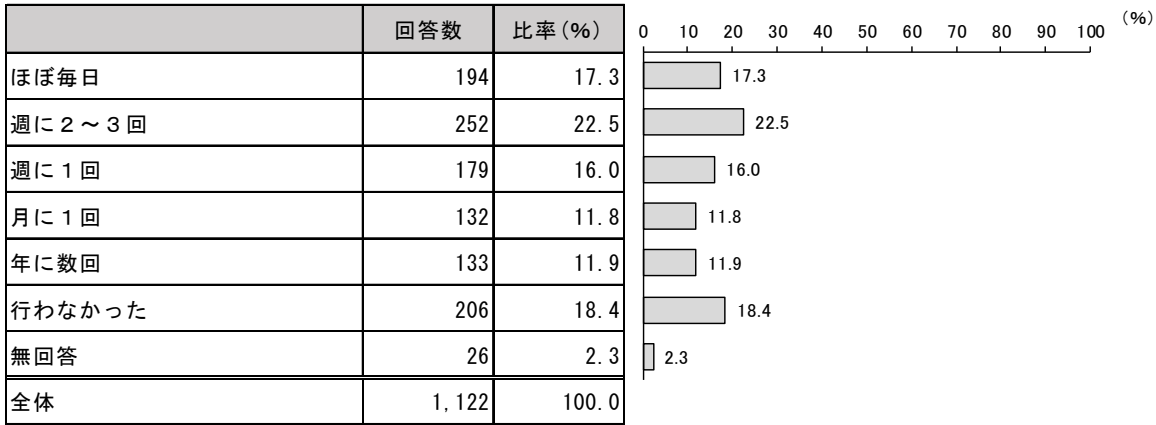
問24. あなたは現在、学習や趣味などの活動を行っていますか。（複数回答）



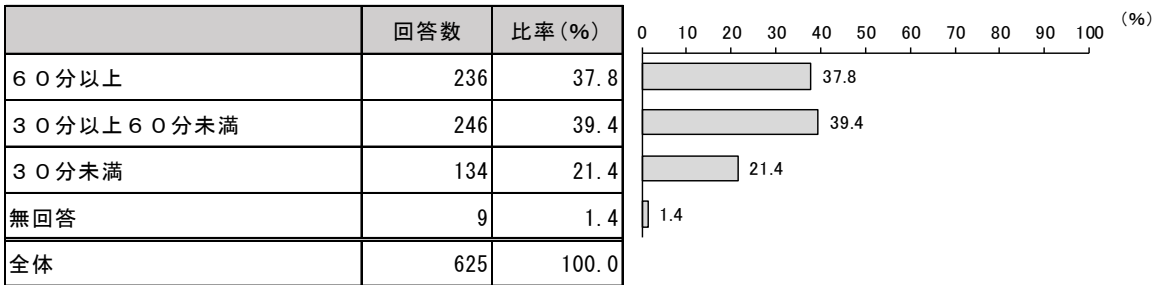
問25. あなたは、生涯学習としての趣味や習い事の活動について、どのような目的で行っていますか。（複数回答）



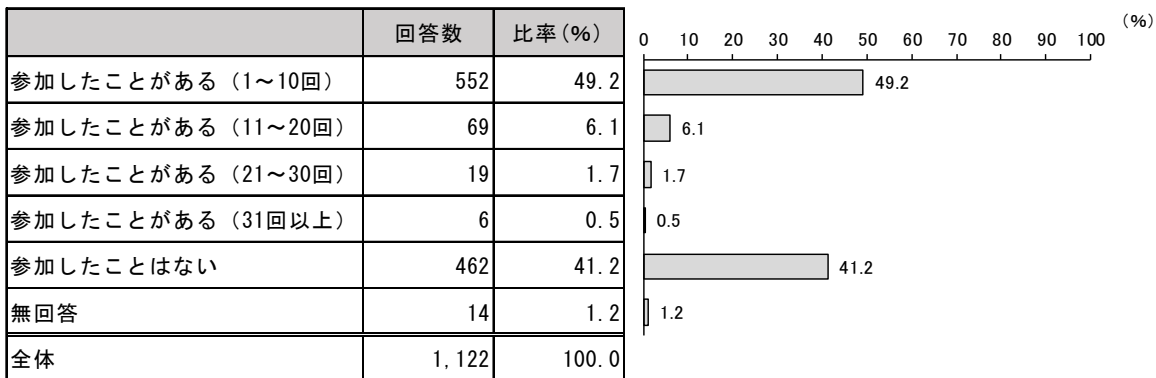
問26. あなたは、過去1年間に運動（スポーツ、ウォーキング、散歩、体操など）を平均してどのくらい行いましたか。（単数回答）



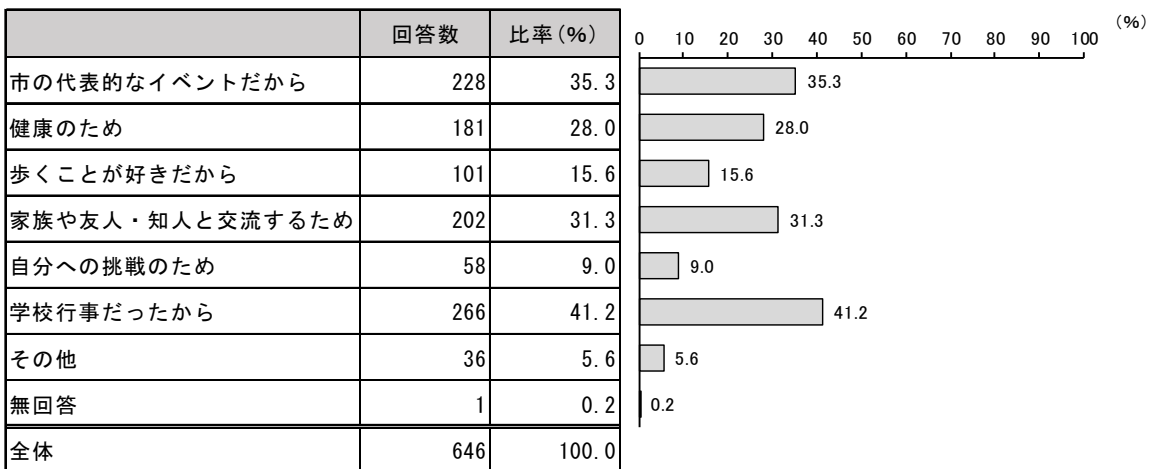
問26-1. 1回にどのくらいの時間行いましたか。（単数回答）



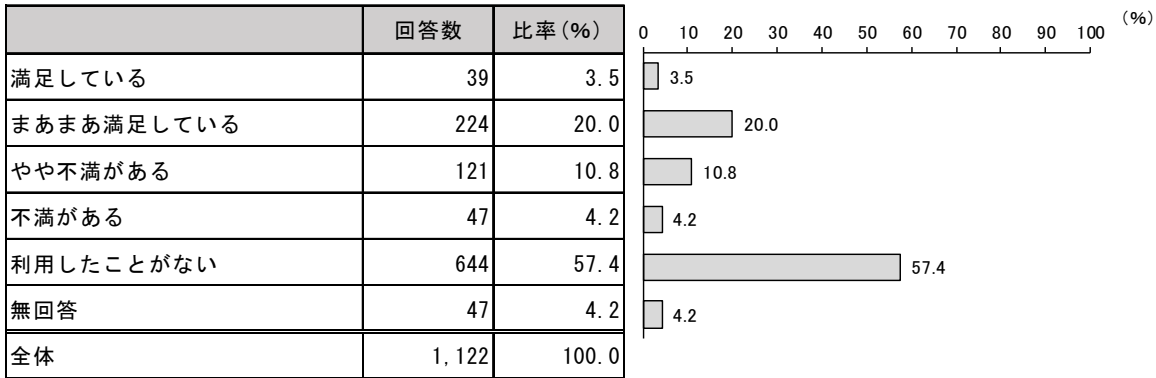
問27. あなたは、日本スリーデーマーチに参加したことがありますか。（単数回答）



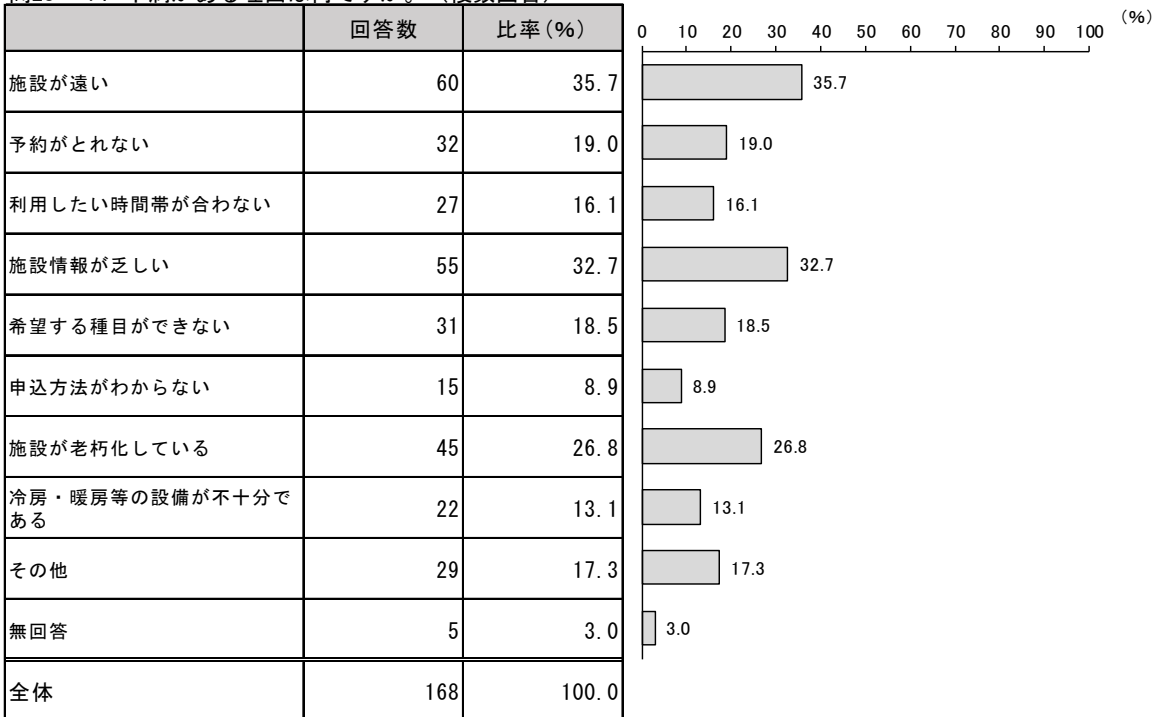
問27-1. 日本スリーデーマーチに参加した理由は何ですか。（複数回答）



問28. 公共スポーツ施設についておたずねします。公共スポーツ施設を利用してどのように感じていますか。
(単数回答)



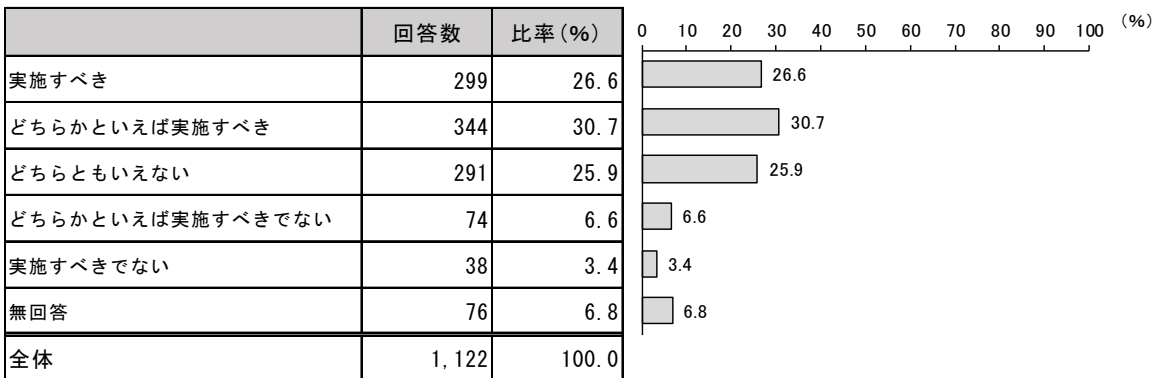
問28-1. 不満がある理由は何ですか。(複数回答)



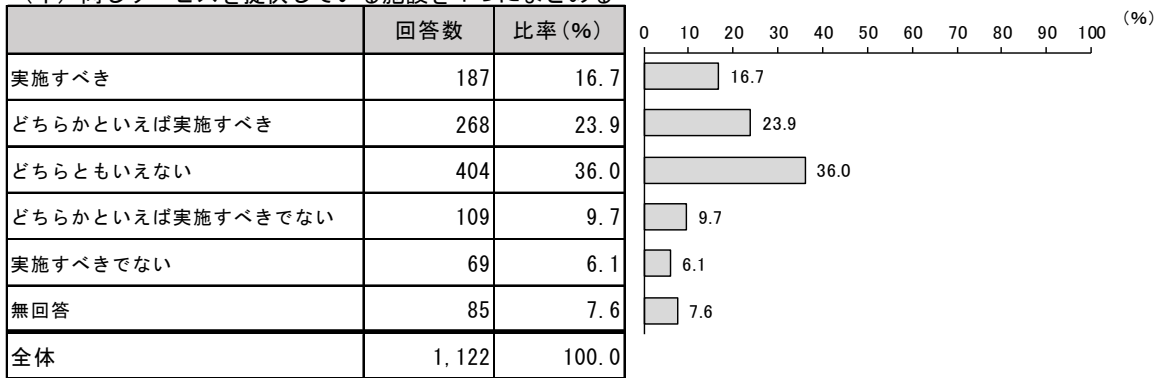
〈公共施設について〉

問29. 公共施設(市の建物)に対する考え方についておたずねします。人口減少などによる利用状況の変化や、厳しい財政状況の中で公共施設を維持するためにはどうすべきだと思いますか。(単数回答)

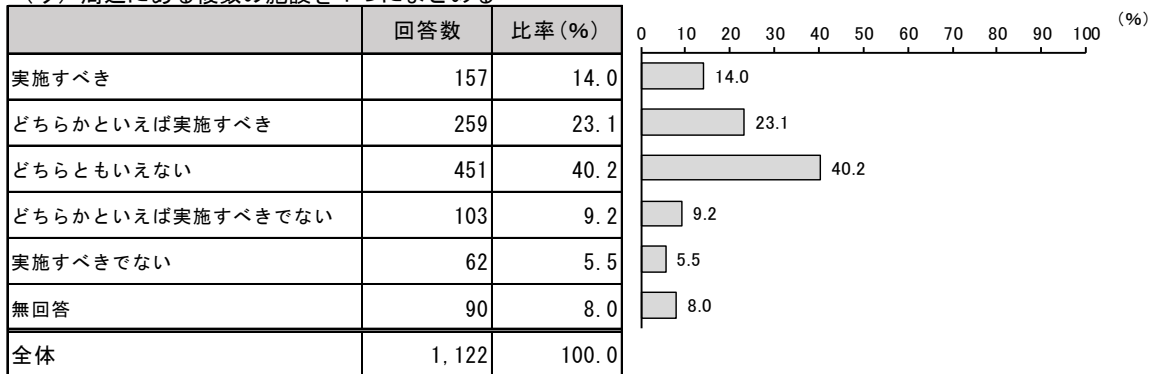
(ア) あまり利用されていない施設を1つにまとめたり、なくしたりする



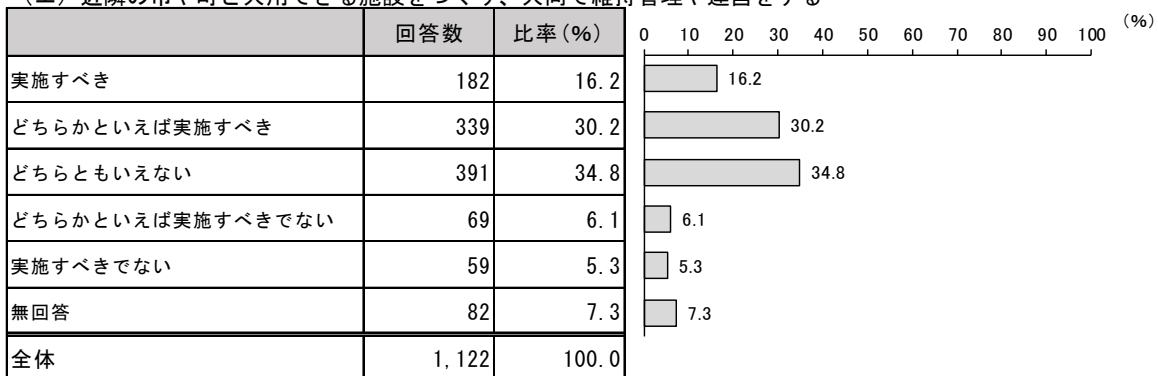
(イ) 同じサービスを提供している施設を1つにまとめる



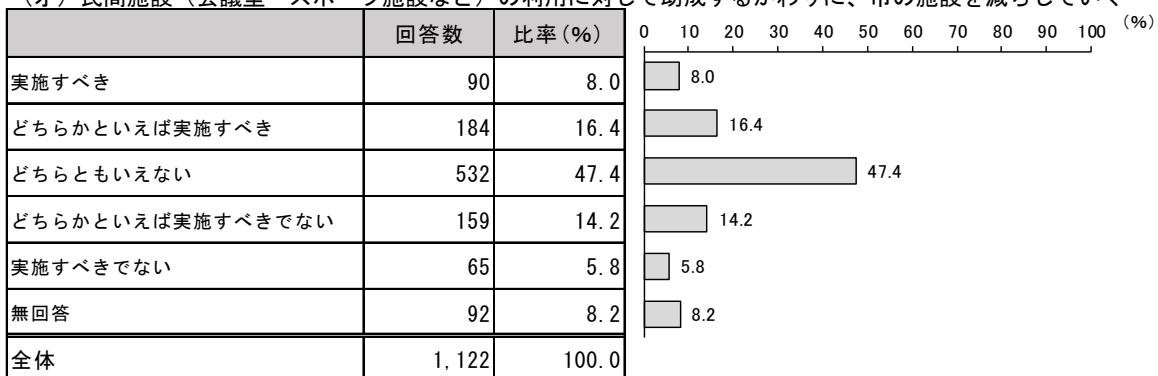
(ウ) 周辺にある複数の施設を1つにまとめる



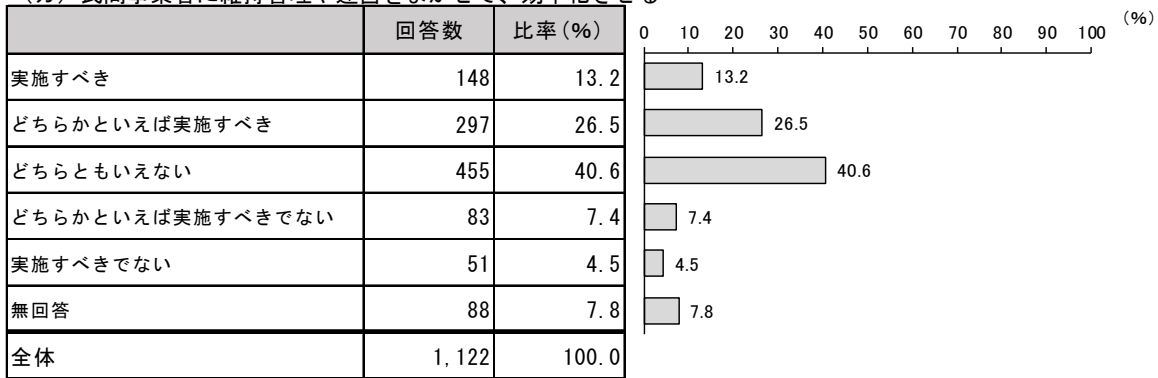
(エ) 近隣の市や町と共用できる施設をつくり、共同で維持管理や運営をする



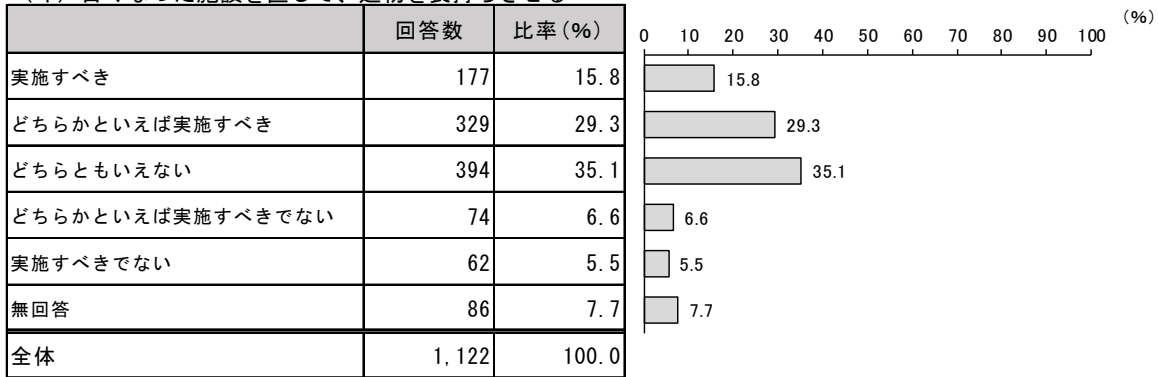
(オ) 民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対して助成するかわりに、市の施設を減らしていく



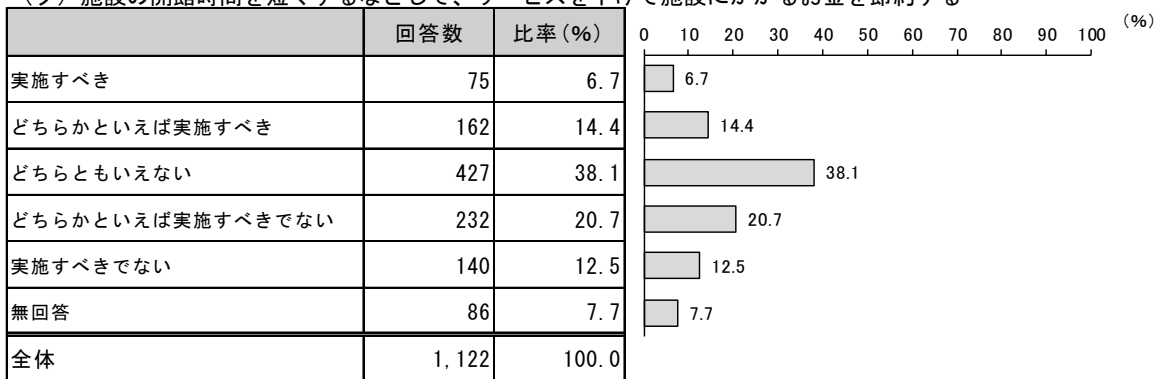
(カ) 民間事業者に維持管理や運営をまかせて、効率化させる



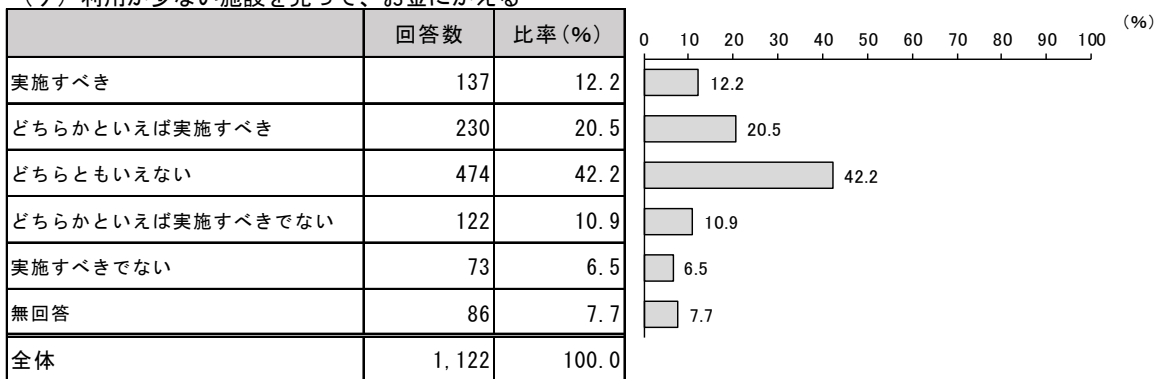
(キ) 古くなった施設を直して、建物を長持ちさせる



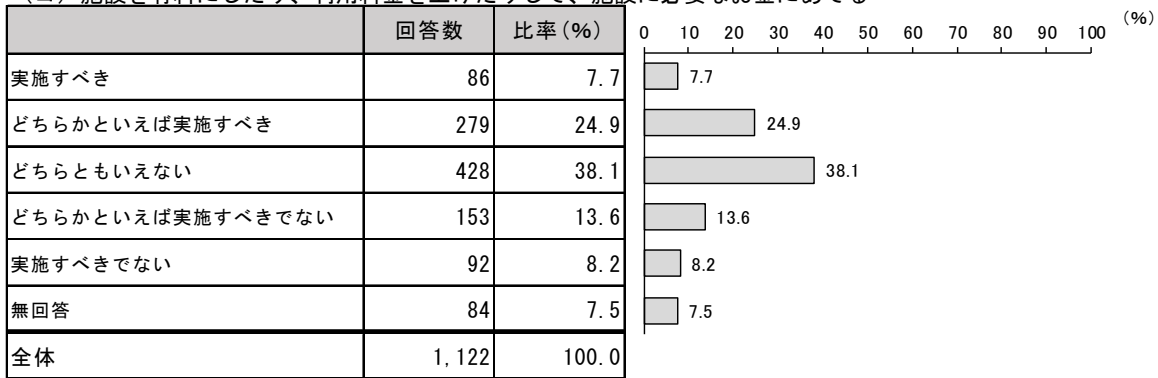
(ク) 施設の開館時間を短くするなどして、サービスを下げて施設にかかるお金を節約する



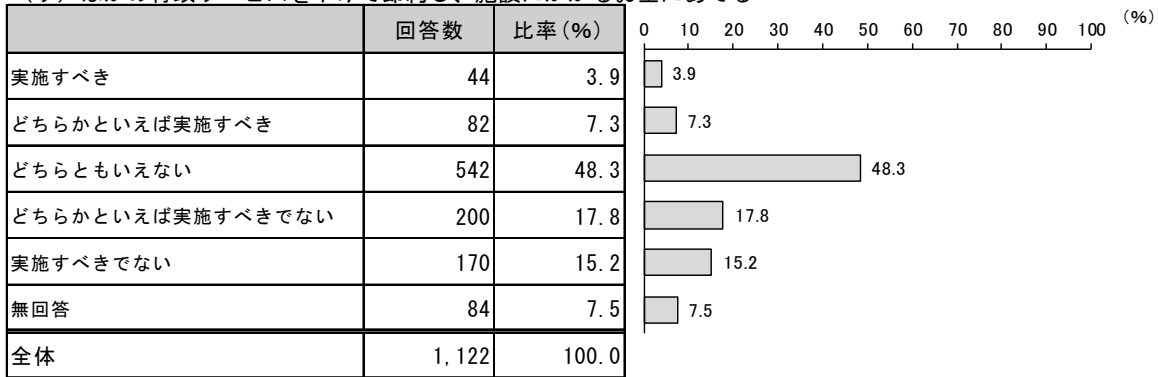
(ケ) 利用が少ない施設を売って、お金にかえる



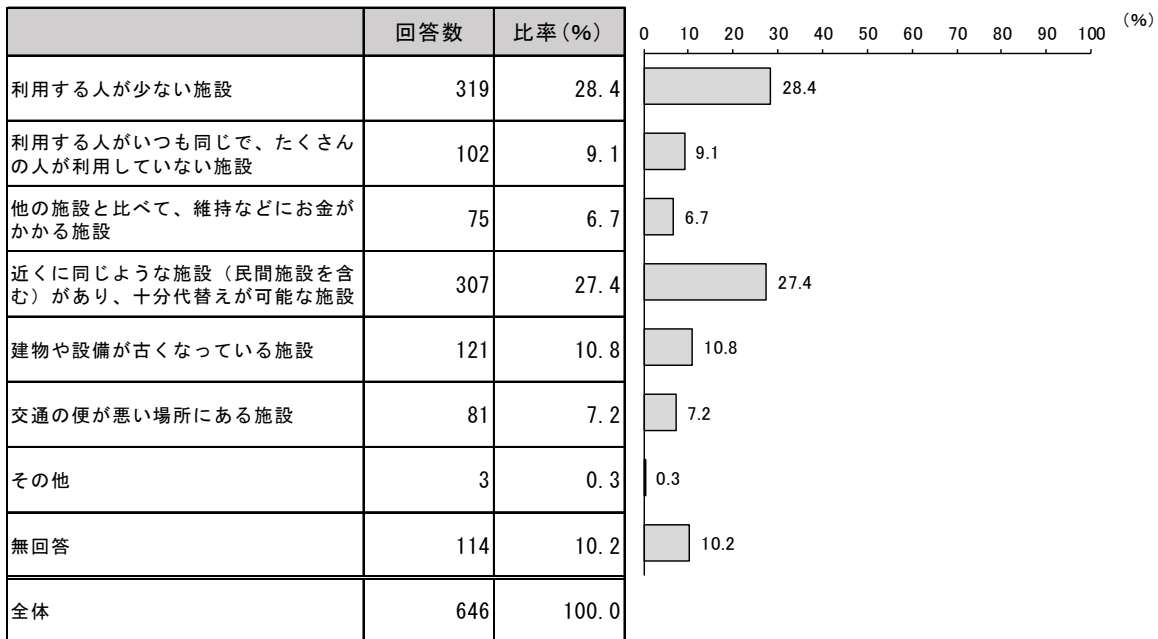
(コ) 施設を有料にしたり、利用料金を上げたりして、施設に必要なお金にあてる



(サ) ほかの行政サービスを下げて節約し、施設にかかるお金にあてる

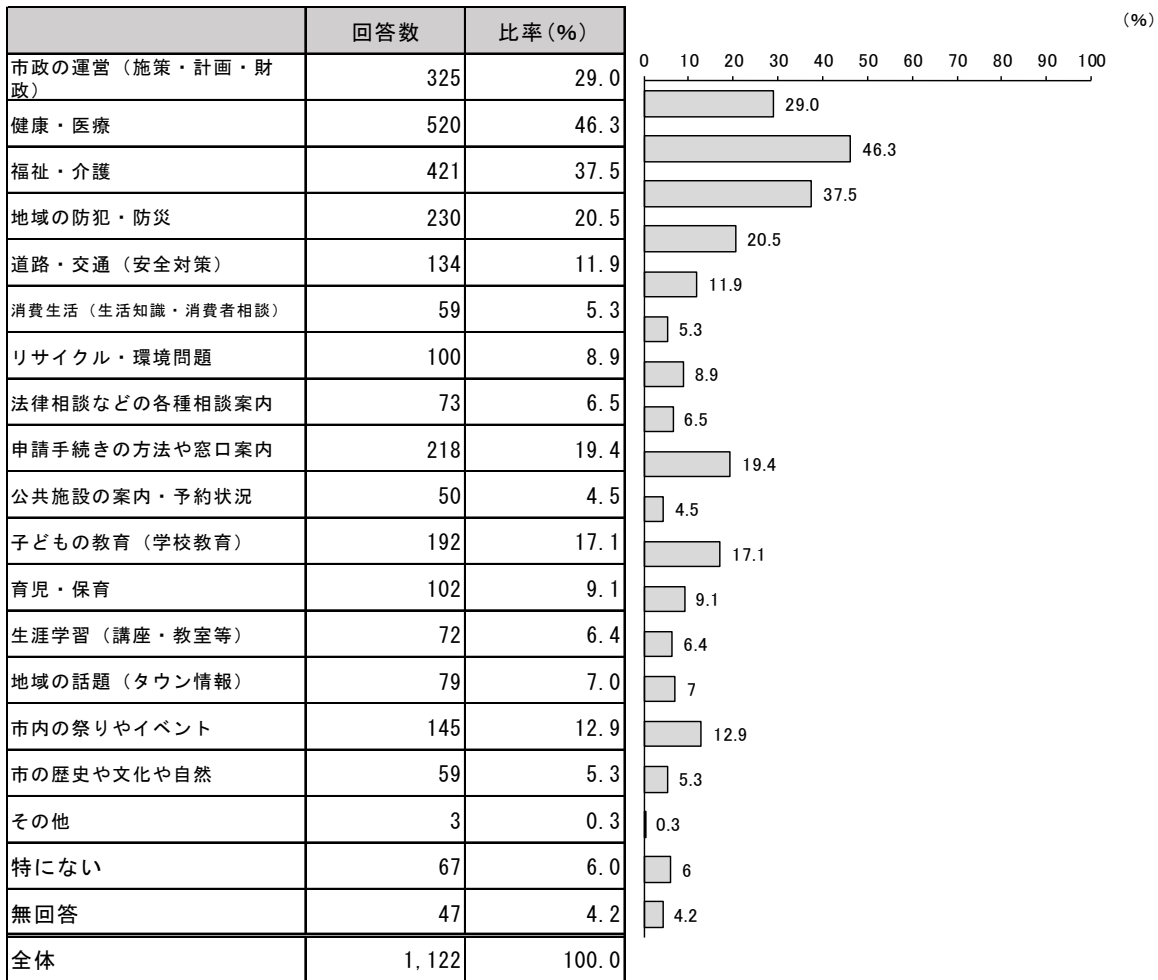


問30. 今後、公共施設（市の施設）を減らさなければならなくなった場合に、どのような施設から減らしていくべきだと思いますか。（単数回答）

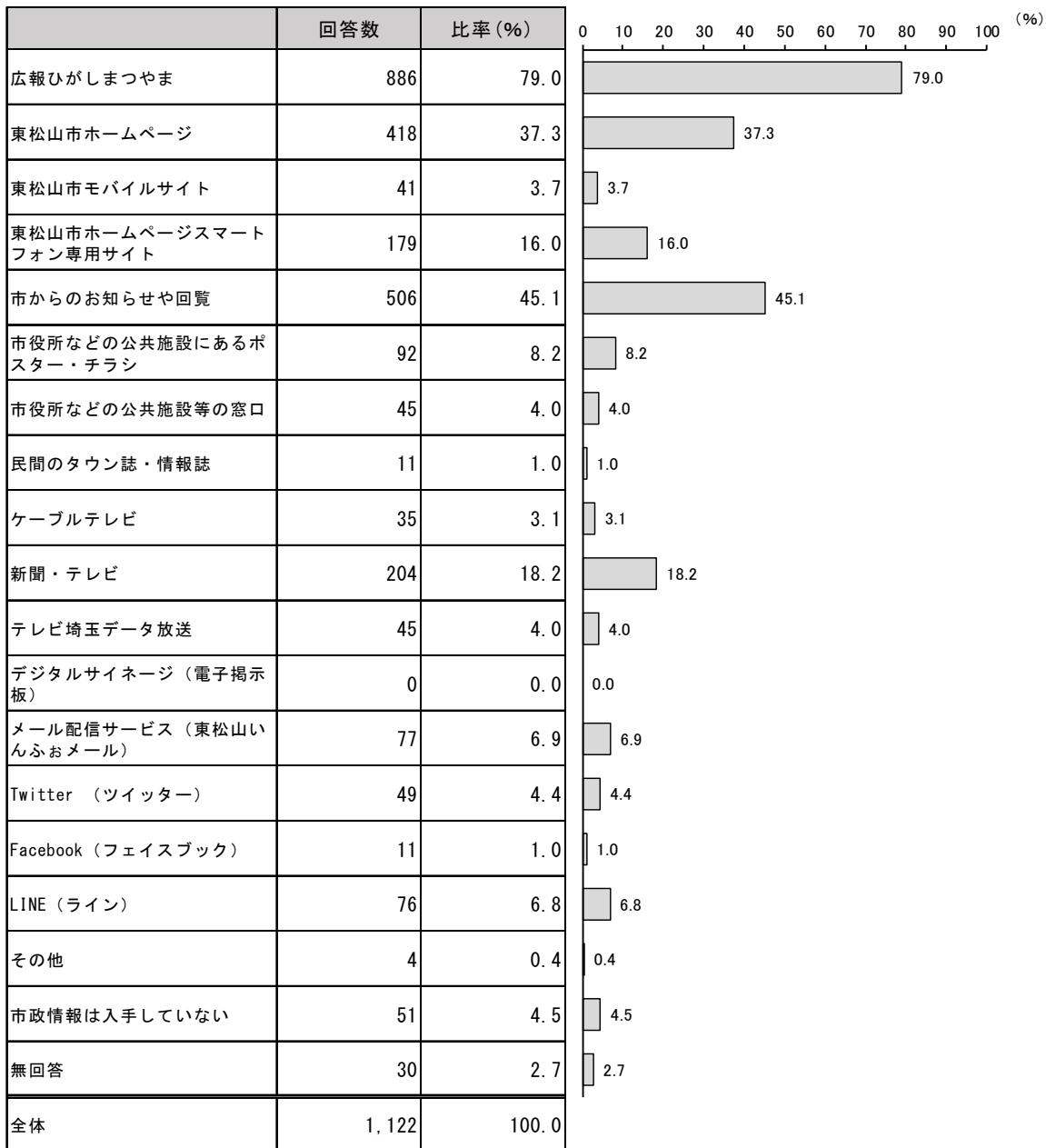


〈市政情報について〉

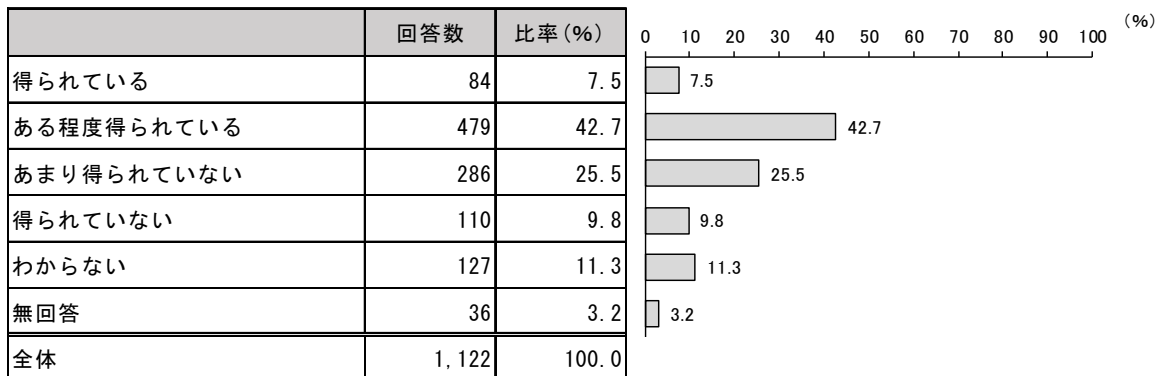
問31. あなたが知りたいと思う市政にかかわる情報はどのようなものですか。（複数回答）



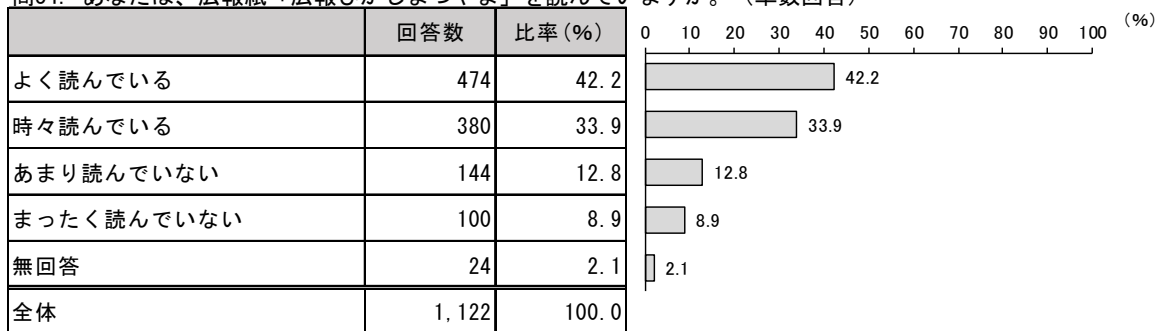
問32. あなたは、市政情報をどのような方法で入手していますか。（複数回答）



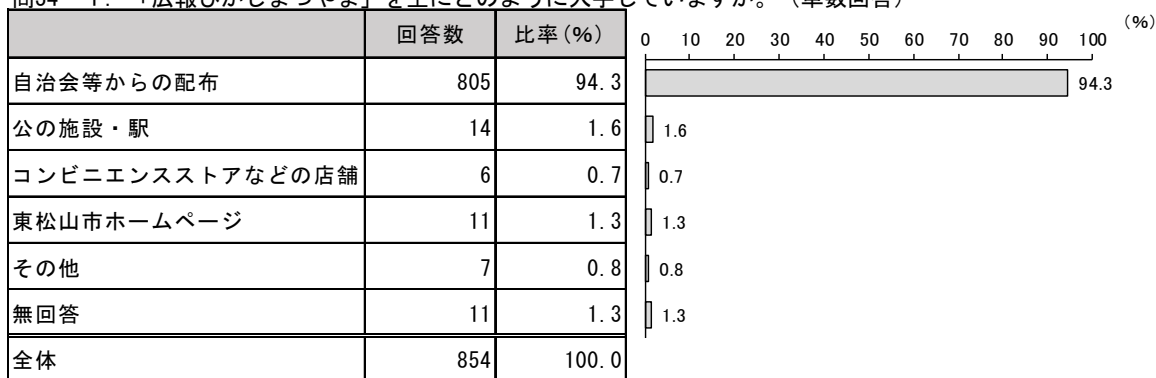
問33. あなたは現在、東松山市の市政の情報を得られていると思いますか。（単数回答）



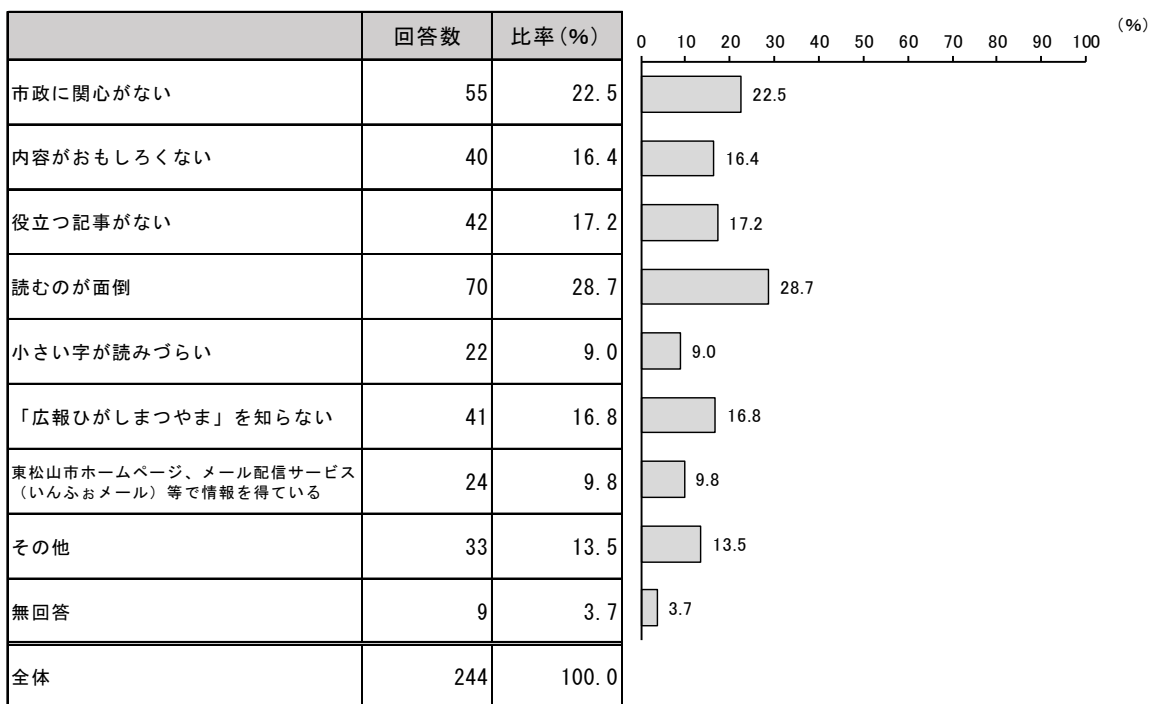
問34. あなたは、広報紙「広報ひがしまつやま」を読んでいますか。(単数回答)



問34-1. 「広報ひがしまつやま」を主にどのように入手していますか。(単数回答)



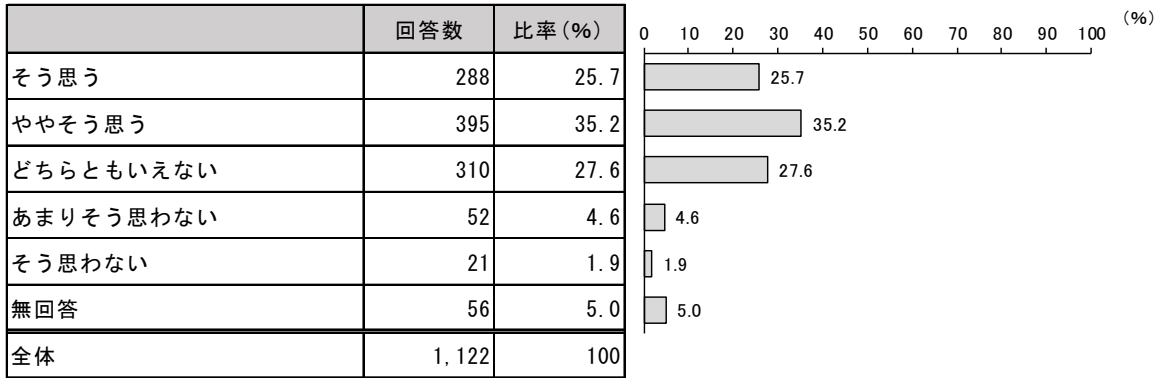
問34-2. 「広報ひがしまつやま」を読まないのはどのような理由からですか。(複数回答)



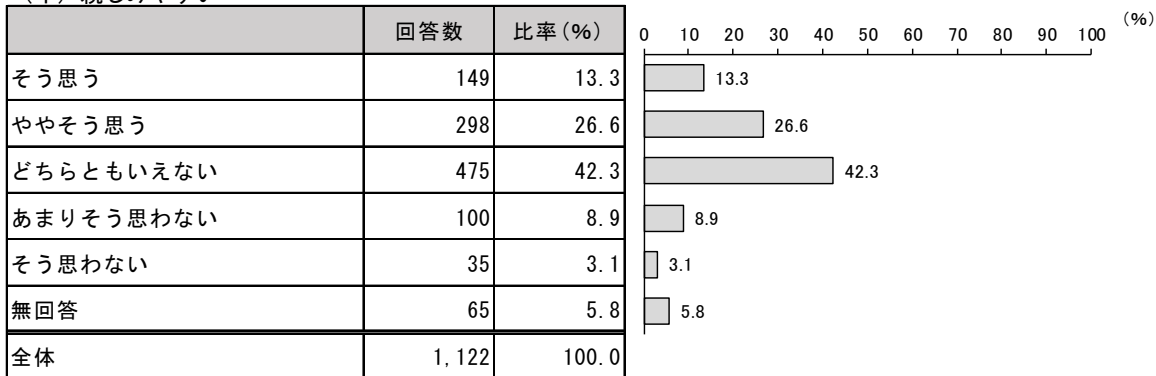
〈行政運営について〉

問35. あなたは、市の職員についてどのように感じていますか。（単数回答）

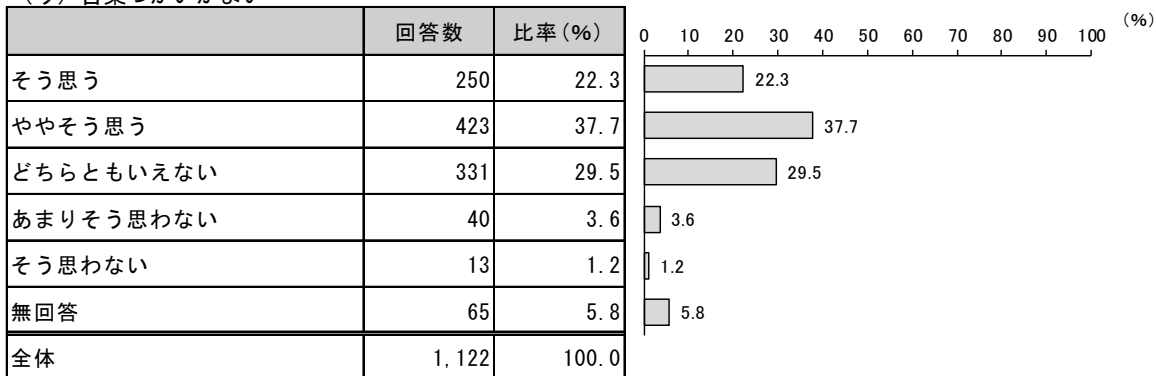
（ア）礼儀正しい



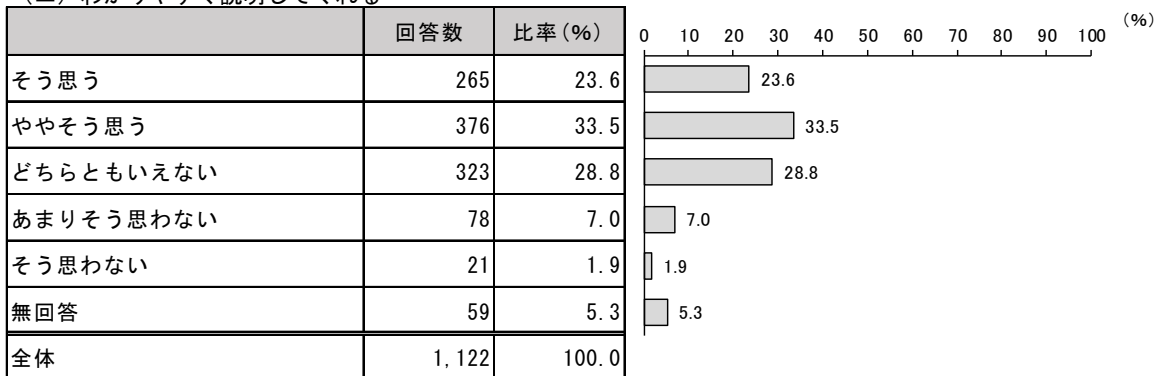
（イ）親しみやすい



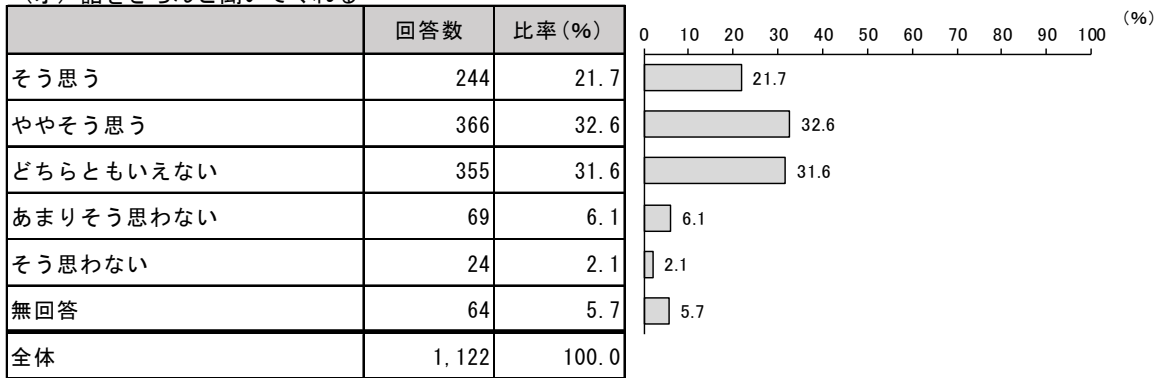
（ウ）言葉づかいがよい



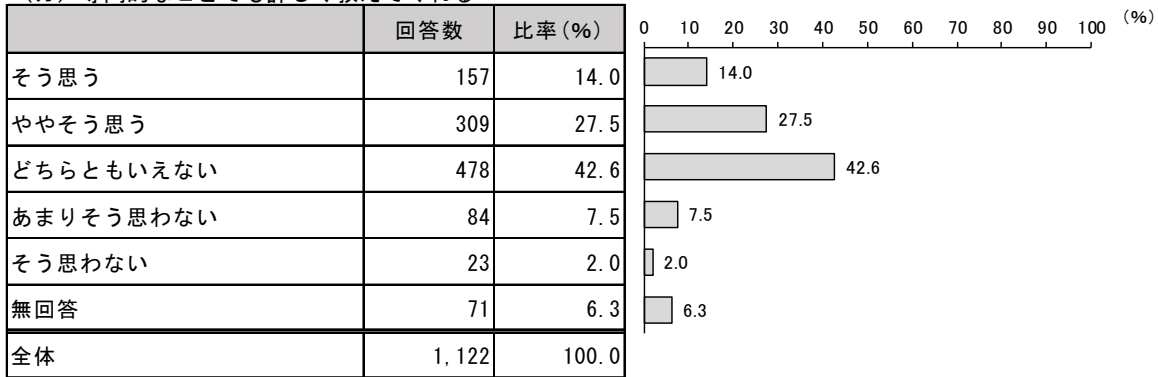
（エ）わかりやすく説明してくれる



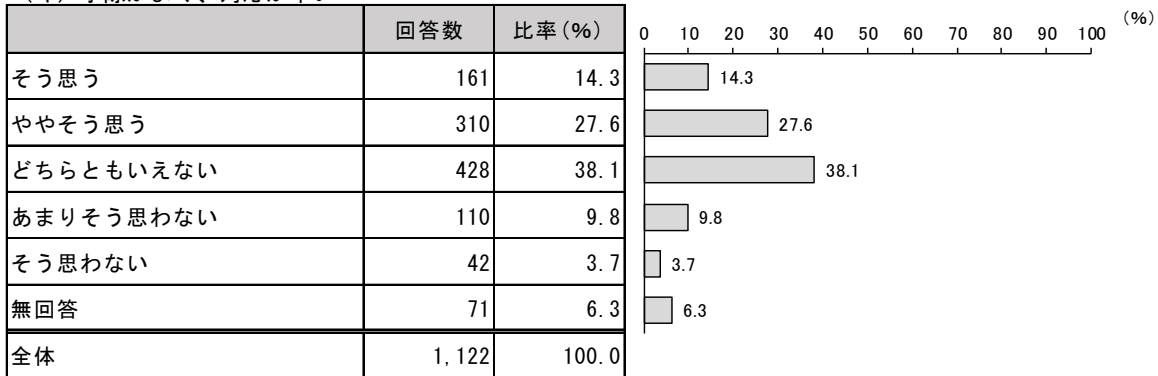
(オ) 話をきちんと聞いてくれる



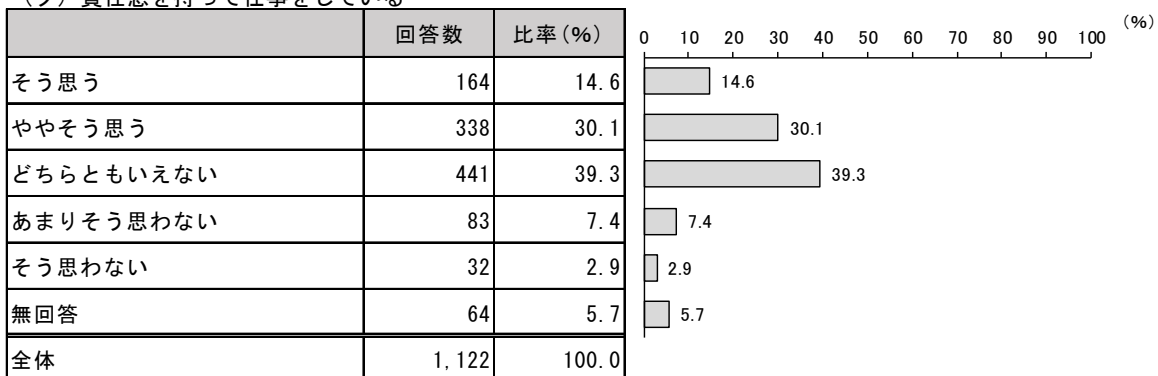
(カ) 専門的なことでも詳しく教えてくれる



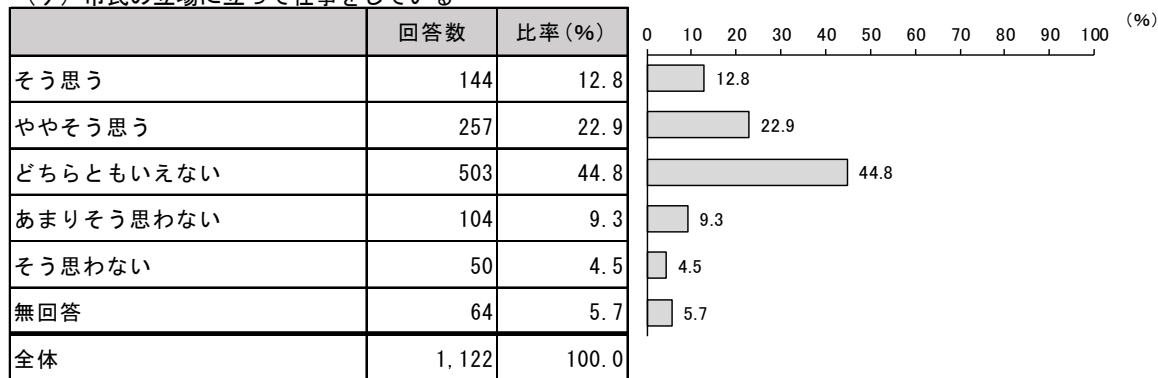
(キ) 手際がよく、対応が早い



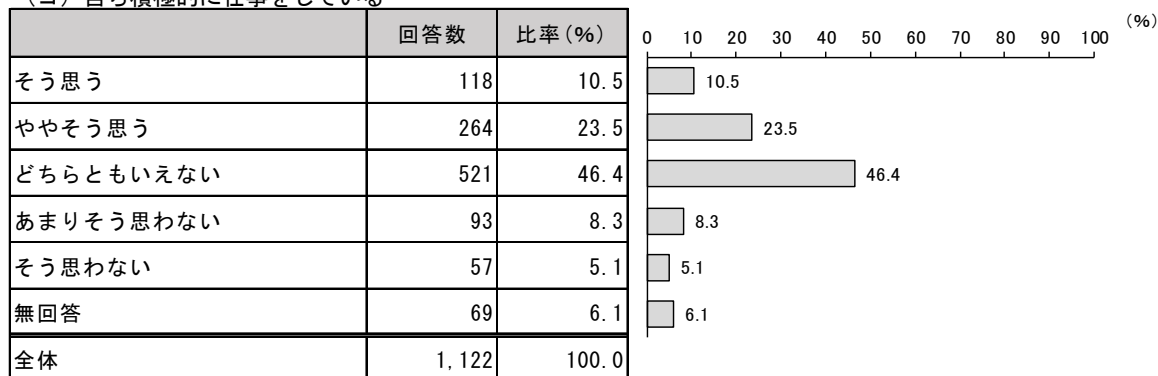
(ク) 責任感を持って仕事をしている



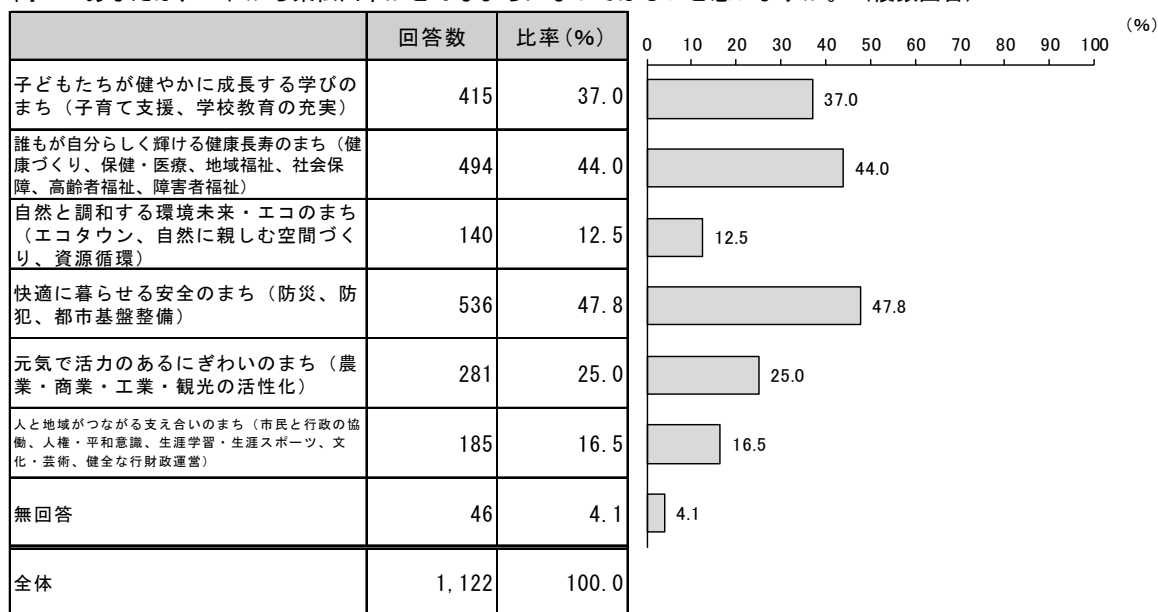
(ケ) 市民の立場に立って仕事をしている



(コ) 自ら積極的に仕事をしている

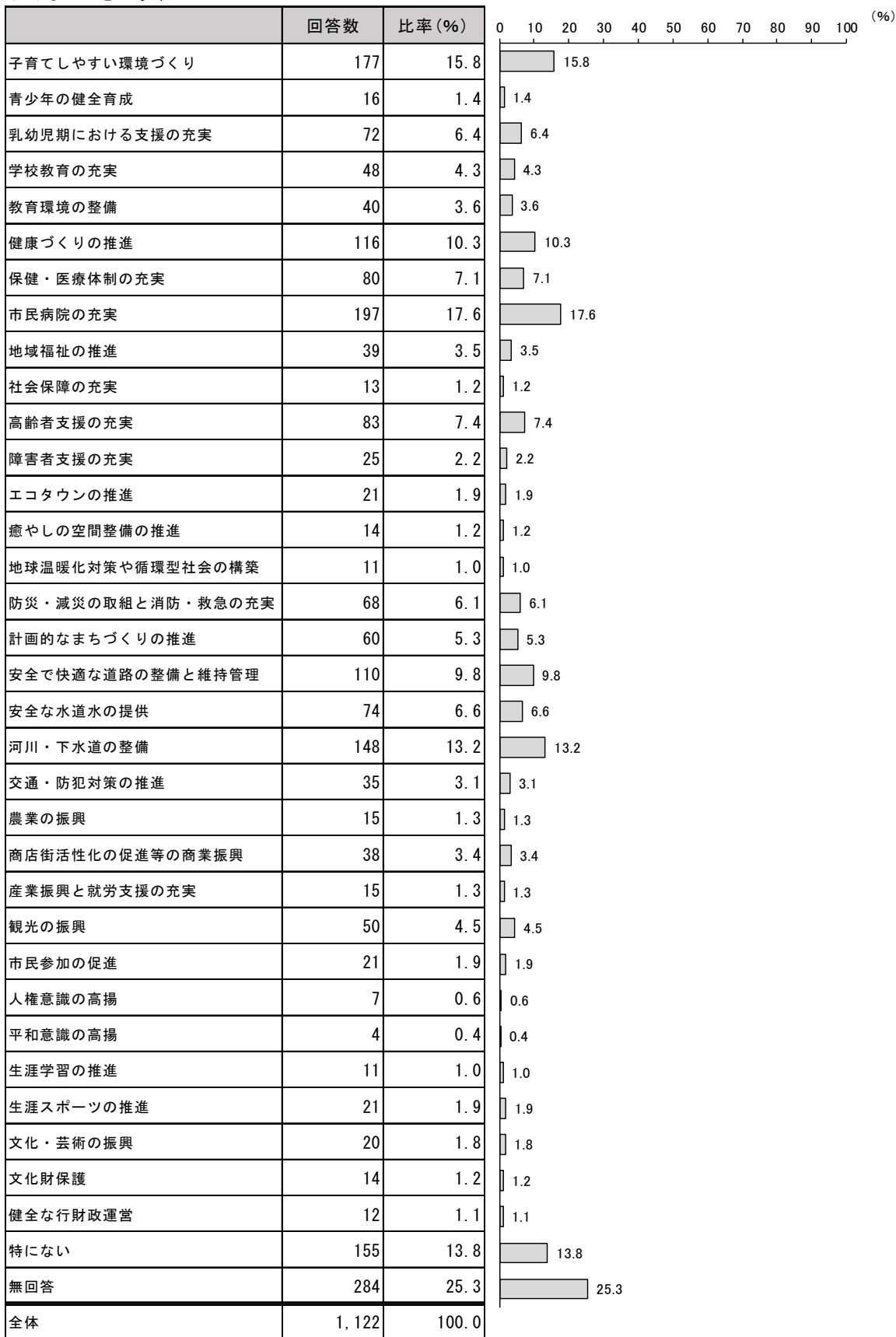


問36. あなたは、これから東松山市がどんなまちになってほしいと思いますか。(複数回答)

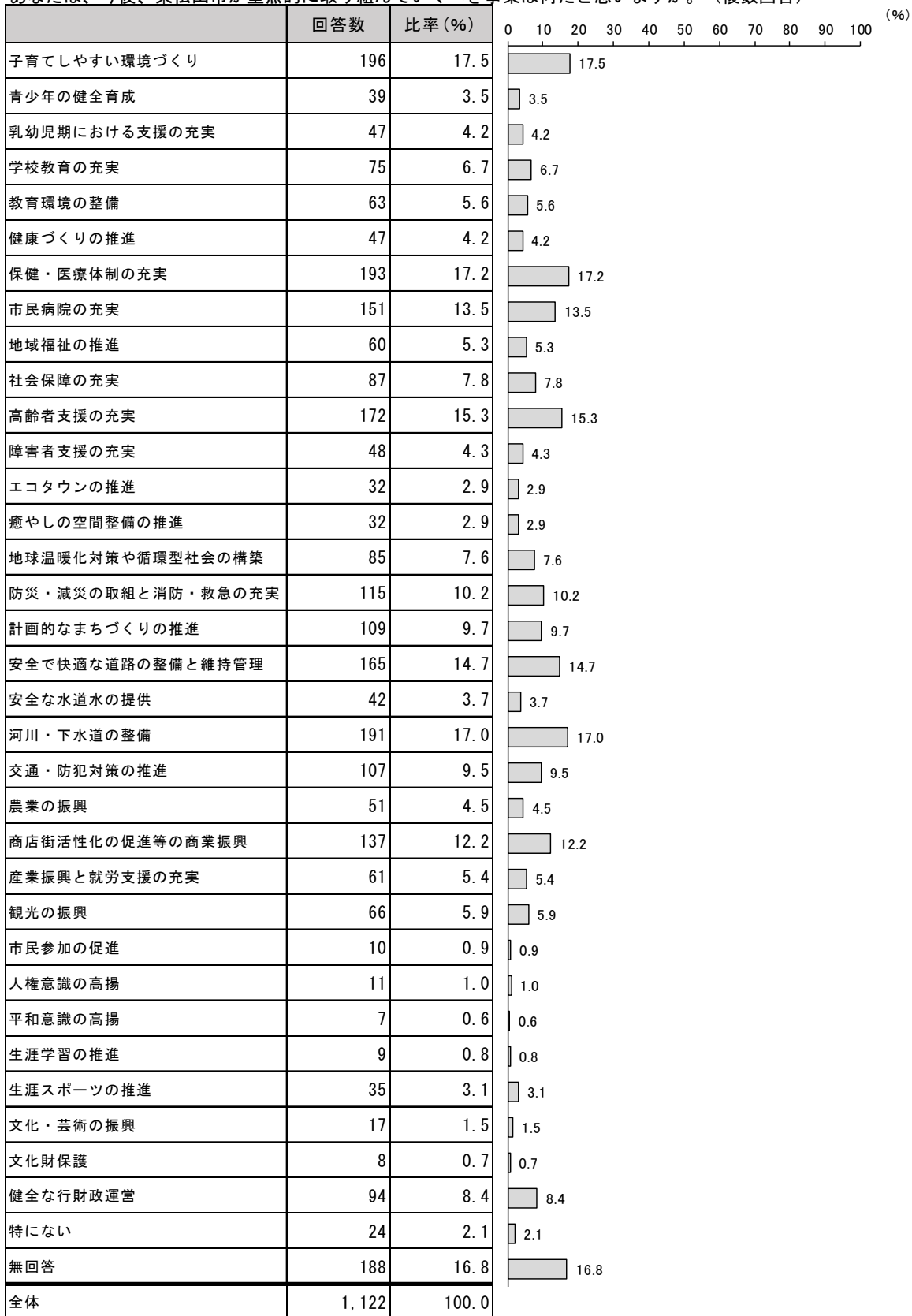


問37. あなたは、東松山市でよくなってきた事業は何だと思えますか。（複数回答）

よくなってきた事業



あなたは、今後、東松山市が重点的に取り組んでいくべき事業は何だと思えますか。（複数回答）



東松山市市民意識調査

《調査ご協力をお願い》

市民のみなさまには、日頃より市政に対してご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、東松山市では、市の施策や事業の基本的な方針を定める第五次東松山市総合計画を策定し、この計画に基づく施策を推進しております。今回お願いいたします「東松山市市民意識調査」は、市民のみなさまから市政に対するご意見を幅広くお伺いし、これからの「まちづくり」の基礎資料とするために実施するものです。

調査の実施にあたり、市内にお住まいの満18歳以上の方2,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただいた結果、あなた様に調査をお願いすることとなりました。調査結果は、全てコンピューターにより統計的に処理しますので、調査票にお名前を書く必要はなく、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることはありません。

ご多忙の折恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年10月 東松山市長 森田 光一

記入についてのお願い

- 1 あて名のご本人がお答えください。お名前は記入しないでください。
- 2 黒のボールペン又は鉛筆でご記入ください。
- 3 回答は、設問ごとに「1つ選び」、「2つまで選び」などと指定されていますので、あてはまる番号を○で囲んでください（問37は番号をご記入ください）。
- 4 「その他」を選択した場合と、問38、問39の回答は、具体的にご記入ください。

ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて

11月15日(火)までに ご投函ください。

この調査票についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

東松山市松葉町一丁目1番58号 東松山市役所 政策財政部 広報広聴課

電話 0493-23-2221(内線230)

FAX 0493-22-7799

Eメール HMY003@city.higashimatsuyama.lg.jp

あなたご自身のことについておたずねします

F1. あなたの性別を教えてください。

1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
-------	-------	----------

F2. あなたの年代を教えてください。1つ選び、番号を○で囲んでください。

(令和4年10月1日現在でご記入ください)

1. 18～19歳	3. 30～39歳	5. 50～59歳	7. 70～79歳
2. 20～29歳	4. 40～49歳	6. 60～69歳	8. 80歳以上

F3. あなたのご職業を教えてください。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 農林業	4. 公務員	7. 学生
2. 自営業	5. パート・アルバイト	8. その他(具体的に:)
3. 会社員	6. 契約社員・派遣社員	9. 家事・育児・介護に専業
		10. 無職

※F3で1、2、3、4、5、6、7、8とお答えの方におたずねします。

F3-1. 職場(学校)までの通勤(通学)時間は何分ですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 0分(自宅勤務)	5. 60分以上90分未満
2. 15分未満	6. 90分以上120分未満
3. 15分以上30分未満	7. 120分以上
4. 30分以上60分未満	

F4. あなたのお住まいの地区を教えてください。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 松山地区	本町	日吉町	市ノ川	新宿町	美原町
	神明町	加美町	御茶山町	山崎町	美土里町
	箭弓町	松本町	六反町	小松原町	和泉町
	材木町	松山	六軒町	砂田町	幸町
	松葉町	松山町	五領町	仲田町	
2. 大岡地区	大谷	岡			
3. 平野地区	東平	野田	沢口町	殿山町	
4. 唐子地区	下唐子	葛袋	上唐子	坂東山	
	石橋	神戸	新郷		
5. 高坂地区	高坂	宮鼻	岩殿	元宿	
	早俣	毛塚	西本宿	あずま町	
	正代	田木	大黒部		
6. 高坂丘陵地区	桜山台	白山台	旗立台	松風台	
7. 野本地区	上野本	上押垂	今泉	柏崎	下野本
	下青鳥	下押垂	古凍	若松町	

F5. あなたは、東松山市に住んで何年経ちましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 2年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 2. 2年以上5年未満 | 5. 20年以上 |
| 3. 5年以上10年未満 | |

F6. あなたの(同居している)世帯の状況は次のどれにあたりますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|---------|
| 1. 三世帯世帯(祖父母、父母、子どもなど) | 3. 夫婦のみ |
| 2. 二世帯世帯(夫婦と子どもなど) | 4. 単身世帯 |
| | 5. その他 |

▶ (F6で1または2とお答えの方におたずねします。)

F6-1. 同居者に次の方がいますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 就学前(0~6歳) | 3. 65歳以上 |
| 2. 小学生・中学生 | 4. いずれもない |

F7. お住まいの形態は次のどれにあたりますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 一戸建て持ち家 |
| 2. 一戸建て借家 |
| 3. 共同持ち家(分譲マンション等) |
| 4. 公営の賃貸住宅 |
| 5. 民間の賃貸集合住宅(マンション・アパート等) |
| 6. 社宅・寮 |
| 7. その他(具体的に: _____) |

まち全体の印象についておたずねします

問1. あなたは、東松山市に愛着を感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 愛着がある | 4. どちらかといえば愛着がない |
| 2. どちらかといえば愛着がある | 5. 愛着がない |
| 3. どちらともいえない | |

問2. あなたにとって、東松山市は住みよいまちですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 住みよい | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みよい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらともいえない | |

問3. あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 現在のところに住み続けたい | 3. 東松山市外へ移りたい |
| 2. 東松山市内の別のところで住み続けたい | 4. わからない |

問4. あなたは、東松山市についてどのように思いますか。次の(ア)～(セ)について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

	よい	どちらかといえば よい	ふつう	どちらかといえば わるい	わるい
(ア) 人柄・土地柄	1	2	3	4	5
(イ) 自然環境	1	2	3	4	5
(ウ) 歴史と伝統	1	2	3	4	5
(エ) 交通の利便性	1	2	3	4	5
(オ) 働く場	1	2	3	4	5
(カ) 買物などの日常生活の利便性	1	2	3	4	5
(キ) 教育・文化・スポーツ施設	1	2	3	4	5
(ク) 医療・福祉施設	1	2	3	4	5
(ケ) 道路や公園等の生活の基盤施設	1	2	3	4	5
(コ) 活気とにぎわい	1	2	3	4	5
(サ) 街並みの美しさ	1	2	3	4	5
(シ) 市の発展性	1	2	3	4	5
(ス) 都市としての個性や魅力	1	2	3	4	5
(セ) 総合的に見て	1	2	3	4	5

子どもの分野についておたずねします

問5. あなたは、東松山市は子育てしやすい環境が整ったまちだと思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | | |
|------------------|-------------------|----------|
| 1. 整っている | 3. どちらかといえば整っていない | 5. わからない |
| 2. どちらかといえば整っている | 4. 整っていない | |

▶ (問5で3または4とお答えの方におたずねします。)

問5-1. その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|---|
| 1. 待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分
2. 延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分
3. 子育てについての情報提供や相談できる場が少ない
4. 小児医療体制が不十分
5. 学童保育など放課後の児童対策が不十分
6. 公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない
7. 子育てする親同士の交流の場が少ない
8. 子どもを連れた人や妊産婦が使いやすい施設の整備が不十分
9. その他(具体的に:) |
|---|

健康福祉の分野についておたずねします

問6. あなたは、体の不調を感じたとき、最初にかかる医療機関を決めていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 決めている

2. 決めていない

▶ (問6で1とお答えの方におたずねします。)

問6-1. それは、次のどれですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 近所の医院・診療所・クリニック

2. 大学病院・公立病院・総合病院等

3. その他（具体的に： _____)

問7. あなたが、自分の健康づくりのために日頃から心がけていることはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 食事に気をつける

2. 十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする

3. 散歩や運動などをする

4. たばこを吸わない

5. 年に1回は健康診断や人間ドックを受ける

6. ストレスをためないよう気分転換をはかる

7. 健康についての情報、知識を増やす

8. その他（具体的に： _____)

9. 特に心がけていることはない

問8. あなたは、感染症対策に取り組んでいますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 取り組んでいる

2. 取り組んでいない

▶ (問8で1とお答えの方におたずねします。)

問8-1. 日常生活の中で、どのようなことに取り組んでいますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 手洗い、手指消毒をする

2. 咳エチケット、マスクの着用をする

3. こまめに換気する

4. 身体的距離を確保する

5. 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える

6. 定期的に体温を測定する

7. 買い物は1人または少人数ですいた時間に行く

8. 公共交通機関の利用は混んでいる時間帯を避ける

9. 筋トレやヨガは自宅で動画を活用する

10. 多人数での会食は避ける

11. 食事は持ち帰りや出前、デリバリーを利用する

12. その他

（具体的に： _____)

環境についておたずねします

問9. あなたは、環境に配慮した生活を心がけていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 心がけている | 3. どちらかといえば心がけていない |
| 2. どちらかといえば心がけている | 4. 心がけていない |

▶(問9で1または2とお答えの方におたずねします。)

問9-1. 日常生活の中で、具体的に心がけていることは何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|---|
| 1. 決められたとおりにごみの分別を徹底している |
| 2. マイバッグを利用したり、過剰な包装を断ったりするなどごみの減量化に努めている |
| 3. マイボトルを利用したり、使い捨てプラスチック製品の利用を控えている |
| 4. 生ごみは自家処理をしている |
| 5. 物が壊れても、可能な限り修理して長く使うようにしている |
| 6. 風呂の残り湯を洗濯に使うなど、節水に努めている |
| 7. 環境にやさしい製品を積極的に購入している |
| 8. 冷暖房の設定温度を、夏は高めに、冬は低めにしている |
| 9. 部屋の電気やテレビのスイッチはこまめに消している |
| 10. 近いところへは、徒歩や自転車で出かけている |
| 11. わずかな間でもアイドリングストップをしている |
| 12. 家の周りなどに植物を植えている |
| 13. 太陽光発電などの自然エネルギーの利用を積極的に導入している |
| 14. 調理の際に食材を使い切るようにしたり、外食は食べきるようにしている |
| 15. その他(具体的に: _____) |

問10. 環境問題について、次にあげる(ア)～(サ)で、「すでに深刻な問題である」ということと、今後、改善していくうえで「重点的に取り組んでいく必要がある」ということについて、それぞれ3つまで選び、番号を○で囲んでください。

	すでに深刻な 問題である (3つまで)	重点的に取り 組んでいく 必要がある (3つまで)
(ア) 日常生活における騒音・振動・悪臭	1	1
(イ) 生活排水や工場排水による河川の水質汚濁	2	2
(ウ) ごみの増加や不法投棄	3	3
(エ) 身近な緑や農地の減少	4	4
(オ) 身近な生き物の減少	5	5
(カ) 地球温暖化	6	6
(キ) 酸性雨や大気汚染	7	7
(ク) 有害化学物質による人体への影響	8	8
(ケ) グリーン購入、詰め替え商品等、環境に配慮した製品の購入	/	9
(コ) 省エネや新エネルギー(太陽光発電や風力発電、バイオ燃料の利用)	/	10
(サ) 環境に関する学習	/	11

問11. あなたは、省エネ設備・家電や太陽光などの新エネルギーによる創エネ・蓄エネ設備を利用して
いますか。次の(ア)～(ケ)について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

	利用して いる	利用して いないが今後 利用したい	利用したい とは思わない	わからない
(ア) 太陽光発電システム(太陽電池を 使って電気をつくる)	1	2	3	4
(イ) 家庭用燃料電池システム(エネフ アーム等)	1	2	3	4
(ウ) 高効率給湯器(エコキュート、エ コジョーズ等)	1	2	3	4
(エ) 建物の断熱化(二重ガラスや壁の 断熱化等)	1	2	3	4
(オ) 家庭の電気使用状況が一目でわ かる機器(HEMS:ホームエネ ルギーマネジメントシステム)	1	2	3	4
(カ) 家庭用蓄電池	1	2	3	4
(キ) 電気自動車、プラグインハイブリ ッド自動車、燃料電池(水素)自 動車	1	2	3	4
(ク) 電気自動車やプラグインハイブ リッド自動車に蓄えた電気を家 で使う機器(V2H:ビークルト ゥホーム)	1	2	3	4
(ケ) 省エネ家電への買換え	1	2	3	4

生活基盤の分野についておたずねします

問12. あなたは、災害時の防災情報(避難情報)をどのように取得していますか。あてはまるものを
すべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 防災行政無線	7. テレビ
2. 緊急速報メール(緊急地震速報等、対象 エリアに一斉配信されるメール)	8. Twitter等のソーシャルネットワーキングサ ービス(SNS)
3. 登録制メール(東松山いんふおメール 等)	9. テレホンサービス
4. 東松山市ホームページ	10. その他 (具体的に:)
5. 戸別受信機	11. 特に行っていない
6. インターネットの防災情報	

問13. あなたは、避難行動を求められたら主にどのように避難を行いますか。1つ選び、番号を○で囲
んでください。

1. 市の指定緊急避難所・指定避難所に避難 する	4. その他 (具体的に:)
2. 車で安全な場所に避難する(車中避難)	5. 自宅が安全なため避難しない
3. 親戚・知人宅へ避難する	

問14. あなたは、日頃から災害に備え、どのようなことを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 家族や親族との連絡方法を決めている | 7. 応急手当等の研修に参加している |
| 2. 保存飲料水・食料品を準備している | 8. 消火器を準備している |
| 3. 非常用持ち出し袋を用意している | 9. その他 |
| 4. 家財を補強している | (具体的に：) |
| 5. 避難場所や経路を確認している | 10. 特に行っていない |
| 6. 防災訓練に参加している | |

問15. あなたが、日常生活の中で、主に利用している交通手段は何ですか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。

- | | | |
|-------------------|-------------|--------|
| 1. 自家用車（自分で運転） | 4. 市内循環バス | 7. バイク |
| 2. 自家用車（家族や知人が運転） | 5. タクシー | 8. 自転車 |
| 3. 民間路線バス | 6. デマンドタクシー | 9. 徒歩 |

問16. あなたは、ホームページを見たり、インターネットを利用したりしていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. パソコンで利用している | 3. タブレット端末で利用している |
| 2. スマートフォン（携帯電話）で利用している | 4. 利用したいが、方法がわからない |
| | 5. 利用するつもりはない |

商業の活性化についておたずねします

問17. あなたは、次の商品を主にどの商店で購入していますか。次の(ア)～(ウ)について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

	市内の		市外の		通信販売 (テレビ、 インターネット 、雑誌など)
	個人商店	大型店・ チェーン店	個人商店	大型店・ チェーン店	
(ア) 食料品	1	2	3	4	5
(イ) 衣服・服飾品	1	2	3	4	5
(ウ) 家具・家電	1	2	3	4	5

問18. あなたは、食料品などの日用品の買い物で不便を感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 不便を感じている | 2. 不便は感じていない |
|-------------|--------------|

▶(問18で1とお答えの方におたずねします。)

問18-1. どのようなことで不便を感じていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------------------|--|
| 1. 近くにお店がない | |
| 2. 自動車や自転車の運転に不安がある | |
| 3. 家族等の協力がないと買い物ができない | |
| 4. バスなどの公共交通機関の停留所が遠い、本数が少ない | |
| 5. デマンドタクシーの乗降ポイントが少ない | |
| 6. その他（具体的に：) | |

協働によるまちづくりについておたずねします

問19. あなたは、現在、自治会活動や地域の行事などに参加していますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. よく参加している | 3. あまり参加していない |
| 2. ときどき参加している | 4. 参加したことはない |

問20. あなたは、団体、サークルまたは個人などでボランティア(社会貢献)活動をしていますか。 1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 現在活動している | 3. 将来活動してみたいと思っている |
| 2. 以前活動していたが現在はしていない | 4. 今後も活動するつもりはない |

→(問20で1とお答えの方におたずねします。)

問20-1. 活動しているのはどの分野ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | | |
|-------------|---------|--------------------|
| 1. 保健・医療・福祉 | 4. 環境保全 | 7. 子どもの健全育成 |
| 2. 生涯学習 | 5. 地域安全 | 8. 災害救援 |
| 3. スポーツ | 6. 国際交流 | 9. その他
(具体的に：) |

人権意識についておたずねします

問21. 現在、社会にはいろいろな人権問題がありますが、あなたに関心のあるものはどれですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 女性 | 9. 犯罪被害者など |
| 2. 子ども | 10. L G B T (※) などの性的少数者 |
| 3. 高齢者 | 11. インターネットによる人権侵害 |
| 4. 障害者 | 12. 拉致問題 |
| 5. 同和問題 | 13. アイヌの人々 |
| 6. 外国人 | 14. その他 |
| 7. H I V感染者、ハンセン病患者など | (具体的に：) |
| 8. 刑を終えて出所した人 | 15. 特になし |

※レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーを指す

問26. あなたは、過去1年間に運動(スポーツ、ウォーキング、散歩、体操など)を平均してどのくらい行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 月に1回 |
| 2. 週に2～3回 | 5. 年に数回 |
| 3. 週に1回 | 6. 行わなかった |

▶ (問26で1、2、3とお答えの方におたずねします。)

問26-1. 1回にどのくらいの時間行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|---------------|
| 1. 60分以上 |
| 2. 30分以上60分未満 |
| 3. 30分未満 |

問27. あなたは、日本スリーデーマーチに参加したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 参加したことがある(1～10回) | 5. 参加したことはない |
| 2. 参加したことがある(11～20回) | |
| 3. 参加したことがある(21～30回) | |
| 4. 参加したことがある(31回以上) | |

▶ (問27で1、2、3、4とお答えの方におたずねします。)

問27-1. 日本スリーデーマーチに参加した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 市の代表的なイベントだから | 5. 自分への挑戦のため |
| 2. 健康のため | 6. 学校行事だったから |
| 3. 歩くことが好きだから | 7. その他 |
| 4. 家族や友人・知人と交流するため | (具体的に:) |

問28. 公共スポーツ施設についておたずねします。公共スポーツ施設を利用してどのように感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 満足している | 3. やや不満がある |
| 2. まあまあ満足している | 4. 不満がある |
| | 5. 利用したことがない |

▶ (問28で3、4とお答えの方におたずねします。)

問28-1. その理由は何ですか。3つまで選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 施設が遠い | 6. 申込方法がわからない |
| 2. 予約がとれない | 7. 施設が老朽化している |
| 3. 利用したい時間帯が合わない | 8. 冷房・暖房等の設備が不十分である |
| 4. 施設情報が乏しい | 9. その他 |
| 5. 希望する種目ができない | (具体的に:) |

公共施設についておたずねします

問29. 公共施設(市の建物)に対する考え方についておたずねします。人口減少などによる利用状況の変化や、厳しい財政状況の中で公共施設を維持するためにはどうすべきと思いますか。次の(ア)～(サ)について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

内容	方向性	実施の方向性				
		実施すべき	どちらかといえば実施すべき	いえない	どちらともいえない	実施すべきでない
(ア) あまり利用されていない施設を1つにまとめたり、なくしたりする		1	2	3	4	5
(イ) 同じサービスを提供している施設を1つにまとめる		1	2	3	4	5
(ウ) 周辺にある複数の施設を1つにまとめる		1	2	3	4	5
(エ) 近隣の市や町と共用できる施設をつくり、共同で維持管理や運営をする		1	2	3	4	5
(オ) 民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対して助成するかわりに、市の施設を減らしていく		1	2	3	4	5
(カ) 民間事業者に維持管理や運営をまかせて、効率化させる		1	2	3	4	5
(キ) 古くなった施設を直して、建物を長持ちさせる		1	2	3	4	5
(ク) 施設の開館時間を短くするなどして、サービスを下げた施設にかかるお金を節約する		1	2	3	4	5
(ケ) 利用が少ない施設を売って、お金にかえる		1	2	3	4	5
(コ) 施設を有料にしたり、利用料金を上げたりして、施設に必要なお金にあてる		1	2	3	4	5
(サ) ほかの行政サービスを下げた節約し、施設にかかるお金にあてる		1	2	3	4	5

問30. 今後、公共施設(市の施設)を減らさなければならなくなった場合に、どのような施設から減らしていくべきと思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 利用する人が少ない施設 | 4. 近くに同じような施設(民間施設を含む)があり、十分代替えが可能な施設 |
| 2. 利用する人がいつも同じで、たくさんの方が利用していない施設 | 5. 建物や設備が古くなっている施設 |
| 3. 他の施設と比べて、維持などにお金がかかる施設 | 6. 交通の便が悪い場所にある施設 |
| | 7. その他(具体的に:) |

市政情報についておたずねします

問31. あなたが知りたいと思う市政にかかわる情報はどのようなものですか。**3つまで**選び、番号を○で囲んでください。

1. 市政の運営（施策・計画・財政） 2. 健康・医療 3. 福祉・介護 4. 地域の防犯・防災 5. 道路・交通（安全対策） 6. 消費生活（生活知識・消費者相談） 7. リサイクル・環境問題 8. 法律相談などの各種相談案内 9. 申請手続きの方法や窓口案内 10. 公共施設の案内・予約状況	11. 子どもの教育（学校教育） 12. 育児・保育 13. 生涯学習（講座・教室等） 14. 地域の話（タウン情報） 15. 市内の祭りやイベント 16. 市の歴史や文化や自然 17. その他 （具体的に： 18. 特にない
---	---

問32. あなたは、市政情報をどのような方法で入手していますか。**あてはまるものをすべて**選び、番号を○で囲んでください。

1. 広報ひがしまつやま 2. 東松山市ホームページ 3. 東松山市モバイルサイト 4. 東松山市ホームページスマートフォン専用サイト 5. 市からのお知らせや回覧 6. 市役所などの公共施設にあるポスター・チラシ 7. 市役所などの公共施設等の窓口 8. 民間のタウン誌・情報誌 9. ケーブルテレビ	10. 新聞・テレビ 11. テレビ埼玉データ放送※ 12. デジタルサイネージ（電子掲示板）※ 13. メール配信サービス（東松山いんぷおメール） 14. Twitter（ツイッター） 15. Facebook（フェイスブック） 16. LINE（ライン） 17. その他 （具体的に： 18. 市政情報は入手していない
---	--

※テレビ埼玉データ放送は、地上デジタル放送テレ玉（3ch）で、市の情報を放映しています。

※デジタルサイネージは、看板をタッチ式デジタル・ディスプレイ化して、複数の内容（情報）を切り替えられるようにしたものです。市役所、高坂駅、松山市民活動センターに設置してあります。

問33. あなたは現在、東松山市の市政の情報を得られていると思いますか。**1つ**選び、番号を○で囲んでください。

1. 得られている 2. ある程度得られている 3. あまり得られていない	4. 得られていない 5. わからない
---	------------------------

問34. あなたは、広報紙「広報ひがしまつやま」を読んでいますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. よく読んでいる
2. 時々読んでいる

3. あまり読んでいない
4. まったく読んでいない

▶(問34で1または2とお答えの方におたずねします。)

問34-1. 「広報ひがしまつやま」を主にどのように入手していますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 自治会等からの配布
2. 公の施設・駅
3. コンビニエンスストアなどの店舗

4. 東松山市ホームページ
5. その他
(具体的に：)

◀(問34で3または4とお答えの方におたずねします。)

問34-2. 「広報ひがしまつやま」を読まないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 市政に関心がない
2. 内容がおもしろくない
3. 役立つ記事がない
4. 読むのが面倒
5. 小さい字が読みづらい
6. 「広報ひがしまつやま」を知らない

7. 東松山市ホームページ、メール配信サービス (いんぷおメール) 等で情報を得ている
8. その他
(具体的に：)

行政運営についておたずねします

問35. あなたは、市の職員についてどのように感じていますか。次の(ア)～(コ)について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

	そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない
(ア) 礼儀正しい	1	2	3	4	5
(イ) 親しみやすい	1	2	3	4	5
(ウ) 言葉づかいがよい	1	2	3	4	5
(エ) わかりやすく説明してくれる	1	2	3	4	5
(オ) 話をきちんと聞いてくれる	1	2	3	4	5
(カ) 専門的なことでも詳しく教えてくれる	1	2	3	4	5
(キ) 手際がよく、対応が早い	1	2	3	4	5
(ク) 責任感を持って仕事をしている	1	2	3	4	5
(ケ) 市民の立場に立って仕事をしている	1	2	3	4	5
(コ) 自ら積極的に仕事をしている	1	2	3	4	5

問36. あなたは、これから東松山市がどんなまちになってほしいと思いますか。**2つまで**選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|---|
| 1. 子どもたちが健やかに成長する学びのまち（子育て支援、学校教育の充実）
2. 誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち（健康づくり、保健・医療、地域福祉、社会保障、高齢者福祉、障害者福祉）
3. 自然と調和する環境未来・エコのまち（エコタウン、自然に親しむ空間づくり、資源循環）
4. 快適に暮らせる安全のまち（防災、防犯、都市基盤整備）
5. 元気で活力のあるにぎわいのまち（農業・商業・工業・観光の活性化）
6. 人と地域がつながる支え合いのまち（市民と行政の協働、人権・平和意識、生涯学習・生涯スポーツ、文化・芸術、健全な行財政運営） |
|---|

問37. あなたは、東松山市でよくなってきた事業、また、今後、東松山市が重点的に取り組んでいくべき事業は何だと思いますか。

それぞれ3つまで選び、選択肢下の回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 子育てしやすい環境づくり | 18. 安全で快適な道路の整備と維持管理 |
| 2. 青少年の健全育成 | 19. 安全な水道水の提供 |
| 3. 乳幼児期における支援の充実 | 20. 河川・下水道の整備 |
| 4. 学校教育の充実 | 21. 交通・防犯対策の推進 |
| 5. 教育環境の整備 | 22. 農業の振興 |
| 6. 健康づくりの推進 | 23. 商店街活性化の促進等の商業振興 |
| 7. 保健・医療体制の充実 | 24. 産業振興と就労支援の充実 |
| 8. 市民病院の充実 | 25. 観光の振興 |
| 9. 地域福祉の推進 | 26. 市民参加の促進 |
| 10. 社会保障の充実 | 27. 人権意識の高揚 |
| 11. 高齢者支援の充実 | 28. 平和意識の高揚 |
| 12. 障害者支援の充実 | 29. 生涯学習の推進 |
| 13. エコタウンの推進 | 30. 生涯スポーツの推進 |
| 14. 癒やしの空間整備の推進 | 31. 文化・芸術の振興 |
| 15. 地球温暖化対策や循環型社会の構築 | 32. 文化財保護 |
| 16. 防災・減災の取組と消防・救急の充実 | 33. 健全な行財政運営 |
| 17. 計画的なまちづくりの推進 | 34. 特にない |

回答欄(番号は重複可)

よくなってきた事業			
今後、重点的に取り組んでいくべき事業			

問38. あなたが、「東松山市の地域資源(名物・名所、文化財、伝統行事、植物などで特徴となるもの)」として思い浮かべるものは何ですか。具体的にお書きください。

問39.最後に、東松山市のまちづくりについて、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。回答は、同封の返信用封筒に入れ、

11月15日(火)までにご投函ください。

令和4年度
東松山市市民意識調査報告書

発行日／令和5年3月
発行／東松山市
編集／東松山市政策財政部広報広聴課
埼玉県東松山市松葉町1-1-58
0493-23-2221（代表）

* 禁無断転載・複製

©東松山市
